
交野市 市民意識調査

－ 報告書 －

令和3年3月
大阪府 交野市

～ 目 次 ～

I 調査の概要	1
II 回答者の属性	3
1 性別構成	3
2 年齢別構成	4
3 就労状況	5
4 家族構成	7
5 同居の中学生以下の子どもの有無	8
6 子世帯の同居・近居の状況	9
7 親の同居・近居の状況	11
III 調査結果	13
【1】交野市での居住歴や定住意向について	13
1 居住歴	13
2 交野市に住むきっかけ	15
3 定住意向	17
4 引っ越したい場所	18
5 引っ越したい理由	19
【2】普段の生活について	20
1 食料等の買い物の場所について	20
2 買い回り品の買い物の場所について	24
3 通勤や通学先について	28
4 通院先について	32
【3】交野市について	37
1 交野市への好意度	37
2 交野市の環境等に対する満足度と重要度	39
3 今後のまちづくりにおいて特に重要だと思うこと	56
4 住んでいる地域の課題や問題点	59
5 人口減少対策への取り組みに対する評価	61
6 人口減少対策に関して特に重要だと思うこと	62
7 「みどり」の空間の魅力について	64
8 「みどり」の空間の活用方法	66
9 地域コミュニティ活動の重要度と参加意向	68
10 参加意向の理由	102
【4】新型コロナウイルス感染症による生活への影響等について	106
1 新型コロナウイルス感染症による変化	106
2 新型コロナウイルス感染症により困っていること	116
3 アフター（ウィズ）コロナの社会において充実する必要がある空間や機能	119

【5】交野市のこれからのまちづくりについて（自由記述回答）	-----	121
1 子育てについて	-----	121
2 教育について	-----	123
3 健康・福祉について	-----	125
4 生涯学習について	-----	127
5 安全・安心について	-----	128
6 まちづくりについて	-----	130
7 地域振興・地域資源について	-----	140
8 環境について	-----	145
9 行政管理について	-----	147
10 その他	-----	152

資料 調査票	-----	158
--------	-------	-----

I 調査の概要

【調査の目的】

本調査は、「交野市総合計画基本構想」及び「交野市都市計画マスタープラン」の改定にあたり、新型コロナウイルス感染症による生活への影響等を含め、交野市のまちづくりに関する市民の意見等を把握し、今後の計画づくりのための基礎資料とすることを目的として実施した。

【調査対象】

18歳以上の市民（住民基本台帳による無作為抽出）

【調査方法】

郵送配布、郵送回収

【調査時期】

令和3年1月

【回収結果】

配布数 ----- 2,000 件

有効回収数 ----- 1,023 件

有効回収率 ----- 51.2%

【地区別回収数】

	構成比(%)	件数(件)
郡津	7.8	80
幾野	5.8	59
梅が枝	1.2	12
松塚	2.1	21
倉治	8.7	89
東倉治	2.1	21
神宮寺	1.2	12
私部	10.0	102
天野が原町	5.0	51
向井田	2.0	20
私部西	5.0	51
私部南	1.8	18
青山	1.0	10
私市	7.9	81
私市山手	2.3	24

	構成比(%)	件数(件)
寺	1.6	16
森	0.1	1
森南	1.9	19
森北	0.9	9
傍示	0.0	0
星田	10.9	111
星田北	1.9	19
星田西	3.5	36
藤が尾	5.4	55
妙見坂	3.7	38
星田山手	2.2	22
南星台	1.6	16
妙見東	2.3	24
無回答	0.6	6
合計	100.0	1,023

注：問1(3)回答結果より

【地域区分について】

地域	地区
くらじ地域	倉治、東倉治、神宮寺
こうづ地域	郡津、幾野、梅が枝、松塚
きさべ地域	私部、天野が原町、向井田、私部西、私部南、青山
ほしだ地域	星田、星田北、星田西、藤が尾、妙見坂、星田山手、南星台、妙見東
いわふね地域	私市、私市山手、寺、森、森南、森北、傍示

【報告書の見方について】

- (1) 集計は小数点以下第2位を四捨五入している。そのため、回答比率の合計は必ずしも100%にならない場合がある。
- (2) 2つ以上の回答を可能とした（複数回答）質問の場合、その回答比率の合計は100%を超える場合がある。
- (3) 数表、図表、文中に示すNは、比率算出上の基数（標本数）である。全標本数を示す「全体」を「N」、「該当数」を「n」で表記している。
- (4) 図表中における年齢別などのクロス集計結果については、該当する属性等の設問に対する無回答者（例えば、年齢別でクロス集計する場合における年齢の無回答者）を除いて表記しているため、属性ごとの基数の合計と全体の基数は同じにならない場合がある。
- (5) 図表中においては見やすさを考慮し、回答割合が極端に少ない数値（例：0.0%、0.1%など）は、図と干渉して見えにくい場合などに省略している場合がある。また、複数回答の図表中においては、見やすさを考慮し、回答割合の高い順に並べ替えて表記している場合がある。
- (6) この他、個別に参照事項がある場合は、本報告書の該当箇所に適宜記載した。

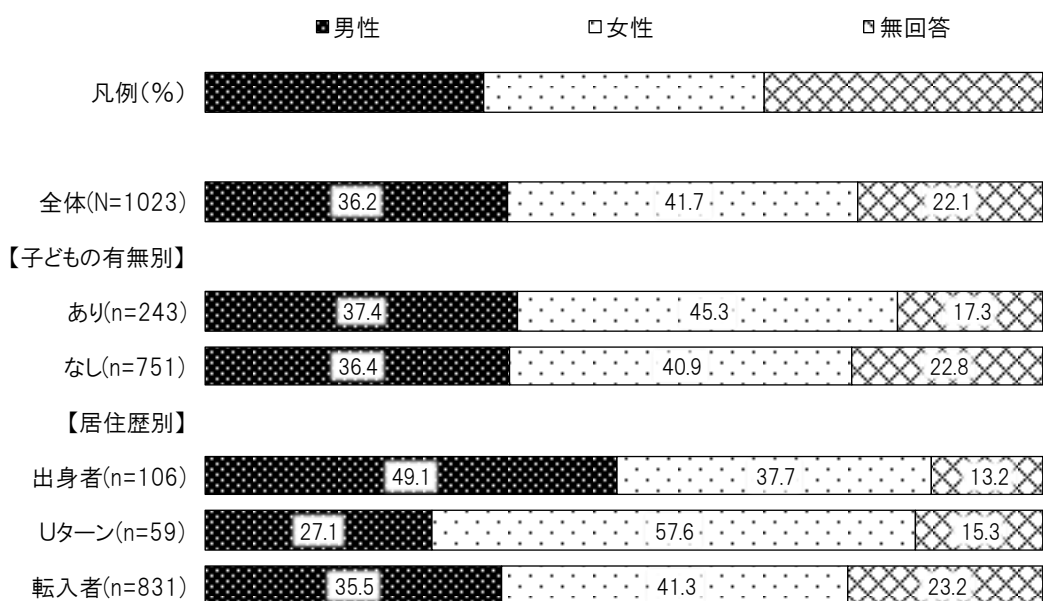
Ⅱ 回答者の属性

1 性別構成

回答者の性別構成比は、「男性」が 36.2%、「女性」が 41.7%と、女性の割合が男性を上回っている。

子どもの有無別^{※1}では、子どもがいる人はいない人に比べて「女性」の割合がやや高くなっている。

居住歴別^{※2}では、出身者で「男性」、Uターンで「女性」の割合がそれぞれ高くなっている。



※1 【子どもの有無別(問1(6))] 同居の中学生以下の子どもの有無

※2 【居住歴別(問2)]

「出身者」→「生まれてからずっと交野市に住んでいる」

「Uターン」→「交野市で生まれ、市外に住んだこともあるが、現在は交野市に住んでいる」

「転入者」→「市外で生まれたが、現在は交野市に住んでいる」

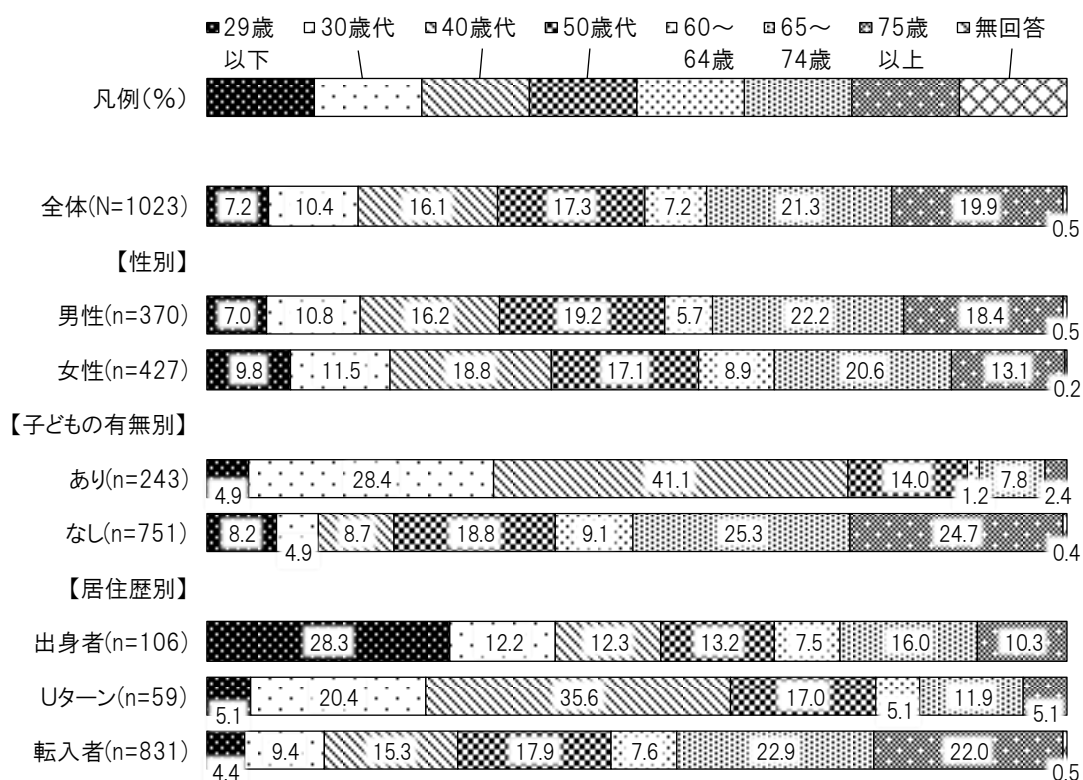
2 年齢別構成

年齢別構成は、「65～74歳」の割合が21.3%と最も高く、次いで「75歳以上」(19.9%)、「50歳代」(17.3%)の順となっており、『60歳以上(合計)』で全体の約半数(48.4%)を占めている。

性別では、男性は女性に比べ「75歳以上」の割合が高くなっている。

子どもの有無別では、子どもがいる人は「30歳代」「40歳代」の割合が高くなっている。

居住歴別では、出身者で「29歳以下」、Uターンで「40歳代」、転入者で「75歳以上」の割合がそれぞれ高くなっている。



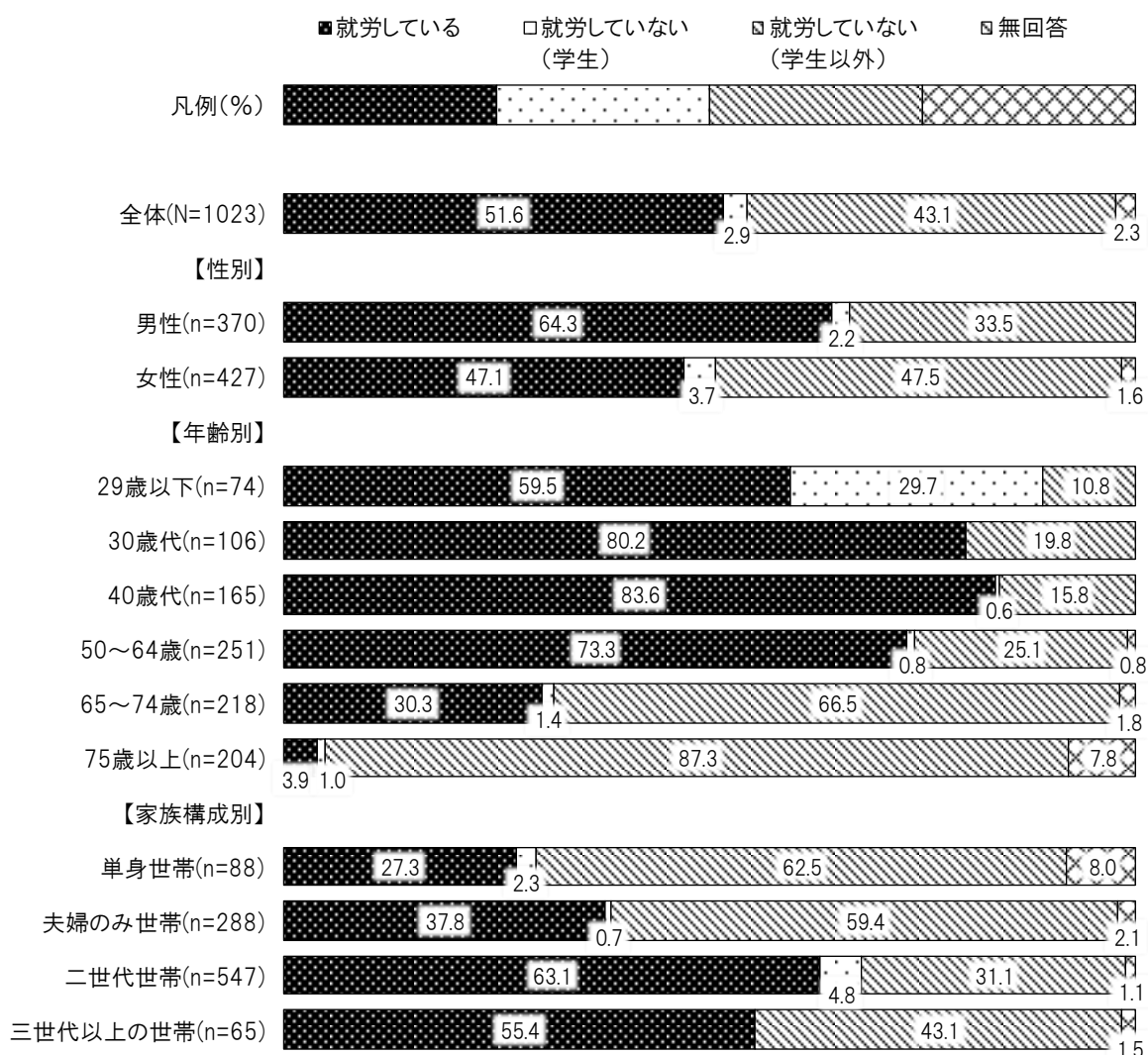
3 就労状況

就労状況については、「就労している」の割合が51.6%、「就労していない（学生以外）」が43.1%、「就労していない（学生）」が2.9%となっている。

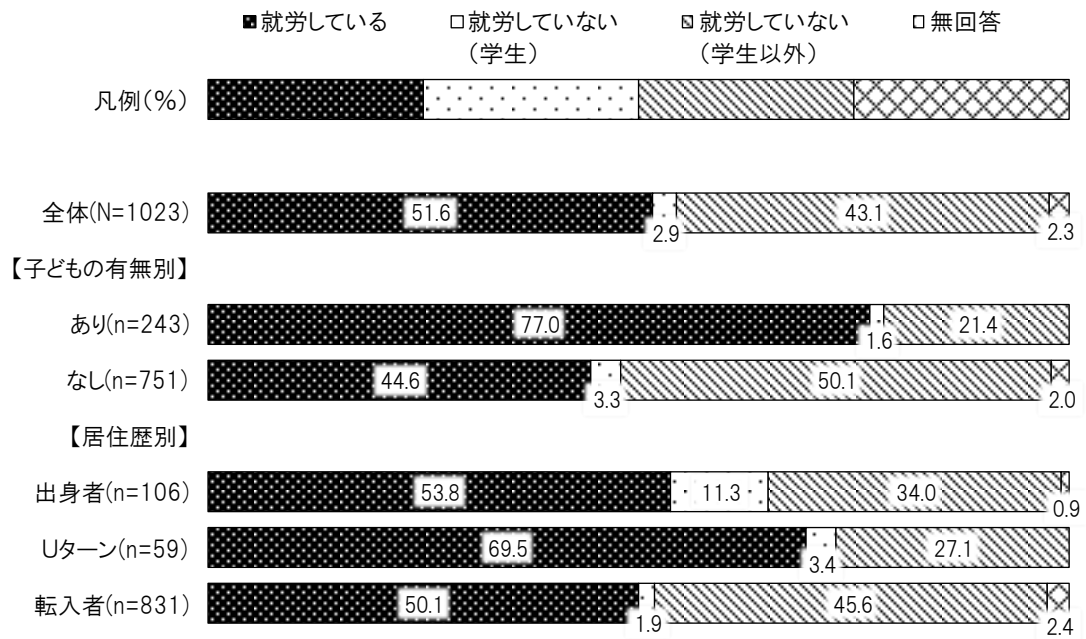
性別では、男性は「就労している」の割合が女性を大きく上回っており、女性は男性に比べ「就労していない（学生以外）」の割合が高くなっている。

年齢別では、29歳以下の約3割が「就労していない（学生）」と回答しており、65～74歳の約3割が「就労している」と回答している。

家族構成別では、単身世帯や夫婦のみ世帯で「就労していない（学生以外）」、二世代会世帯や三世代以上の世帯で「就労している」の割合がそれぞれ高くなっている。



子どもの有無別では、子どもがいる人は「就労している」の割合が高くなっている。
 居住歴別では、Uターンで「就労している」、転入者で「就労していない（学生以外）」の割合がそれぞれ高くなっている。



4 家族構成

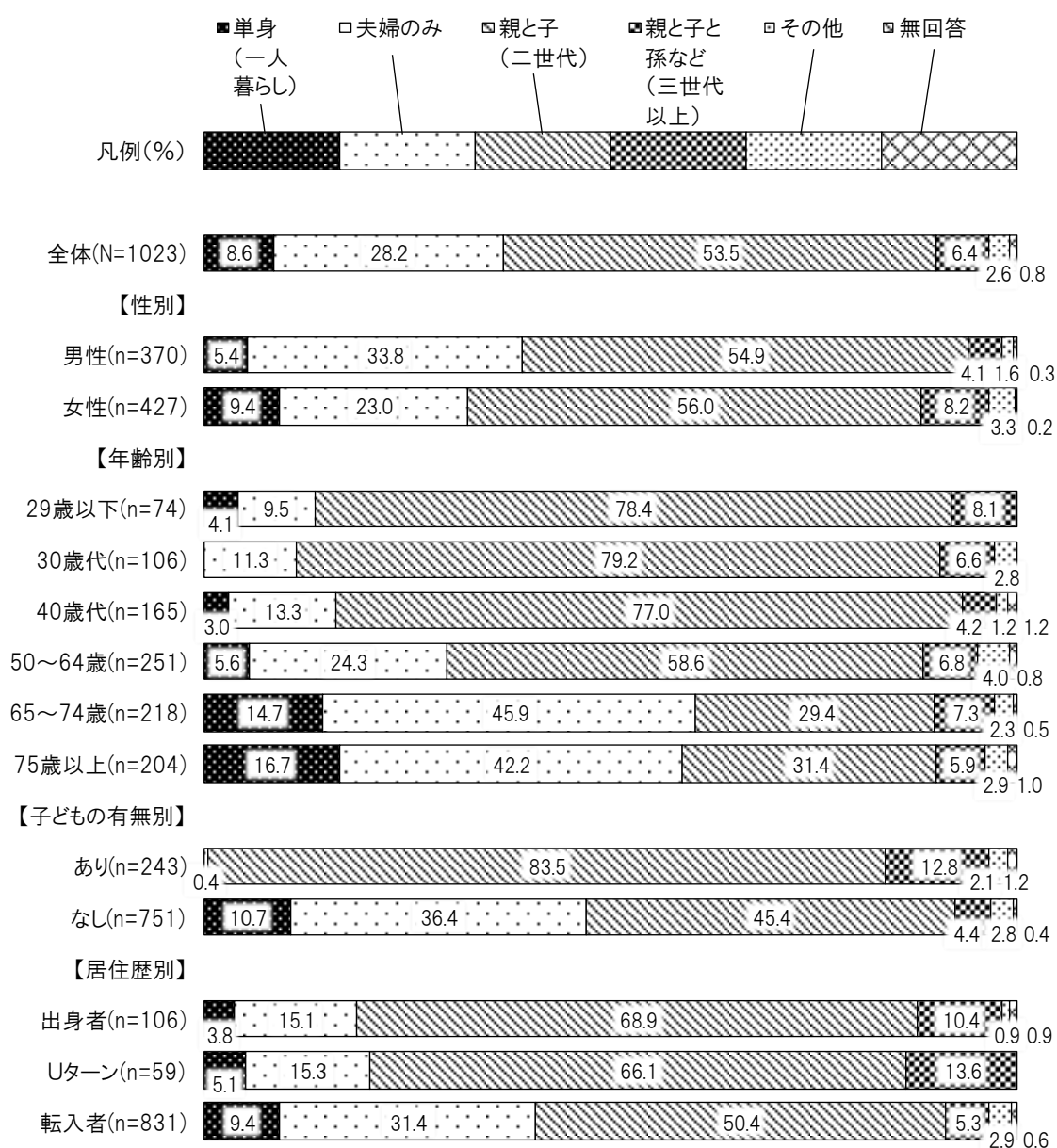
家族構成については、「親と子（二世代）」の割合が53.5%と最も高く、次いで「夫婦のみ」（28.2%）、「単身（一人暮らし）」（8.6%）の順となっている。

性別では、男性は「夫婦のみ」の割合が女性を大きく上回っている。

年齢別では、65歳以上で「単身（一人暮らし）」「夫婦のみ」の割合が他の年齢層を大きく上回っている。

子どもの有無別では、子どもがいる人は「親と子（二世代）」の割合が高くなっている。

居住歴別では、転入者で「夫婦のみ」の割合が他の層を大きく上回っている。



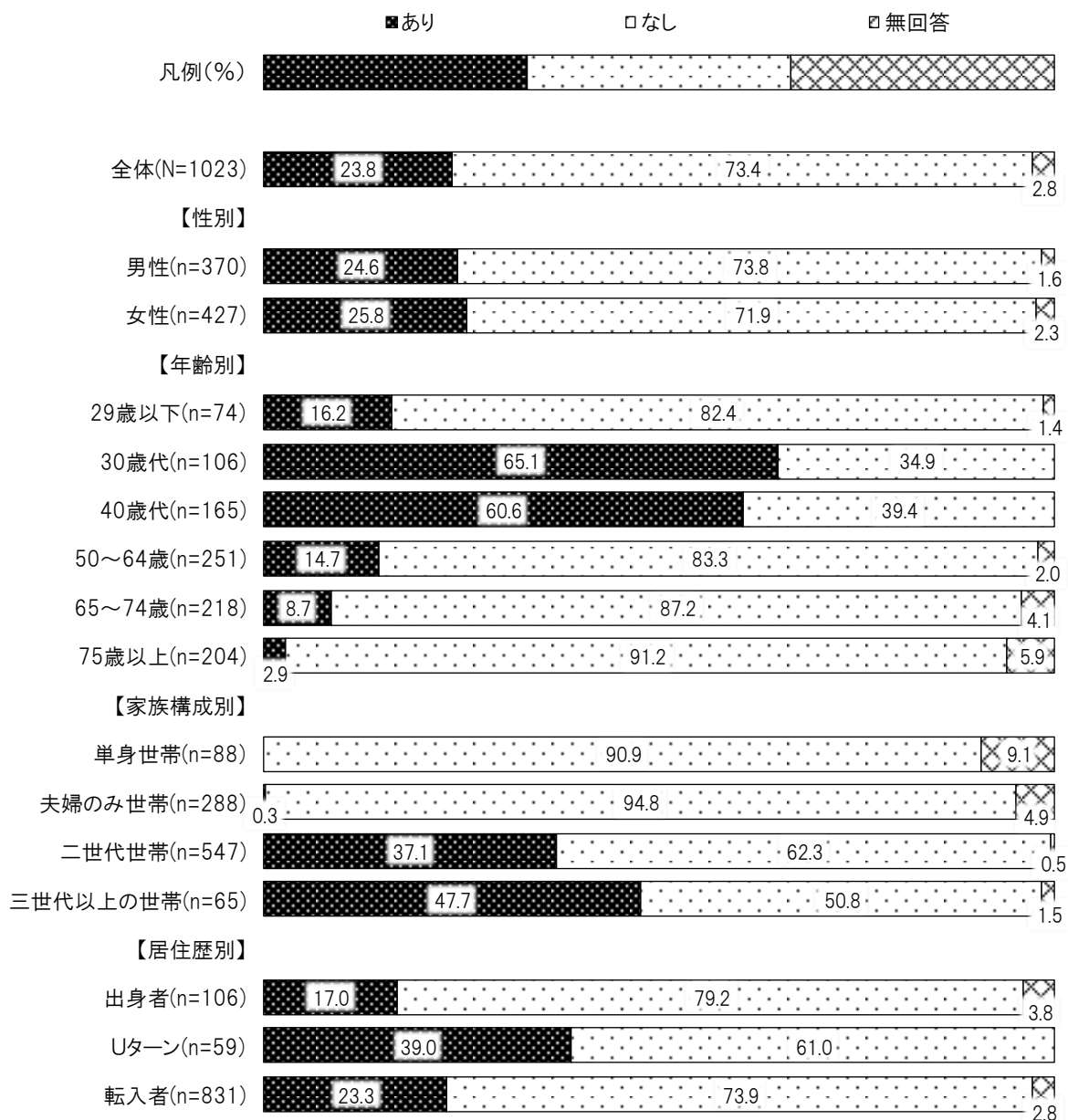
5 同居の中学生以下の子どもの有無

同居の中学生以下の子どもについては、「あり」の割合が23.8%となっている。

性別では大きな差はみられないが、年齢別では30～40歳代で「あり」の割合が他の年齢層を大きく上回っている。

家族構成別では、二世帯世帯や三世帯以上の世帯で「あり」の割合が高くなっている。

居住歴別では、Uターンで「あり」の割合が他の層を大きく上回っている。



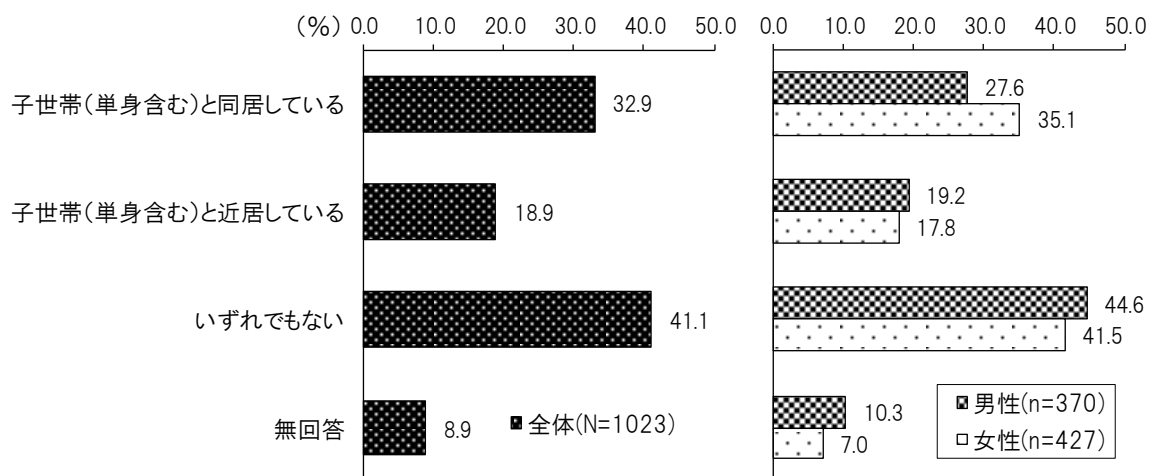
6 子世帯の同居・近居の状況

子世帯の同居・近居の状況については、「子世帯（単身含む）と同居している」の割合が32.9%、「子世帯（単身含む）と近居している」が18.9%、「いずれでもない」が41.1%となっている。

性別では、女性は男性に比べ「子世帯と同居している」の割合が高くなっている。

年齢別では、65歳以上で「子世帯と近居している」の割合が他の年齢層を大きく上回っている。

家族構成別では、単身世帯や夫婦のみ世帯で「子世帯と近居している」の割合が高くなっている。



単位 (%)	子世帯(単身含む)と同居している	子世帯(単身含む)と近居している	いずれでもない
全体(N=1023)	32.9	18.9	41.1
【年齢別】			
29歳以下(n=74)	13.5	0.0	73.0
30歳代(n=106)	34.9	0.0	56.6
40歳代(n=165)	43.0	2.4	42.4
50～64歳(n=251)	37.1	18.3	37.5
65～74歳(n=218)	28.4	34.9	35.3
75歳以上(n=204)	29.9	32.8	31.9
【家族構成別】			
単身世帯(n=88)	1.1	30.7	59.1
夫婦のみ世帯(n=288)	0.7	40.6	50.0
二世帯世帯(n=547)	51.4	7.9	34.7
三世帯以上の世帯(n=65)	69.2	1.5	23.1

注：表中の「網掛け」は、各クロス集計(年齢別など)において最も高い割合を示している。

(例／年齢別の場合、最も割合が高い年齢層に網掛け。)

但し、回答割合が10%未満の項目、n数が10未満の項目、及び「その他」については網掛けしていない。

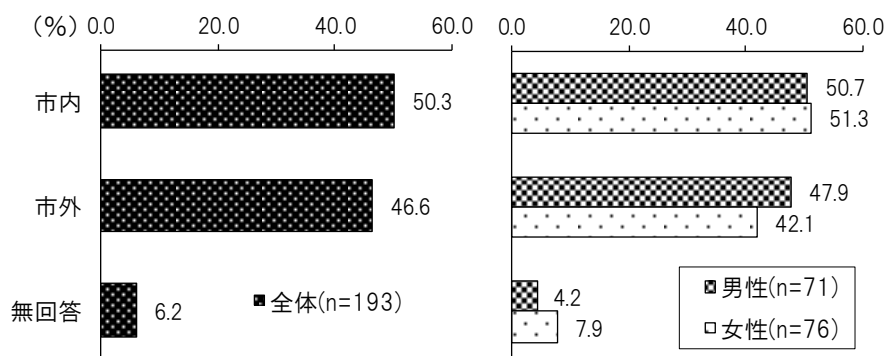
また「無回答」は表記から省略している。(本報告書においては、以下同様)

<子世帯が近居している場所>

子世帯が近居している場所については、「市内」が 50.3%、「市外」が 46.6%となっている。「市外」では、「枚方市」「寝屋川市」「大阪市」の順に回答が多い。

性別では、男性は女性に比べ「市外」の割合が高くなっている。

年齢別では、年齢が上がるほど「市内」の割合が高くなっている。



	市内	市外
全体(n=193)	50.3	46.6
【年齢別】		
29歳以下(n=0)	0.0	0.0
30歳代(n=0)	0.0	0.0
40歳代(n=4)	50.0	50.0
50～64歳(n=46)	34.8	60.9
65～74歳(n=76)	51.3	46.1
75歳以上(n=67)	59.7	37.3

注：年齢別の40歳代については、件数(n=)が少ないため参考値として参照。

【市外近居場所（上位項目抜粋）】

順位	市町村名	回答件数
1位	枚方市	22
2位	寝屋川市	15
3位	大阪市	14
4位	高槻市	4
5位	堺市	3
5位	東大阪市	3

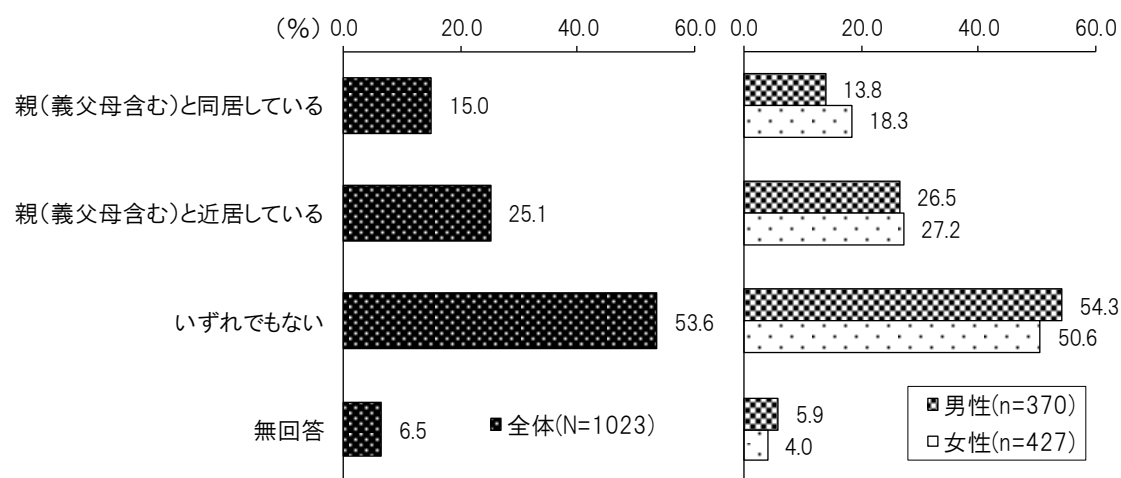
7 親の同居・近居の状況

親の同居・近居の状況については、「親（義父母含む）と同居している」の割合が15.0%、「親（義父母含む）と近居している」が25.1%、「いずれでもない」が53.6%となっている。

性別では、女性は男性に比べ「親と同居している」の割合がやや高くなっている。

年齢別では、29歳以下で「親と同居している」の割合が他の年齢層を大きく上回っている。

家族構成別では、二世世代世帯や三世代以上の世帯で「親と同居している」の割合が高くなっている。

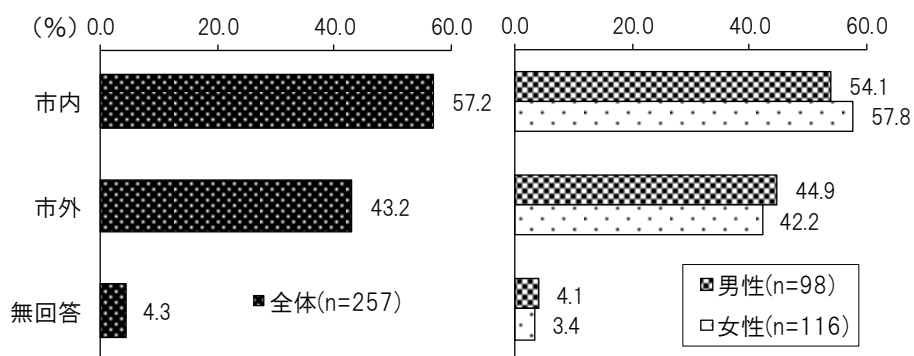


単位 (%)	同居している(親・義父母含む)	近居している(親・義父母含む)	いずれでもない
全体(N=1023)	15.0	25.1	53.6
【年齢別】			
29歳以下(n=74)	60.8	12.2	20.3
30歳代(n=106)	21.7	48.1	30.2
40歳代(n=165)	12.7	55.2	28.5
50～64歳(n=251)	19.9	35.1	41.8
65～74歳(n=218)	4.6	6.0	83.0
75歳以上(n=204)	2.0	1.0	81.9
【家族構成別】			
単身世帯(n=88)	0.0	8.0	79.5
夫婦のみ世帯(n=288)	0.3	17.0	74.7
二世世代世帯(n=547)	20.3	35.1	40.2
三世代以上の世帯(n=65)	50.8	3.1	41.5

<親が近居している場所>

親が近居している場所については、「市内」が 57.2%、「市外」が 43.2%となっている。「市外」では、「枚方市」「寝屋川市」「大阪市」の順に回答が多い。

性別では大きな差はみられないが、年齢別では 40 歳代で「市内」の割合が他の年齢層を大きく上回っている。



	市内	市外
全体(n=257)	57.2	43.2
【年齢別】		
29歳以下(n=9)	33.3	55.6
30歳代(n=51)	58.8	47.1
40歳代(n=91)	68.1	30.8
50～64歳(n=88)	50.0	50.0
65～74歳(n=13)	46.2	53.8
75歳以上(n=2)	50.0	50.0

注: 29 歳以下及び 75 歳以上については、件数(n)が少ないため参考値として参照。

【市外近居場所（上位項目抜粋）】

順位	市町村名	回答件数
1位	枚方市	45
2位	寝屋川市	13
3位	大阪市	6
4位	四条畷市	4
4位	高槻市	4

Ⅲ 調査結果

【1】交野市での居住歴や定住意向について

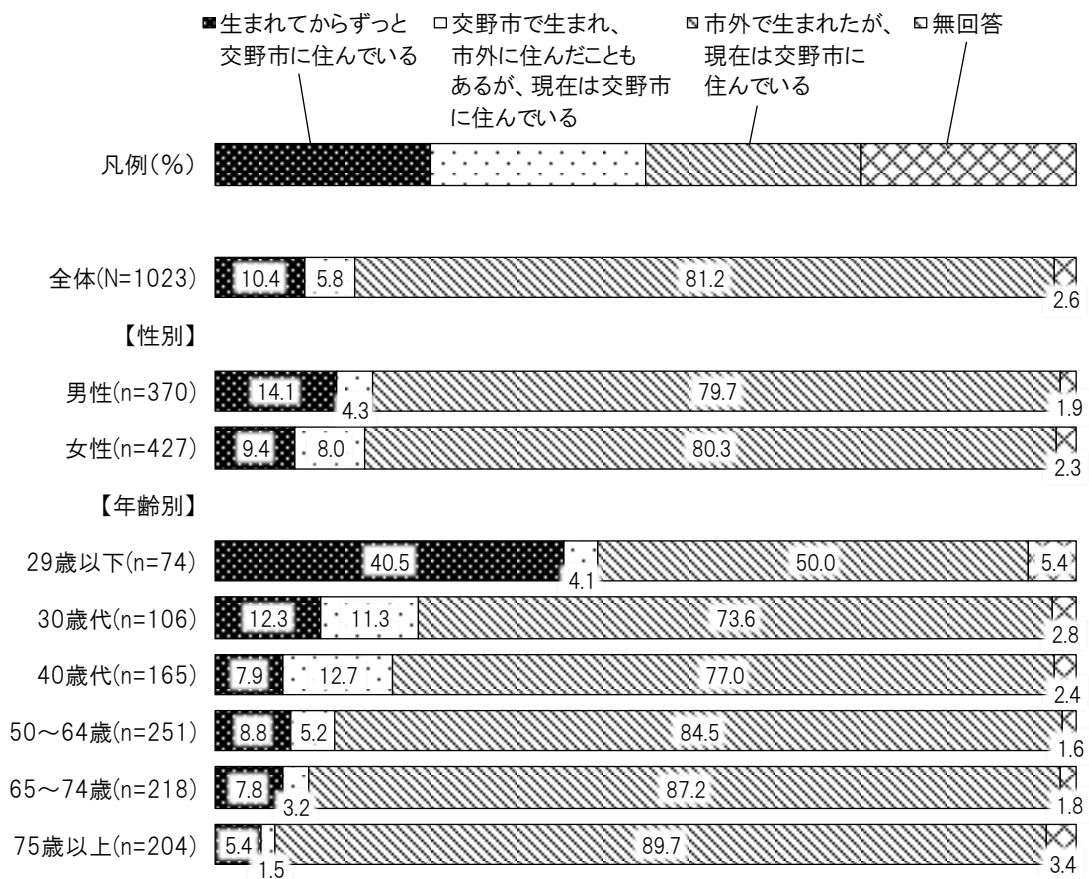
1 居住歴

問2 あなたの交野市での居住歴についてお答えください。（1つに○印）

居住歴については、「市外で生まれたが、現在は交野市に住んでいる」の割合が81.2%、「生まれてからずっと交野市に住んでいる」が10.4%、「交野市で生まれ、市外に住んだこともあるが、現在は交野市に住んでいる」が5.8%となっている。

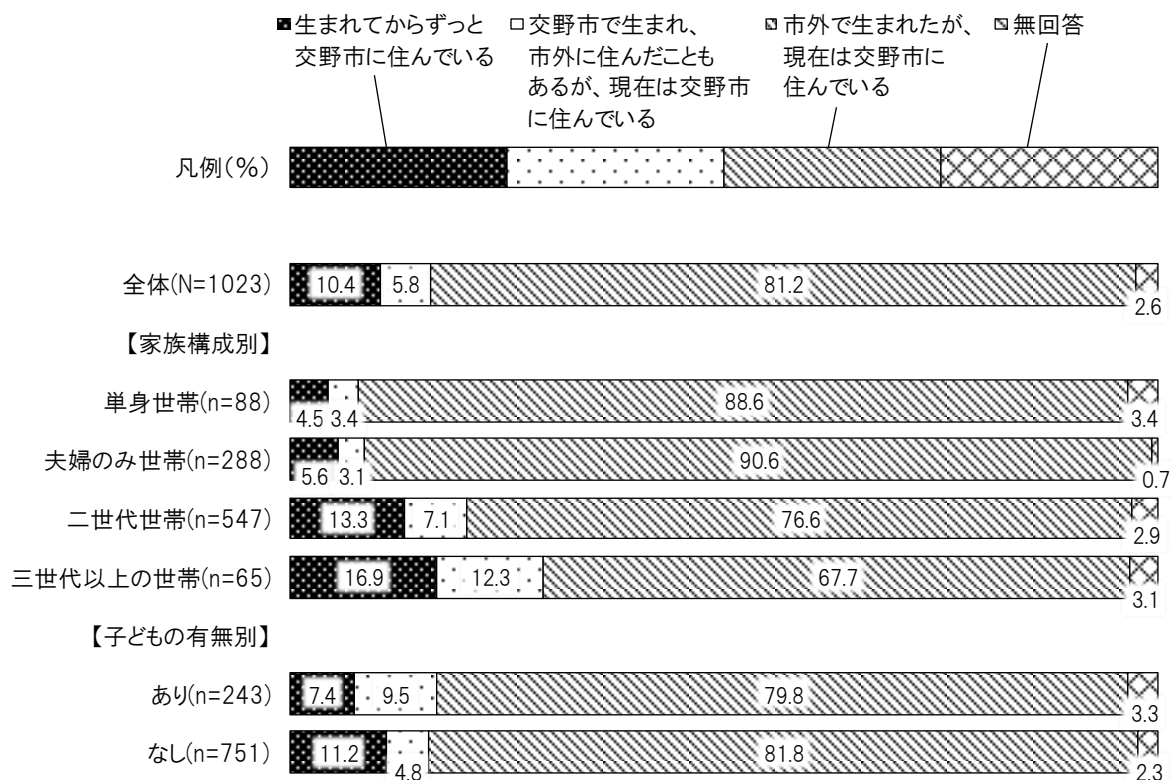
性別では、男性は女性に比べ「生まれてからずっと交野市に住んでいる」の割合がやや高くなっている。

年齢別では、29歳以下の約4割が「生まれてからずっと交野市に住んでいる」と回答している。



家族構成別では、単身世帯や夫婦のみ世帯で「市外で生まれたが、現在は交野市に住んでいる」、二世帯世帯や三世帯以上の世帯で「生まれてからずっと交野市に住んでいる」の割合がそれぞれ高くなっている。

子どもの有無別では、子どもがいる人は「交野市で生まれ、市外に住んだこともあるが、現在は交野市に住んでいる」の割合がやや高くなっている。



2 交野市に住むきっかけ

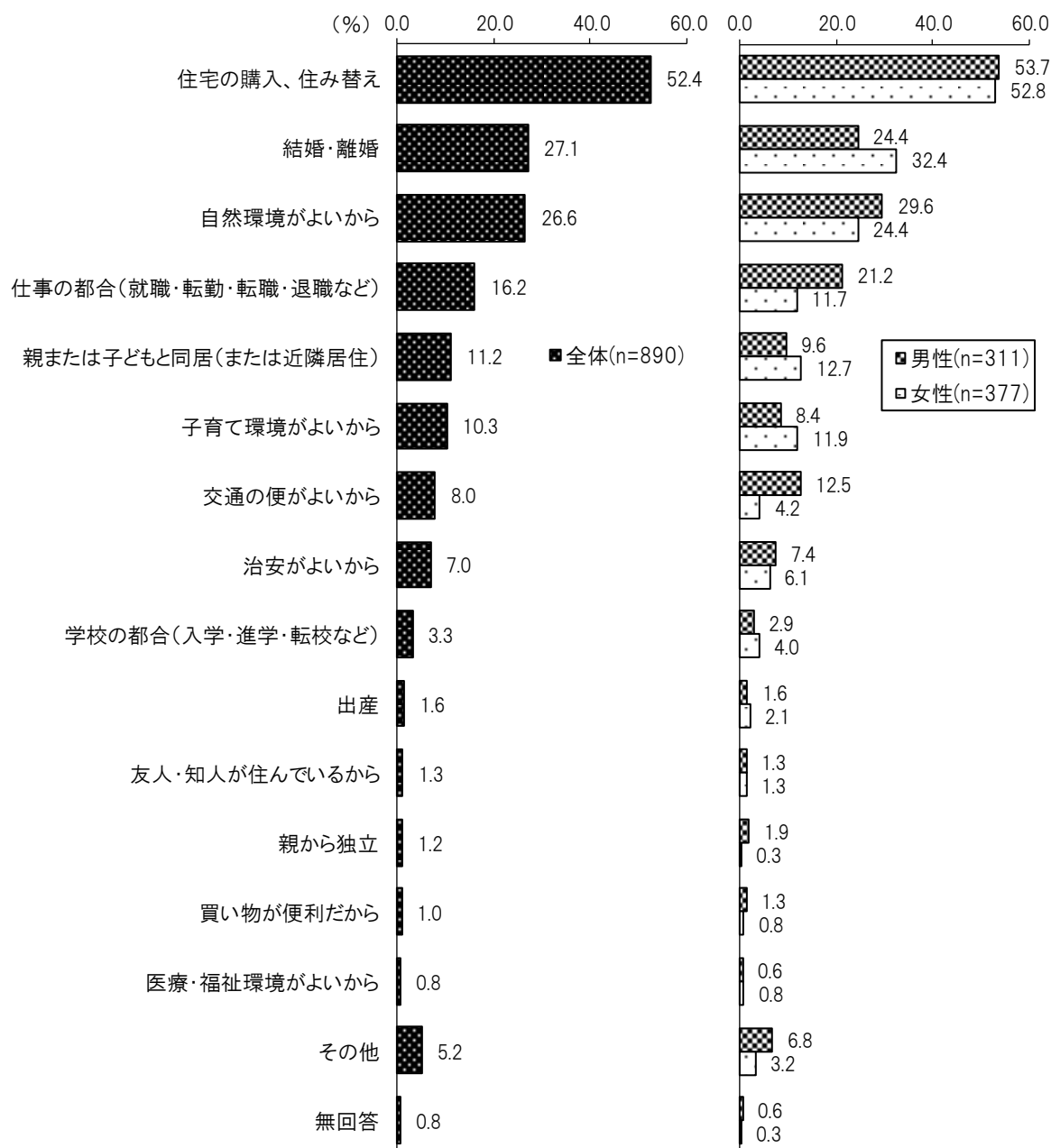
※問2で「2」または「3」を選んだ方にお聞きします。

問3 あなたが交野市に住むようになった主なきっかけ・理由は何ですか。

(3つまで○印)

交野市に住むきっかけについては、「住宅の購入、住み替え」の割合が52.4%と最も高く、次いで「結婚・離婚」(27.1%)、「自然環境がよいから」(26.6%)、「仕事の都合(就職・転勤・転職・退職など)」(16.2%)の順となっている。

性別では、男性は女性に比べ「仕事の都合(就職・転勤・転職・退職など)」「交通の便がよいから」などの割合が高く、女性は「結婚・離婚」の割合が男性を上回っている。



年齢別では、29歳以下で「仕事の都合（就職・転勤・転職・退職など）」、40歳代で「結婚・離婚」、65～74歳で「住宅の購入、住み替え」の割合がそれぞれ他の年齢層を大きく上回っており、年齢が上がるほど「自然環境がよいから」の割合が高くなる傾向にある。

家族構成別では、夫婦のみ世帯で「住宅の購入、住み替え」、三世帯以上の世帯で「親または子どもと同居（または近隣居住）」の割合がそれぞれ高くなっている。

子どもの有無別では、子どもがいる人で「結婚・離婚」、子どもがいない人で「住宅の購入、住み替え」「自然環境がよいから」の割合がそれぞれ高くなっている。

居住歴別では、Uターンで「結婚・離婚」「親または子どもと同居（または近隣居住）」、転入者で「住宅の購入、住み替え」の割合がそれぞれ高くなっている。

単位 (%)	住宅の購入、住み替え	結婚・離婚	自然環境がよいから	仕事の都合（就職・転勤・転職・退職など）	親または子どもと同居（または近隣居住）	子育て環境がよいから	交通の便がよいから	治安がよいから	学校の都合（入学・進学・転校など）	出産	友人・知人が住んでいるから	親から独立	買い物が便利だから	医療・福祉環境がよいから
全体(n=890)	52.4	27.1	26.6	16.2	11.2	10.3	8.0	7.0	3.3	1.6	1.3	1.2	1.0	0.8
【年齢別】														
29歳以下(n=40)	40.0	17.5	7.5	35.0	7.5	2.5	7.5	5.0	5.0	2.5	0.0	0.0	0.0	0.0
30歳代(n=90)	46.7	28.9	18.9	21.1	18.9	10.0	6.7	12.2	2.2	5.6	3.3	0.0	1.1	1.1
40歳代(n=148)	41.2	41.9	20.3	12.8	14.2	10.8	7.4	8.1	3.4	2.7	0.7	1.4	0.7	0.7
50～64歳(n=225)	48.9	29.3	24.0	17.3	12.0	11.1	7.6	4.4	4.0	1.8	0.4	1.8	0.4	0.4
65～74歳(n=197)	67.0	21.8	33.0	9.6	6.1	13.7	7.1	8.1	3.6	0.0	2.0	0.0	2.0	0.0
75歳以上(n=186)	55.4	18.8	36.0	18.3	10.8	7.5	10.8	5.9	2.2	0.0	1.6	2.7	1.1	2.2
【家族構成別】														
単身世帯(n=81)	45.7	19.8	28.4	18.5	6.2	4.9	9.9	8.6	7.4	0.0	2.5	2.5	0.0	1.2
夫婦のみ世帯(n=270)	60.0	24.4	34.8	16.3	7.4	13.7	10.7	7.8	1.5	0.0	0.7	1.1	1.5	0.7
二世帯世帯(n=458)	51.3	29.7	22.7	17.0	11.8	10.0	6.3	6.8	3.9	2.4	1.5	1.1	0.7	0.7
三世帯以上の世帯(n=52)	40.4	34.6	19.2	5.8	30.8	7.7	7.7	1.9	1.9	5.8	1.9	1.9	3.8	0.0
【子どもの有無別】														
あり(n=217)	46.1	33.2	17.1	17.1	15.2	12.4	7.8	7.8	4.1	2.8	2.3	1.4	0.9	0.9
なし(n=650)	54.3	25.5	29.5	16.2	10.0	9.4	8.0	6.8	3.1	1.2	0.9	1.2	1.1	0.8
【居住歴別】														
出身者(n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
Uターン(n=59)	32.2	35.6	22.0	15.3	30.5	15.3	5.1	5.1	5.1	6.8	1.7	3.4	0.0	0.0
転入者(n=831)	53.8	26.5	27.0	16.2	9.9	10.0	8.2	7.1	3.1	1.2	1.3	1.1	1.1	0.8

3 定住意向

問4 あなたは今後も交野市に住み続けたいと思いますか。(1つに○印)

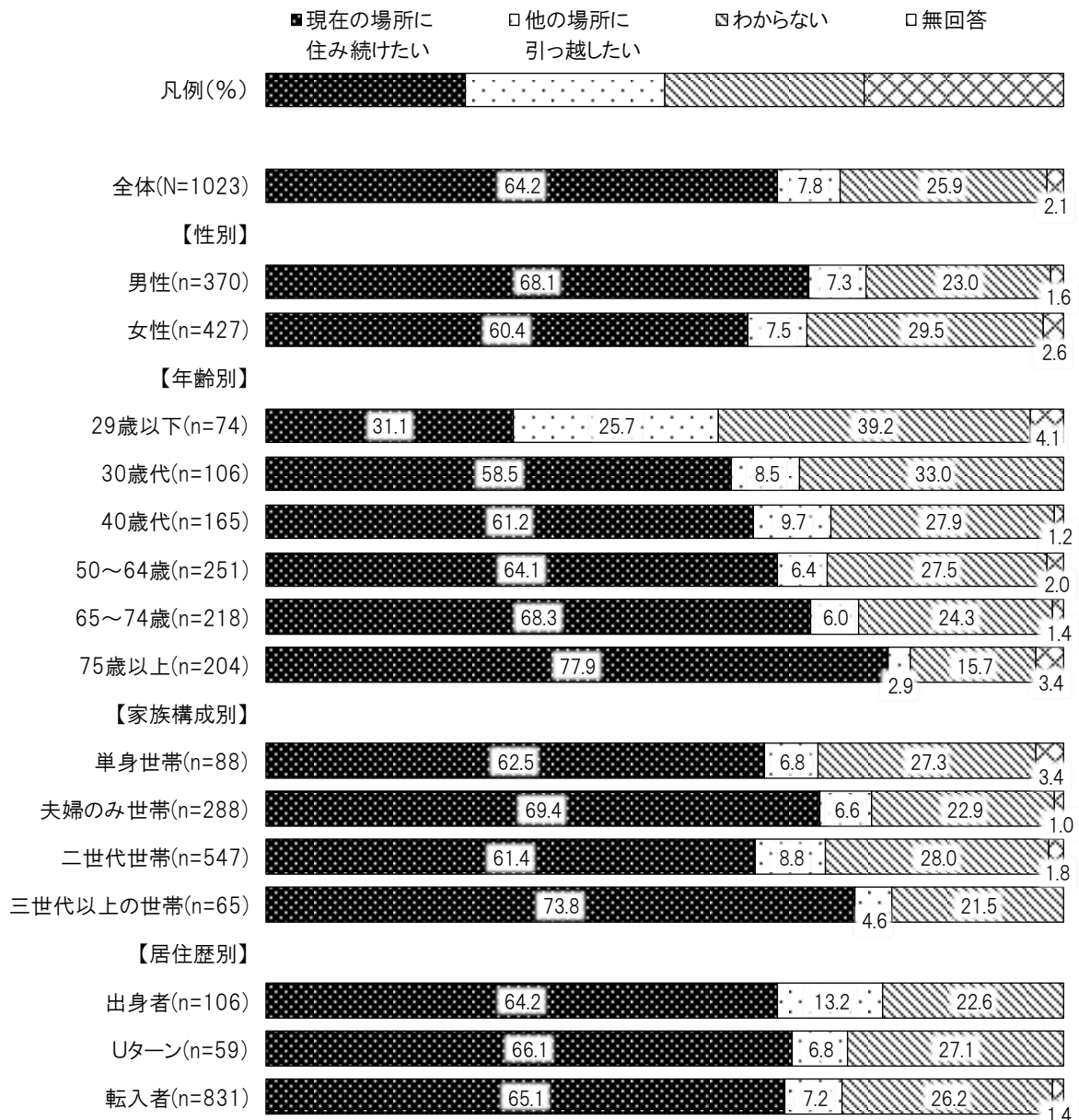
定住意向については、「現在の場所に住み続けたい」の割合が64.2%、「他の場所に引っ越したい」が7.8%、「わからない」が25.9%となっている。

性別では、男性は女性に比べ「現在の場所に住み続けたい」の割合が高く、女性は「わからない」の割合が男性を上回っている。

年齢別では、29歳以下で「他の場所に引っ越したい」の割合が他の年齢層を大きく上回っており、年齢が上がるほど「現在の場所に住み続けたい」の割合が高くなる傾向にある。

家族構成別では、夫婦のみ世帯や三世代以上の世帯で「現在の場所に住み続けたい」の割合が高くなっている。

居住歴別では、出身者で「他の場所に引っ越したい」の割合が高くなっている。

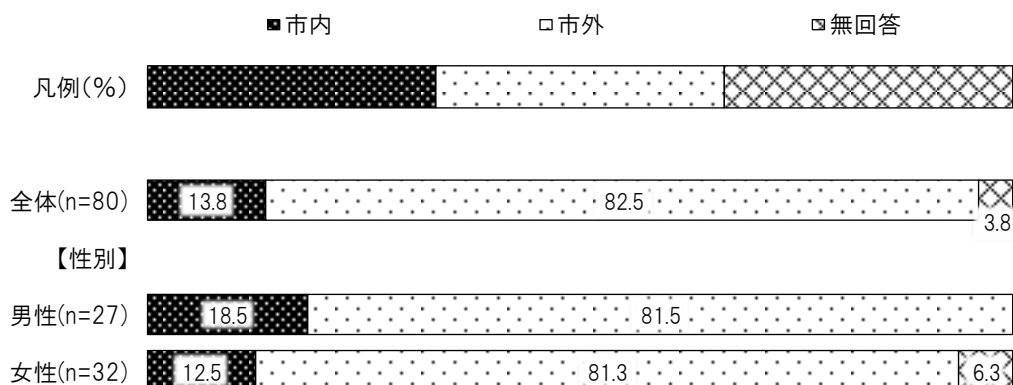


4 引っ越したい場所

※問4で「2」を選んだ方にお聞きします。

問5 (1) 他の場所に引っ越す場合、あなたはどちらに引っ越したいですか。
(1つに○印)

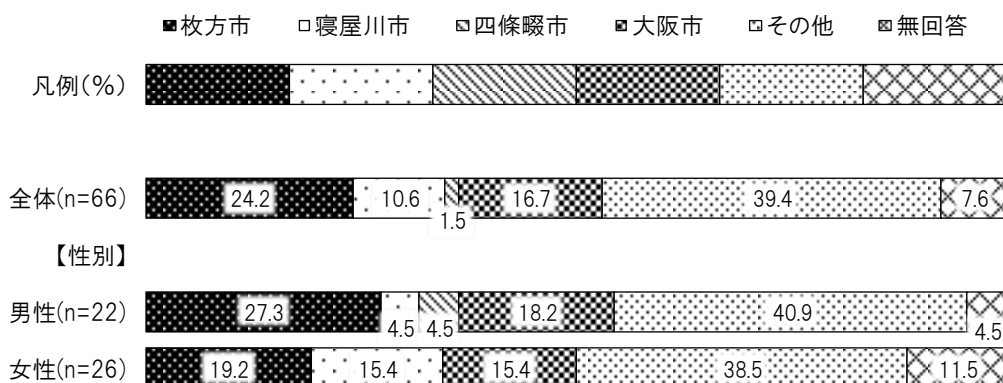
引っ越したい場所については、「市内」が13.8%、「市外」が82.5%となっている。
性別では、男性は女性に比べ「市内」の割合が高くなっている。



<市外で引っ越したい場所>

市外で引っ越したい場所については、「枚方市」の割合が24.2%と最も高く、次いで「大阪市」(16.7%)、「寝屋川市」(10.6%)の順となっている。また「その他」では、「交通の便が良いところ」「生活が便利なところ」などの回答がみられた。

性別では、男性は女性に比べ「枚方市」の割合が高く、女性は「寝屋川市」の割合が男性を上回っている。



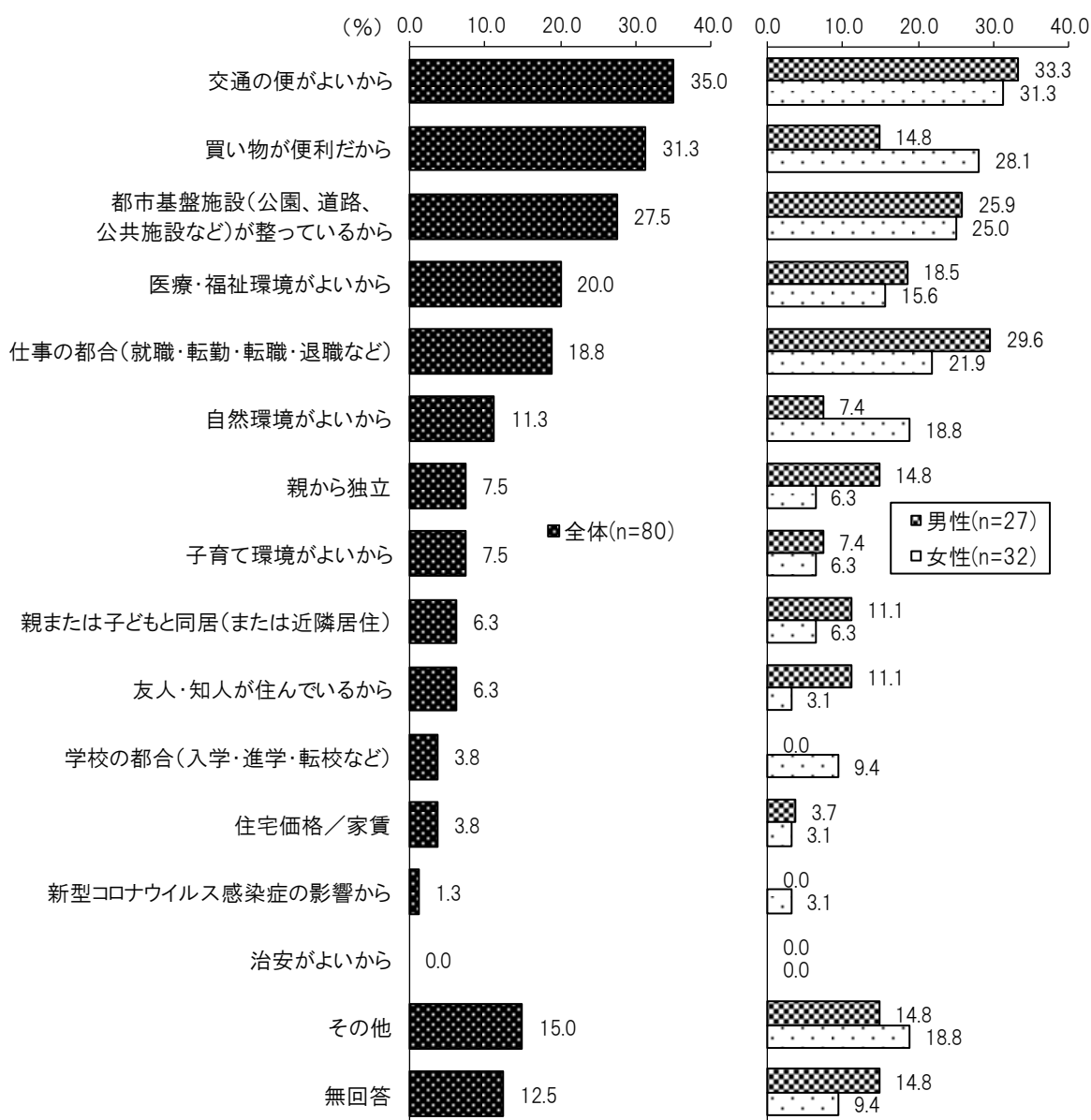
5 引っ越したい理由

(2) 前問(1)の場所に引っ越したい主な理由は何ですか。(3つまで○印)

引っ越したい理由については、「交通の便がよいから」の割合が35.0%と最も高く、次いで「買い物が便利だから」(31.3%)、「都市基盤施設(公園、道路、公共施設など)が整っているから」(27.5%)、「医療・福祉環境がよいから」(20.0%)、「仕事の都合(就職・転勤・転職・退職など)」(18.8%)の順となっている。

性別では、女性は「買い物が便利だから」「自然環境がよいから」の割合が男性を大きく上回っている。

なお、「新型コロナウイルス感染症の影響から」を選んだ人に対しては、その理由を聞いているが、該当者は1件で「その他」を回答し、「国からのお金の支払いも早かったし、他のサービスも多くあるから」という意見であった。



【2】 普段の生活について

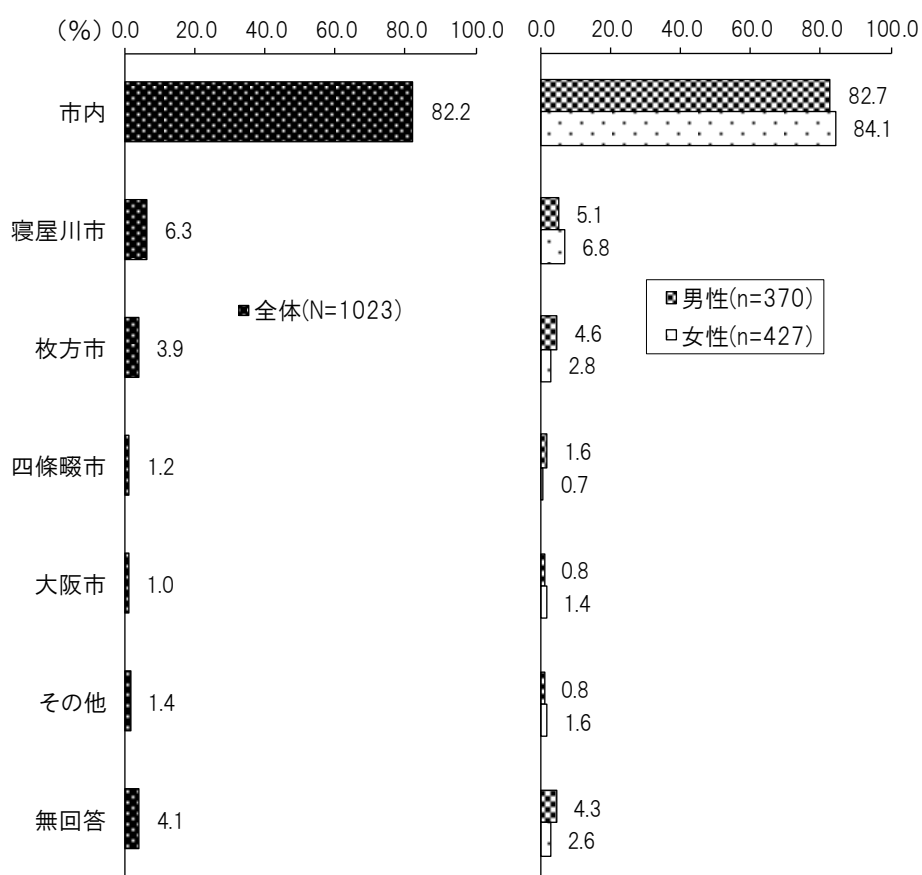
1 食料等の買い物の場所について

問6 普段の食料等の買い物は主にどこでされていますか。また、その際に利用される主な交通手段は何ですか。（それぞれ1つに○印）

（1）食料等の買い物の場所

食料等の買い物の場所については、「市内」の割合が82.2%と突出して最も高く、次いで「寝屋川市」（6.3%）、「枚方市」（3.9%）の順となっている。

性別では、大きな差はみられない。



年齢別では、29歳以下で「市内」の割合が他の年齢層に比べて低くなっている。

地域別では、きさべ地域で「市内」、ほしだ地域で「寝屋川市」の割合がそれぞれ他の地域に比べて高くなっている。

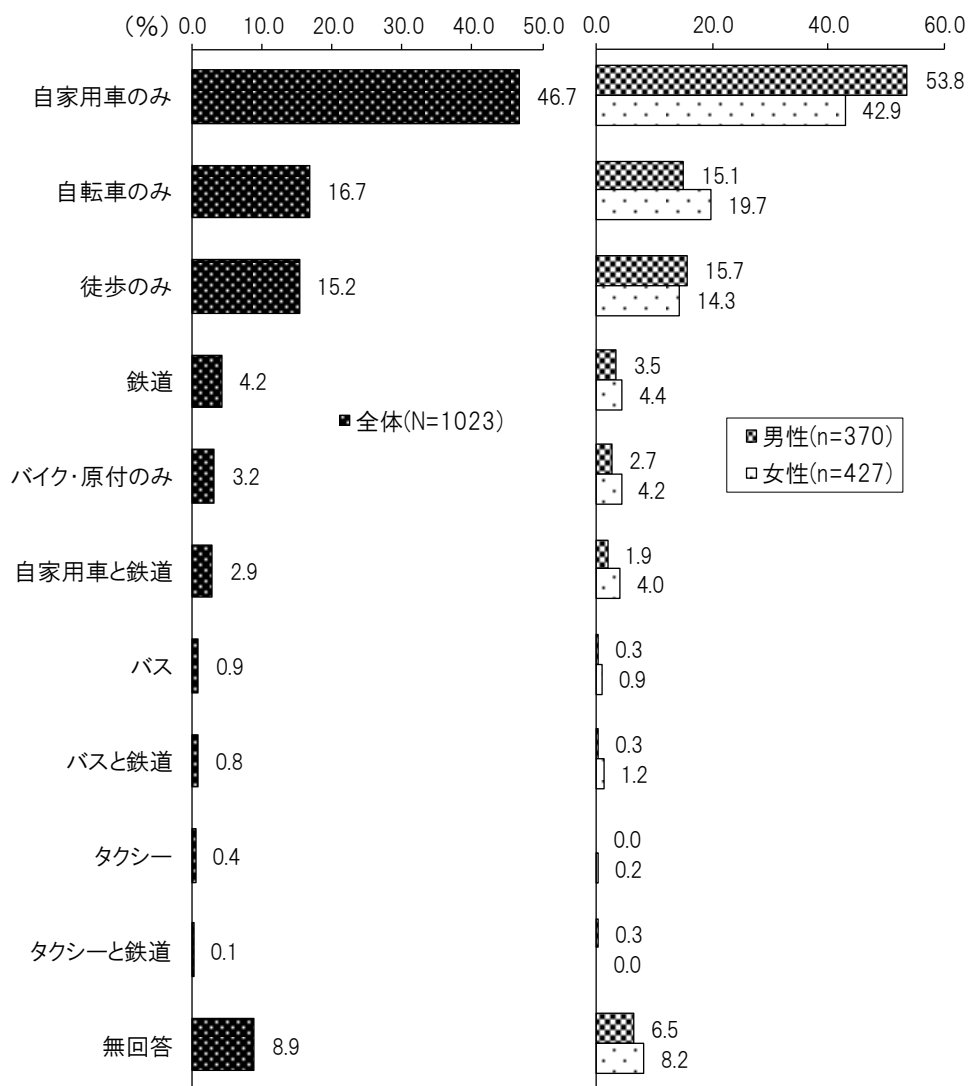
子どもの有無別では、大きな差はみられない。

単位 (%)	市内	寝屋川市	枚方市	四條畷市	大阪市	その他
全体(N=1023)	82.2	6.3	3.9	1.2	1.0	1.4
【年齢別】						
29歳以下(n=74)	75.7	10.8	4.1	2.7	4.1	0.0
30歳代(n=106)	84.0	6.6	6.6	0.0	0.0	0.0
40歳代(n=165)	80.0	6.7	4.2	0.6	2.4	1.2
50～64歳(n=251)	80.9	8.4	4.4	1.6	0.4	2.0
65～74歳(n=218)	87.2	5.0	2.3	1.8	0.5	1.4
75歳以上(n=204)	82.8	2.9	3.4	0.5	0.5	2.0
【地域別】						
くらし地域(n=122)	87.7	0.8	5.7	0.0	0.0	2.5
こうづ地域(n=172)	79.7	2.3	9.9	1.2	1.2	0.6
きさべ地域(n=252)	92.9	1.6	1.2	0.4	0.8	0.4
ほしだ地域(n=321)	71.3	16.2	2.2	2.2	0.9	2.2
いわふね地域(n=150)	86.7	2.0	4.0	1.3	2.0	1.3
【子どもの有無別】						
あり(n=243)	83.1	7.8	4.5	0.4	0.8	0.8
なし(n=751)	82.0	5.9	3.7	1.5	1.1	1.6

(2) 利用する主な交通手段

利用する主な交通手段については、「自家用車のみ」の割合が46.7%と最も高く、次いで「自転車のみ」(16.7%)、「徒歩のみ」(15.2%)の順となっている。

性別では、男性は「自家用車のみ」の割合が女性を大きく上回っている。



年齢別では、29歳以下で「鉄道」、30～40歳代で「自家用車のみ」、75歳以上で「徒歩のみ」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

地域別では、こうづ地域やきさべ地域で「自転車のみ」の割合が他の地域に比べて高くなっている。

子どもの有無別では、子どもがいる人は「自家用車のみ」の割合が高くなっている。

単位 (%)	自家用車のみ	自転車のみ	徒歩のみ	鉄道	バイク・原付のみ	自家用車と鉄道	バス	バスと鉄道	タクシー	タクシーと鉄道
全体(N=1023)	46.7	16.7	15.2	4.2	3.2	2.9	0.9	0.8	0.4	0.1
【年齢別】										
29歳以下(n=74)	39.2	17.6	16.2	13.5	2.7	6.8	0.0	0.0	0.0	0.0
30歳代(n=106)	62.3	17.0	9.4	1.9	0.0	3.8	0.0	1.9	0.0	0.0
40歳代(n=165)	58.2	18.2	9.1	2.4	4.8	1.8	0.0	1.2	0.0	0.0
50～64歳(n=251)	53.4	19.9	13.1	2.8	3.6	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0
65～74歳(n=218)	43.1	12.8	17.0	3.2	5.0	3.2	2.3	0.5	0.5	0.0
75歳以上(n=204)	28.4	15.2	23.0	6.4	1.5	2.5	2.0	1.5	1.5	0.5
【地域別】										
くらじ地域(n=122)	55.7	15.6	13.1	1.6	3.3	1.6	0.8	1.6	0.0	0.0
こうづ地域(n=172)	39.5	21.5	16.3	7.0	1.2	2.9	0.6	1.2	1.2	0.0
きさべ地域(n=252)	39.7	23.4	16.7	2.8	2.0	3.6	0.8	0.0	0.8	0.0
ほしだ地域(n=321)	52.6	11.8	13.4	2.8	5.9	2.5	1.6	0.9	0.0	0.3
いわふね地域(n=150)	47.3	11.3	17.3	8.0	2.0	4.0	0.0	0.7	0.0	0.0
【子どもの有無別】										
あり(n=243)	61.7	15.2	9.1	1.6	2.1	3.7	0.0	0.4	0.0	0.0
なし(n=751)	42.6	17.2	16.8	5.2	3.7	2.8	1.1	0.9	0.4	0.1

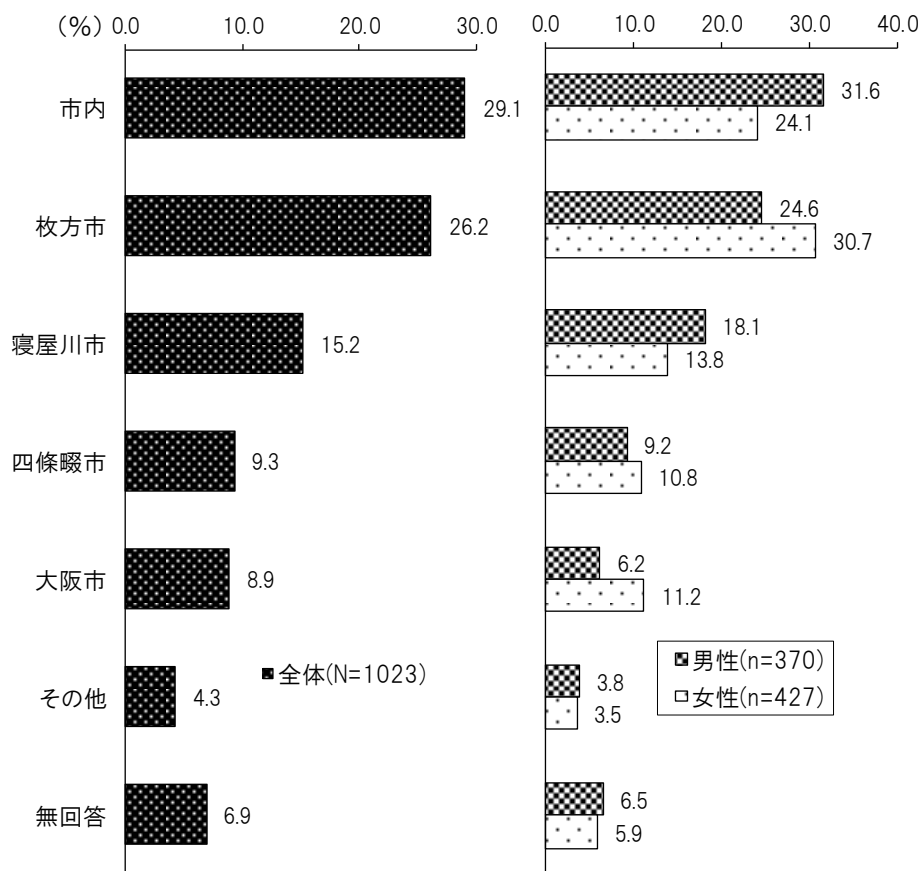
2 買い回り品の買い物の場所について

問7 普段の買い回り品（衣類・家電等）の買い物は主にどこでされていますか。また、その際に利用される主な交通手段は何ですか。（それぞれ1つに○印）

（1）買い回り品の買い物の場所

買い回り品の買い物の場所については、「市内」の割合が29.1%と最も高く、次いで「枚方市」（26.2%）、「寝屋川市」（15.2%）の順となっている。

性別では、男性は女性に比べ「市内」の割合が高く、女性は「枚方市」「大阪市」の割合が男性を上回っている。



年齢別では、29歳以下で「大阪市」、30歳代で「枚方市」、65歳以上で「市内」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

地域別では、くらし地域で「枚方市」、ほしだ地域で「寝屋川市」の割合がそれぞれ他の地域を大きく上回っている。

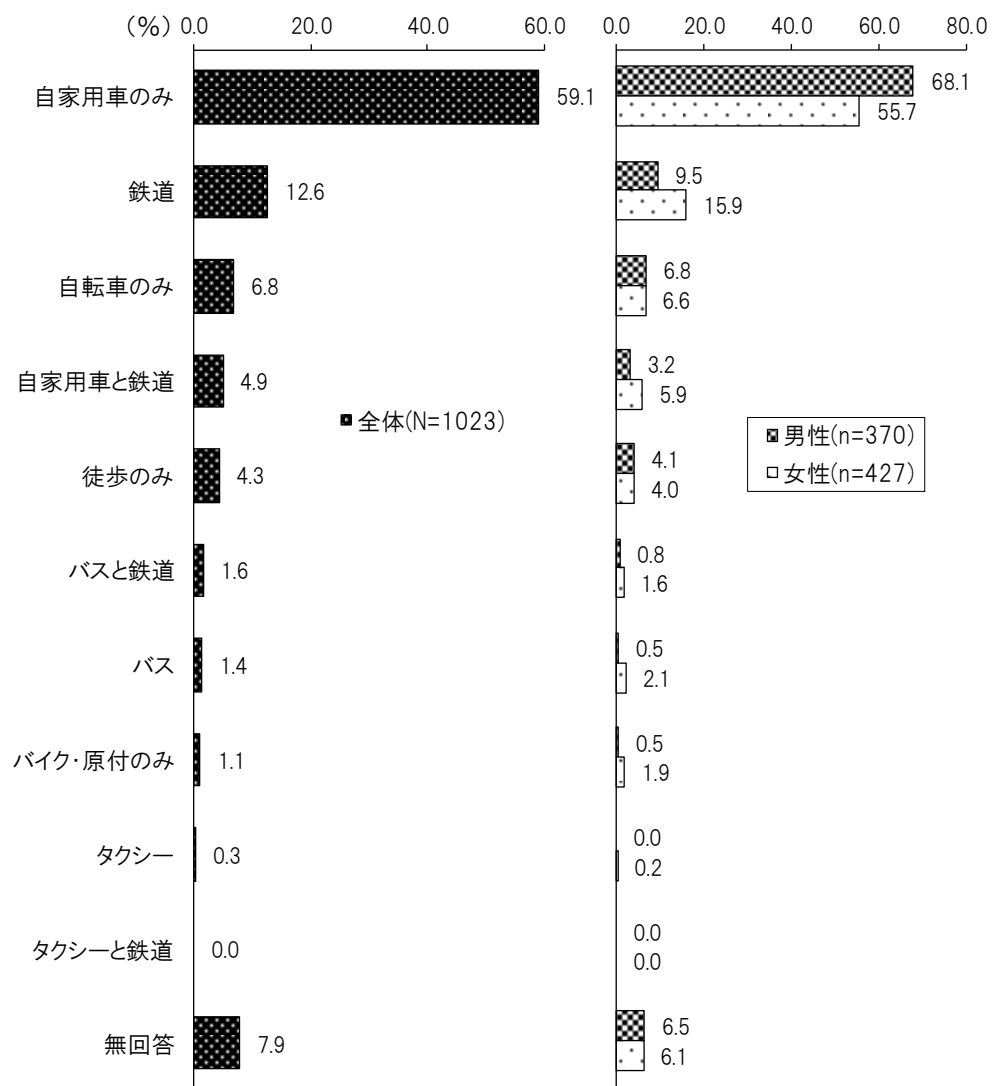
子どもの有無別では、子どもがいる人で「枚方市」「四條畷市」、子どもがいない人で「市内」の割合がそれぞれ高くなっている。

単位 (%)	市内	枚方市	寝屋川市	四條畷市	大阪市	その他
全体(N=1023)	29.1	26.2	15.2	9.3	8.9	4.3
【年齢別】						
29歳以下(n=74)	20.3	21.6	13.5	16.2	21.6	2.7
30歳代(n=106)	18.9	36.8	16.0	16.0	3.8	5.7
40歳代(n=165)	15.2	26.1	15.2	17.6	13.9	6.7
50～64歳(n=251)	21.9	30.7	19.5	10.0	10.0	4.8
65～74歳(n=218)	38.1	24.3	14.7	4.6	7.3	2.8
75歳以上(n=204)	48.5	19.1	11.3	1.0	3.4	2.9
【地域別】						
くらし地域(n=122)	22.1	54.1	2.5	7.4	6.6	4.1
こうづ地域(n=172)	30.2	42.4	5.2	3.5	4.7	5.2
きさべ地域(n=252)	31.3	29.4	9.9	8.3	11.9	1.2
ほしだ地域(n=321)	26.8	6.2	31.5	13.4	9.0	5.9
いわふね地域(n=150)	35.3	23.3	11.3	10.7	9.3	5.3
【子どもの有無別】						
あり(n=243)	18.9	30.9	18.5	18.1	5.8	4.5
なし(n=751)	31.8	25.0	14.6	6.7	10.0	4.1

(2) 利用する主な交通手段

利用する主な交通手段については、「自家用車のみ」の割合が59.1%と最も高く、次いで「鉄道」（12.6%）、「自転車のみ」（6.8%）の順となっている。

性別では、男性は「自家用車のみ」の割合が女性を大きく上回っており、女性は男性に比べ「鉄道」の割合が高くなっている。



年齢別では、29歳以下で「鉄道」、30～64歳で「自家用車のみ」の割合がそれぞれ他の年齢層を大きく上回っている。

地域別では、くらし地域やほしだ地域で「自家用車のみ」の割合が他の地域に比べて高くなっている。

子どもの有無別では、子どもがいる人で「自家用車のみ」、子どもがいない人で「鉄道」の割合がそれぞれ高くなっている。

単位 (%)	自家用車のみ	鉄道	自転車のみ	自家用車と鉄道	徒歩のみ	バスと鉄道	バス	バイク・原付のみ	タクシー	タクシーと鉄道
全体(N=1023)	59.1	12.6	6.8	4.9	4.3	1.6	1.4	1.1	0.3	0.0
【年齢別】										
29歳以下(n=74)	40.5	28.4	10.8	10.8	2.7	2.7	0.0	1.4	0.0	0.0
30歳代(n=106)	73.6	8.5	5.7	3.8	0.0	0.9	0.9	0.0	0.0	0.0
40歳代(n=165)	72.1	9.7	3.6	6.1	1.8	1.2	1.2	0.6	0.0	0.0
50～64歳(n=251)	68.9	12.4	6.0	5.2	1.6	0.4	0.4	1.2	0.0	0.0
65～74歳(n=218)	56.4	11.5	7.8	4.6	7.8	1.4	2.8	1.4	0.0	0.0
75歳以上(n=204)	39.2	13.2	8.8	2.0	8.8	3.4	2.0	1.5	1.5	0.0
【地域別】										
くらし地域(n=122)	68.0	6.6	8.2	4.1	1.6	3.3	1.6	0.8	0.0	0.0
こうづ地域(n=172)	50.0	17.4	7.6	6.4	4.7	1.7	0.6	0.6	1.2	0.0
きさべ地域(n=252)	53.6	16.7	8.7	4.4	7.1	0.4	0.4	0.4	0.4	0.0
ほしだ地域(n=321)	66.4	6.9	5.6	5.0	2.8	1.9	2.5	2.2	0.0	0.0
いわふね地域(n=150)	57.3	17.3	4.7	4.7	4.7	1.3	0.7	0.7	0.0	0.0
【子どもの有無別】										
あり(n=243)	77.8	7.0	3.7	5.3	2.1	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0
なし(n=751)	54.2	14.1	7.9	4.9	4.7	2.1	1.6	1.5	0.3	0.0

3 通勤や通学先について

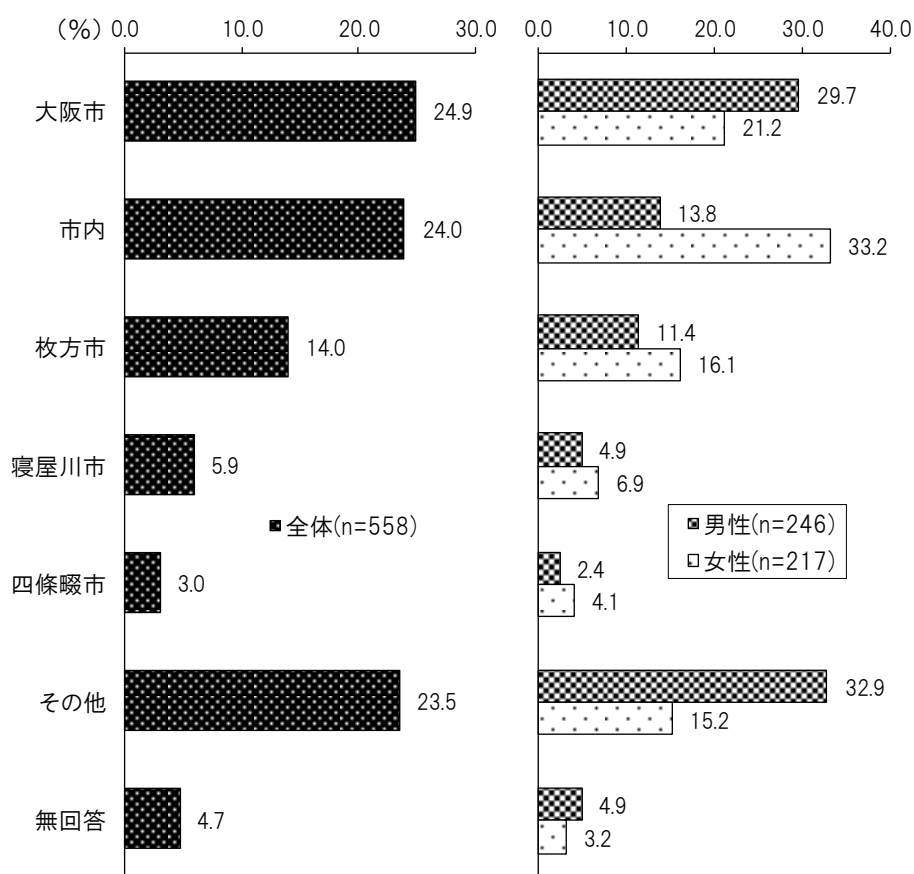
※問1(4)で「1」または「2」を選んだ方にお聞きします。

問8 通勤・通学先はどこですか。また、その際に利用される主な交通手段は何ですか。(それぞれ1つに○印)

(1) 通勤先(職場)や通学先

通勤先(職場)や通学先については、「大阪市」の割合が24.9%と最も高く、ほぼ並んで「市内」(24.0%)が続き、以下「枚方市」(14.0%)の順となっている。

性別では、女性は「市内」の割合が男性を大きく上回っている。



年齢別では、29歳以下で「大阪市」、30歳代で「枚方市」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

地域別では、ほしだ地域で「大阪市」「寝屋川市」の割合が他の地域に比べて高くなっている。

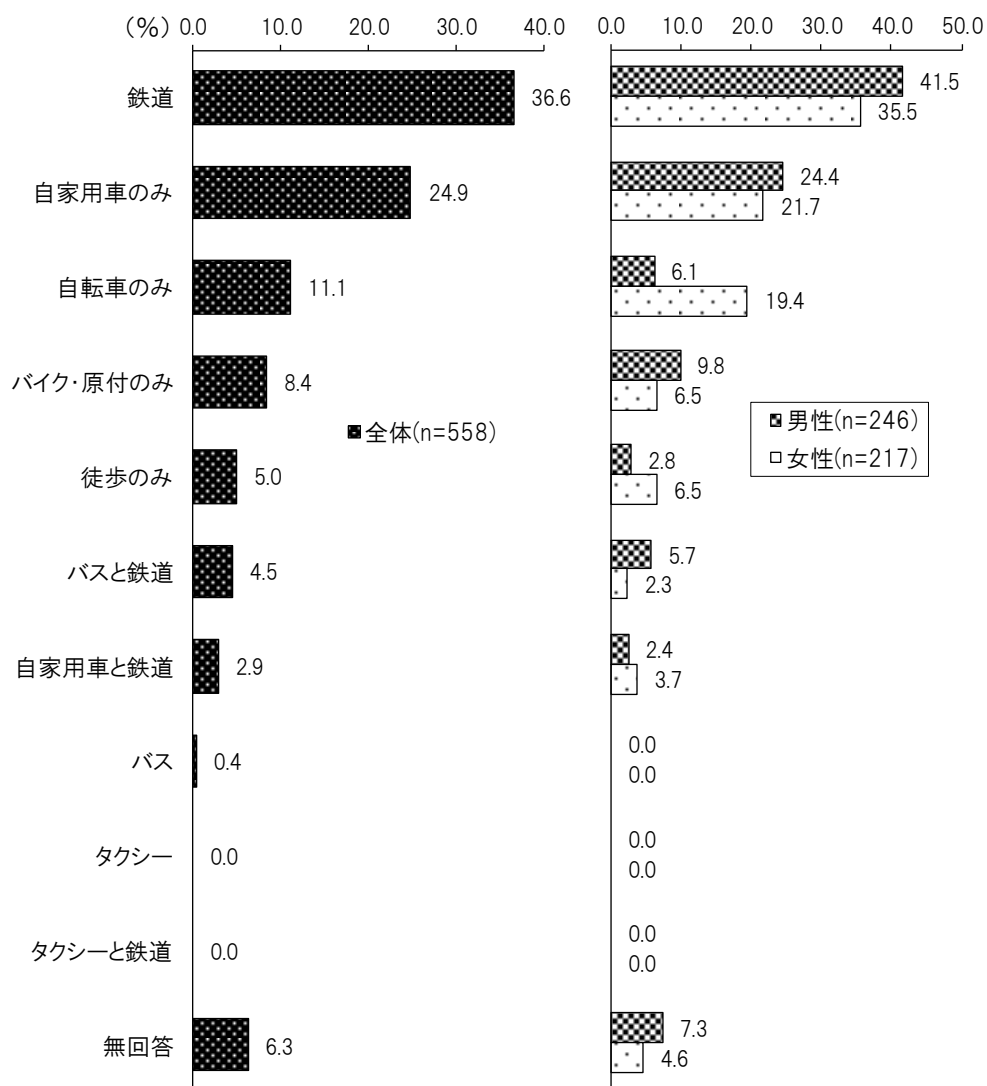
子どもの有無別では、子どもがいる人は「枚方市」の割合が高くなっている。

単位 (%)	大阪市	市内	枚方市	寝屋川市	四條畷市	その他
全体(n=558)	24.9	24.0	14.0	5.9	3.0	23.5
【年齢別】						
29歳以下(n=66)	31.8	10.6	10.6	7.6	3.0	36.4
30歳代(n=85)	23.5	25.9	22.4	2.4	3.5	17.6
40歳代(n=139)	22.3	23.7	12.9	7.9	2.9	25.2
50～64歳(n=186)	26.3	24.7	12.9	5.9	3.2	24.2
65～74歳(n=69)	24.6	30.4	14.5	2.9	2.9	13.0
75歳以上(n=10)	10.0	40.0	0.0	20.0	0.0	10.0
【地域別】						
くらし地域(n=75)	18.7	30.7	17.3	2.7	8.0	18.7
こうづ地域(n=82)	20.7	26.8	11.0	4.9	1.2	30.5
きさべ地域(n=142)	23.9	26.1	19.7	2.8	0.7	21.1
ほしだ地域(n=167)	30.5	18.6	9.6	10.2	4.8	24.0
いわふね地域(n=88)	26.1	23.9	12.5	5.7	1.1	25.0
【子どもの有無別】						
あり(n=191)	24.1	20.9	18.8	5.8	3.7	21.5
なし(n=360)	25.6	25.3	11.7	5.8	2.8	24.7

(2) 利用する主な交通手段

利用する主な交通手段については、「鉄道」の割合が36.6%と最も高く、次いで「自家用車のみ」(24.9%)、「自転車のみ」(11.1%)の順となっている。

性別では、女性は「自転車のみ」の割合が男性を大きく上回っている。



年齢別では、29歳以下で「鉄道」の割合が他の年齢層を大きく上回っている。
 地域別では、くらし地域で「自家用車のみ」の割合が他の地域に比べて高くなっている。
 子どもの有無別では、大きな差はみられない。

単位 (%)	鉄道	自家用車のみ	自転車のみ	バイク・原付のみ	徒歩のみ	バスと鉄道	自家用車と鉄道	バス	タクシー	タクシーと鉄道
全体(n=558)	36.6	24.9	11.1	8.4	5.0	4.5	2.9	0.4	0.0	0.0
【年齢別】										
29歳以下(n=66)	66.7	10.6	10.6	4.5	1.5	4.5	1.5	0.0	0.0	0.0
30歳代(n=85)	34.1	27.1	15.3	11.8	2.4	1.2	3.5	0.0	0.0	0.0
40歳代(n=139)	33.1	30.2	8.6	12.2	3.6	3.6	2.2	0.7	0.0	0.0
50～64歳(n=186)	38.7	22.0	11.8	4.8	5.9	6.5	4.3	0.5	0.0	0.0
65～74歳(n=69)	18.8	30.4	10.1	10.1	10.1	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0
75歳以上(n=10)	0.0	40.0	0.0	0.0	20.0	10.0	10.0	0.0	0.0	0.0
【地域別】										
くらし地域(n=75)	25.3	32.0	12.0	9.3	8.0	5.3	0.0	2.7	0.0	0.0
こうづ地域(n=82)	40.2	23.2	12.2	7.3	6.1	1.2	3.7	0.0	0.0	0.0
きさべ地域(n=142)	34.5	21.8	15.5	7.7	4.9	5.6	3.5	0.0	0.0	0.0
ほしだ地域(n=167)	38.3	26.9	7.8	10.2	3.6	6.0	3.0	0.0	0.0	0.0
いわふね地域(n=88)	44.3	22.7	8.0	6.8	4.5	1.1	3.4	0.0	0.0	0.0
【子どもの有無別】										
あり(n=191)	37.7	27.2	8.9	10.5	4.7	2.6	3.1	0.0	0.0	0.0
なし(n=360)	36.1	23.6	12.5	7.5	4.7	5.6	2.8	0.6	0.0	0.0

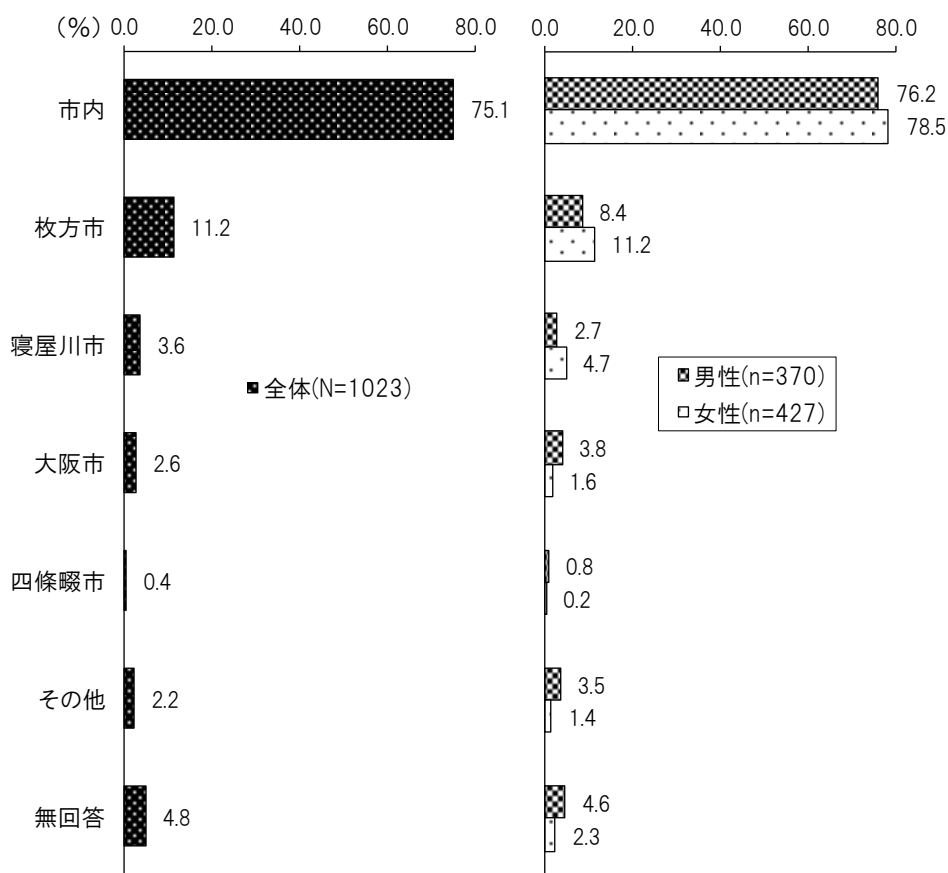
4 通院先について

問9 普段の通院（かかりつけの内科の診療所等を想定してください）はどこに通われていますか。また、その際に利用される主な交通手段は何ですか。
（それぞれ1つに○印）

（1）通院先

通院先については、「市内」の割合が75.1%と突出して最も高く、次いで「枚方市」（11.2%）、「寝屋川市」（3.6%）の順となっている。

性別では、大きな差はみられない。



年齢別では、40歳代で「市内」の割合が他の年齢層に比べて高くなっている。

地域別では、いわふね地域で「市内」、くらし地域で「枚方市」の割合がそれぞれ他の地域に比べて高くなっている。

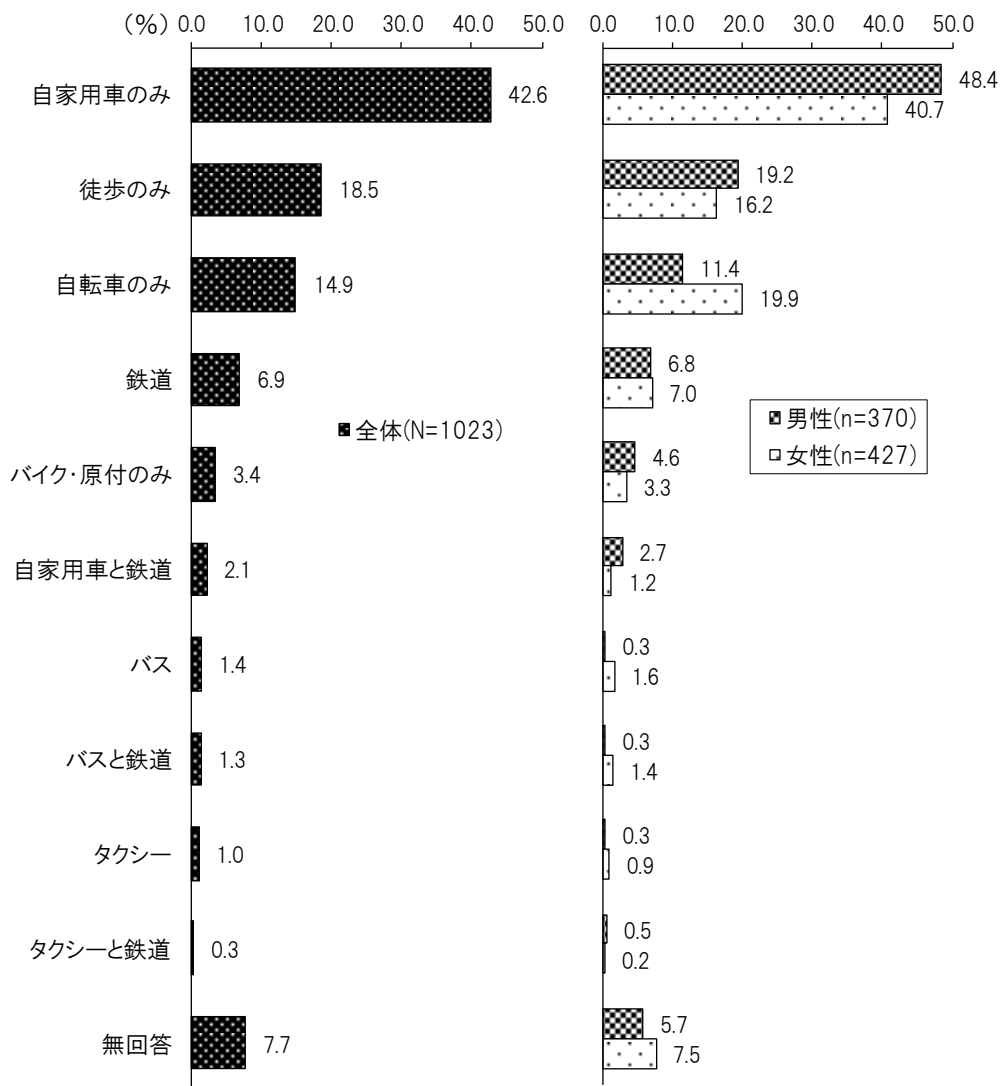
子どもの有無別では、子どもがいる人は「市内」の割合が高くなっている。

単位 (%)	市内	枚方市	寝屋川市	大阪市	四條畷市	その他
全体(N=1023)	75.1	11.2	3.6	2.6	0.4	2.2
【年齢別】						
29歳以下(n=74)	79.7	6.8	9.5	1.4	0.0	1.4
30歳代(n=106)	79.2	14.2	3.8	2.8	0.0	0.0
40歳代(n=165)	86.1	7.9	1.8	1.2	0.6	1.2
50～64歳(n=251)	74.5	11.2	4.0	4.4	0.8	3.2
65～74歳(n=218)	74.8	11.9	1.8	2.8	0.5	3.7
75歳以上(n=204)	64.2	13.7	4.4	2.0	0.0	1.5
【地域別】						
くらし地域(n=122)	63.1	27.0	0.8	4.9	0.0	0.8
こうづ地域(n=172)	76.2	14.5	1.2	1.2	0.0	2.9
きさべ地域(n=252)	77.0	12.3	1.2	1.2	0.0	2.4
ほしだ地域(n=321)	74.8	3.7	8.7	4.0	1.2	2.5
いわふね地域(n=150)	82.0	9.3	2.0	1.3	0.0	2.0
【子どもの有無別】						
あり(n=243)	84.0	7.4	4.1	1.6	0.0	0.4
なし(n=751)	72.7	12.8	3.5	2.7	0.5	2.8

(2) 利用する主な交通手段

利用する主な交通手段については、「自家用車のみ」の割合が42.6%と最も高く、次いで「徒歩のみ」(18.5%)、「自転車のみ」(14.9%)の順となっている。

性別では、男性は女性に比べ「自家用車のみ」の割合が高く、女性は「自転車のみ」の割合が男性を上回っている。



年齢別では、30～40歳代で「自家用車のみ」の割合が他の年齢層を大きく上回っている。
 地域別では、くらし地域で「自家用車のみ」の割合が他の地域に比べて高くなっている。
 子どもの有無別では、子どもがいる人は「自家用車のみ」の割合が高くなっている。

単位 (%)	自家用車のみ	徒歩のみ	自転車のみ	鉄道	バイク・原付のみ	自家用車と鉄道	バス	バスと鉄道	タクシー	タクシーと鉄道
全体(N=1023)	42.6	18.5	14.9	6.9	3.4	2.1	1.4	1.3	1.0	0.3
【年齢別】										
29歳以下(n=74)	43.2	21.6	20.3	9.5	1.4	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0
30歳代(n=106)	54.7	12.3	18.9	4.7	3.8	2.8	0.9	0.0	0.0	0.0
40歳代(n=165)	57.0	13.3	13.3	3.0	5.5	1.2	1.2	0.6	0.0	0.6
50～64歳(n=251)	42.2	17.1	19.1	10.0	3.6	2.0	0.8	0.8	0.8	0.0
65～74歳(n=218)	39.4	22.5	11.0	6.0	4.1	2.8	1.8	2.3	0.5	0.0
75歳以上(n=204)	28.4	22.1	11.3	7.8	1.5	2.0	2.5	2.5	3.4	1.0
【地域別】										
くらし地域(n=122)	54.1	13.1	13.1	7.4	4.1	1.6	1.6	1.6	0.0	0.0
こうづ地域(n=172)	36.6	15.7	19.2	8.7	1.7	3.5	0.6	2.3	3.5	0.0
きさべ地域(n=252)	34.1	20.2	23.0	6.7	2.4	1.2	0.8	0.4	0.8	0.4
ほしだ地域(n=321)	47.7	21.2	8.4	4.4	4.7	2.2	2.2	0.9	0.3	0.3
いわふね地域(n=150)	44.0	17.3	12.0	10.7	4.0	2.0	0.7	2.0	0.7	0.7
【子どもの有無別】										
あり(n=243)	59.7	14.8	14.4	3.3	1.2	2.1	0.4	0.0	0.0	0.4
なし(n=751)	37.9	19.6	14.9	8.0	4.3	2.0	1.7	1.7	1.1	0.3

<移動先及び交通手段のまとめ（問6～問9）>

単位(%)	食料等の買い物 (N=1023)	買い回り品の 買い物(N=1023)	通勤・通学 (n=558)	通院 (N=1023)
【移動先】				
市内	82.2	29.1	24.0	75.1
枚方市	3.9	26.2	14.0	11.2
寝屋川市	6.3	15.2	5.9	3.6
四條畷市	1.2	9.3	3.0	0.4
大阪市	1.0	8.9	24.9	2.6
その他	1.4	4.3	23.5	2.2
無回答	4.1	6.9	4.7	4.8
【交通手段】				
徒歩のみ	15.2	4.3	5.0	18.5
自転車のみ	16.7	6.8	11.1	14.9
バイク・原付のみ	3.2	1.1	8.4	3.4
自家用車のみ	46.7	59.1	24.9	42.6
バス	0.9	1.4	0.4	1.4
鉄道	4.2	12.6	36.6	6.9
タクシー	0.4	0.3	0.0	1.0
自家用車と鉄道	2.9	4.9	2.9	2.1
バスと鉄道	0.8	1.6	4.5	1.3
タクシーと鉄道	0.1	0.0	0.0	0.3
無回答	8.9	7.9	6.3	7.7

【3】交野市について

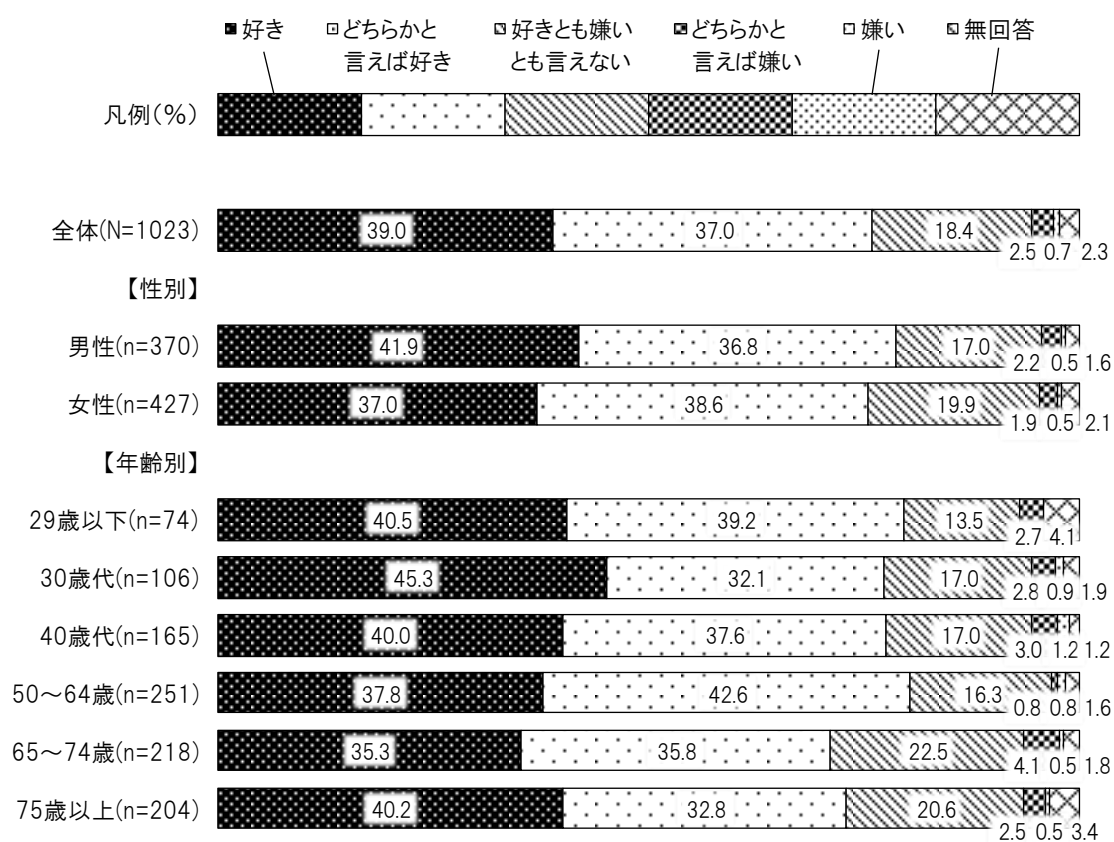
1 交野市への好意度

問 10 あなたは交野のまちが好きですか。（1つに○印）

交野市への好意度については、「好き」が 39.0%、「どちらかと言えば好き」が 37.0%で、合計 76.0%が『好き』と回答している。一方、「どちらかと言えば嫌い」(2.5%)、「嫌い」(0.7%)の合計は 3.2%であった。

性別では、男性は女性に比べ「好き」の割合が高くなっている。

年齢別では、30歳代で「好き」の割合が他の年齢層に比べて高くなっている。

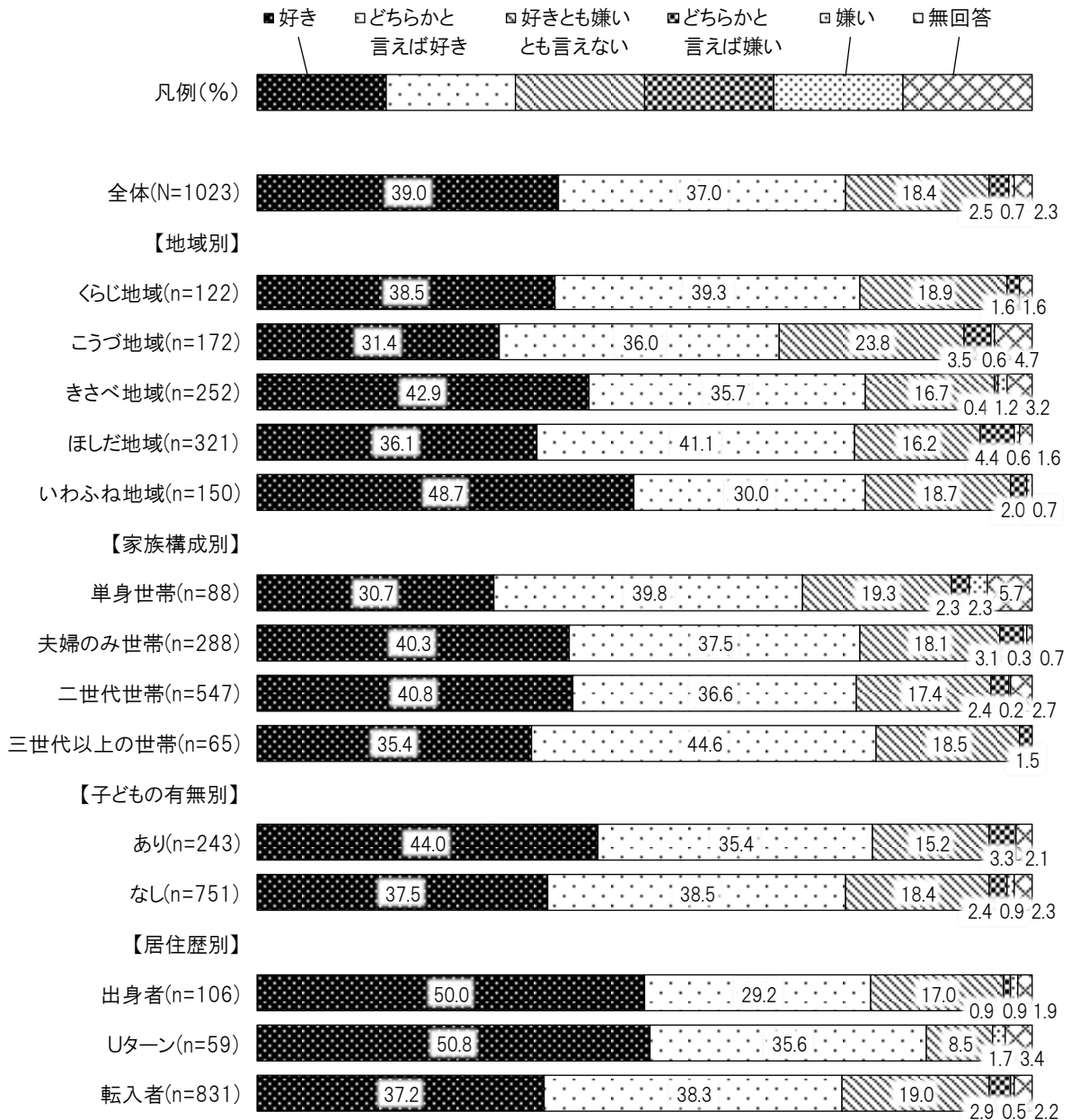


地域別では、いわふね地域で「好き」、こうづ地域で「好きとも嫌いとも言えない」の割合がそれぞれ他の地域に比べて高くなっている。

家族構成別では、夫婦のみ世帯や二世帯世帯で「好き」の割合が高くなっている。

子どもの有無別では、子どもがいる人は「好き」の割合が高くなっている。

居住歴別では、転入者で「好き」の割合が低くなっている。



2 交野市の環境等に対する満足度と重要度

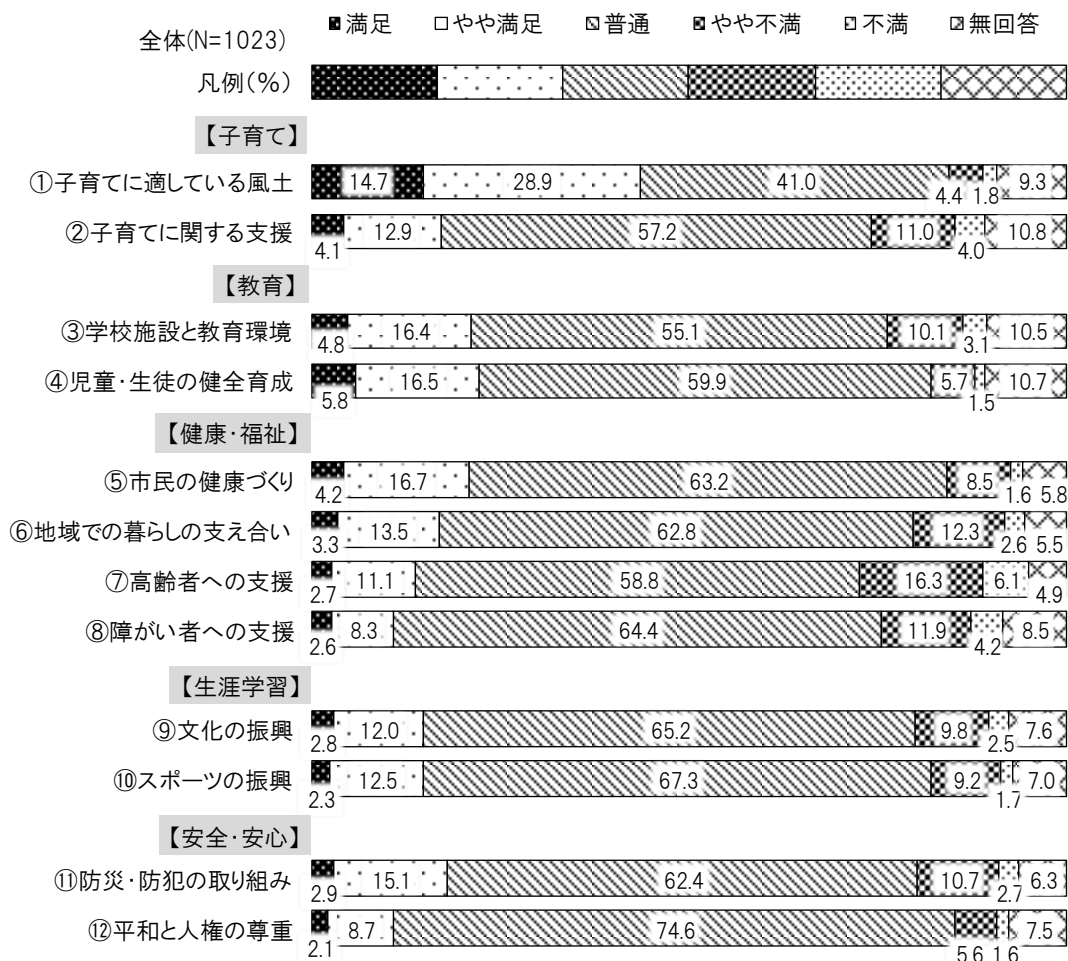
問 11 普段の暮らしの中で、次に挙げる交野市の環境等について、あなたが感じる満足度と今後のまちづくりの上での重要度をお答えください。
(それぞれ1つに○印)

(1) 満足度

各項目について、現在の満足度を5段階評価で質問したところ、「満足」「やや満足」の合計割合が最も高かったのは「⑩みどりや自然を感じられる空間」(64.2%)で、以下「⑫自然環境(山地・河川等)」(56.7%)、「⑮生活環境(水・空気・ごみ・騒音等)」(48.0%)、「⑮まちなみや景観」(43.9%)、「①子育てに適している風土」(43.6%)、「⑬買い物の利便性」(30.1%)、「⑲上下水道の整備」(25.7%)、「⑭公共交通の利便性」(23.9%)の順となっている。

一方、「不満」「やや不満」の合計割合が最も高かったのは、「⑭公共交通の利便性」(39.4%)であり、次いで「⑰道路の整備・維持管理」(33.3%)、「⑬買い物の利便性」(32.8%)、「⑳効果的・効率的な行政運営」(26.6%)、「⑱公園や緑地の整備・維持管理」(24.4%)、「㉑まちの魅力の向上・発信」(22.8%)、「⑦高齢者への支援」(22.4%)、「㉒地域産業の振興」(21.8%)の順となっている。

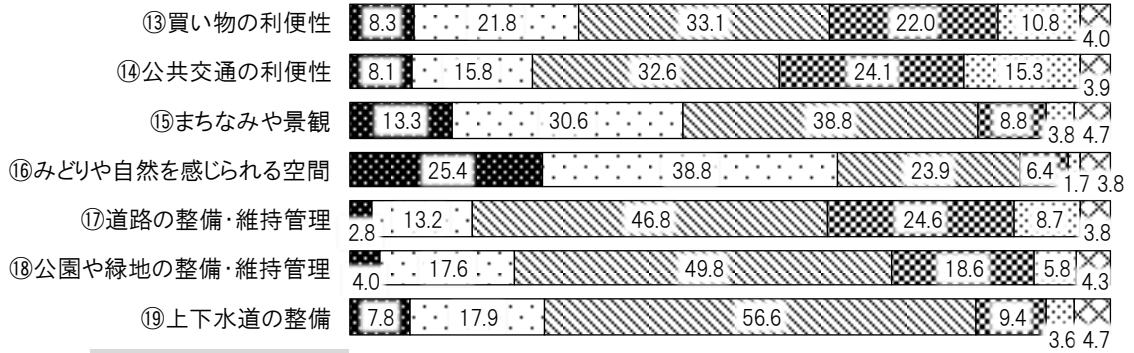
「⑬買い物の利便性」「⑭公共交通の利便性」は、満足度が高い一方で、不満も比較的高くなっている。



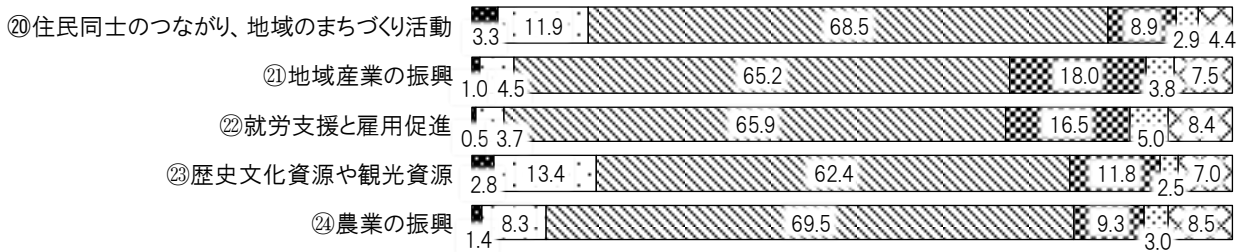
全体(N=1023) ■満足 □やや満足 ▨普通 ■やや不満 □不満 □無回答



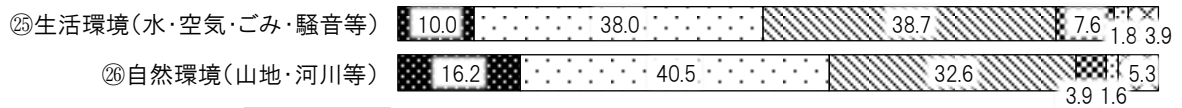
【まちづくり】



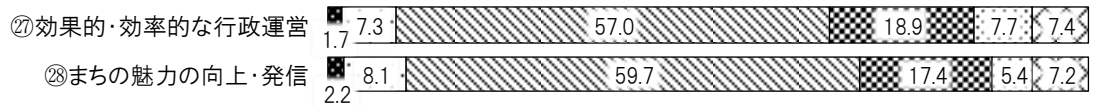
【地域振興・地域資源】



【環境】



【行政管理】



【満足度／平均評定値による集計】

満足度は以下に示す平均評定値を算出する方法で点数化している。

- 「満足度」については「満足」「やや満足」への回答とともに、「やや不満」「不満」「普通」という選択肢もある。そのため、この「満足度」をよりの確に分析するために、平均評定値による指標化を行った。
- 平均評定値は、「満足」に5点、「やや満足」に4点、「やや不満」に2点、「不満」に1点、「普通」に3点の係数（ウエイト）を設定し、

$$\frac{\text{【(「満足」の回答件数)×5(点)+(「やや満足」の回答件数)×4(点)+(「やや不満」の回答件数)×2(点)+(「不満」の回答件数)×1(点)+(「普通」の回答件数)×3(点)】}}{\text{【回答者件数－無回答件数】}}$$

の計算によって算出し、指標としている。

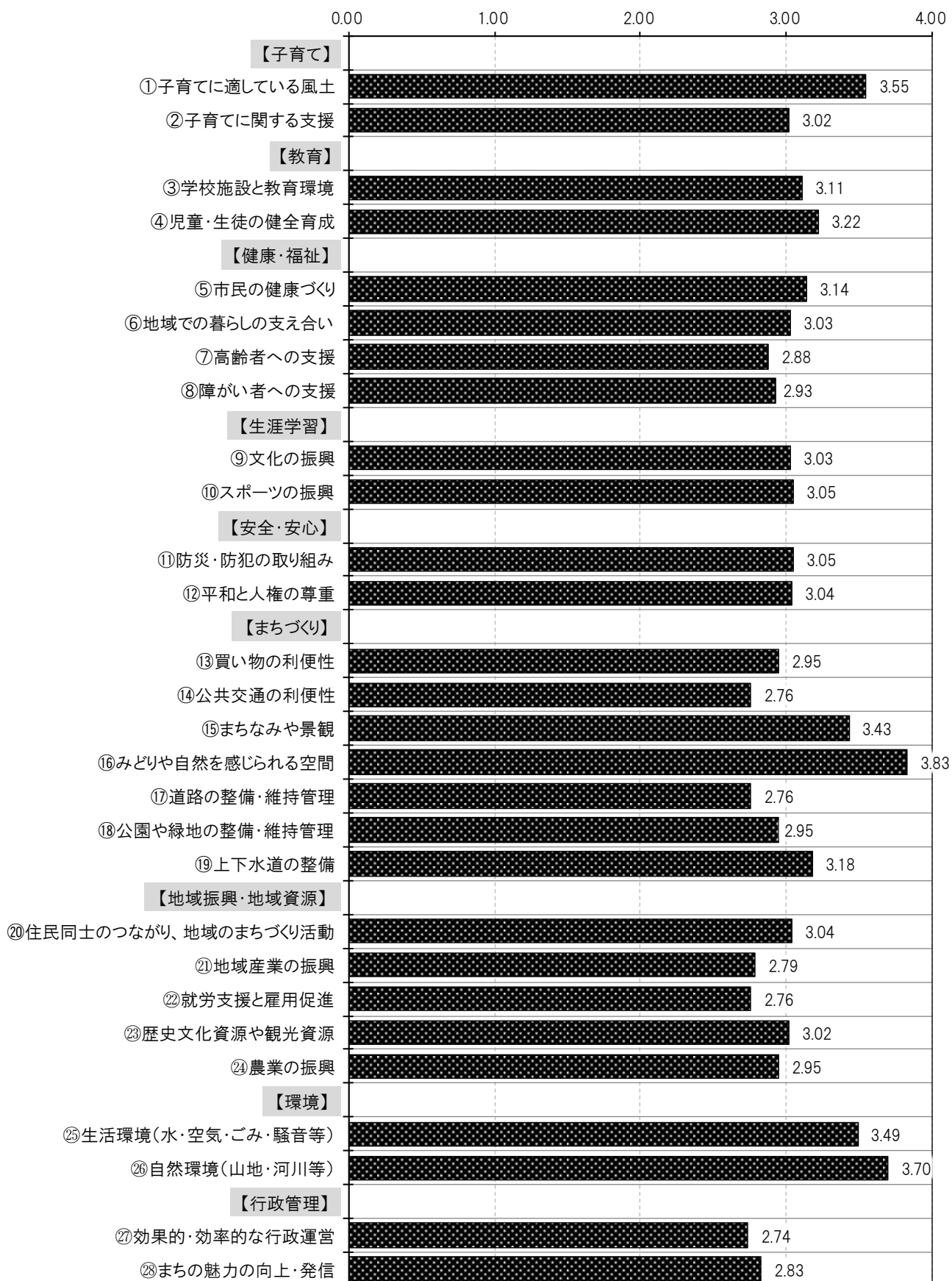
- この指標によって、「満足度」の強弱を、より明確に分析することができる。

この指標による分析結果をみると、満足度評価が最も高い項目は「⑩みどりや自然を感じられる空間」(3.83)で、以下「⑳自然環境(山地・河川等)」(3.70)、「①子育てに適している風土」(3.55)、「㉕生活環境(水・空気・ごみ・騒音等)」(3.49)、「⑮まちなみや景観」(3.43)の順となっている。

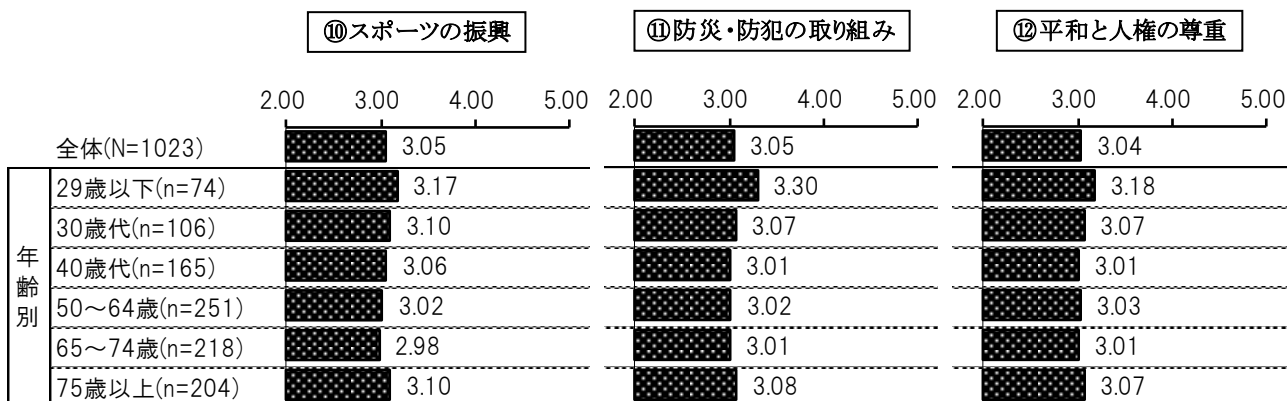
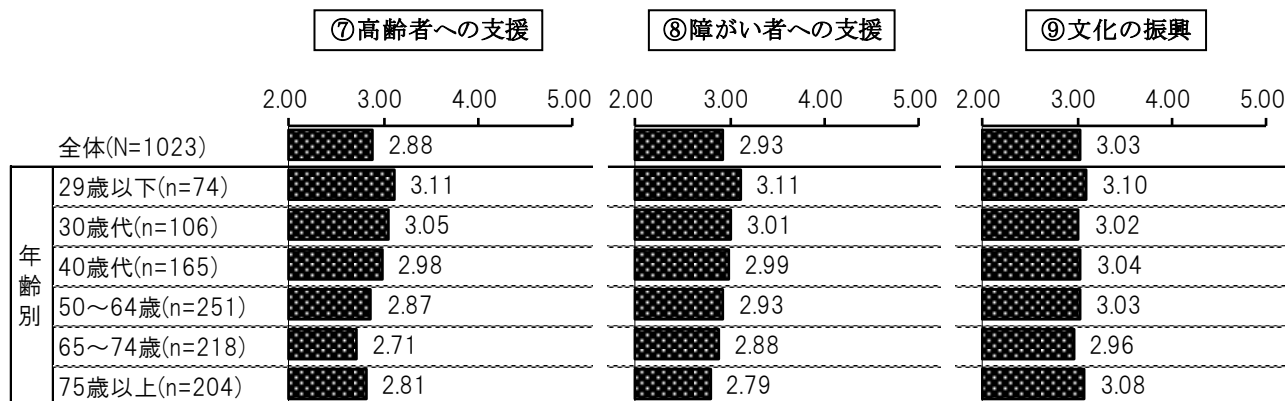
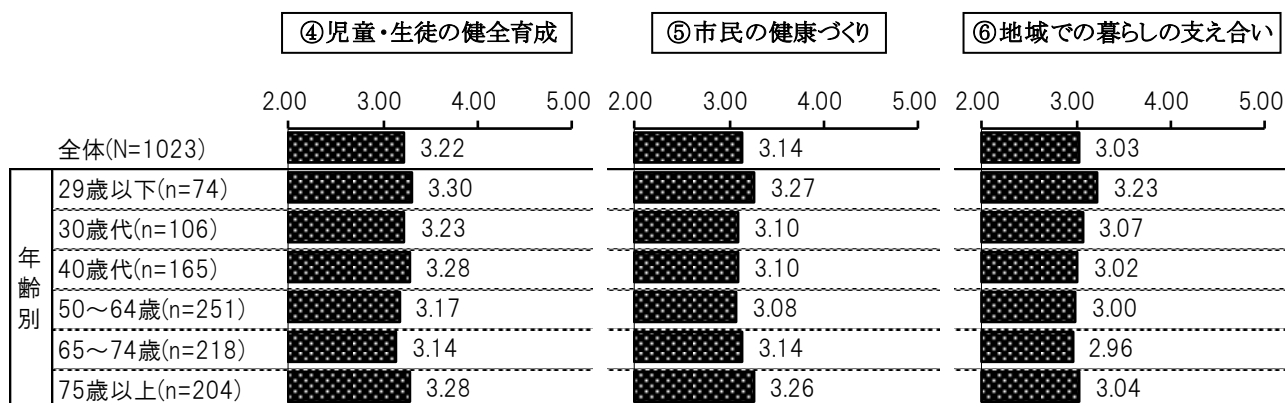
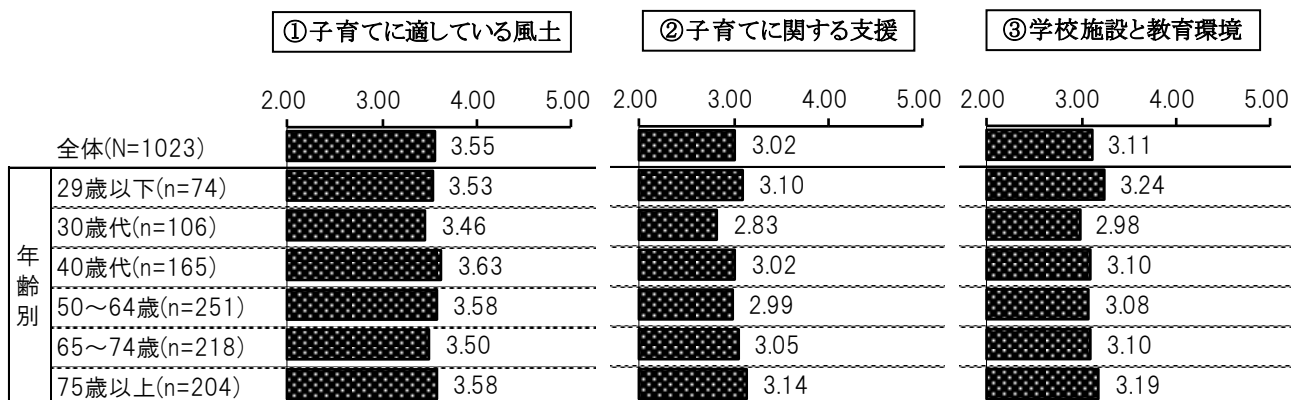
一方、相対的に満足度評価が低い項目としては、「㉗効果的・効率的な行政運営」(2.74)、「⑭公共交通の利便性」「⑰道路の整備・維持管理」「㉚就労支援と雇用促進」(各2.76)、「㉑地域産業の振興」(2.79)などがあげられる。

問11 満足度
全体(N=1023)

低い ← → 高い



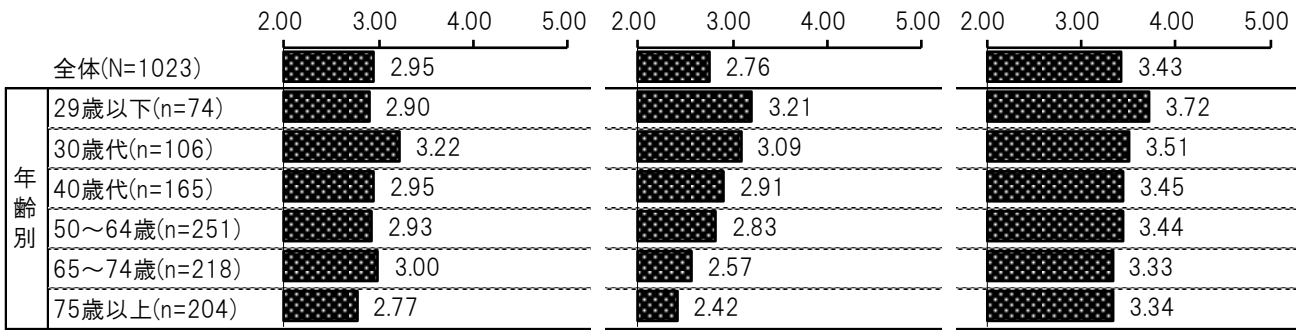
<満足度／年齢別>



⑬ 買い物の利便性

⑭ 公共交通の利便性

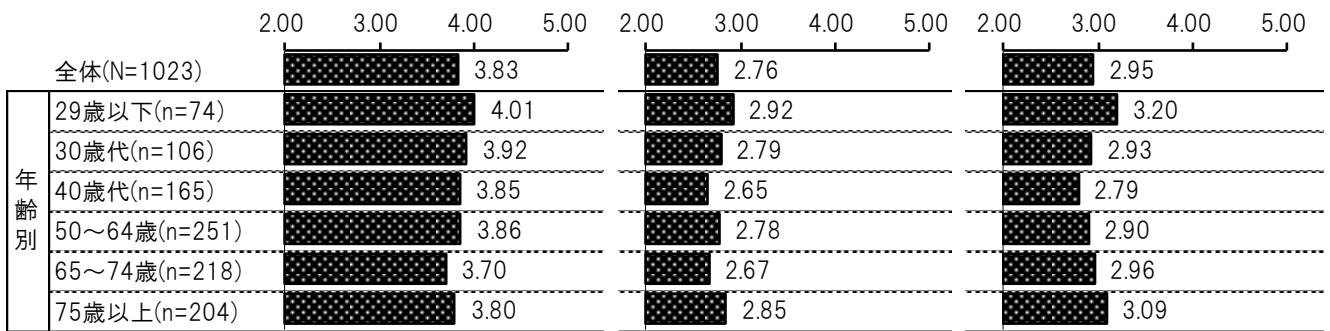
⑮ まちなみや景観



⑯ みどりや自然を感じられる空間

⑰ 道路の整備・維持管理

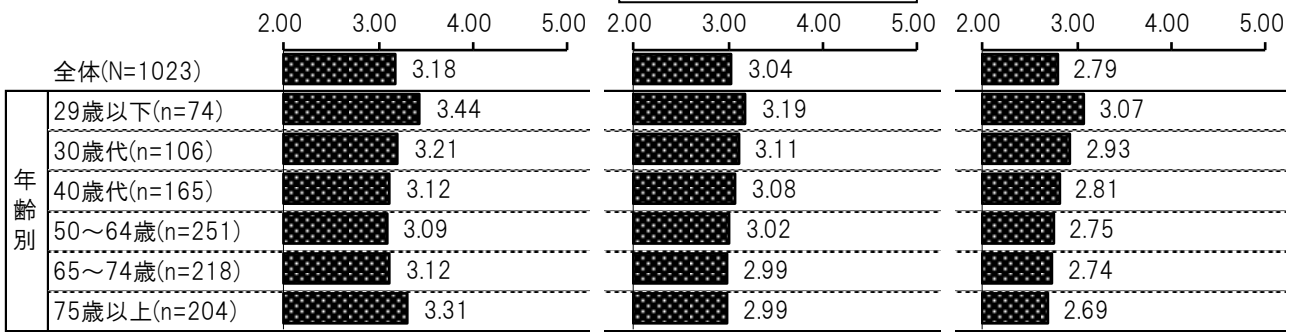
⑱ 公園や緑地の整備・維持管理



⑲ 上下水道の整備

⑳ 住民同士のつながり、地域のまちづくり活動

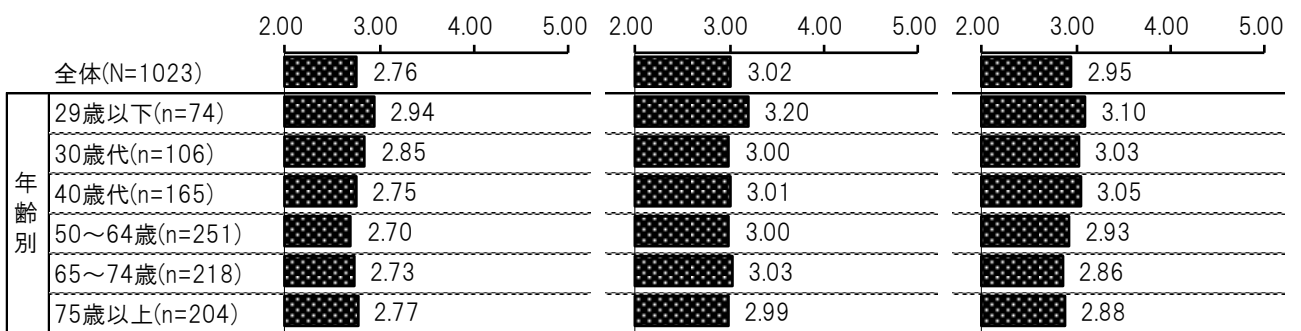
㉑ 地域産業の振興

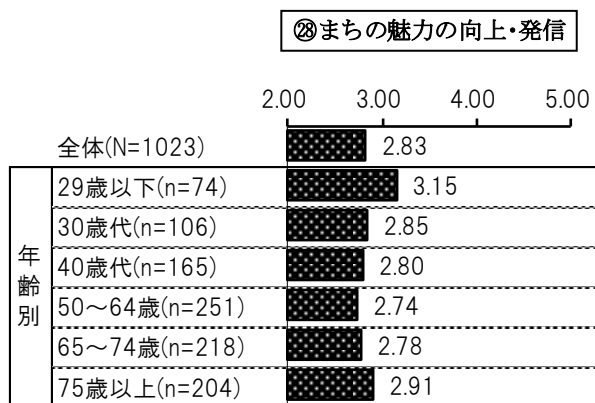
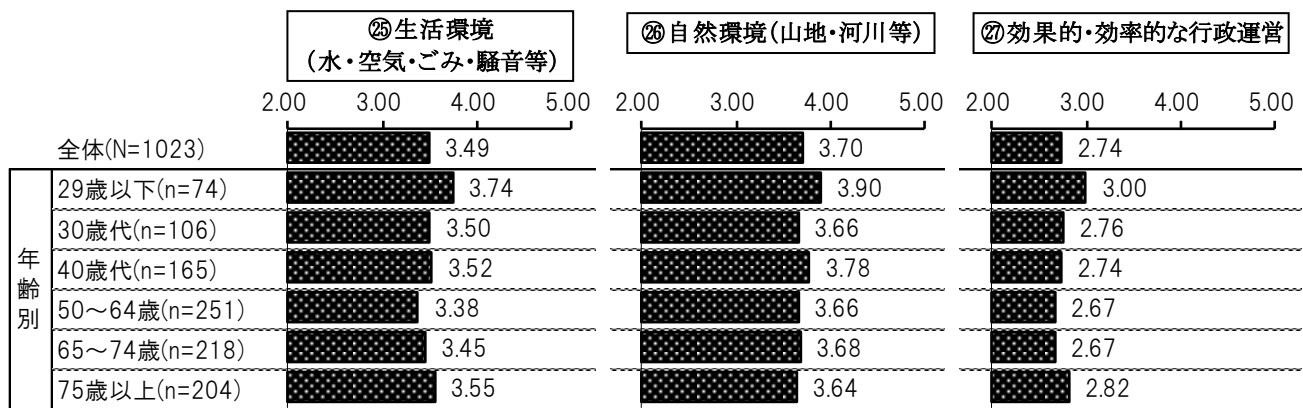


㉒ 就労支援と雇用促進

㉓ 歴史文化資源や観光資源

㉔ 農業の振興

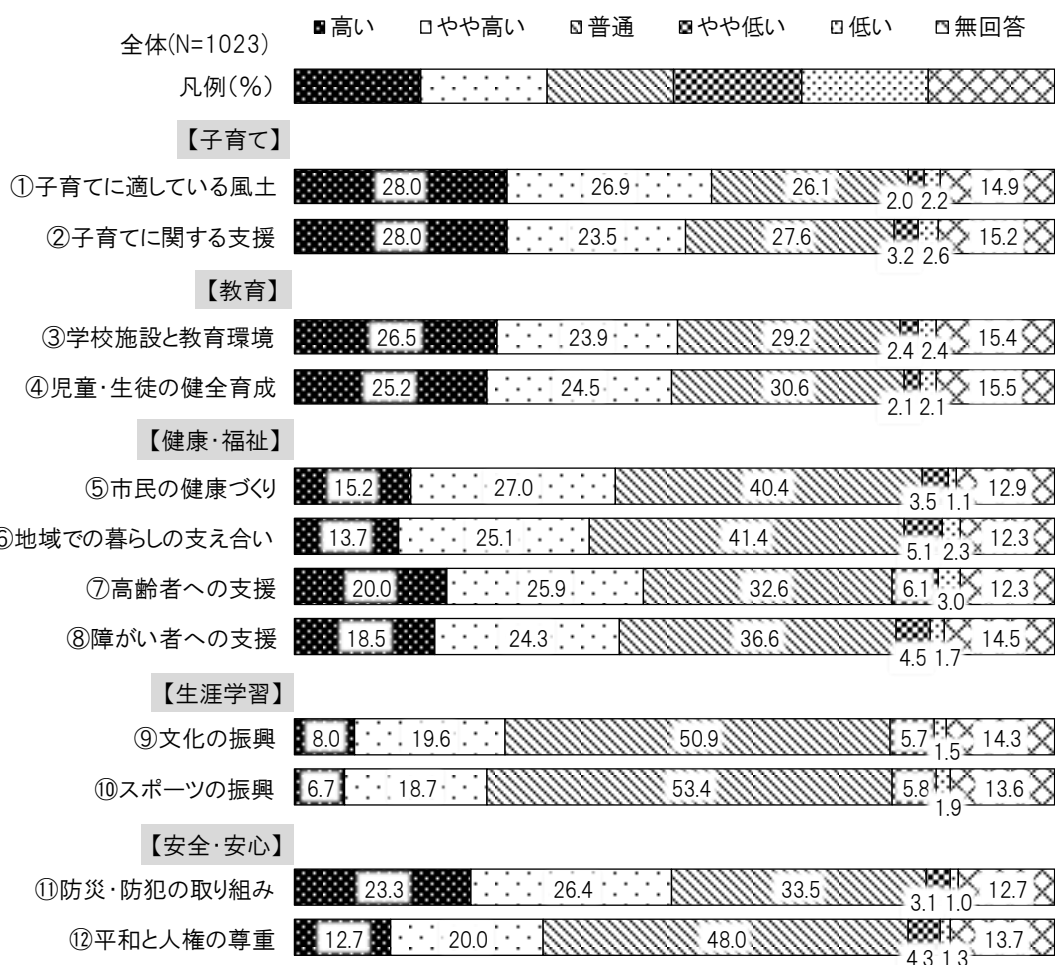




(2) 重要度

各項目について、現在の重要度を5段階評価で質問したところ、「高い」「やや高い」の合計割合が最も高かったのは「⑫生活環境（水・空気・ごみ・騒音等）」（60.4%）で、以下「⑩みどりや自然を感じられる空間」（59.9%）、「⑩自然環境（山地・河川等）」（57.7%）、「⑭公共交通の利便性」（56.7%）、「⑬買い物の利便性」（56.6%）、「①子育てに適している風土」（54.9%）、「②子育てに関する支援」（51.5%）、「⑮まちなみや景観」（51.1%）、「③学校施設と教育環境」（50.4%）の順となっている。

一方、「低い」「やや低い」の合計割合が最も高かったのは、「⑦高齢者への支援」（9.1%）であり、次いで「⑭公共交通の利便性」（8.6%）、「⑫歴史文化資源や観光資源」「⑩スポーツの振興」（各7.7%）、「⑪地域産業の振興」「⑥地域での暮らしの支え合い」（各7.4%）の順となっている。

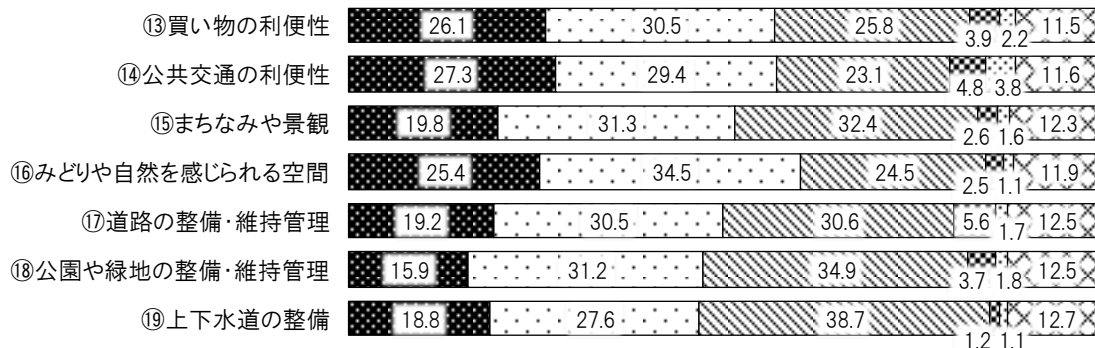


全体(N=1023) ■高い □やや高い □普通 □やや低い □低い □無回答

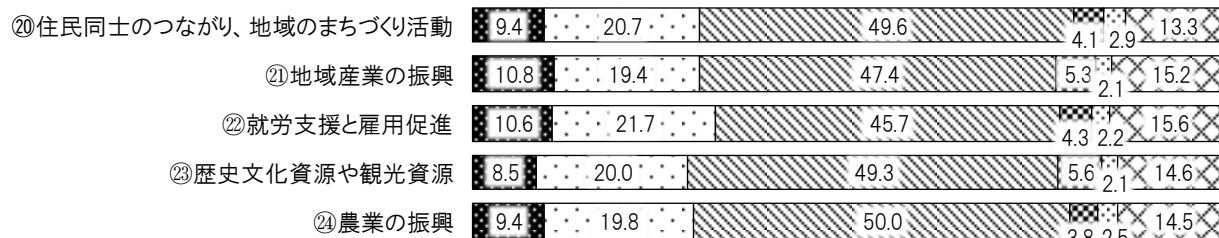
凡例(%)



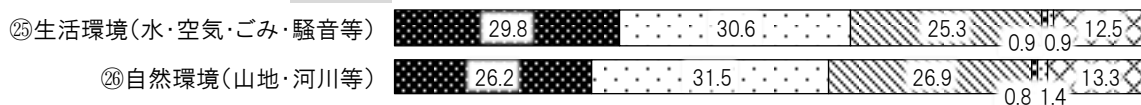
【まちづくり】



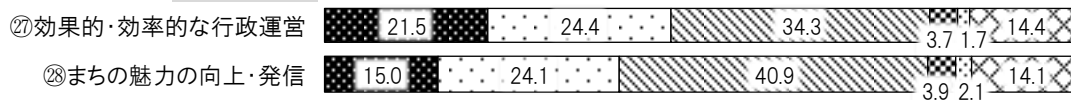
【地域振興・地域資源】



【環境】



【行政管理】



【重要度／平均評定値による集計】

重要度は以下に示す平均評定値を算出する方法で点数化している。

- 「重要度」については「高い」「やや高い」への回答とともに、「やや低い」「低い」「普通」という選択肢もある。そのため、この「重要度」をよりの確に分析するために、平均評定値による指標化を行った。
- 平均評定値は、「高い」に5点、「やや高い」に4点、「やや低い」に2点、「低い」に1点、「普通」に3点の係数（ウエイト）を設定し、

$$\frac{\text{【(「高い」の回答件数)×5(点)+(「やや高い」の回答件数)×4(点)+(「やや低い」の回答件数)×2(点)+(「低い」の回答件数)×1(点)+(「普通」の回答件数)×3(点)】}}{\text{【回答者件数－無回答件数】}}$$

の計算によって算出し、指標としている。

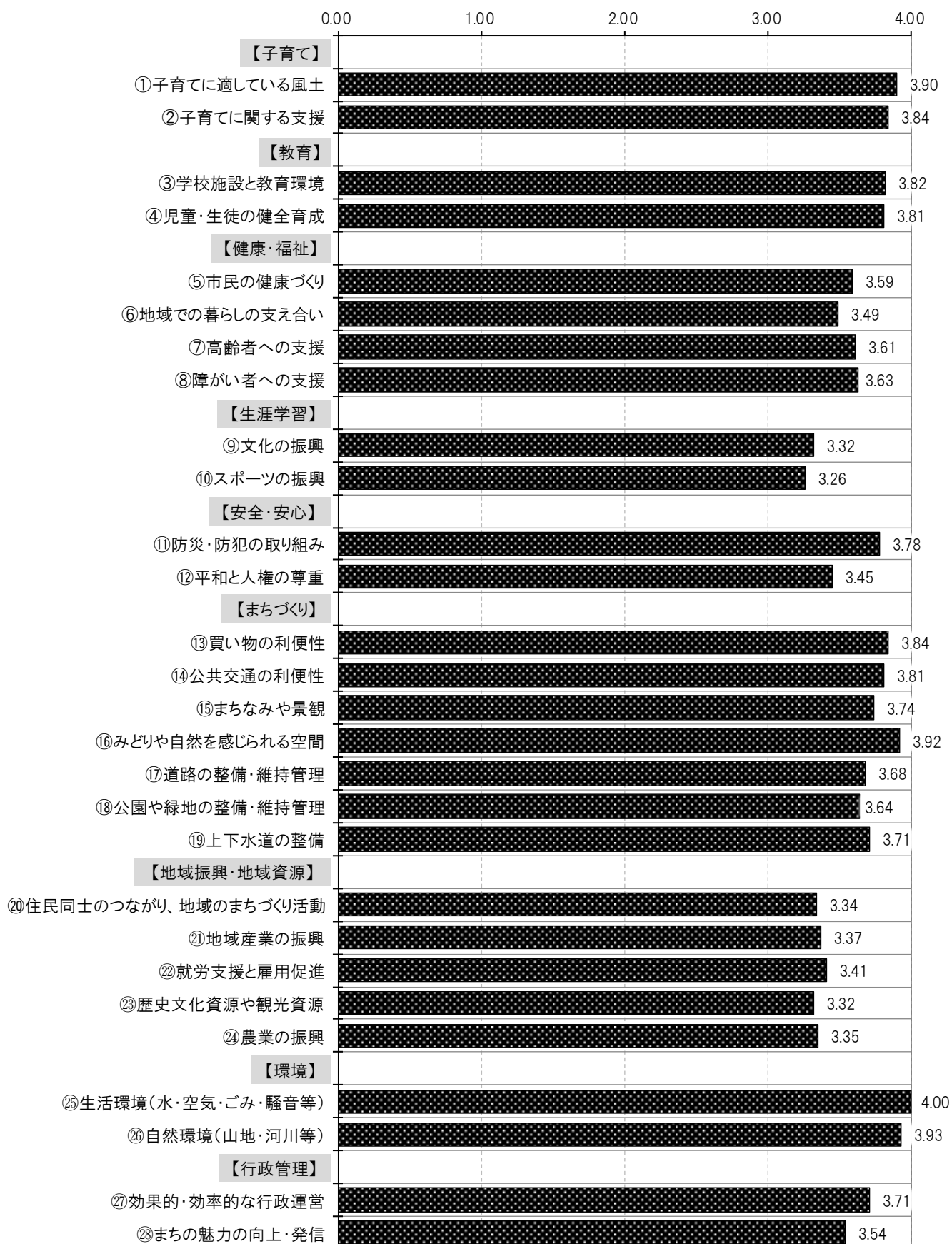
- この指標によって、「重要度」の強弱を、より明確に分析することができる。

この指標による分析結果をみると、重要度評価が最も高い項目は「㉕生活環境（水・空気・ごみ・騒音等）」（4.00）で、以下「㉖自然環境（山地・河川等）」（3.93）、「㉗みどりや自然を感じられる空間」（3.92）、「①子育てに適している風土」（3.90）、「⑬買い物の利便性」「②子育てに関する支援」（各 3.84）の順となっている。

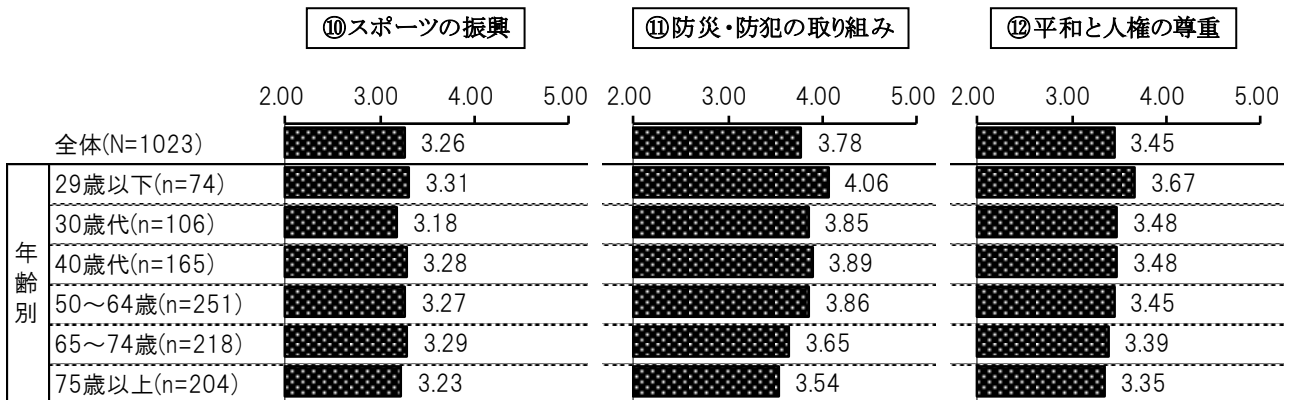
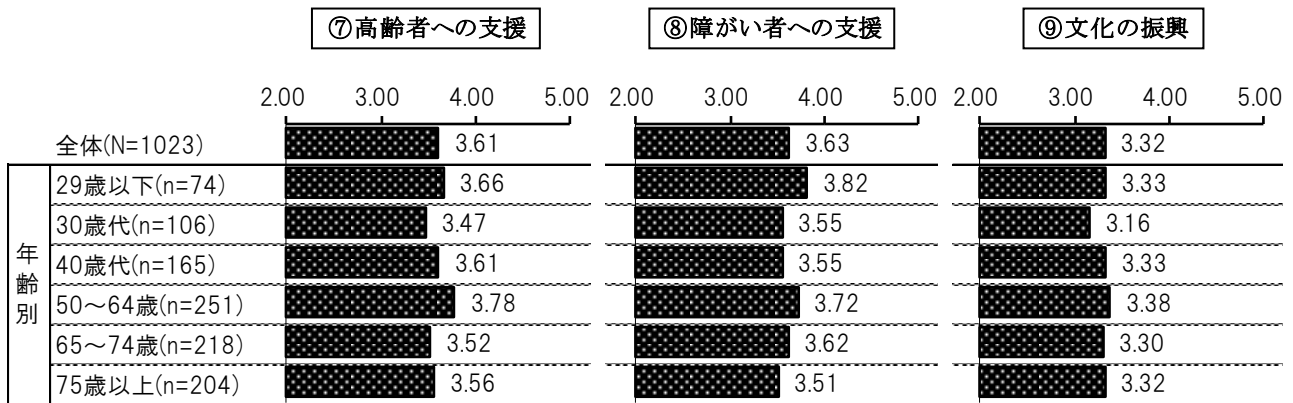
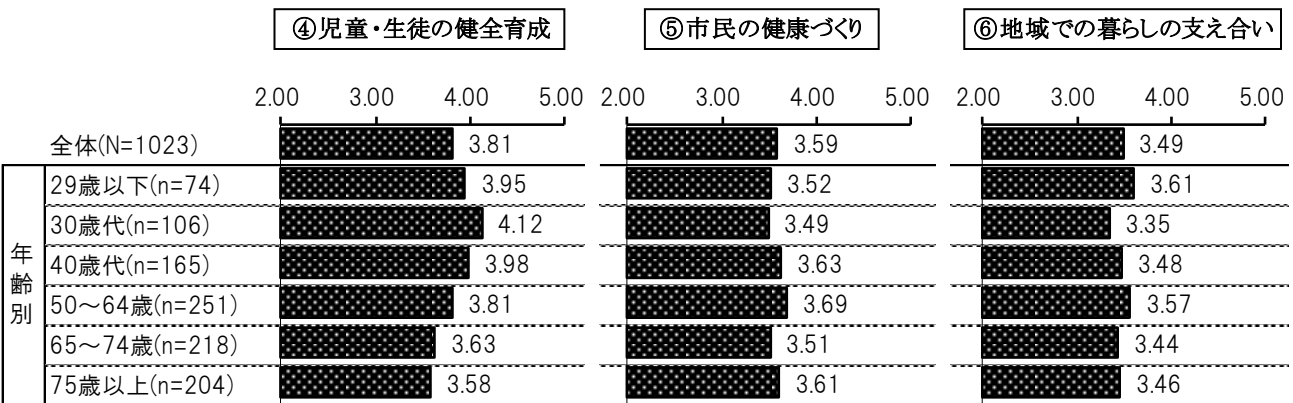
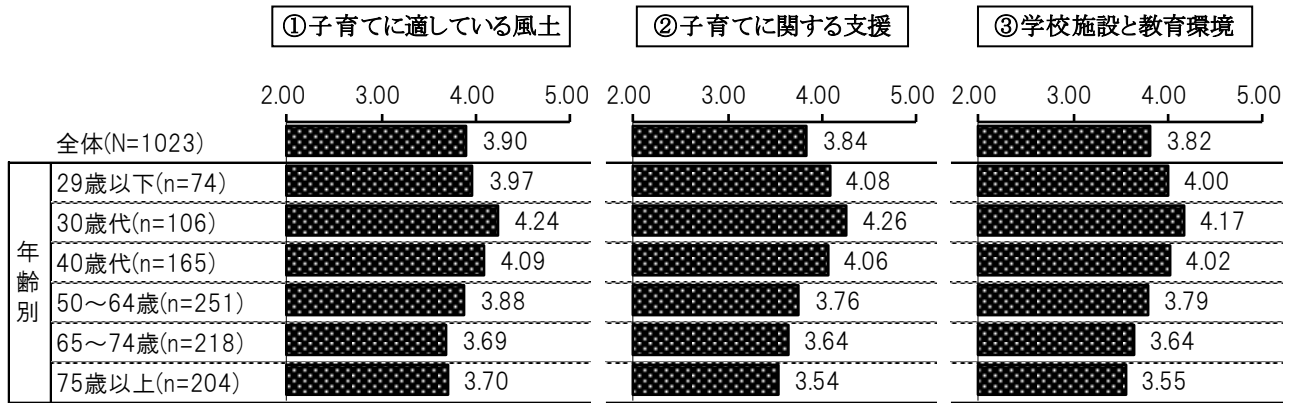
一方、相対的に重要度評価が低い項目としては、「⑩スポーツの振興」（3.26）、「⑨文化の振興」「㉓歴史文化資源や観光資源」（各 3.32）、「⑳住民同士のつながり、地域のまちづくり活動」（3.34）、「㉔農業の振興」（3.35）などがあげられる。

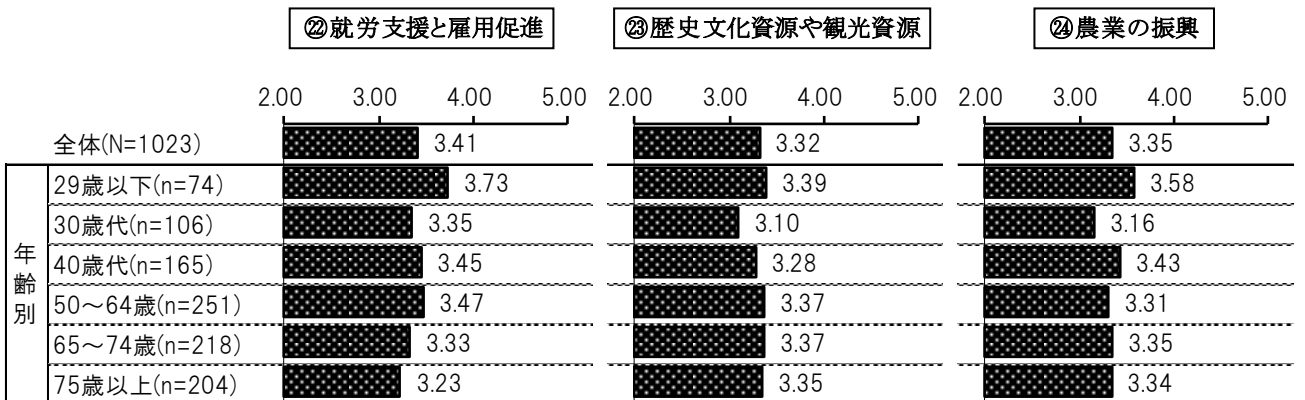
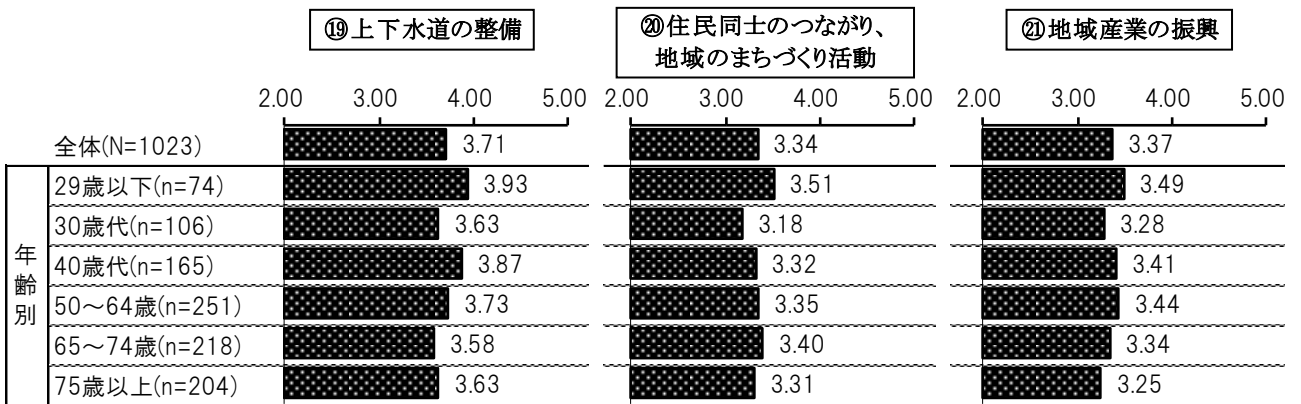
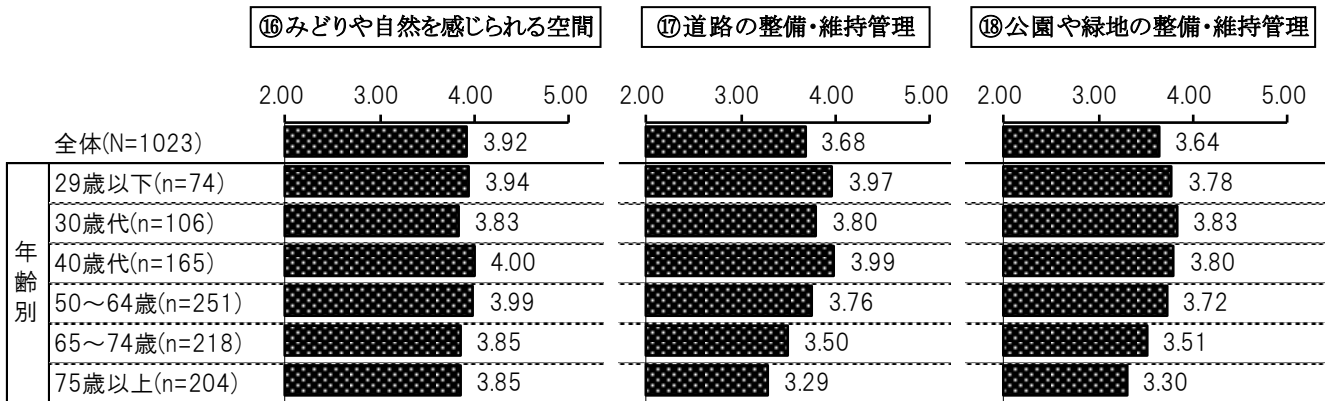
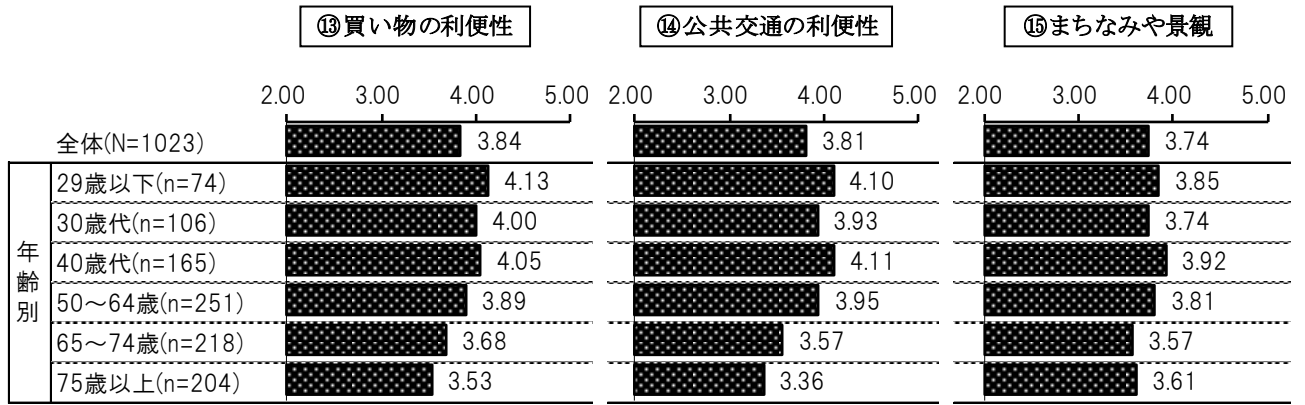
問11 重要度
全体(N=1023)

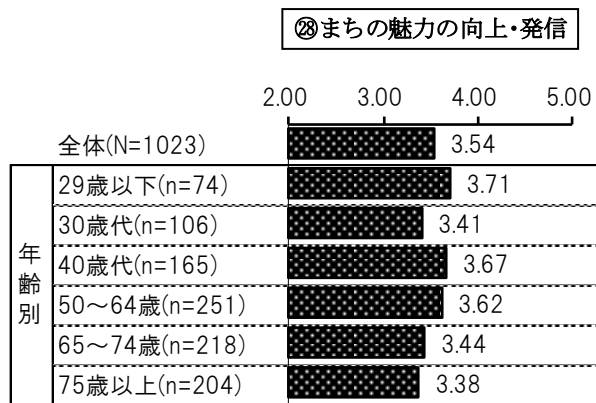
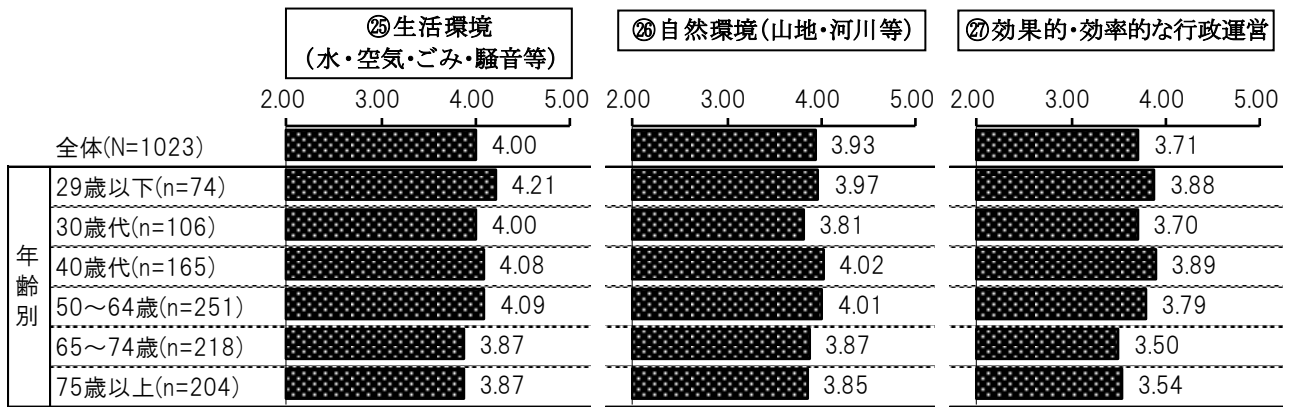
低い ← → 高い



<重要度/年齢別>



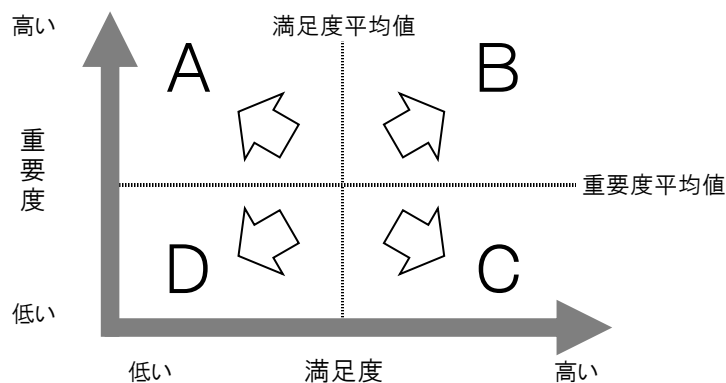




(3) 各項目における満足度と重要度の相関図による分析

満足度と重要度の平均評定値をもとに、縦軸に重要度、横軸に満足度を設定し、28の項目を散布図上に示したものが相関図である。

満足度と重要度の各平均値を基準としてA～Dの4つの領域に区分し、各施策がどの領域に配置されるのかを整理する。



4つの領域については、左上（A）、右上（B）、右下（C）、左下（D）の4方向に進むにしたいが、以下のような傾向を示している。

A. 重要度が高く、満足度が低い（重点化・見直し領域）

今後のまちづくりにおける重要度が高いが、満足度が相対的に低く、施策の重点化や抜本的な見直しなども含め、満足度を高める必要のある領域。

B. 重要度、満足度ともに高い（現状維持領域）

今後のまちづくりにおける重要度も満足度も高く、現時点での満足度の水準を維持していくことが必要な領域。

C. 重要度が低く、満足度が高い（現状維持・見直し領域）

今後のまちづくりにおける重要度は低いものの満足度が高く、満足度の水準を維持していくか、あるいは施策のあり方を含めて、見直すべき必要のある領域。

D. 重要度、満足度ともに低い（改善・見直し領域）

今後のまちづくりにおける重要度も満足度も低く、施策の目的やニーズを再確認するとともに、施策のあり方や進め方そのものを、改めて見直す必要のある領域。

【A 重点化・見直し領域】

A重点化・見直し領域に含まれる項目は次のとおりである。

	満足度	重要度※ ¹
②子育てに関する支援	3.02	3.84
⑬買い物の利便性	2.95	3.84
⑭公共交通の利便性	2.76	3.81
⑪防災・防犯の取り組み	3.05	3.78
⑰効果的・効率的な行政運営	2.74	3.71
⑰道路の整備・維持管理	2.76	3.68
⑱公園や緑地の整備・維持管理※ ²	2.95	3.64

※¹ 表中の項目は、「重要度」が高い順に並べ替えている。

※² 「⑱公園や緑地の整備・維持管理」はAに分類している。

【B 現状維持領域】

B現状維持領域に含まれる項目は次のとおりである。

	満足度	重要度
⑮生活環境（水・空気・ごみ・騒音等）	3.49	4.00
⑮自然環境（山地・河川等）	3.70	3.93
⑯みどりや自然を感じられる空間	3.83	3.92
①子育てに適している風土	3.55	3.90
③学校施設と教育環境	3.11	3.82
④児童・生徒の健全育成	3.22	3.81
⑮まちなみや景観	3.43	3.74
⑲上下水道の整備	3.18	3.71

【C 現状維持・見直し領域】

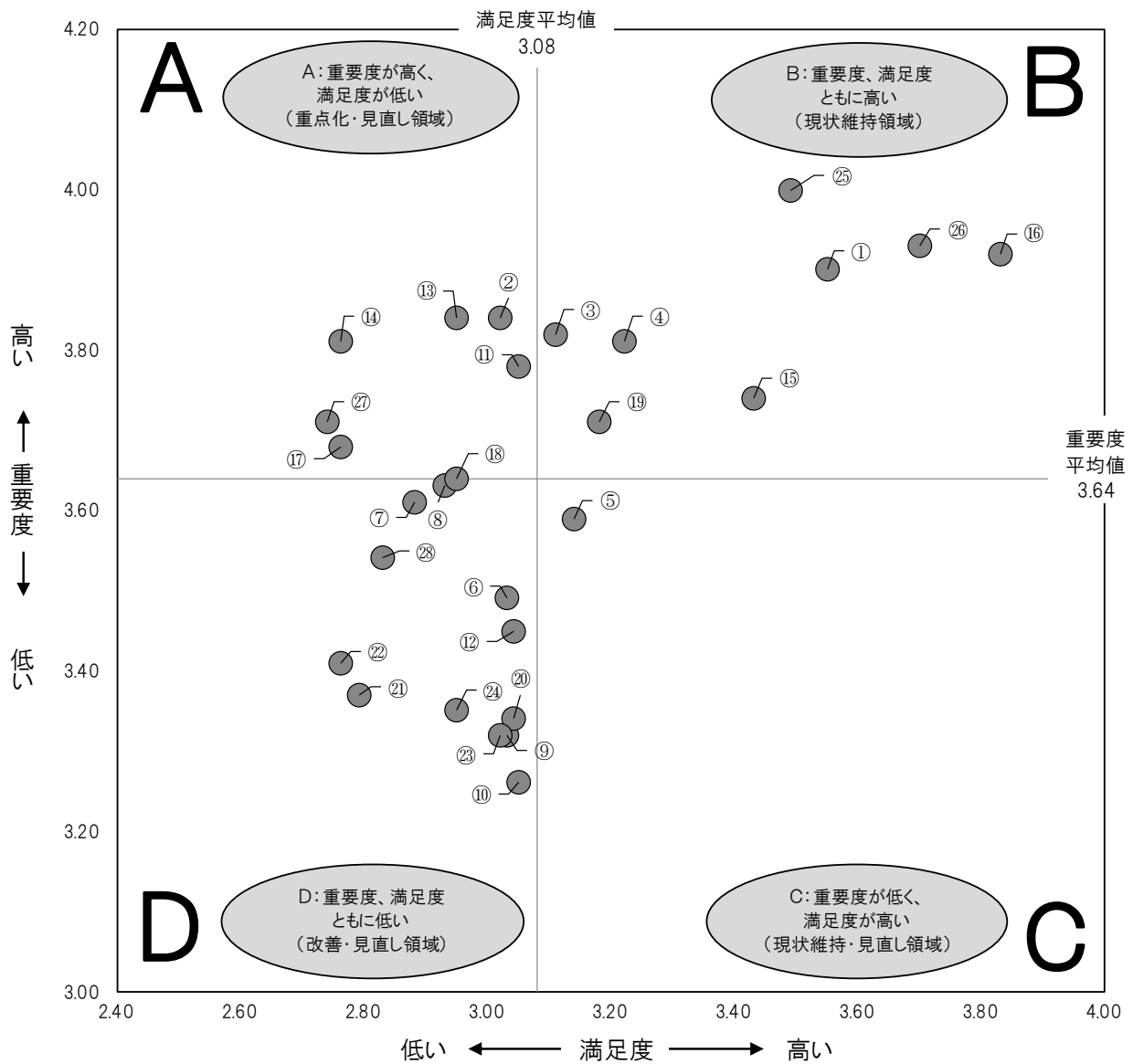
C現状維持・見直し領域に含まれる項目は次のとおりである。

	満足度	重要度
⑤市民の健康づくり	3.14	3.59

【D 改善・見直し領域】

D改善・見直し領域に含まれる項目は次のとおりである。

	満足度	重要度
⑧障がい者への支援	2.93	3.63
⑦高齢者への支援	2.88	3.61
⑳まちの魅力の向上・発信	2.83	3.54
⑥地域での暮らしの支え合い	3.03	3.49
⑫平和と人権の尊重	3.04	3.45
⑳就労支援と雇用促進	2.76	3.41
㉑地域産業の振興	2.79	3.37
㉒農業の振興	2.95	3.35
㉓住民同士のつながり、地域のまちづくり活動	3.04	3.34
⑨文化の振興	3.03	3.32
㉔歴史文化資源や観光資源	3.02	3.32
⑩スポーツの振興	3.05	3.26



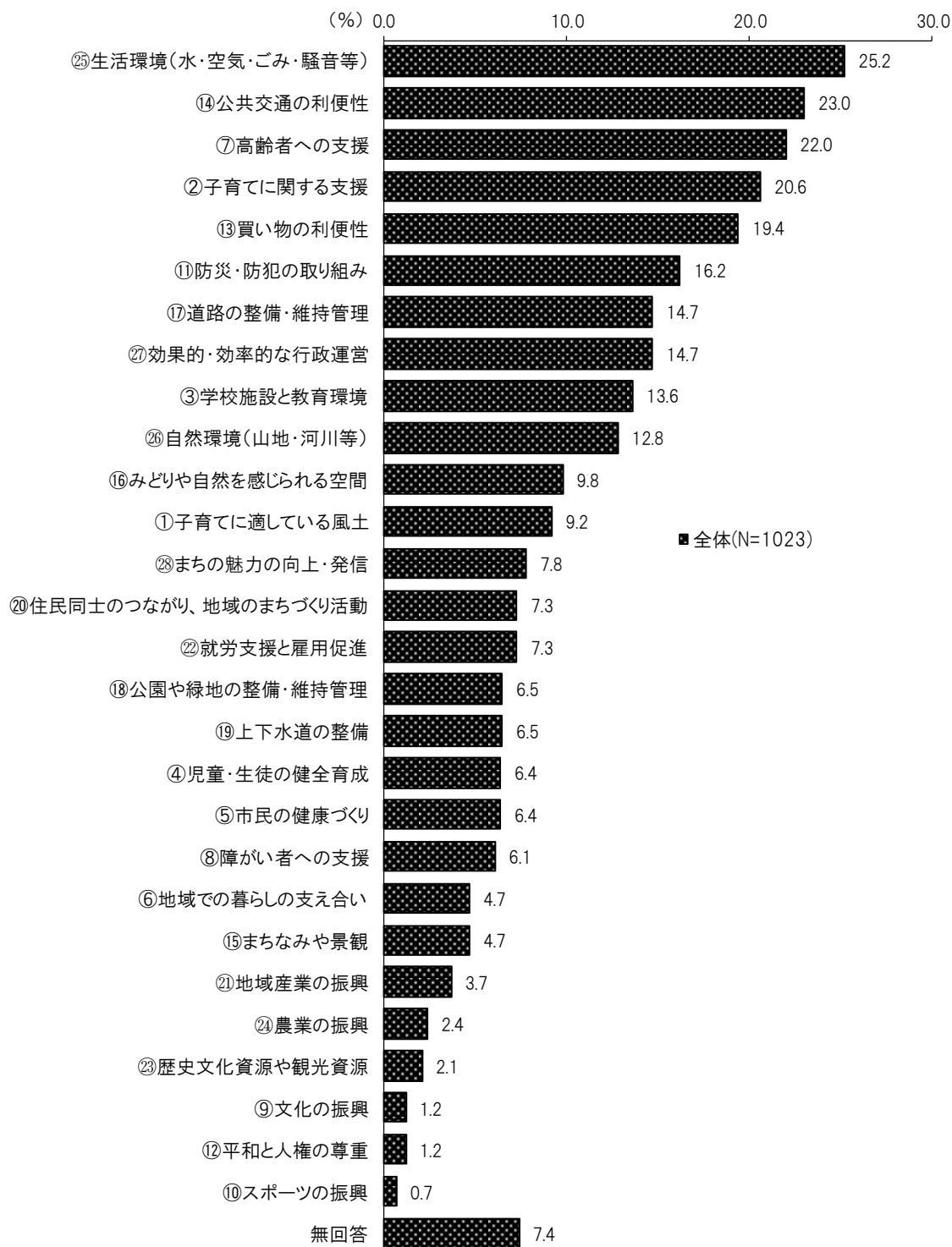
【子育て】	領域
①子育てに適している風土	B
②子育てに関する支援	A
【教育】	領域
③学校施設と教育環境	B
④児童・生徒の健全育成	B
【健康・福祉】	領域
⑤市民の健康づくり	C
⑥地域での暮らしの支え合い	D
⑦高齢者への支援	D
⑧障がい者への支援	D
【生涯学習】	領域
⑨文化の振興	D
⑩スポーツの振興	D
【安全・安心】	領域
⑪防災・防犯の取り組み	A
⑫平和と人権の尊重	D

【まちづくり】	領域
⑬買い物の利便性	A
⑭公共交通の利便性	A
⑮まちなみや景観	B
⑯みどりや自然を感じられる空間	B
⑰道路の整備・維持管理	A
⑱公園や緑地の整備・維持管理	A
⑲上下水道の整備	B
【地域振興・地域資源】	領域
⑳住民同士のつながり、地域のまちづくり活動	D
㉑地域産業の振興	D
㉒就労支援と雇用促進	D
㉓歴史文化資源や観光資源	D
㉔農業の振興	D
【環境】	領域
㉕生活環境 (水・空気・ごみ・騒音等)	B
㉖自然環境 (山地・河川等)	B
【行政管理】	領域
㉗効果的・効率的な行政運営	A
㉘まちの魅力の向上・発信	D

3 今後のまちづくりにおいて特に重要だと思うこと

問 11 ①～⑳の中から特に重要だと思う項目を3つ選んで、その番号を記入してください。

今後のまちづくりにおいて特に重要だと思うことについては、「⑤生活環境（水・空気・ごみ・騒音等）」の割合が25.2%と最も高く、次いで「⑭公共交通の利便性」（23.0%）、「⑦高齢者への支援」（22.0%）、「②子育てに関する支援」（20.6%）、「⑬買い物の利便性」（19.4%）の順となっている。



性別では、男性は女性に比べ「⑰道路の整備・維持管理」「⑳自然環境（山地・河川等）」の割合が高く、女性は「⑬買い物の利便性」の割合が男性を上回っている。

年齢別では、30歳代で「②子育てに関する支援」「①子育てに適している風土」、30～40歳代で「③学校施設と教育環境」の割合がそれぞれ他の年齢層を大きく上回っている。

単位 (%)	⑮生活環境（水・空気・騒音等）	⑭公共交通の利便性	⑦高齢者への支援	②子育てに関する支援	⑬買い物の利便性	⑪防災・防犯の取り組み	⑰道路の整備・維持管理	⑰効果的・効率的な行政運営	③学校施設と教育環境	⑳自然環境（山地・河川等）	⑯みどりや自然を感じられる空間	①子育てに適している風土	⑳まちの魅力の向上・発信	⑲住民同士のつながり、地域のまちづくり活動
全体(N=1023)	25.2	23.0	22.0	20.6	19.4	16.2	14.7	14.7	13.6	12.8	9.8	9.2	7.8	7.3
【性別】														
男性(n=370)	25.9	22.7	20.8	21.9	16.5	17.0	17.8	14.9	13.5	15.1	10.8	11.1	7.6	6.5
女性(n=427)	25.8	24.6	22.0	23.4	22.5	17.8	12.9	15.2	16.9	10.3	8.4	7.3	8.0	7.7
【年齢別】														
29歳以下(n=74)	18.9	23.0	13.5	35.1	24.3	13.5	14.9	17.6	6.8	10.8	12.2	9.5	2.7	5.4
30歳代(n=106)	13.2	16.0	14.2	49.1	21.7	14.2	10.4	9.4	31.1	10.4	9.4	22.6	5.7	2.8
40歳代(n=165)	19.4	22.4	17.0	33.9	20.0	15.2	19.4	13.3	26.1	9.7	13.9	10.9	8.5	3.6
50～64歳(n=251)	33.5	23.5	24.3	15.5	20.3	19.9	12.0	15.5	11.2	16.3	10.4	10.8	10.0	5.6
65～74歳(n=218)	28.4	22.0	25.2	10.6	17.4	16.1	16.5	19.3	8.3	13.3	9.2	5.5	6.9	11.0
75歳以上(n=204)	24.5	27.5	26.5	7.4	16.7	14.7	14.7	11.8	5.9	12.7	5.9	2.9	8.8	11.8

単位 (%)	⑳就業支援と雇用促進	⑱公園や緑地の整備・維持管理	⑲上下水道の整備	④児童・生徒の健全育成	⑤市民の健康づくり	⑧障がい者への支援	⑥地域での暮らしの支え合い	⑮まちなみや景観	⑲地域産業の振興	⑳農業の振興	㉑歴史文化資源や観光資源	⑨文化の振興	⑫平和と人権の尊重	⑩スポーツの振興
全体(N=1023)	7.3	6.5	6.5	6.4	6.4	6.1	4.7	4.7	3.7	2.4	2.1	1.2	1.2	0.7
【性別】														
男性(n=370)	5.4	5.9	5.9	7.6	7.0	6.2	5.1	7.3	4.3	2.4	2.7	1.4	1.6	0.8
女性(n=427)	9.1	6.8	5.6	6.6	6.1	5.6	4.9	3.0	3.3	1.4	1.6	0.9	0.9	0.7
【年齢別】														
29歳以下(n=74)	8.1	1.4	4.1	12.2	5.4	9.5	4.1	8.1	0.0	2.7	4.1	1.4	1.4	1.4
30歳代(n=106)	9.4	12.3	2.8	8.5	5.7	6.6	0.9	4.7	2.8	0.9	0.9	0.0	1.9	0.9
40歳代(n=165)	5.5	6.7	6.7	8.5	4.2	4.8	5.5	4.8	5.5	3.0	1.2	0.6	1.8	1.8
50～64歳(n=251)	10.0	5.2	6.4	5.6	5.6	7.2	3.6	6.0	4.0	2.4	1.6	2.4	0.8	0.0
65～74歳(n=218)	6.9	8.3	9.2	2.8	7.8	4.6	4.1	4.6	4.6	2.3	3.7	0.9	0.9	0.5
75歳以上(n=204)	4.9	4.9	6.4	6.4	7.4	5.9	8.3	2.0	2.9	2.9	1.5	1.0	1.0	0.5

地域別では、ほしだ地域で「⑭公共交通の利便性」、いわふね地域で「⑯みどりや自然を感じられる空間」、くらじ地域で「⑲上下水道の整備」の割合がそれぞれ他の地域に比べて高くなっている。

子どもの有無別では、子どもがいる人で「②子育てに関する支援」「③学校施設と教育環境」、子どもがいない人で「⑮生活環境（水・空気・ごみ・騒音等）」「⑦高齢者への支援」などの割合がそれぞれ高くなっている。

単位 (%)	⑮生活環境（水・空気・ごみ・騒音等）	⑭公共交通の利便性	⑦高齢者への支援	②子育てに関する支援	⑬買い物の利便性	⑪防災・防犯の取り組み	⑰道路の整備・維持管理	⑲効果的・効率的な行政運営	③学校施設と教育環境	⑯自然環境（山地・河川等）	⑯みどりや自然を感じられる空間	①子育てに適している風土	⑧まちの魅力の向上・発信	⑩住民のまちづくりに活動のまちなが
全体(N=1023)	25.2	23.0	22.0	20.6	19.4	16.2	14.7	14.7	13.6	12.8	9.8	9.2	7.8	7.3
【地域別】														
くらじ地域(n=122)	24.6	23.8	18.9	25.4	14.8	16.4	10.7	10.7	9.0	12.3	8.2	13.9	7.4	6.6
こうづ地域(n=172)	25.6	20.3	22.7	14.5	20.3	17.4	17.4	13.4	12.8	9.3	8.1	8.7	11.0	5.2
きさべ地域(n=252)	26.2	17.5	20.2	24.2	18.3	17.5	11.5	15.1	15.9	13.9	9.5	9.9	6.3	6.0
ほしだ地域(n=321)	23.4	30.8	24.6	20.9	22.4	12.8	15.9	15.0	12.1	13.1	8.1	8.4	7.2	8.7
いわふね地域(n=150)	27.3	16.0	20.7	18.0	16.7	20.7	18.0	18.0	18.0	15.3	17.3	6.7	7.3	9.3
【子どもの有無別】														
あり(n=243)	17.7	18.5	16.9	42.8	19.3	13.2	16.9	13.2	31.3	9.9	11.1	16.9	3.3	3.7
なし(n=751)	27.8	24.0	24.1	14.1	19.6	17.6	14.2	15.2	8.3	14.2	9.6	6.8	9.3	8.3

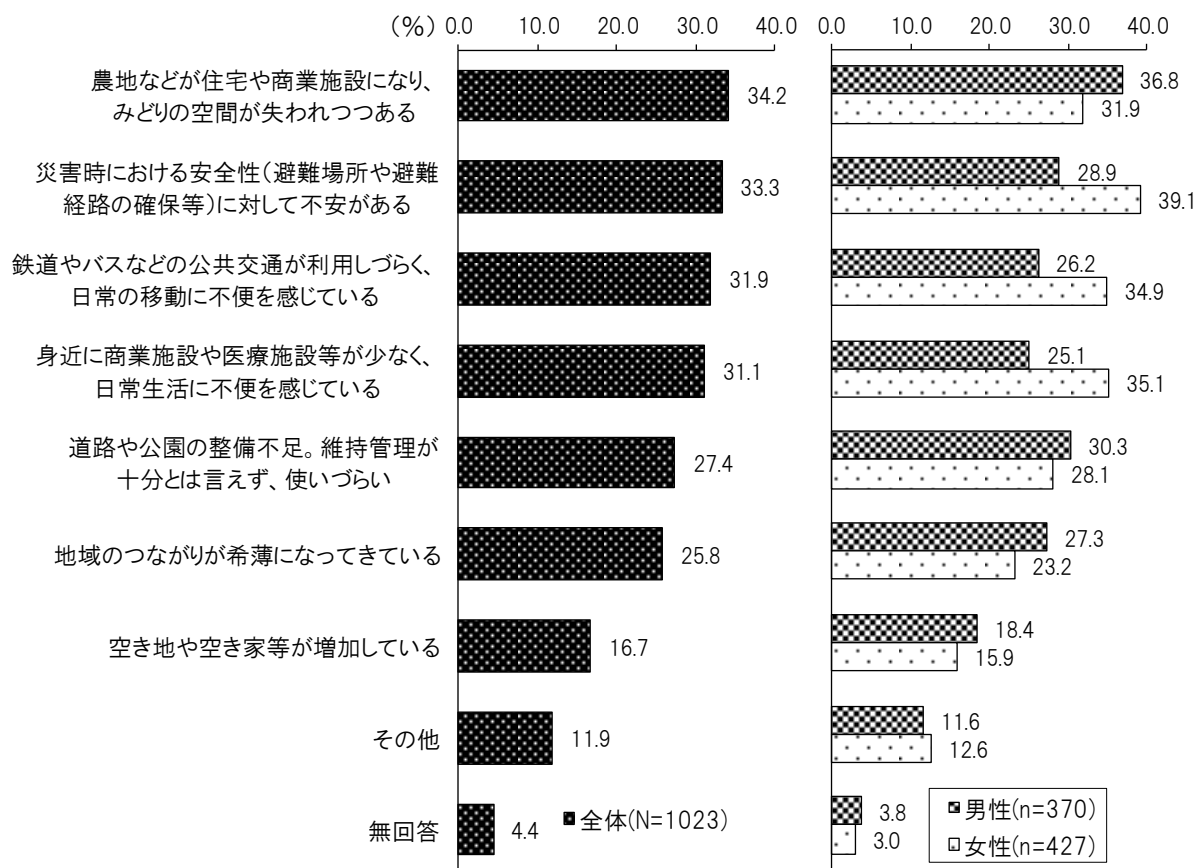
単位 (%)	②就労支援と雇用促進	⑱公園や緑地の整備・維持管理	⑲上下水道の整備	④児童・生徒の健全育成	⑤市民の健康づくり	⑧障がい者への支援	⑥地域での暮らしの支え合い	⑮まちなみや景観	⑪地域産業の振興	⑭農業の振興	⑲歴史文化資源や観光資源	⑨文化の振興	⑫平和と人権の尊重	⑩スポーツの振興
全体(N=1023)	7.3	6.5	6.5	6.4	6.4	6.1	4.7	4.7	3.7	2.4	2.1	1.2	1.2	0.7
【地域別】														
くらじ地域(n=122)	9.0	9.0	13.1	4.9	5.7	4.1	6.6	7.4	5.7	4.9	0.8	0.0	2.5	0.0
こうづ地域(n=172)	10.5	7.6	2.9	8.1	9.3	6.4	4.7	2.3	4.7	1.7	4.1	1.2	2.3	0.0
きさべ地域(n=252)	7.1	5.2	5.2	6.3	8.3	6.3	5.2	6.0	4.4	0.8	2.0	1.6	0.8	0.8
ほしだ地域(n=321)	5.0	6.5	7.2	6.2	5.0	6.5	4.4	4.7	2.5	2.2	1.9	1.2	0.9	0.6
いわふね地域(n=150)	8.0	5.3	5.3	6.0	3.3	6.0	3.3	3.3	2.7	4.7	1.3	1.3	0.0	2.0
【子どもの有無別】														
あり(n=243)	7.0	10.3	4.1	11.5	5.8	4.1	1.6	4.1	3.3	1.2	0.8	0.4	1.2	1.2
なし(n=751)	7.5	5.3	7.3	4.9	6.4	6.9	5.5	4.9	3.9	2.9	2.5	1.3	1.2	0.5

4 住んでいる地域の課題や問題点

問 12 あなたが住んでいる地域について、特にどのようなことに課題や問題を感じていますか。（3つまで○印）

住んでいる地域の課題や問題点については、「農地などが住宅や商業施設になり、みどりの空間が失われつつある」の割合が34.2%と最も高く、次いで「災害時における安全性（避難場所や避難経路の確保等）に対して不安がある」（33.3%）、「鉄道やバスなどの公共交通が利用しづらく、日常の移動に不便を感じている」（31.9%）、「身近に商業施設や医療施設等が少なく、日常生活に不便を感じている」（31.1%）の順となっている。

性別では、女性は「災害時における安全性（避難場所や避難経路の確保等）に対して不安がある」「鉄道やバスなどの公共交通が利用しづらく、日常の移動に不便を感じている」「身近に商業施設や医療施設等が少なく、日常生活に不便を感じている」の割合が男性を大きく上回っている。



年齢別では、29歳以下で「身近に商業施設や医療施設等が少なく、日常生活に不便を感じている」、30～40歳代で「道路や公園の整備不足。維持管理が十分とは言えず、使いづらい」、75歳以上で「鉄道やバスなどの公共交通が利用しづらく、日常の移動に不便を感じている」「地域のつながりが希薄になってきている」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

地域別では、ほしだ地域で「鉄道やバスなどの公共交通が利用しづらく、日常の移動に不便を感じている」、いわふね地域で「災害時における安全性（避難場所や避難経路の確保等）に対して不安がある」「空き地や空き家等が増加している」などの割合がそれぞれ他の地域に比べて高くなっている。

子どもの有無別では、子どもがいる人で「道路や公園の整備不足。維持管理が十分とは言えず、使いづらい」、子どもがいない人で「地域のつながりが希薄になってきている」の割合がそれぞれ高くなっている。

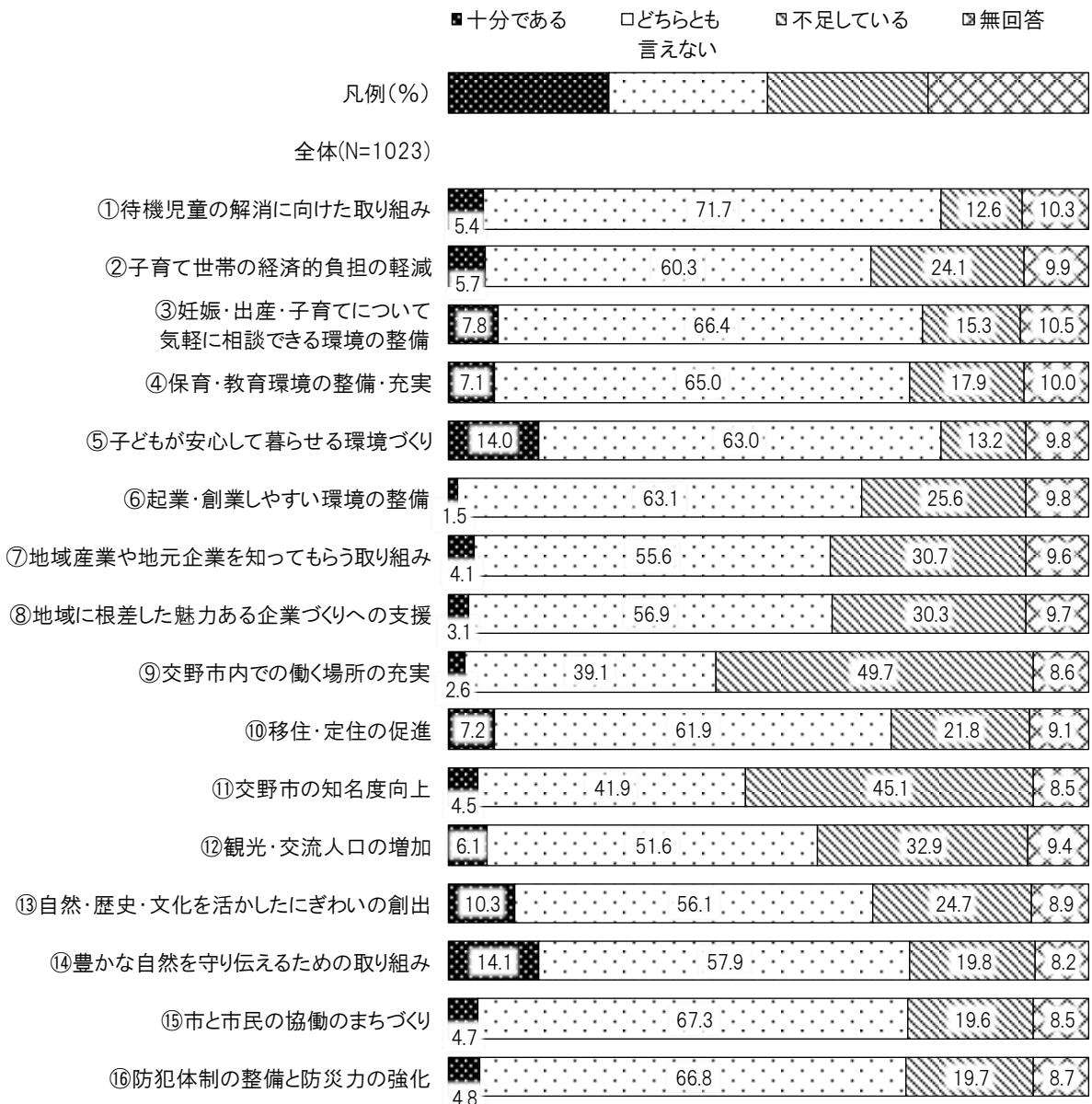
単位 (%)	が設農 失に地 われな つど つみ住 あど宅 りの商 空業 間施	ある 保 等 場 に所 対や し避 て難 不安 経全 路性 の	（災 害時 にお ける 避難 場所 の安 全性 がの	るの 通 移が 動利 に用 不し 便づ をら 感く じて 日共 い常	鉄 道 や バ ス な ど の 公 共 交 通	に設 不 等 が に 少 な く 日 常 生 活	身 近 に 商 業 施 設 や 医 療 施 施	ず、 維 持 管 理 が 十 分 と は 言 え ず	道 路 や 公 園 の 整 備 不 足	な 地 域 の つ な が り が 希 薄 に	し 空 き 地 や 空 き 家 等 が 増 加	そ の 他
全体(N=1023)	34.2	33.3		31.9	31.1	27.4	25.8	16.7	11.9			
【年齢別】												
29歳以下(n=74)	36.5	24.3		25.7	44.6	20.3	17.6	14.9	8.1			
30歳代(n=106)	29.2	28.3		22.6	29.2	37.7	14.2	16.0	16.0			
40歳代(n=165)	28.5	36.4		30.3	35.2	39.4	17.0	9.1	21.2			
50～64歳(n=251)	39.8	31.5		23.1	28.7	26.3	24.7	17.9	13.5			
65～74歳(n=218)	37.6	39.4		36.7	29.4	25.7	31.7	22.0	5.5			
75歳以上(n=204)	29.9	32.8		46.1	28.9	18.6	37.7	17.2	8.3			
【地域別】												
くらじ地域(n=122)	32.0	34.4		41.0	32.0	23.8	24.6	18.0	9.0			
こうづ地域(n=172)	34.3	25.0		25.0	33.7	29.1	26.7	15.1	14.5			
きさべ地域(n=252)	32.5	35.3		19.8	26.2	29.8	25.4	19.0	11.9			
ほしだ地域(n=321)	33.6	32.1		47.4	34.0	23.4	25.5	11.5	13.1			
いわふね地域(n=150)	40.0	42.7		18.7	29.3	33.3	27.3	24.7	8.7			
【子どもの有無別】												
あり(n=243)	29.2	36.2		27.6	31.7	42.8	13.2	12.8	19.3			
なし(n=751)	36.1	33.0		32.9	31.2	22.4	30.0	17.8	9.6			

5 人口減少対策への取り組みに対する評価

問 13 将来の人口減少が全国的に問題となっている中、次の交野市における人口減少対策の取り組みについてあなたはどのように実感していますか。それぞれの取り組みについて、あなたの評価をお答えください。（それぞれ1つに○印）

人口減少対策への取り組みに対する評価については、「不足している」の割合が高い順に「⑨交野市内での働く場所の充実」（49.7%）、「⑪交野市の知名度向上」（45.1%）、「⑫観光・交流人口の増加」（32.9%）、「⑦地域産業や地元企業を知ってもらう取り組み」（30.7%）、「⑧地域に根差した魅力ある企業づくりへの支援」（30.3%）となっている。

一方、「十分である」の割合が高い順に「⑭豊かな自然を守り伝えるための取り組み」（14.1%）、「⑤子どもが安心して暮らせる環境づくり」（14.0%）、「⑬自然・歴史・文化を活かしたにぎわいの創出」（10.3%）となっている。

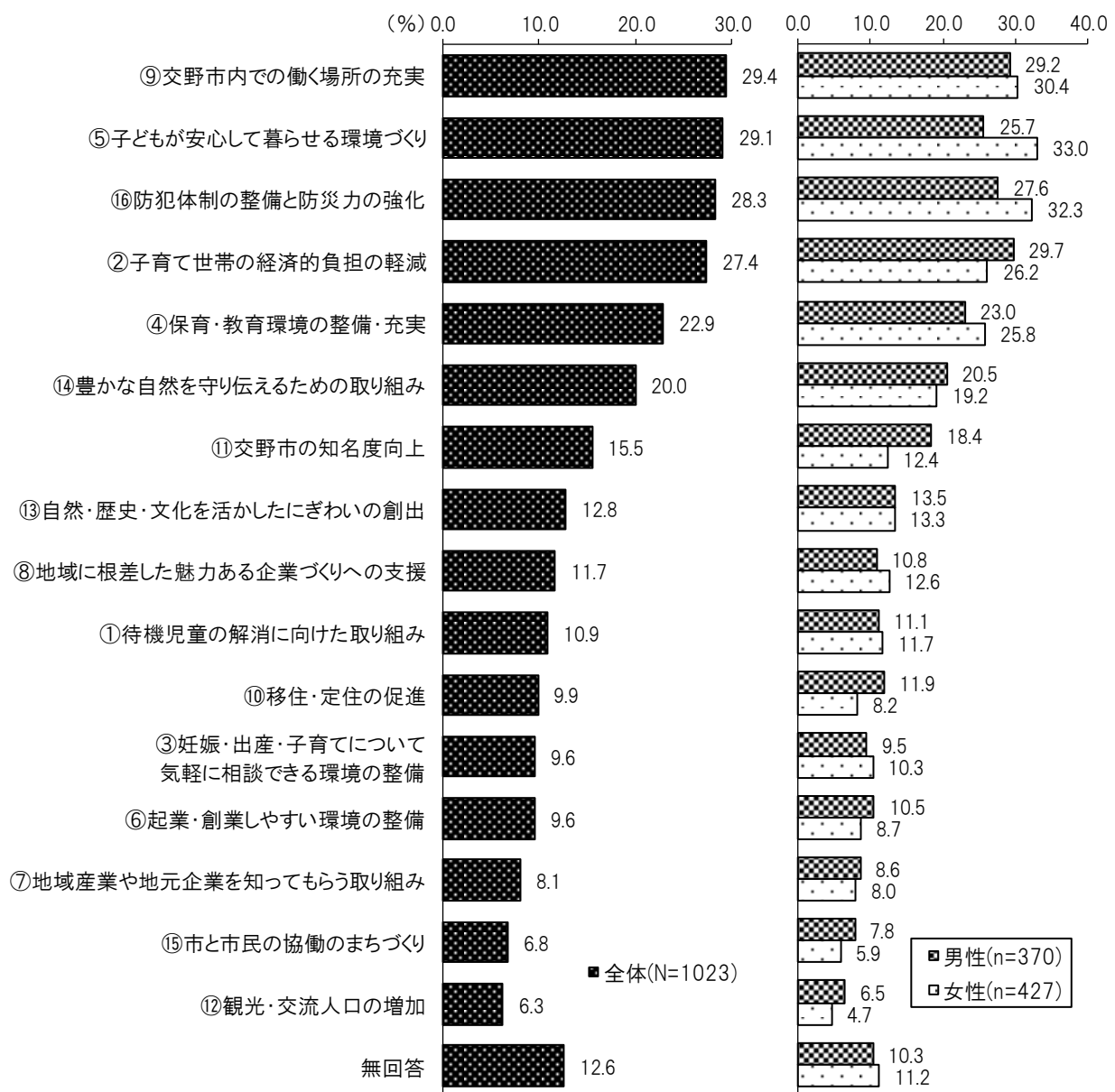


6 人口減少対策に関して特に重要だと思うこと

問 13 ①～⑯の中から特に重要だと思う項目を3つ選んで、その番号を記入してください。

人口減少対策に関して特に重要だと思うことについては、「⑨交野市内での働く場所の充実」の割合が29.4%と最も高く、次いで「⑤子どもが安心して暮らせる環境づくり」(29.1%)、「⑯防犯体制の整備と防災力の強化」(28.3%)、「②子育て世帯の経済的負担の軽減」(27.4%)、「④保育・教育環境の整備・充実」(22.9%)の順となっている。

性別では、男性は女性に比べ「⑪交野市の知名度向上」の割合が高く、女性は「⑤子どもが安心して暮らせる環境づくり」の割合が男性を上回っている。



年齢別では、29歳以下で「③妊娠・出産・子育てについて気軽に相談できる環境の整備」、30歳代で「②子育て世帯の経済的負担の軽減」「①待機児童の解消に向けた取り組み」、30～40歳代で「⑤子どもが安心して暮らせる環境づくり」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

子どもの有無別では、子どもがいる人は「⑤子どもが安心して暮らせる環境づくり」「②子育て世帯の経済的負担の軽減」「④保育・教育環境の整備・充実」の割合が高くなっている。

単位 (%)	く⑨ 場交 野の 市内 充実 での 働	く⑤ り暮 らら せも が環 境安 心づ し	と⑬ 防防 災犯 力の 制の 強の 化整 備	濟② 的子 負育 担て の世 帯帯 減の 経	の④ 整保 備育 ・充 実育 環環 境境	り⑭ り伝 組え みか るな た自 め然 のを 取守	向⑪ 上交 野の 市の 知名 度	わ⑬ いを 活か ・創 出した 歴史 に文	り⑧ 魅力 への 支る 援業 差づ した	に① 向待 けた 児童 の取 組組 み解 消消	進⑩ 移住 ・定 住の 促
全体(N=1023)	29.4	29.1	28.3	27.4	22.9	20.0	15.5	12.8	11.7	10.9	9.9
【年齢別】											
29歳以下(n=74)	32.4	21.6	18.9	41.9	35.1	12.2	12.2	8.1	8.1	16.2	9.5
30歳代(n=106)	21.7	37.7	18.9	55.7	39.6	7.5	13.2	6.6	4.7	25.5	5.7
40歳代(n=165)	25.5	37.0	35.2	37.6	33.9	21.2	13.3	11.5	12.1	13.9	9.7
50～64歳(n=251)	35.9	27.9	28.7	21.9	19.9	23.5	21.9	15.5	12.4	7.6	13.5
65～74歳(n=218)	28.0	27.1	35.8	19.7	16.1	24.3	13.8	12.4	13.3	9.6	9.2
75歳以上(n=204)	28.9	24.5	22.5	14.2	12.3	19.6	14.2	16.2	14.2	4.4	8.8
【子どもの有無別】											
あり(n=243)	25.9	41.2	27.2	48.1	38.3	13.2	12.3	9.9	9.1	15.2	9.1
なし(n=751)	30.5	25.8	28.9	21.4	18.2	22.1	16.9	14.1	12.9	9.7	10.3

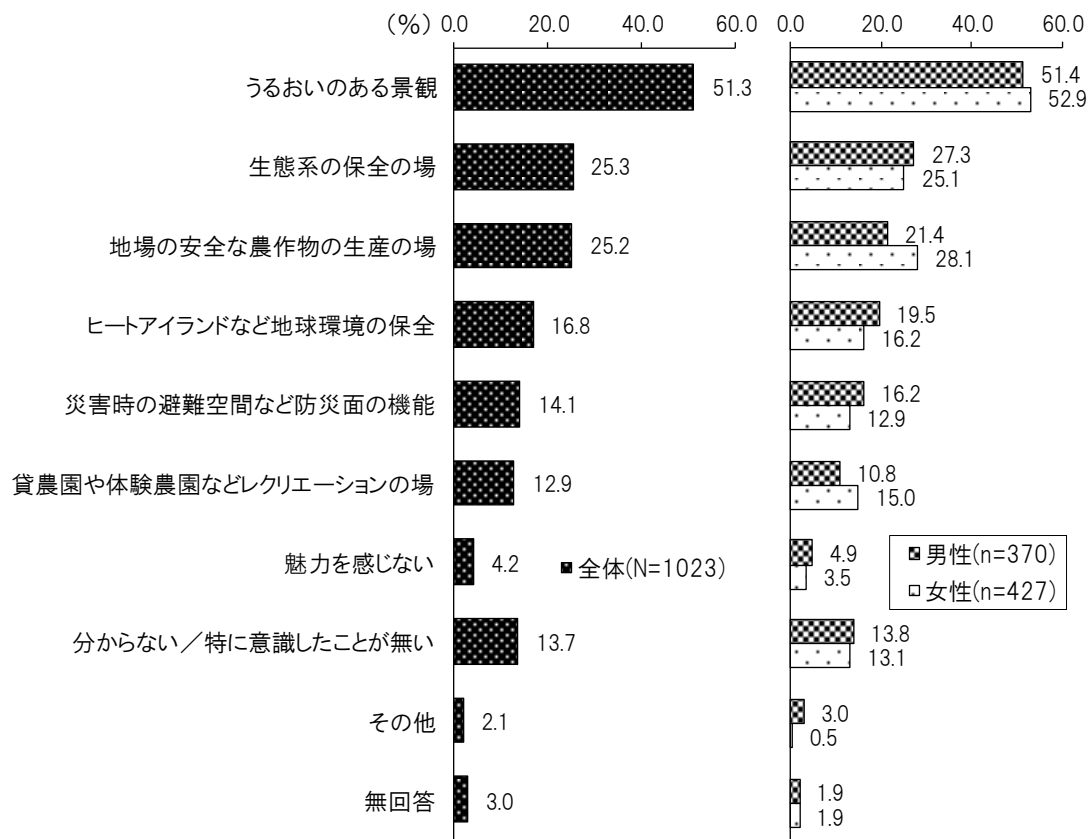
単位 (%)	の③ 育整 相妊 備談 に でつ ・出 きい る産 環気 ・子 境軽	す⑥ い起 環業 境・ の創 業業 備し や	う⑦ 取業 りを 組知 みつ てや も地 ら元	の⑮ 市と まち づく り民 の協 働	の⑫ 増観 加光 ・交 流人 口
全体(N=1023)	9.6	9.6	8.1	6.8	6.3
【年齢別】					
29歳以下(n=74)	23.0	6.8	5.4	5.4	8.1
30歳代(n=106)	14.2	9.4	5.7	3.8	6.6
40歳代(n=165)	6.1	9.1	7.9	4.2	7.9
50～64歳(n=251)	6.8	10.0	9.2	5.2	5.6
65～74歳(n=218)	9.2	12.4	8.3	10.1	6.4
75歳以上(n=204)	8.8	7.4	9.3	9.8	4.9
【子どもの有無別】					
あり(n=243)	10.3	7.0	4.9	5.8	5.3
なし(n=751)	9.6	10.4	9.3	7.1	6.5

7 「みどり」の空間の魅力について

問 14 本市では、まちなかや住宅地などの近くに「みどり※」の空間があります。こうした「みどり」の空間のどのような点が魅力だと思いますか。
 (2つまで○印)
 ※みどり … 農地、樹林地、河川などの水辺地 などのことを指します。

「みどり」の空間の魅力については、「うるおいのある景観」の割合が 51.3%と最も高く、次いで「生態系の保全の場」(25.3%)、「地場の安全な農作物の生産の場」(25.2%)、「ヒートアイランドなど地球環境の保全」(16.8%)、「災害時の避難空間など防災面の機能」(14.1%)の順となっている。

性別では、女性は男性に比べ「地場の安全な農作物の生産の場」の割合が高くなっている。



年齢別では、40歳代で「地場の安全な農作物の生産の場」、65歳以上で「災害時の避難空間など防災面の機能」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

地域別では、ほしだ地域で「うるおいのある景観」、こうづ地域で「分からない／特に意識したことが無い」の割合がそれぞれ他の地域に比べて高くなっている。

子どもの有無別では、子どもがいる人は「うるおいのある景観」の割合が高くなっている。

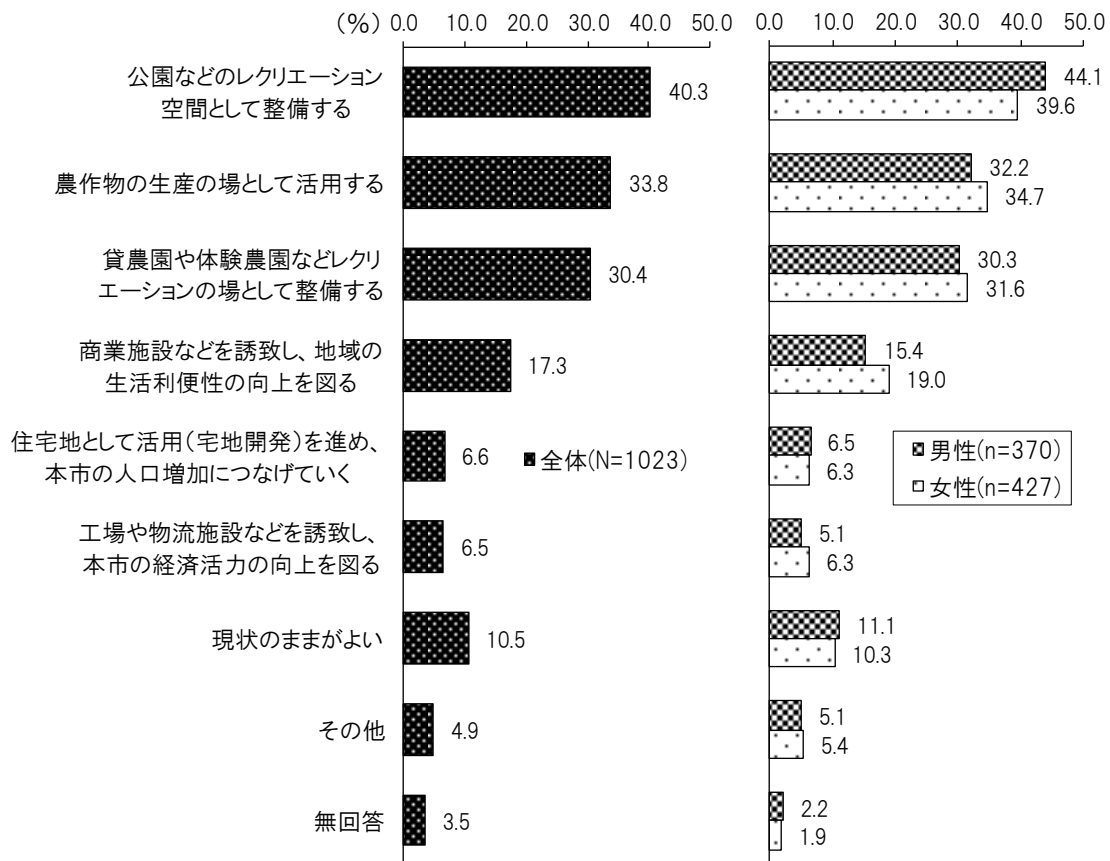
単位(%)	うるおいのある景観	生態系の保全の場	産地の安全な農作物の生産の場	地球環境の保全	ヒートアイランドなど地	災害時の避難空間など防災面の機能	貸農園や体験農園などレクリエーションの場	魅力を感じない	分からない／特に意識したことが無い	その他
全体(N=1023)	51.3	25.3	25.2	16.8	14.1	12.9	4.2	13.7	2.1	
【年齢別】										
29歳以下(n=74)	60.8	31.1	23.0	21.6	2.7	6.8	1.4	10.8	4.1	
30歳代(n=106)	62.3	18.9	26.4	11.3	9.4	16.0	2.8	13.2	0.9	
40歳代(n=165)	52.7	33.3	30.9	14.5	10.3	15.2	3.0	15.2	1.8	
50～64歳(n=251)	57.8	31.1	24.3	17.9	9.2	13.1	6.0	12.4	1.6	
65～74歳(n=218)	46.8	20.6	20.6	20.2	21.1	11.9	5.0	15.1	1.8	
75歳以上(n=204)	38.7	18.1	26.0	15.2	22.5	12.7	3.9	14.2	2.9	
【地域別】										
くらじ地域(n=122)	46.7	27.0	29.5	18.0	14.8	13.9	3.3	13.1	0.0	
こうづ地域(n=172)	41.9	19.2	23.3	18.6	16.3	12.2	4.1	20.9	0.6	
きさべ地域(n=252)	51.6	25.8	23.0	12.7	13.1	12.7	5.6	15.9	2.8	
ほしだ地域(n=321)	57.6	26.5	25.2	18.7	13.7	10.9	3.1	9.3	3.4	
いわふね地域(n=150)	52.7	28.0	28.7	16.7	14.0	17.3	5.3	11.3	0.7	
【子どもの有無別】										
あり(n=243)	56.4	26.3	28.4	14.0	11.1	15.2	3.7	14.4	2.1	
なし(n=751)	50.7	25.4	24.4	18.1	15.3	12.5	4.3	12.8	2.1	

8 「みどり」の空間の活用方法

問 15 今後、「みどり」の空間はどのように活用されていくことが望ましいと思いますか。（2つまで○印）

「みどり」の空間の活用方法については、「公園などのレクリエーション空間として整備する」の割合が40.3%と最も高く、次いで「農作物の生産の場として活用する」(33.8%)、「貸農園や体験農園などレクリエーションの場として整備する」(30.4%)、「商業施設などを誘致し、地域の生活利便性の向上を図る」(17.3%)の順となっている。一方、「現状のままがよい」は10.5%となっている。

性別では、男性は女性に比べ「公園などのレクリエーション空間として整備する」の割合がやや高くなっている。



年齢別では、30歳代で「公園などのレクリエーション空間として整備する」の割合が他の年齢層に比べてやや高くなっている。

地域別では、こうづ地域やきさべ地域で「公園などのレクリエーション空間として整備する」の割合が他の地域に比べて高くなっている。

子どもの有無別では、子どもがいる人は「公園などのレクリエーション空間として整備する」の割合が高くなっている。

単位(%)	公園などのレクリエーション空間として整備する	農作物の生産の場として活用する	貸農園や体験農園などのレクリエーション	地域の生活利便性の向上を図る	商業施設などを誘致し、地域活性化を図る	開発を進めて活用(宅地)	住宅地と市街地を誘致する	工場や物流施設などを誘致する	現状のままだよい	その他
全体(N=1023)	40.3	33.8	30.4	17.3	6.6	6.5	10.5	4.9		
【年齢別】										
29歳以下(n=74)	29.7	32.4	29.7	21.6	5.4	1.4	14.9	8.1		
30歳代(n=106)	49.1	30.2	31.1	24.5	7.5	2.8	11.3	3.8		
40歳代(n=165)	43.0	37.0	37.0	18.2	6.7	9.1	6.7	6.1		
50～64歳(n=251)	39.0	34.3	33.9	13.9	4.4	5.2	13.1	4.8		
65～74歳(n=218)	45.0	29.4	27.5	16.1	8.3	6.9	12.4	4.1		
75歳以上(n=204)	34.8	37.7	24.0	17.2	7.8	9.8	6.4	3.9		
【地域別】										
くらじ地域(n=122)	36.1	32.0	32.8	23.8	7.4	4.9	12.3	8.2		
こうづ地域(n=172)	44.2	26.7	32.6	20.3	5.2	8.7	8.1	3.5		
きさべ地域(n=252)	44.0	35.7	33.3	14.7	7.9	6.3	8.3	3.2		
ほしだ地域(n=321)	39.3	34.3	25.9	16.2	6.5	6.5	12.8	5.9		
いわふね地域(n=150)	35.3	39.3	31.3	15.3	6.0	6.0	10.7	3.3		
【子どもの有無別】										
あり(n=243)	50.6	32.9	34.6	18.5	7.4	4.5	8.2	4.9		
なし(n=751)	37.0	34.6	28.9	17.3	6.7	7.2	11.3	4.9		

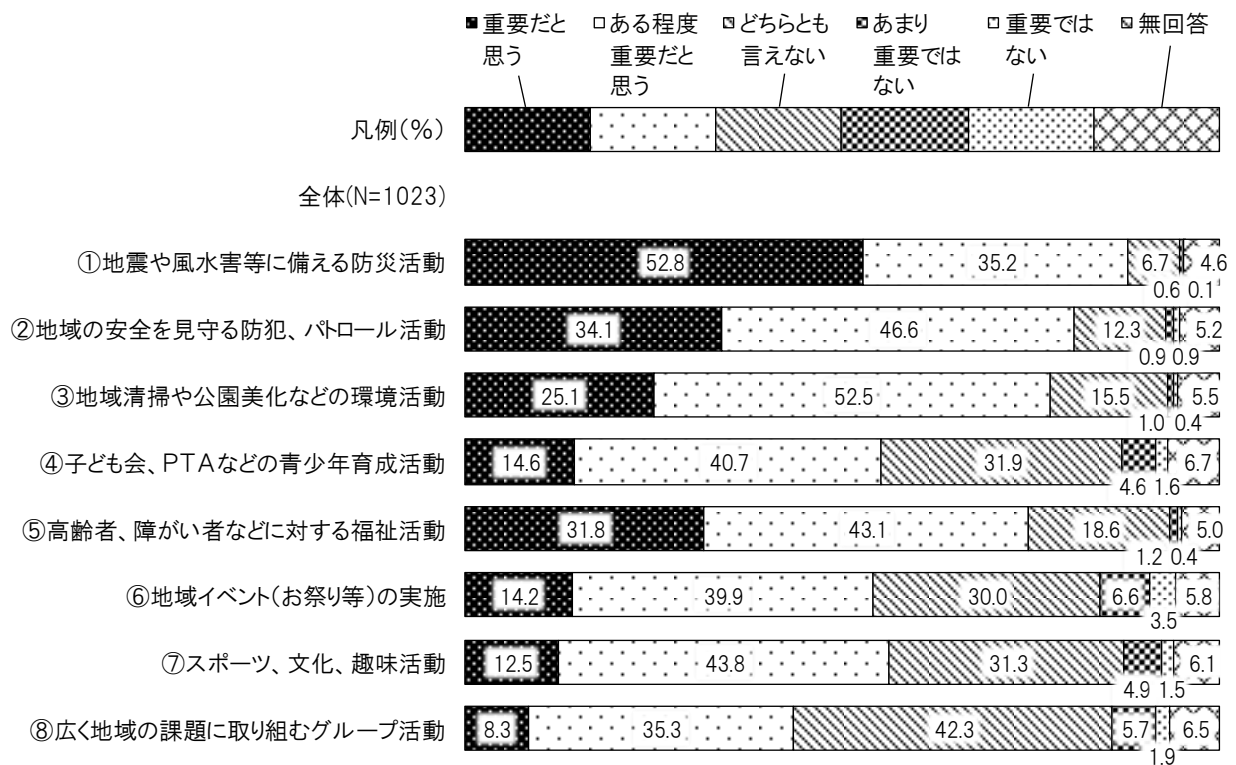
9 地域コミュニティ活動の重要度と参加意向

問 16 本市では、地域の中での暮らしの支え合いや生活環境の向上のため、次に挙げるような様々な地域コミュニティ活動が行われています。これらの活動の重要度と今後の参加意向についてお答えください。（それぞれ1つに○印）

<重要度について>

重要度については、「重要だと思う」の割合が高い順に「①地震や風水害等に備える防災活動」（52.8%）、「②地域の安全を見守る防犯、パトロール活動」（34.1%）、「⑤高齢者、障がい者などに対する福祉活動」（31.8%）、「③地域清掃や公園美化などの環境活動」（25.1%）となっている。

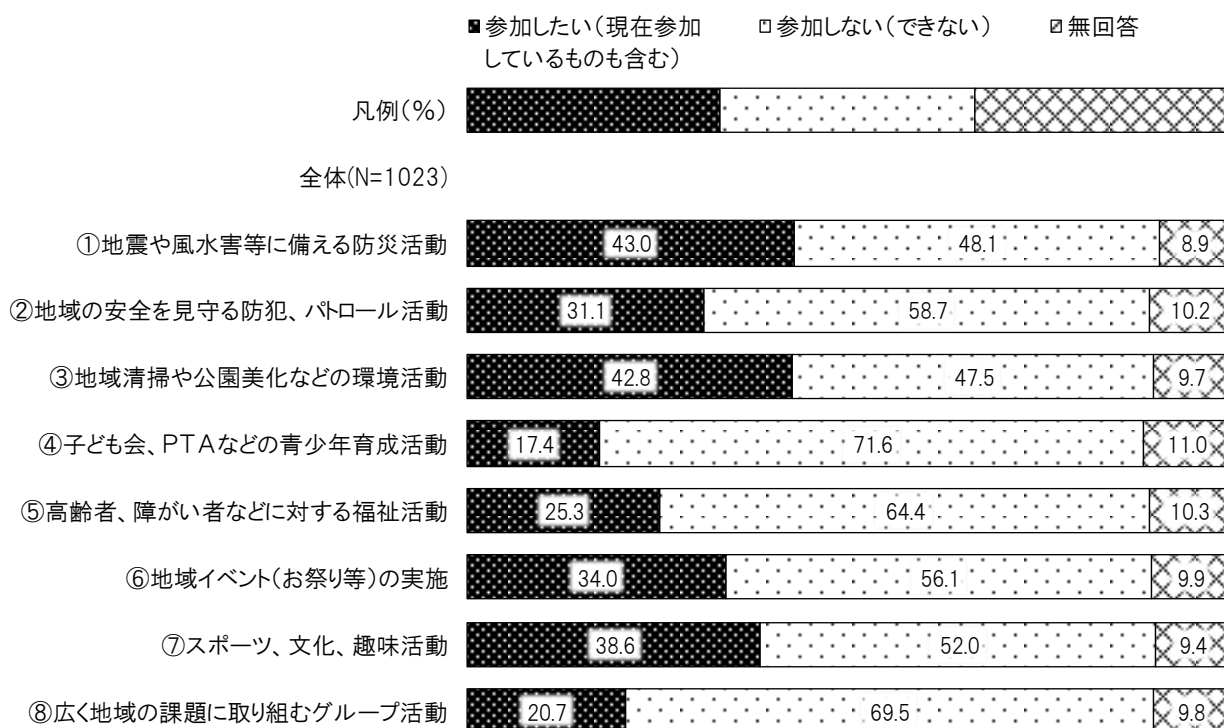
一方、「重要ではない」「あまり重要ではない」の合計割合が高い順に「⑥地域イベント（お祭り等）の実施」（10.1%）、「⑧広く地域の課題に取り組むグループ活動」（7.6%）となっている。



＜今後の参加意向＞

今後の参加意向については、「参加したい（現在参加しているものも含む）」の割合が高い順に「①地震や風水害等に備える防災活動」（43.0%）、「③地域清掃や公園美化などの環境活動」（42.8%）、「⑦スポーツ、文化、趣味活動」（38.6%）、「⑥地域イベント（お祭り等）の実施」（34.0%）、「②地域の安全を見守る防犯、パトロール活動」（31.1%）となっている。

一方、「参加しない（できない）」の割合が高い順に「④子ども会、PTAなどの青少年育成活動」（71.6%）、「⑧広く地域の課題に取り組むグループ活動」（69.5%）、「⑤高齢者、障がい者などに対する福祉活動」（64.4%）となっている。



①地震や風水害等に備える防災活動

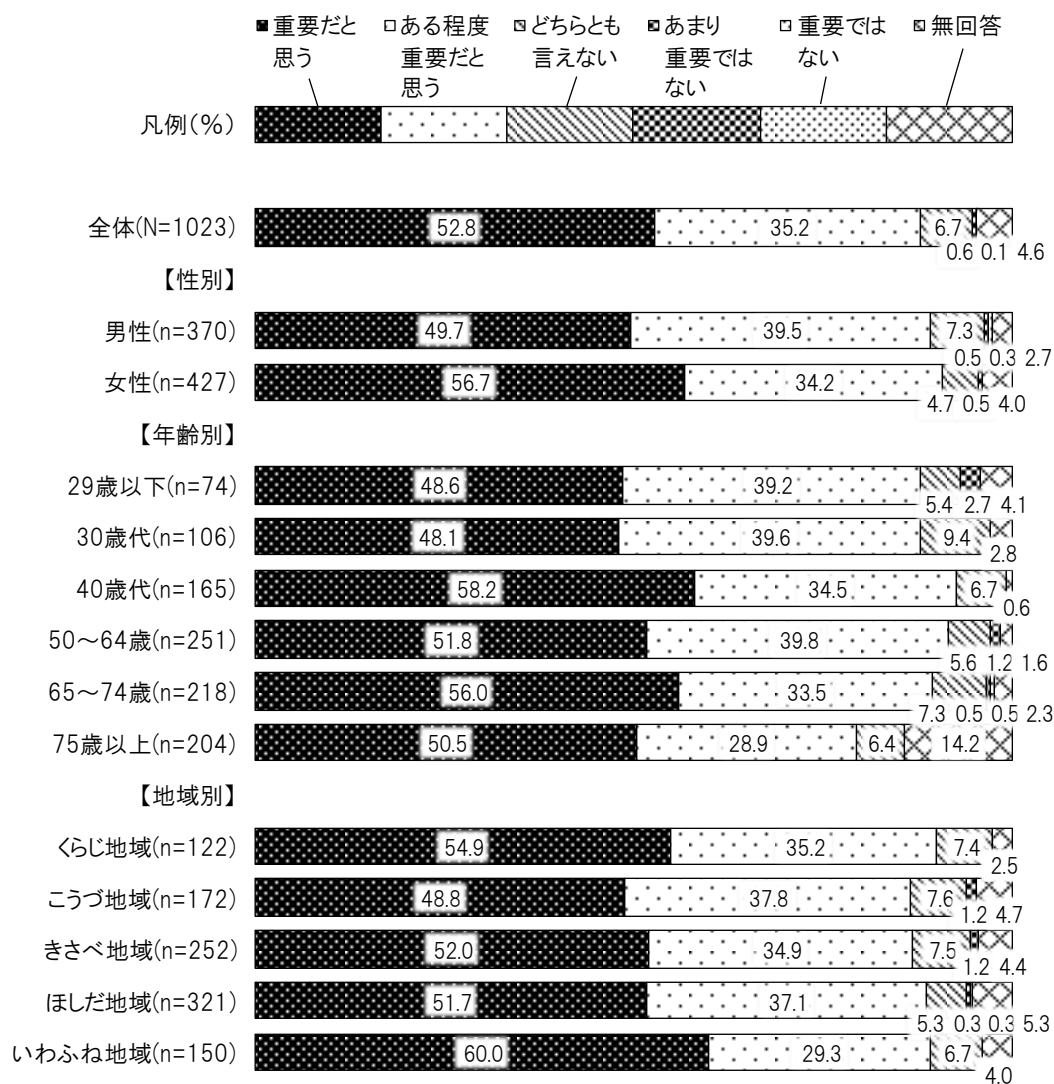
<重要度について>

「地震や風水害等に備える防災活動」については、「重要だと思う」が52.8%、「ある程度重要だと思う」が35.2%で、合計88.0%が『重要だと思う』と回答している。

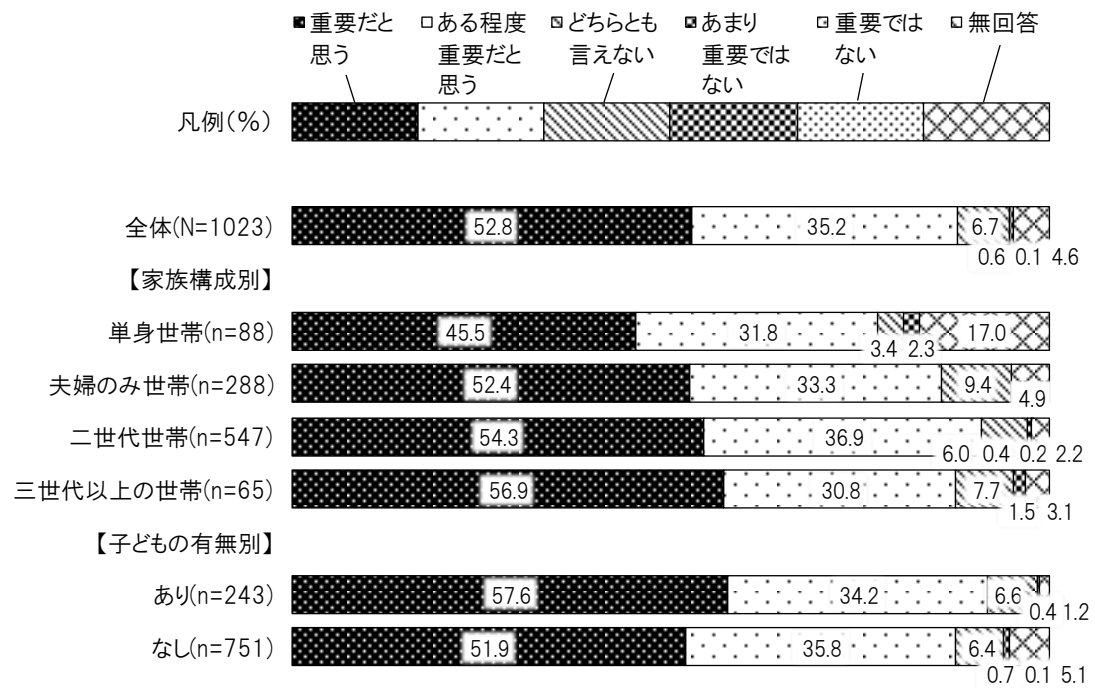
性別では、女性は男性に比べ「重要だと思う」の割合が高くなっている。

年齢別では、40歳代や65～74歳で「重要だと思う」の割合が他の年齢層に比べて高くなっている。

地域別では、いわふね地域で「重要だと思う」の割合が他の地域に比べて高くなっている。



家族構成別では、単身世帯で「重要だと思う」の割合が低くなっている。
 子どもの有無別では、子どもがいる人は「重要だと思う」の割合が高くなっている。

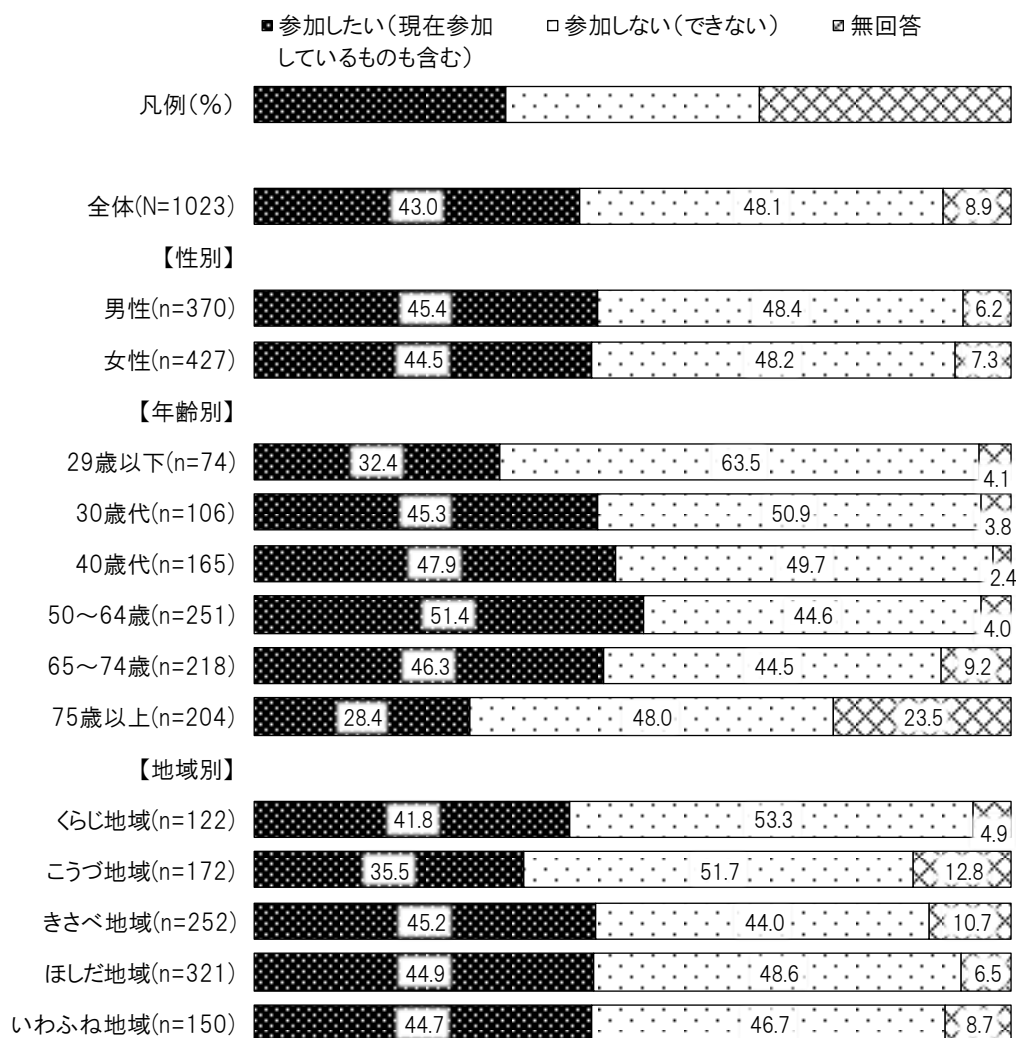


＜今後の参加意向＞

「地震や風水害等に備える防災活動」については、「参加したい（現在参加しているものも含む）」が43.0%、「参加しない（できない）」が48.1%となっている。

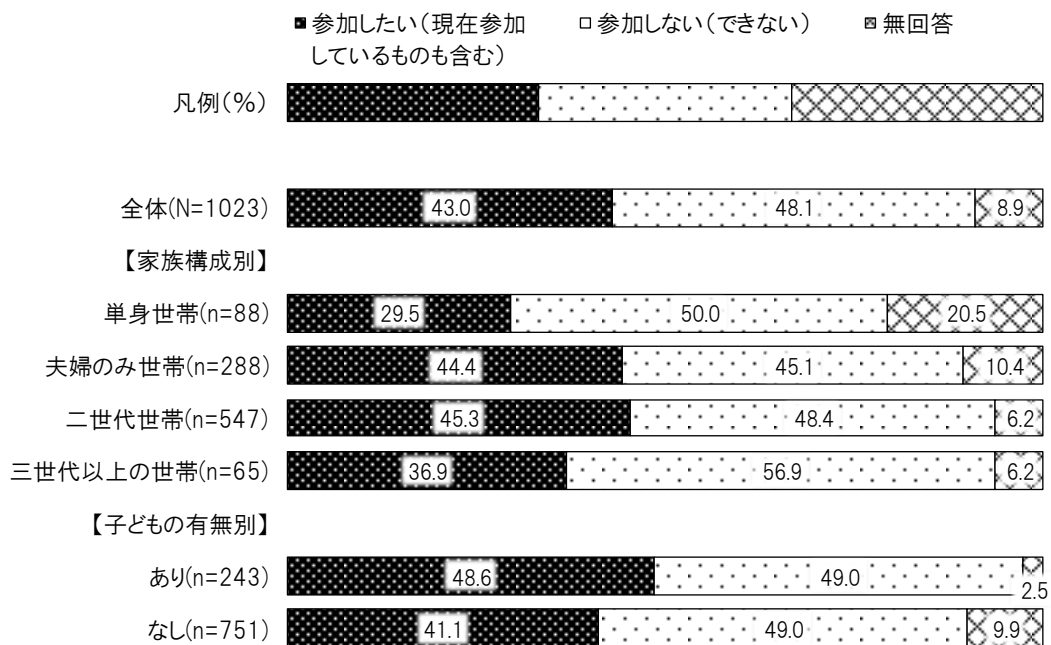
性別では大きな差はみられないが、年齢別では29歳以下で「参加しない（できない）」の割合が他の年齢層を大きく上回っている。

地域別では、こうづ地域で「参加したい（現在参加しているものも含む）」の割合が他の地域に比べて低くなっている。



家族構成別では、夫婦のみ世帯や二世帯世帯で「参加したい（現在参加しているものも含む）」、三世帯以上の世帯で「参加しない（できない）」の割合がそれぞれ高くなっている。

子どもの有無別では、子どもがいる人は「参加したい（現在参加しているものも含む）」の割合が高くなっている。



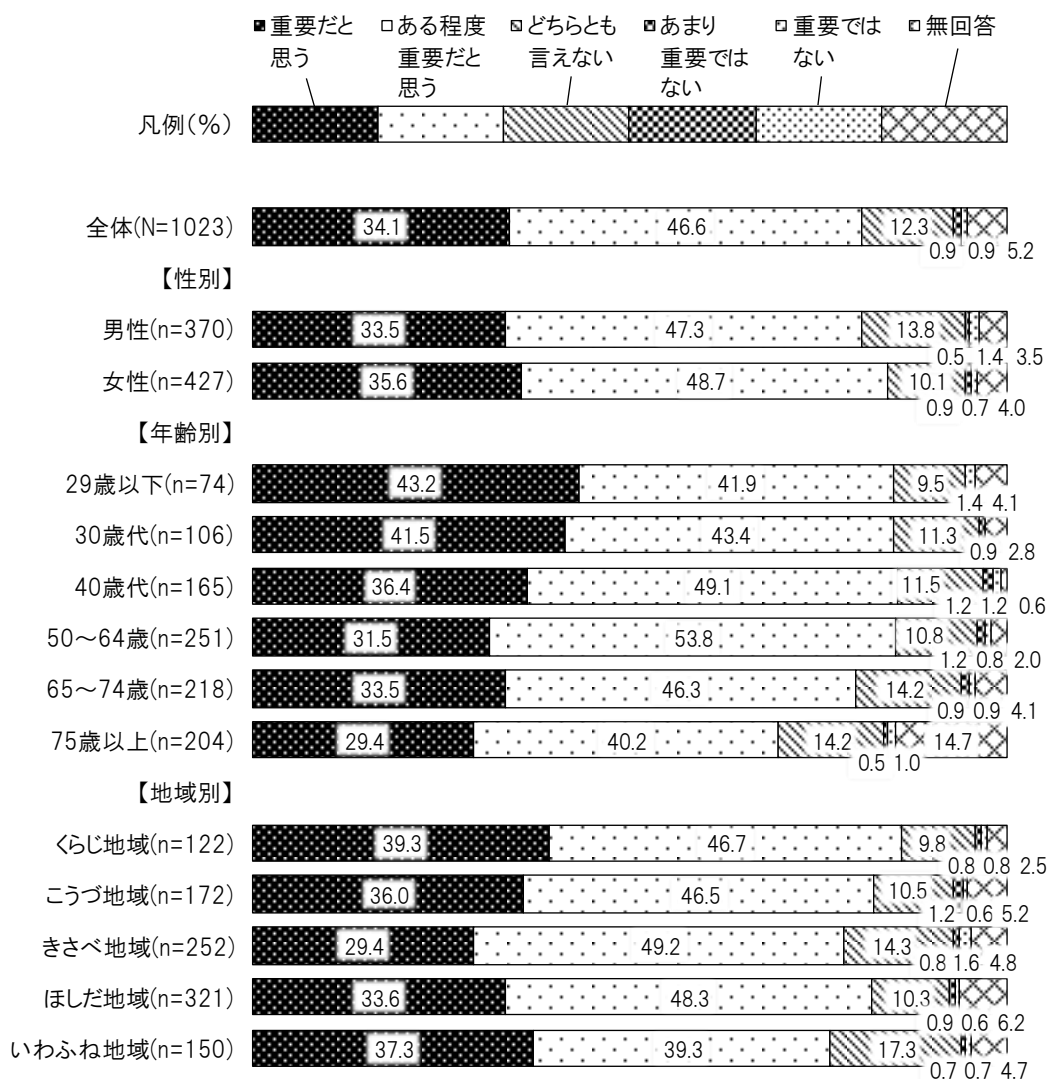
②地域の安全を見守る防犯、パトロール活動

<重要度について>

「地域の安全を見守る防犯、パトロール活動」については、「重要だと思う」が34.1%、「ある程度重要だと思う」が46.6%で、合計80.7%が『重要だと思う』と回答している。

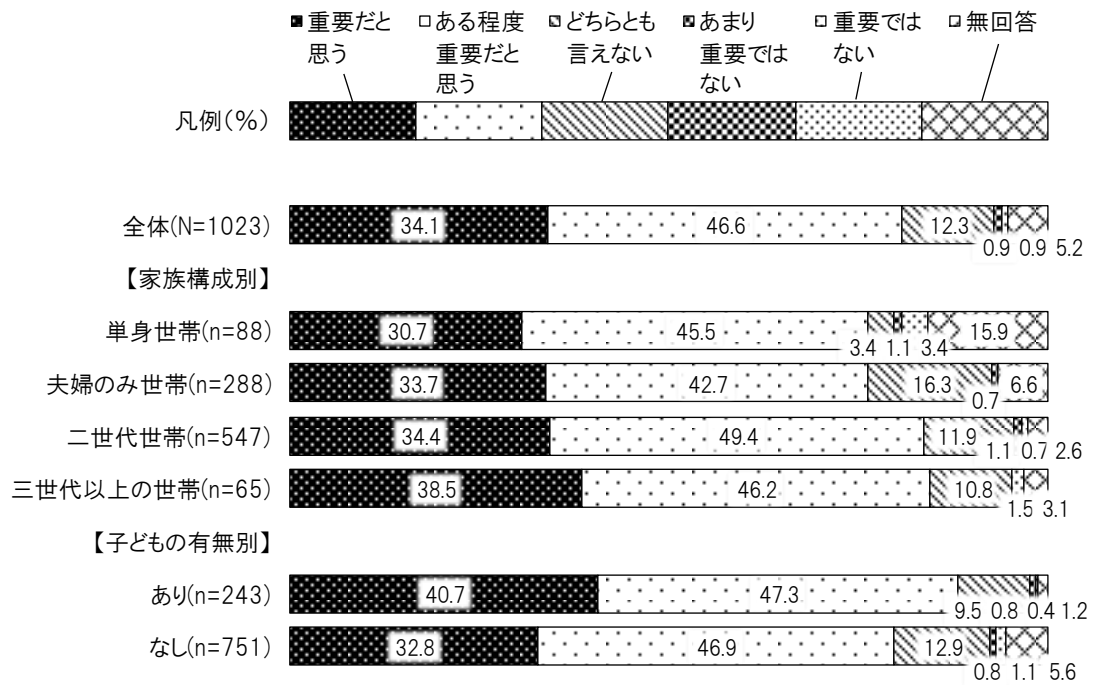
性別では大きな差はみられないが、年齢別では、おおむね若い年齢層ほど「重要だと思う」の割合が高くなる傾向にある。

地域別では、大きな差はみられない。



家族構成別では、二世世代世帯や三世代以上の世帯で『重要だと思う（合計）』の割合が高くなっている。

子どもの有無別では、子どもがいる人は「重要だと思う」の割合が高くなっている。

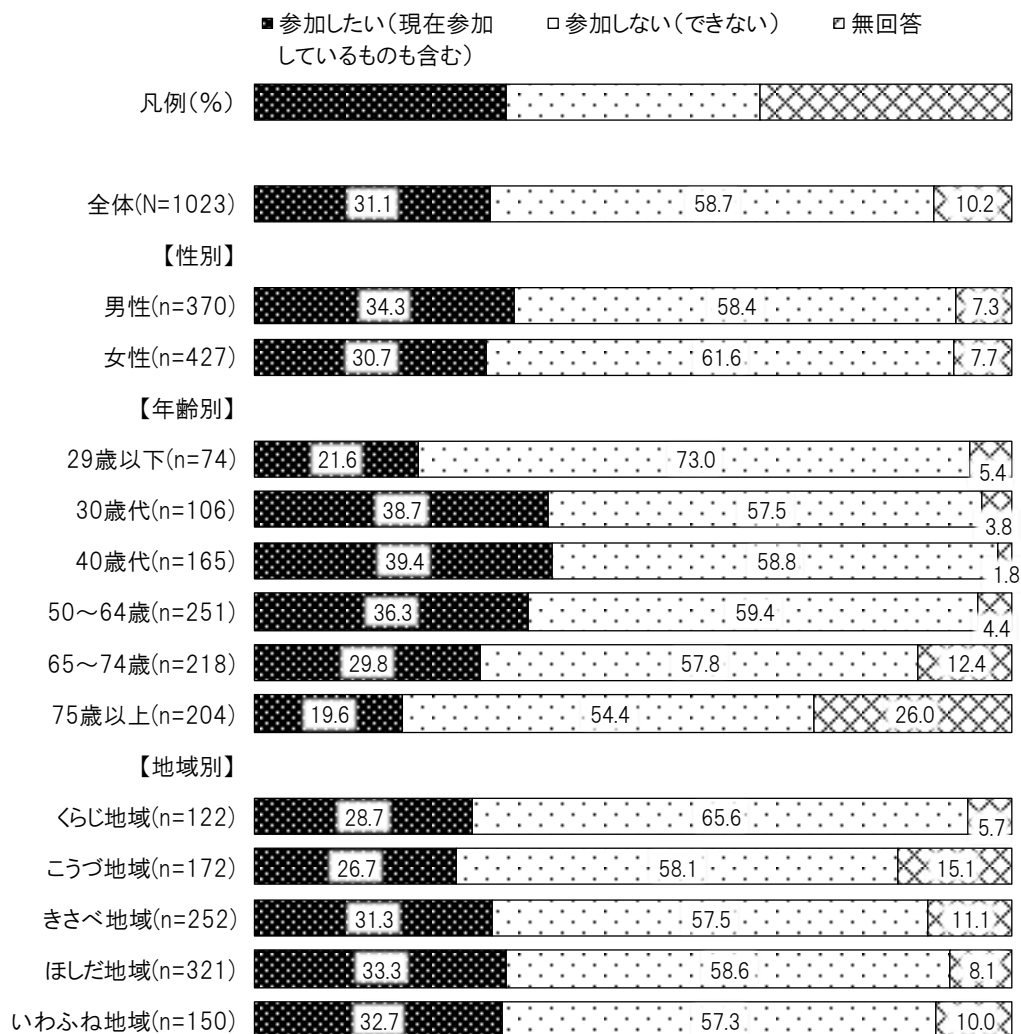


＜今後の参加意向＞

「地域の安全を見守る防犯、パトロール活動」については、「参加したい（現在参加しているものも含む）」が31.1%、「参加しない（できない）」が58.7%となっている。

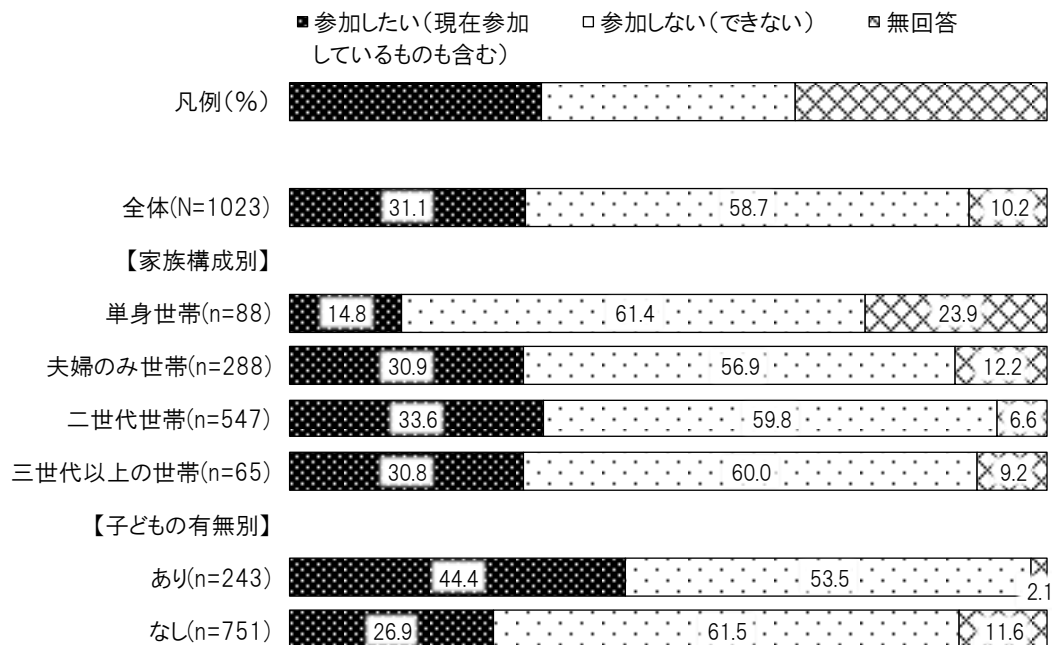
性別では大きな差はみられないが、年齢別では29歳以下で「参加しない（できない）」の割合が他の年齢層を大きく上回っている。

地域別では、くらし地域で「参加しない（できない）」の割合が他の地域に比べて高くなっている。



家族構成別では、単身世帯で「参加したい（現在参加しているものも含む）」の割合が低くなっている。

子どもの有無別では、子どもがいる人は「参加したい（現在参加しているものも含む）」の割合が高くなっている。



③地域清掃や公園美化などの環境活動

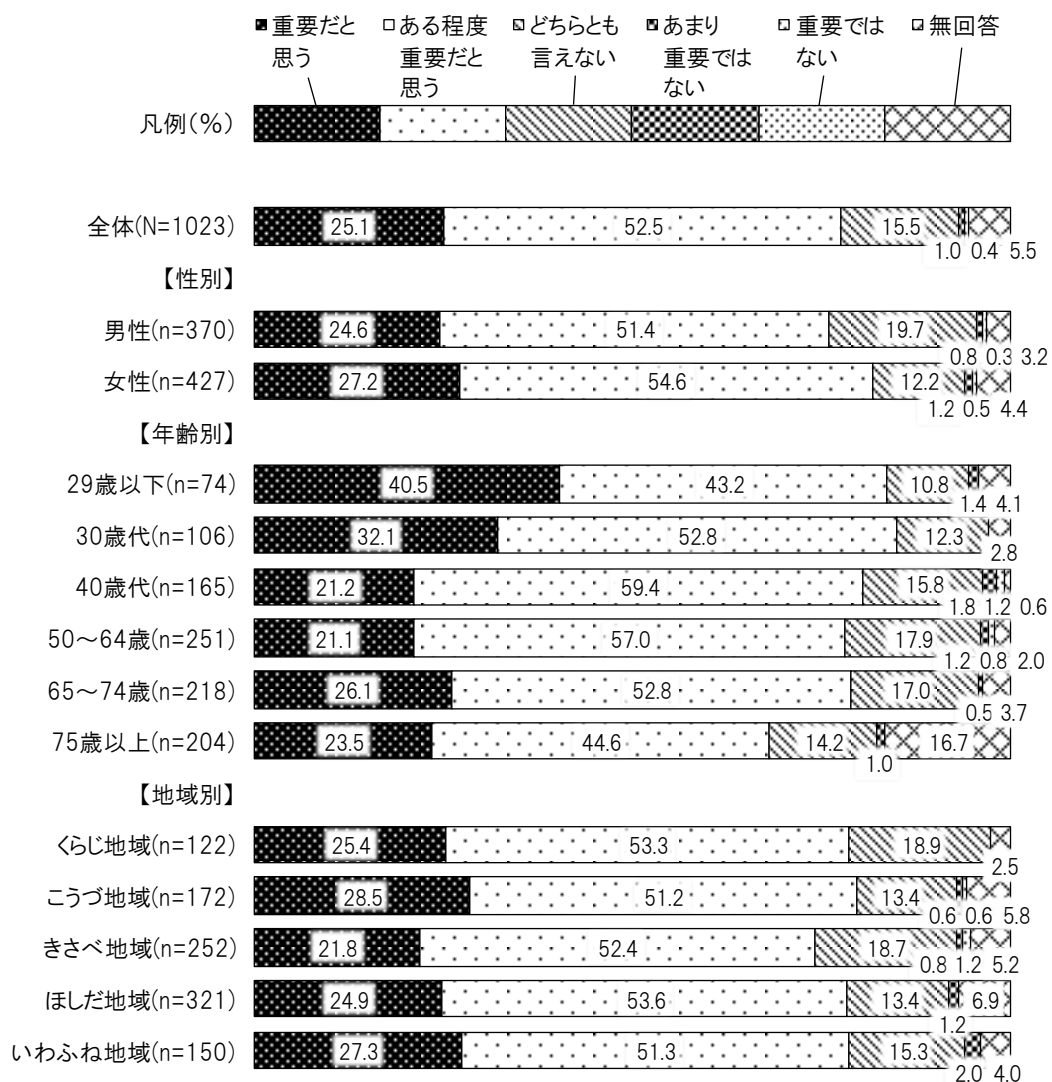
<重要度について>

「地域清掃や公園美化などの環境活動」については、「重要だと思う」が25.1%、「ある程度重要だと思う」が52.5%で、合計77.6%が『重要だと思う』と回答している。

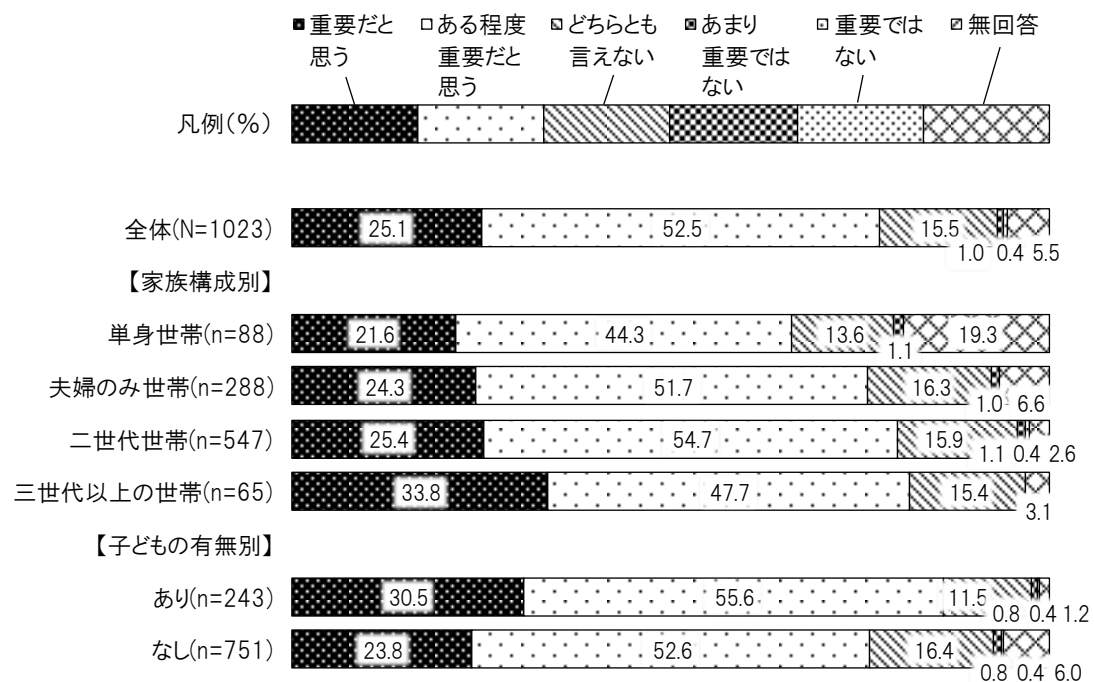
性別では、女性は男性に比べ『重要だと思う（合計）』の割合が高くなっている。

年齢別では、29歳以下で「重要だと思う」の割合が他の年齢層に比べて高くなっている。

地域別では、大きな差はみられない。



家族構成別では、三世代以上の世帯で「重要だと思う」の割合が高くなっている。
 子どもの有無別では、子どもがいる人は「重要だと思う」の割合が高くなっている。



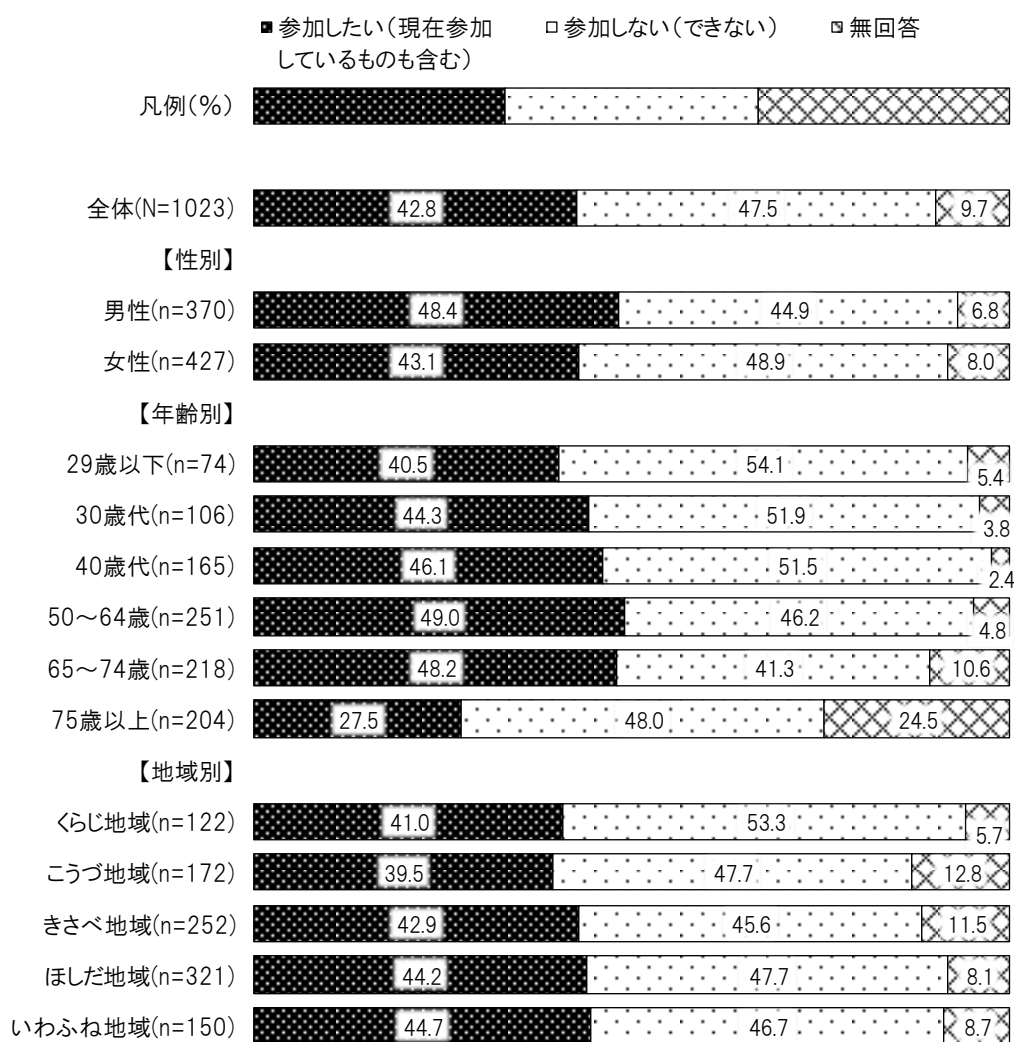
＜今後の参加意向＞

「地域清掃や公園美化などの環境活動」については、「参加したい（現在参加しているものも含む）」が42.8%、「参加しない（できない）」が47.5%となっている。

性別では、男性は女性に比べ「参加したい（現在参加しているものも含む）」の割合が高くなっている。

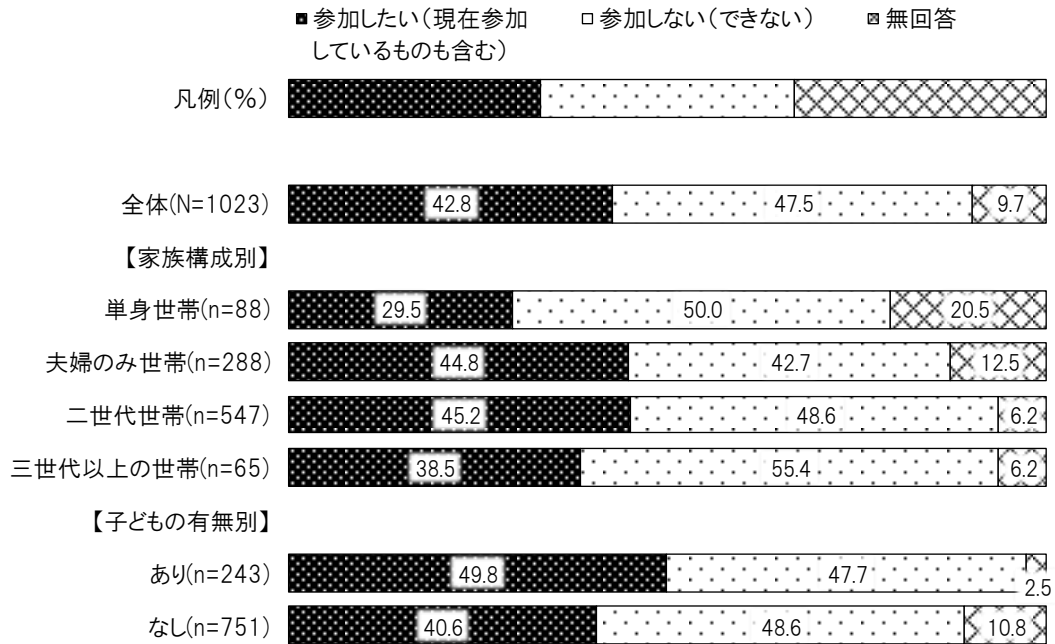
年齢別では、75歳以上で「参加したい（現在参加しているものも含む）」の割合が他の年齢層に比べて低くなっている。

地域別では、くらし地域で「参加しない（できない）」の割合が他の地域に比べて高くなっている。



家族構成別では、夫婦のみ世帯や二世世代世帯で「参加したい（現在参加しているものも含む）」の割合が高くなっている。

子どもの有無別では、子どもがいる人は「参加したい（現在参加しているものも含む）」の割合が高くなっている。



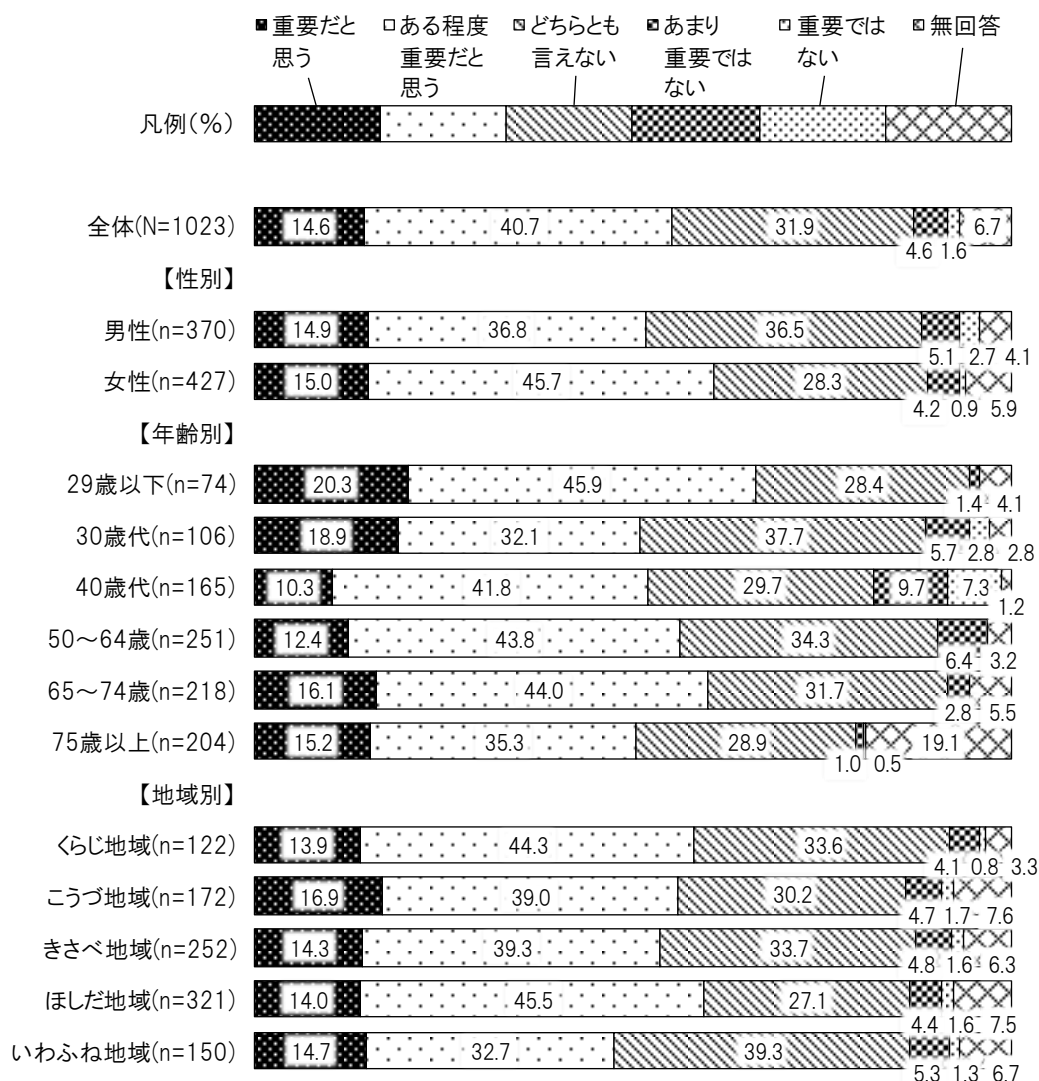
④子ども会、PTAなどの青少年育成活動 ＜重要度について＞

「子ども会、PTAなどの青少年育成活動」については、「重要だと思う」が14.6%、「ある程度重要だと思う」が40.7%で、合計55.3%が『重要だと思う』と回答している。

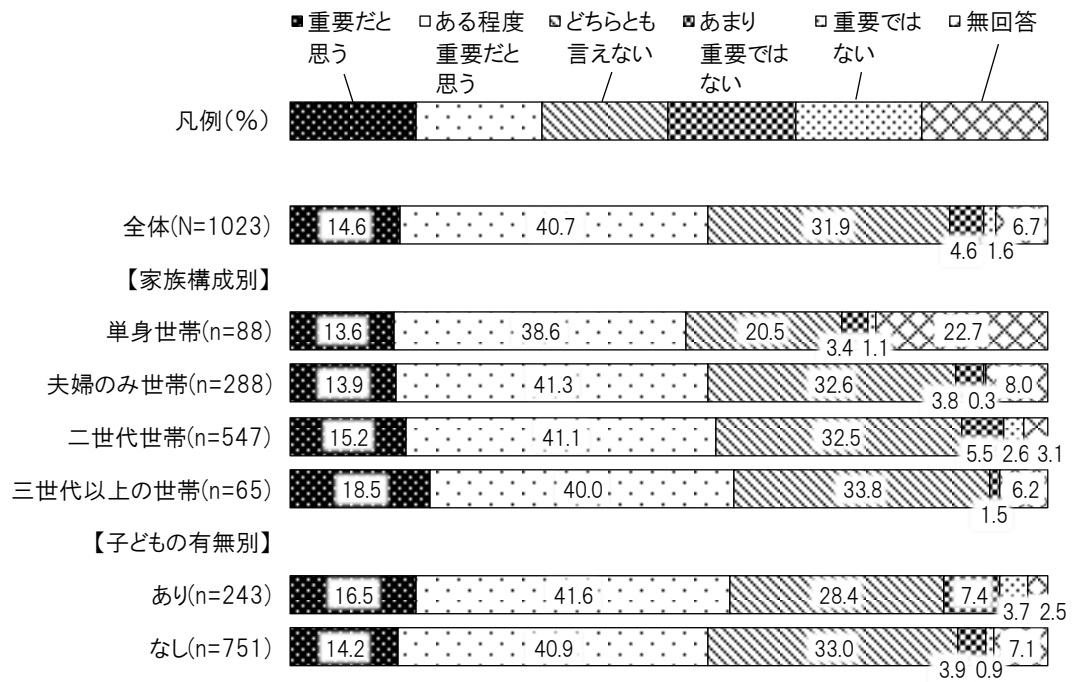
性別では、女性は男性に比べ「ある程度重要だと思う」の割合が高くなっている。

年齢別では、29歳以下で『重要だと思う（合計）』の割合が他の年齢層に比べて高くなっている。

地域別では、いわふね地域で「どちらとも言えない」の割合が他の地域に比べて高くなっている。



家族構成別や子どもの有無別では、大きな差はみられない。

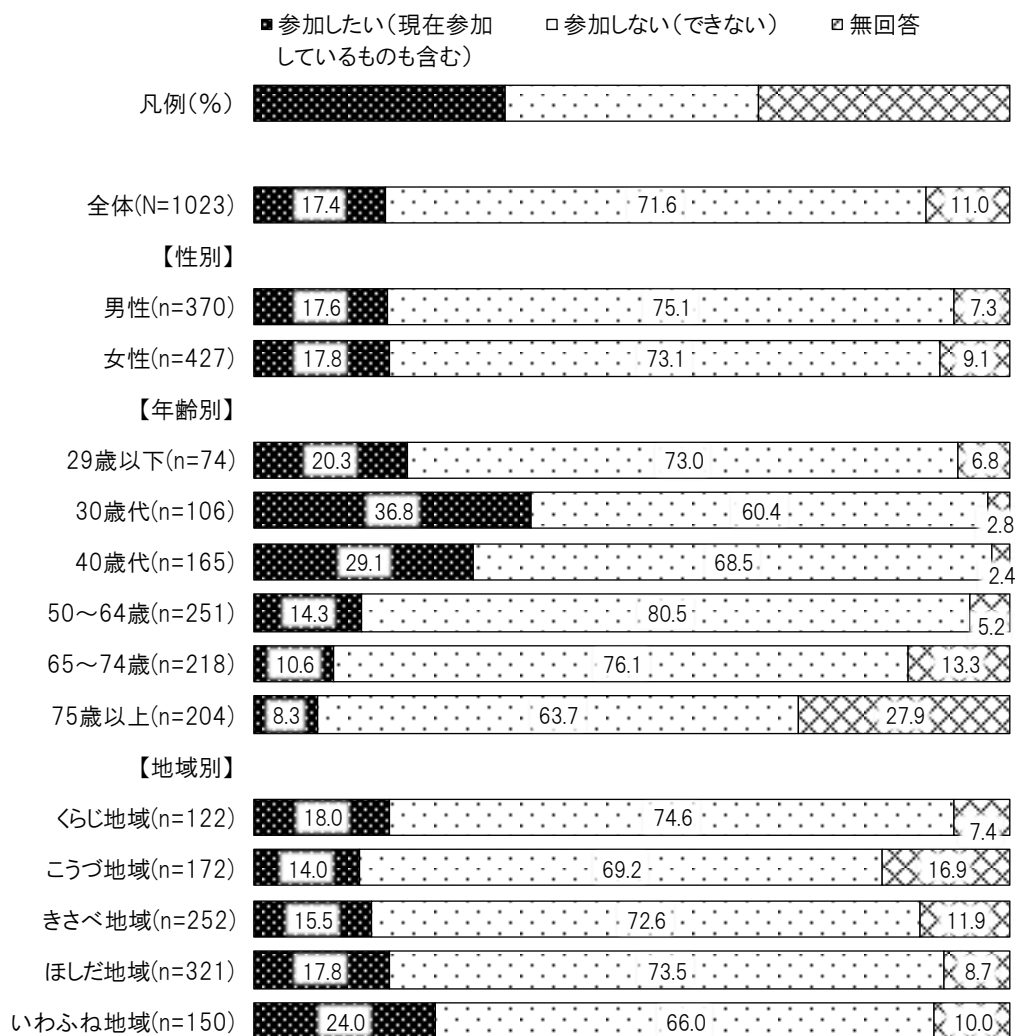


＜今後の参加意向＞

「子ども会、PTAなどの青少年育成活動」については、「参加したい（現在参加しているものも含む）」が17.4%、「参加しない（できない）」が71.6%となっている。

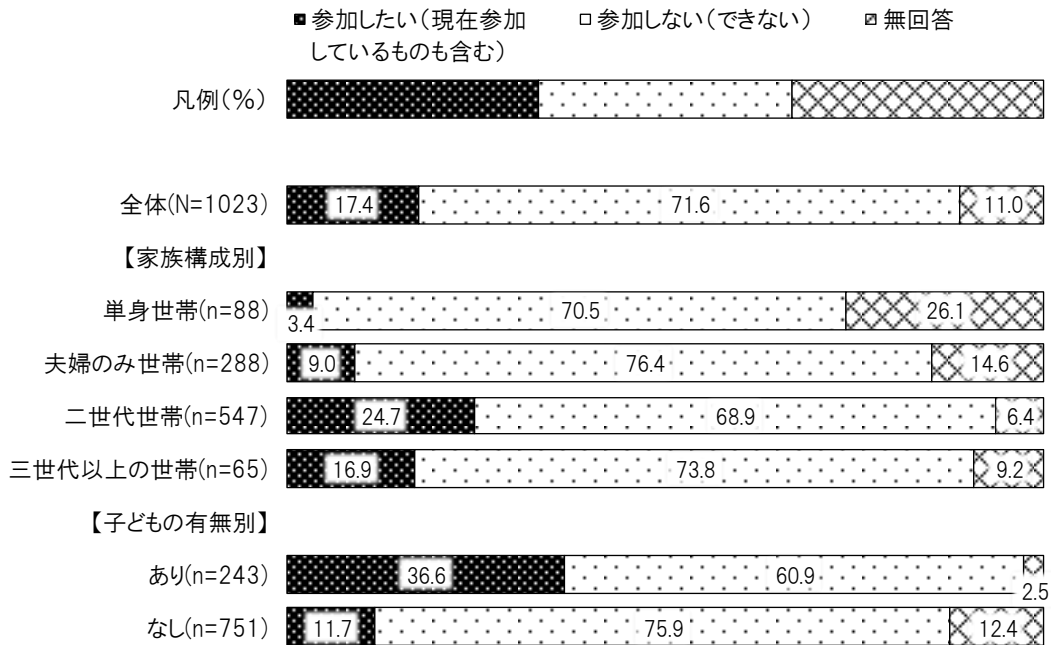
性別では大きな差はみられないが、年齢別では30～40歳代で「参加したい（現在参加しているものも含む）」の割合が他の年齢層を大きく上回っている。

地域別では、いわふね地域で「参加したい（現在参加しているものも含む）」の割合が他の地域に比べて高くなっている。



家族構成別では、二世帯世帯で「参加したい（現在参加しているものも含む）」の割合が高くなっている。

子どもの有無別では、子どもがいる人は「参加したい（現在参加しているものも含む）」の割合が高くなっている。



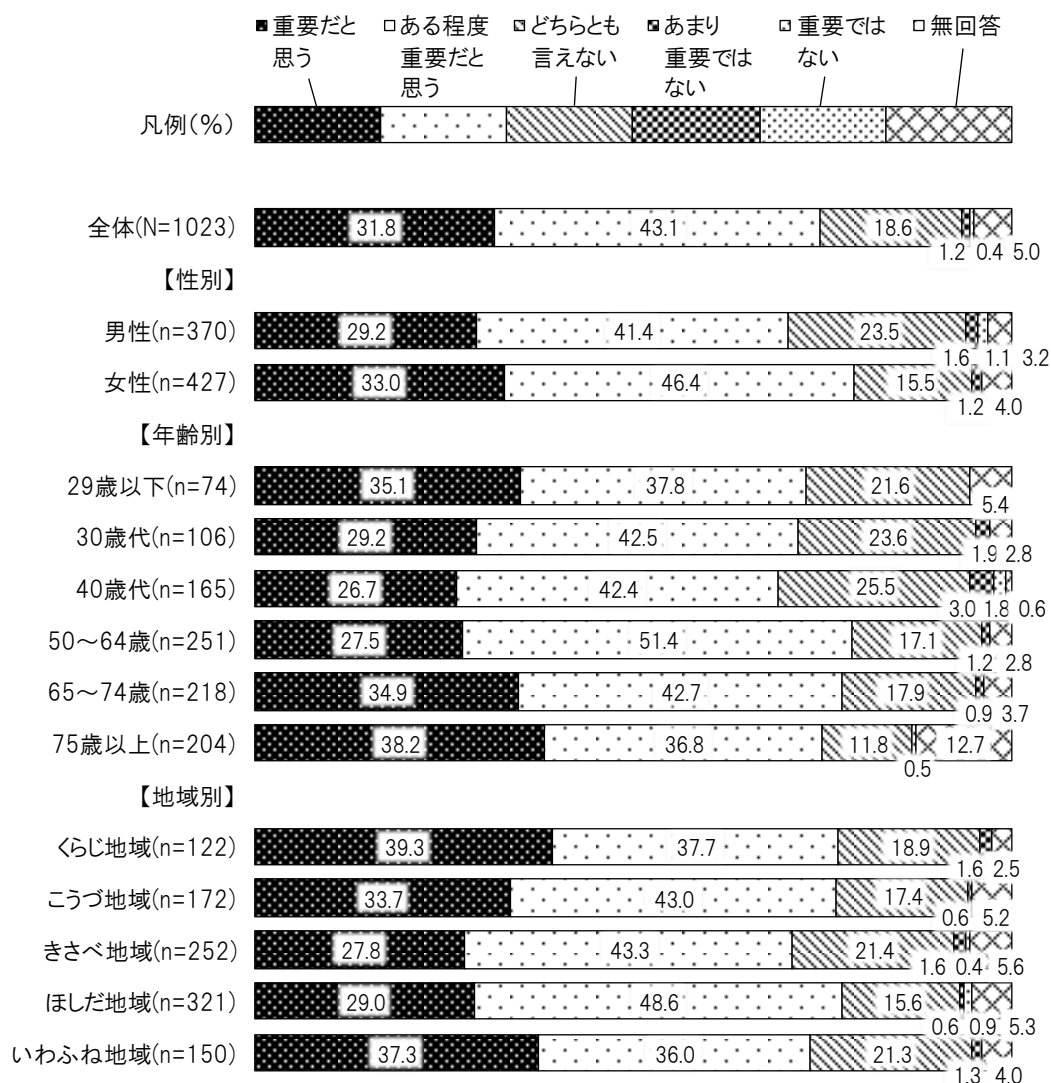
⑤高齢者、障がい者などに対する福祉活動 ＜重要度について＞

「高齢者、障がい者などに対する福祉活動」については、「重要だと思う」が 31.8%、「ある程度重要だと思う」が 43.1%で、合計 74.9%が『重要だと思う』と回答している。

性別では、女性は男性に比べ『重要だと思う（合計）』の割合が高くなっている。

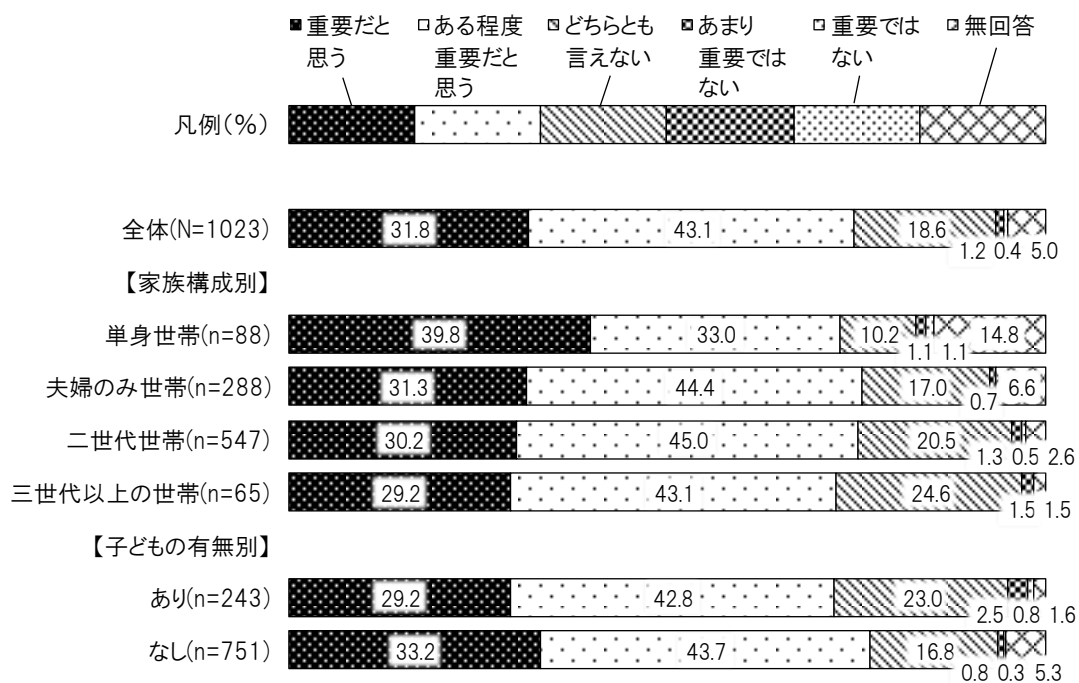
年齢別では、29歳以下や65歳以上で「重要だと思う」の割合が他の年齢層に比べて高くなっている。

地域別では、くらじ地域やいわふね地域で「重要だと思う」の割合が他の地域に比べて高くなっている。



家族構成別では、単身世帯で「重要だと思う」の割合が高くなっている。

子どもの有無別では、子どもがいない人は『重要だと思う（合計）』の割合が高くなっている。

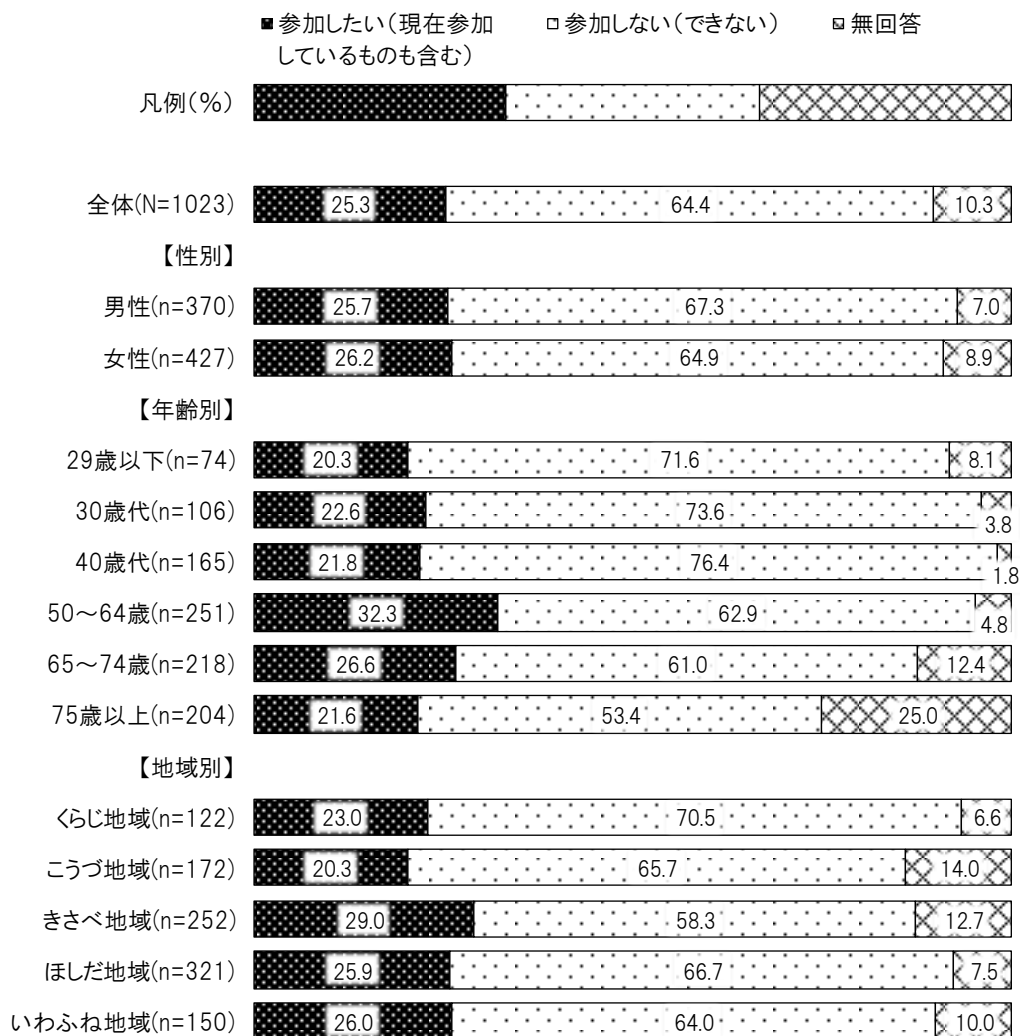


＜今後の参加意向＞

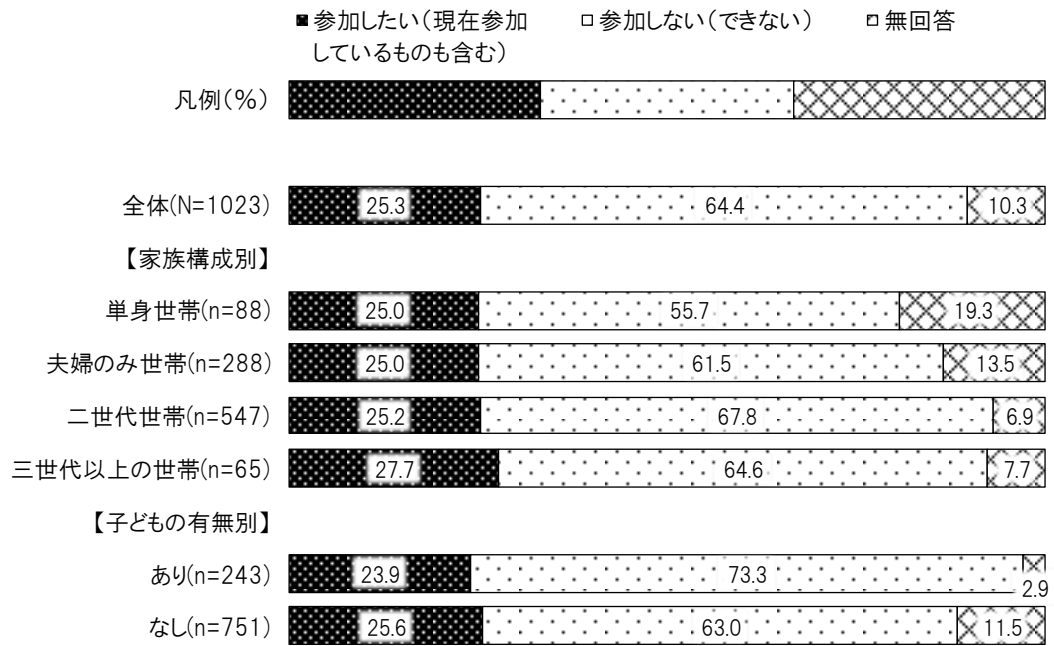
「高齢者、障がい者などに対する福祉活動」については、「参加したい（現在参加しているものも含む）」が25.3%、「参加しない（できない）」が64.4%となっている。

性別では大きな差はみられないが、年齢別では50～64歳で「参加したい（現在参加しているものも含む）」の割合が他の年齢層に比べて高くなっている。

地域別では、きさべ地域で「参加したい（現在参加しているものも含む）」の割合が他の地域に比べてやや高くなっている。



家族構成別や子どもの有無別では、大きな差はみられない。

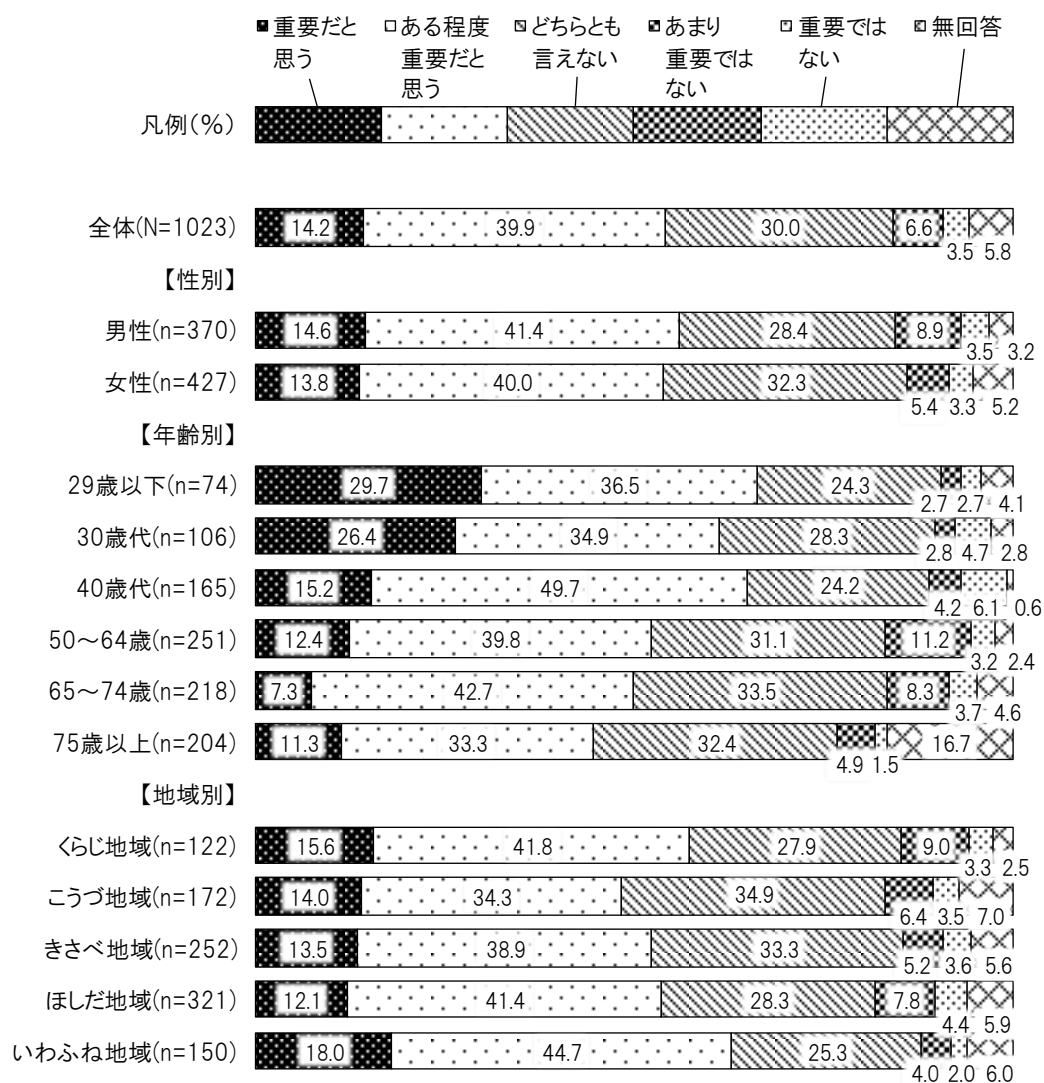


⑥地域イベント（お祭り等）の実施 ＜重要度について＞

「地域イベント（お祭り等）の実施」については、「重要だと思う」が14.2%、「ある程度重要だと思う」が39.9%で、合計54.1%が『重要だと思う』と回答している。

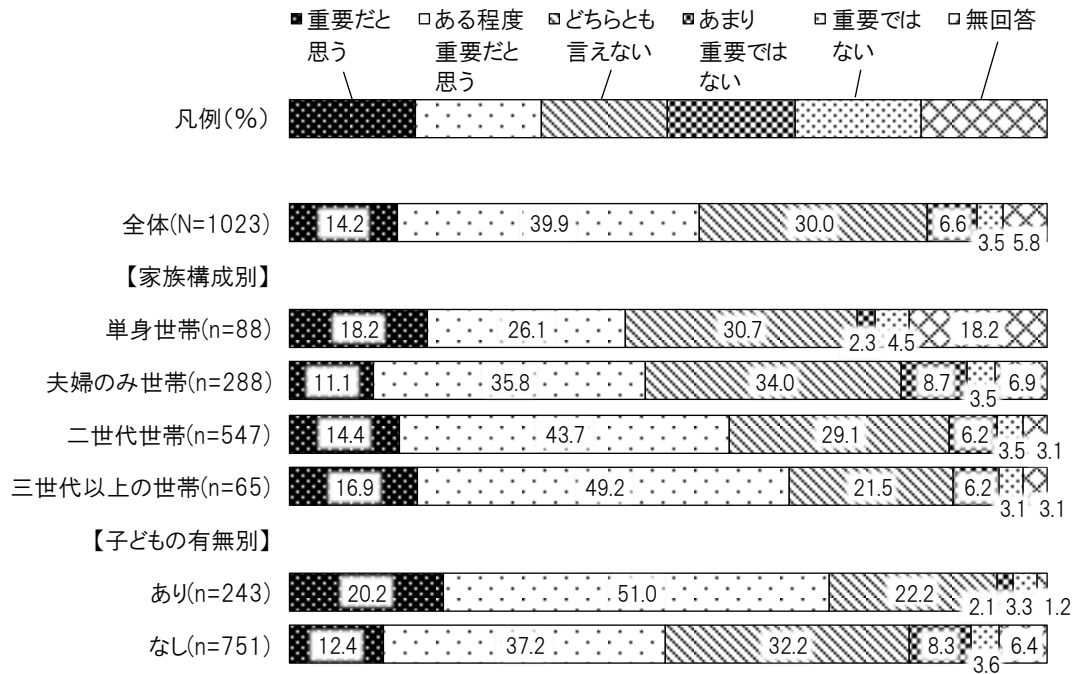
性別では大きな差はみられないが、年齢別では30歳代以下で「重要だと思う」の割合が他の年齢層を大きく上回っている。

地域別では、いわふね地域で『重要だと思う（合計）』の割合が他の地域に比べて高くなっている。



家族構成別では、二世帯世帯や三世帯以上の世帯で『重要だと思う（合計）』の割合が高くなっている。

子どもの有無別では、子どもがいる人は『重要だと思う（合計）』の割合が高くなっている。



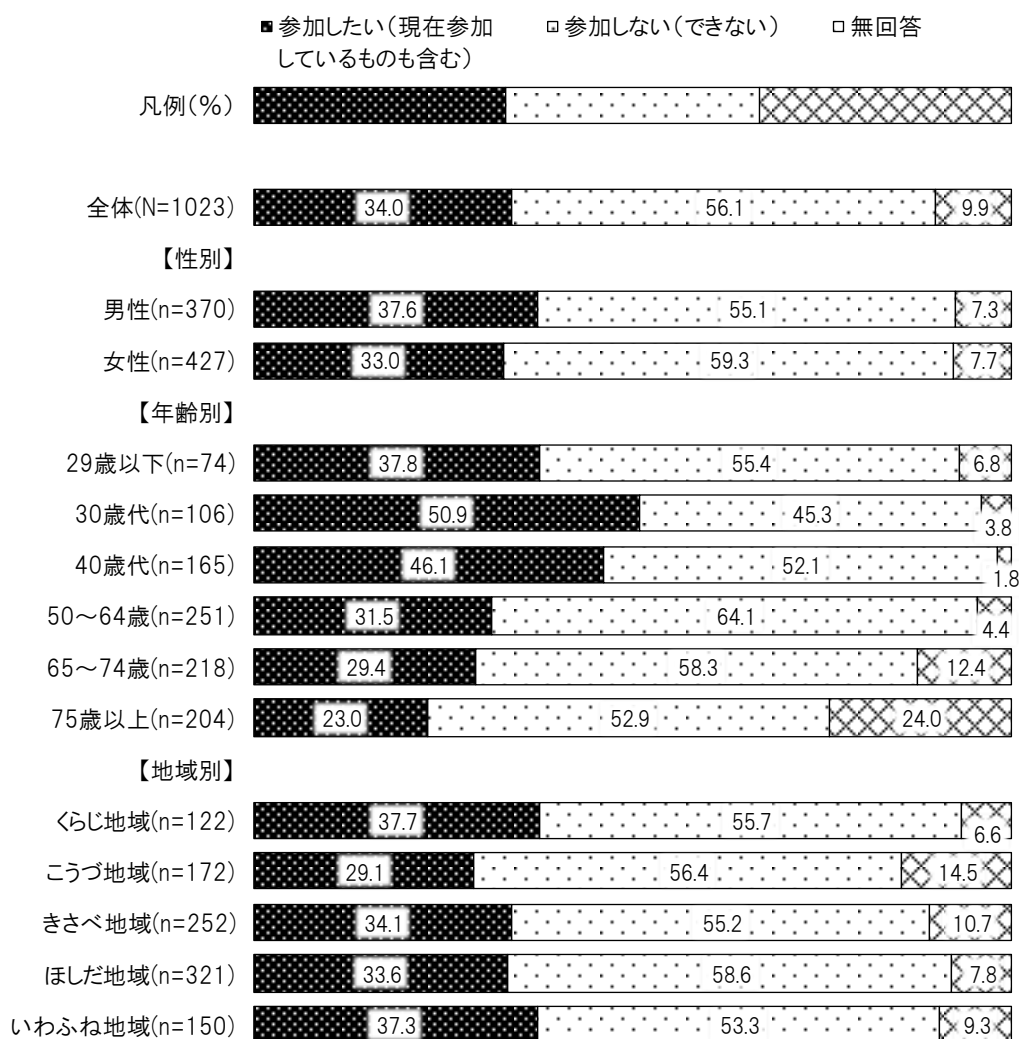
＜今後の参加意向＞

「地域イベント（お祭り等）の実施」については、「参加したい（現在参加しているものも含む）」が34.0%、「参加しない（できない）」が56.1%となっている。

性別では、男性は女性に比べ「参加したい（現在参加しているものも含む）」の割合がやや高くなっている。

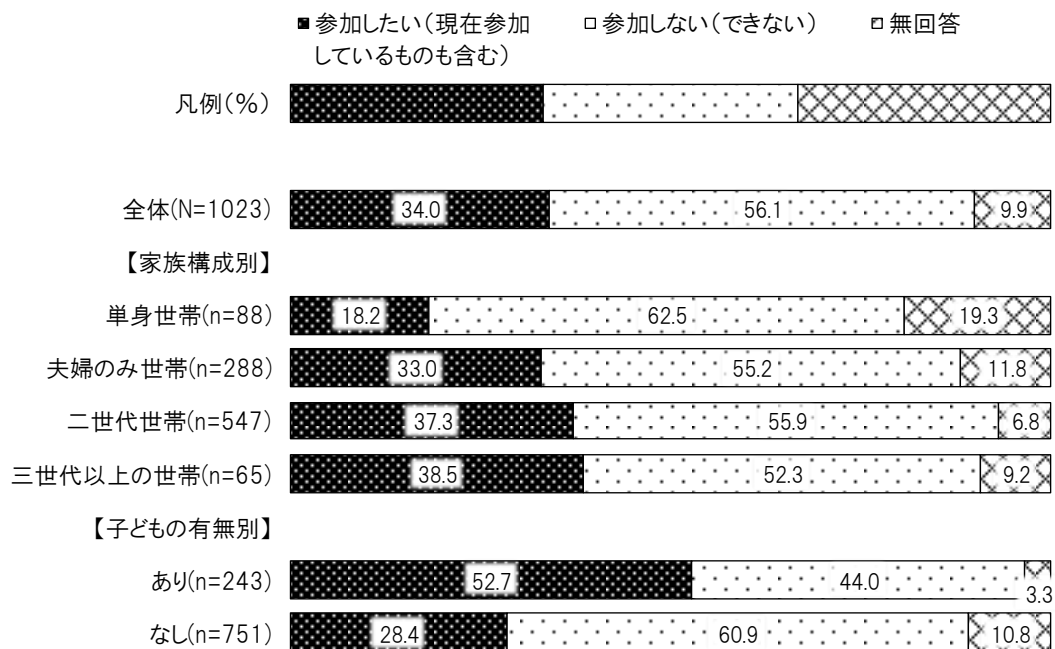
年齢別では、30～40歳代で「参加したい（現在参加しているものも含む）」の割合が他の年齢層に比べて高くなっている。

地域別では、こうづ地域で「参加したい（現在参加しているものも含む）」の割合が他の地域に比べて低くなっている。



家族構成別では、単身世帯で「参加したい（現在参加しているものも含む）」の割合が低くなっている。

子どもの有無別では、子どもがいる人は「参加したい（現在参加しているものも含む）」の割合が高くなっている。



⑦スポーツ、文化、趣味活動

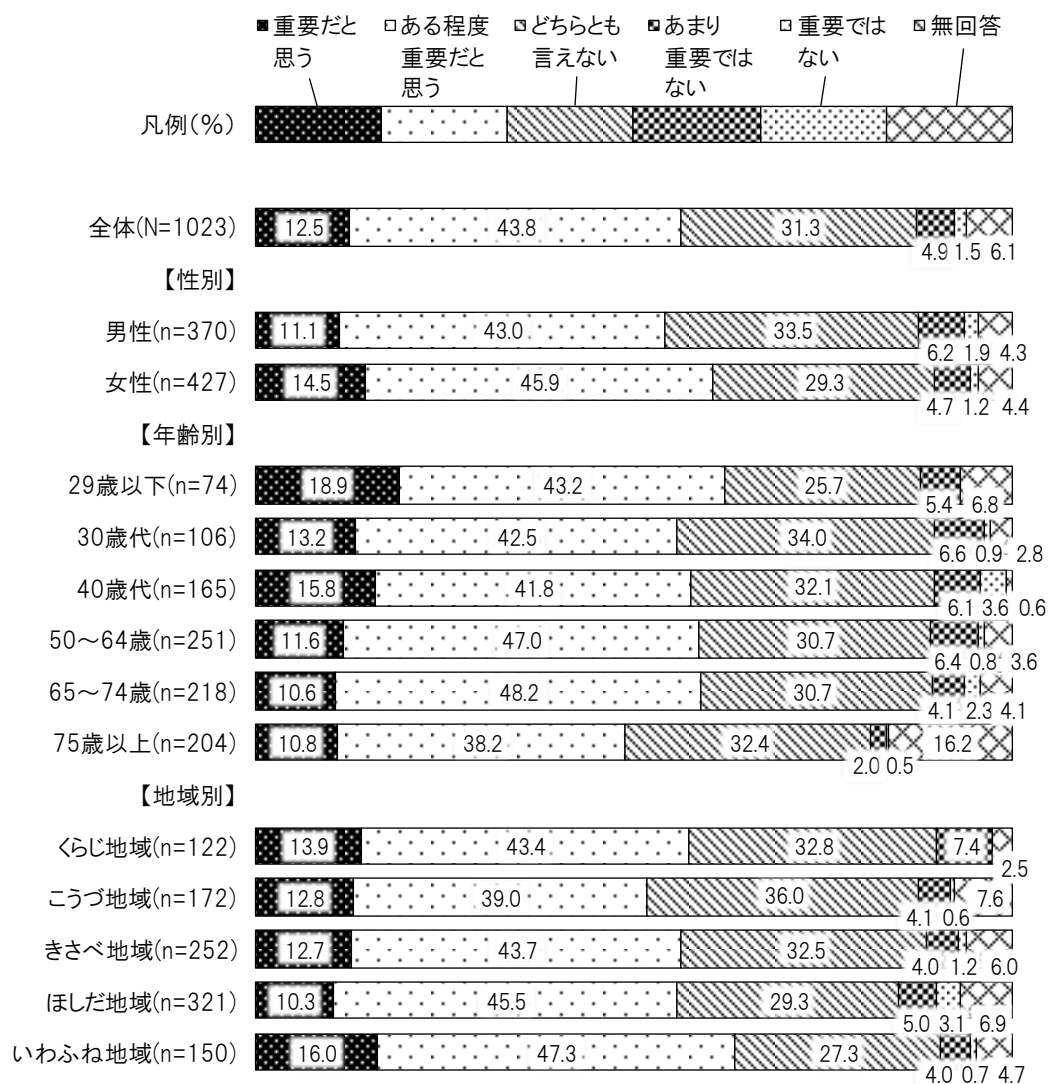
<重要度について>

「スポーツ、文化、趣味活動」については、「重要だと思う」が12.5%、「ある程度重要だと思う」が43.8%で、合計56.3%が『重要だと思う』と回答している。

性別では、女性は男性に比べ『重要だと思う（合計）』の割合が高くなっている。

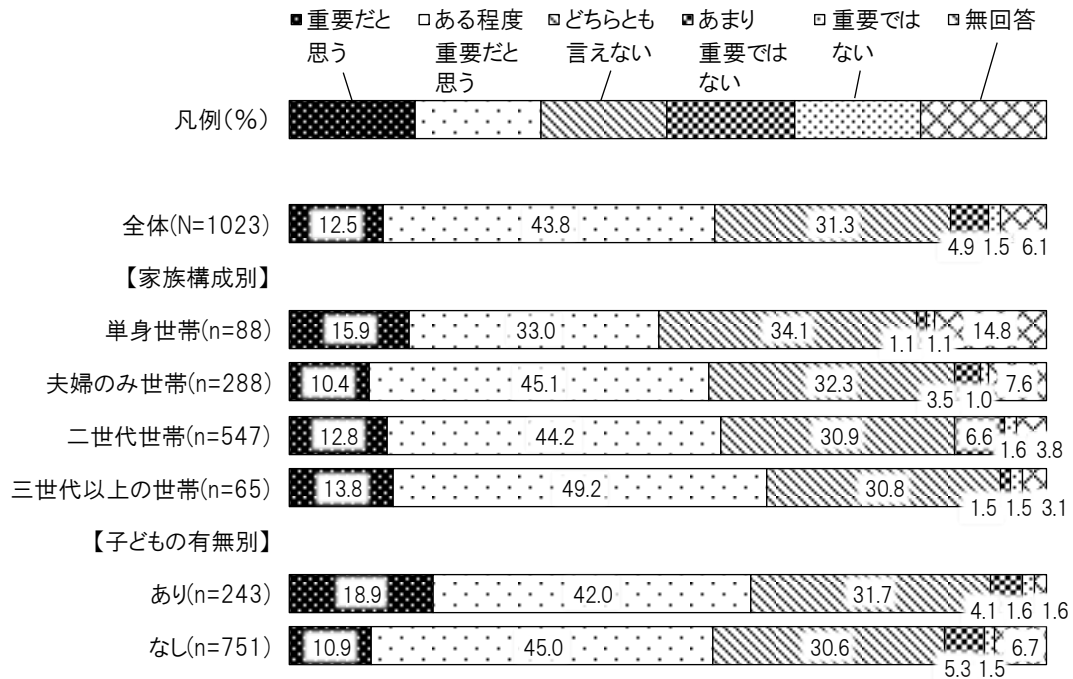
年齢別では、29歳以下で「重要だと思う」の割合が他の年齢層に比べてやや高くなっている。

地域別では、いわふね地域で『重要だと思う（合計）』の割合が他の地域に比べて高くなっている。



家族構成別では、三世代以上の世帯で『重要だと思う（合計）』の割合が高くなっている。

子どもの有無別では、子どもがいる人は「重要だと思う」の割合が高くなっている。

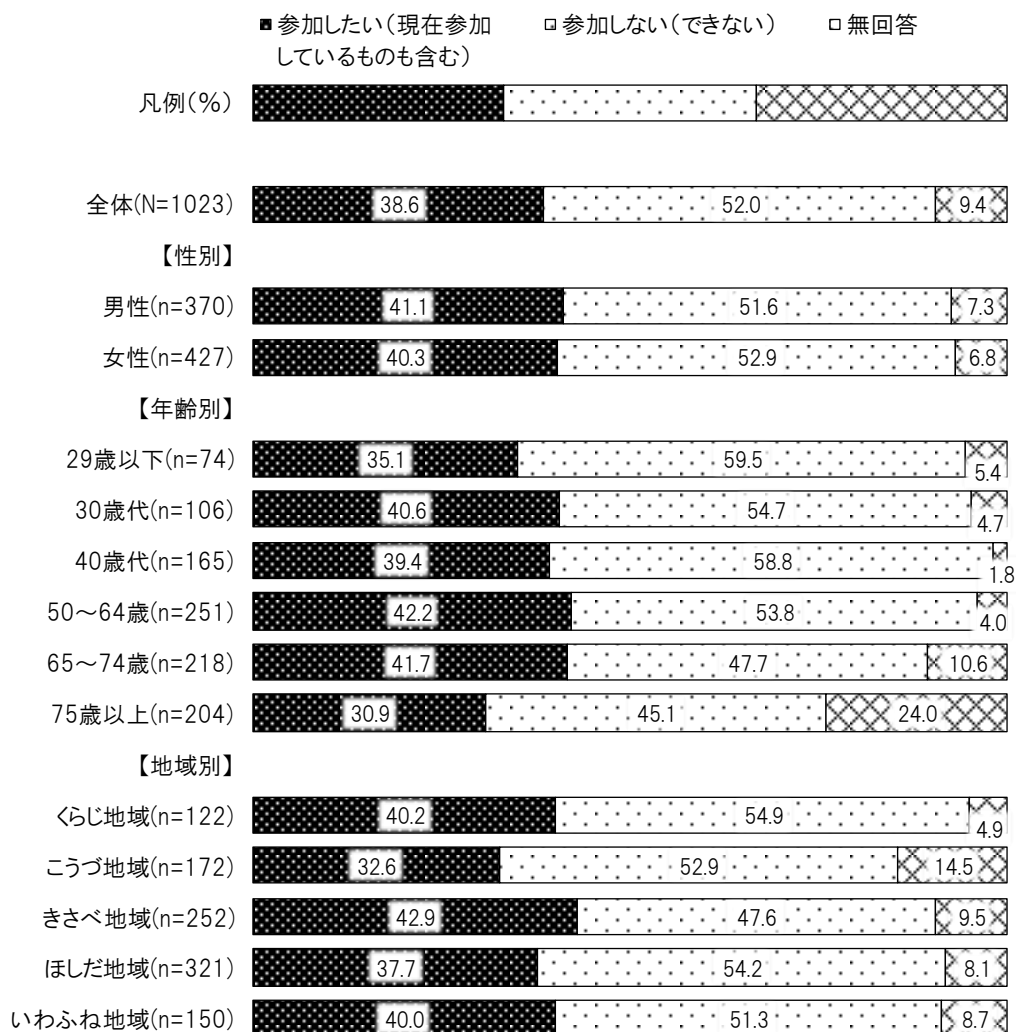


＜今後の参加意向＞

「スポーツ、文化、趣味活動」については、「参加したい（現在参加しているものも含む）」が38.6%、「参加しない（できない）」が52.0%となっている。

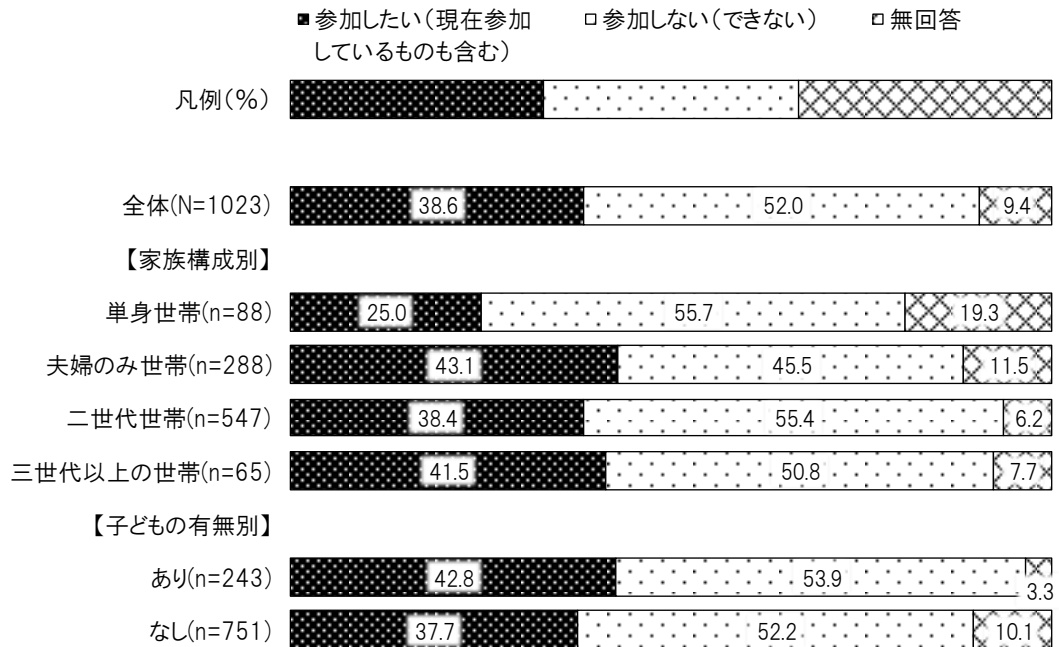
性別では大きな差はみられないが、年齢別では75歳以上で「参加したい（現在参加しているものも含む）」の割合が他の年齢層に比べて低くなっている。

地域別では、こうづ地域で「参加したい（現在参加しているものも含む）」の割合が他の地域に比べて低くなっている。



家族構成別では、単身世帯で「参加したい（現在参加しているものも含む）」の割合が低くなっている。

子どもの有無別では、子どもがいる人は「参加したい（現在参加しているものも含む）」の割合が高くなっている。

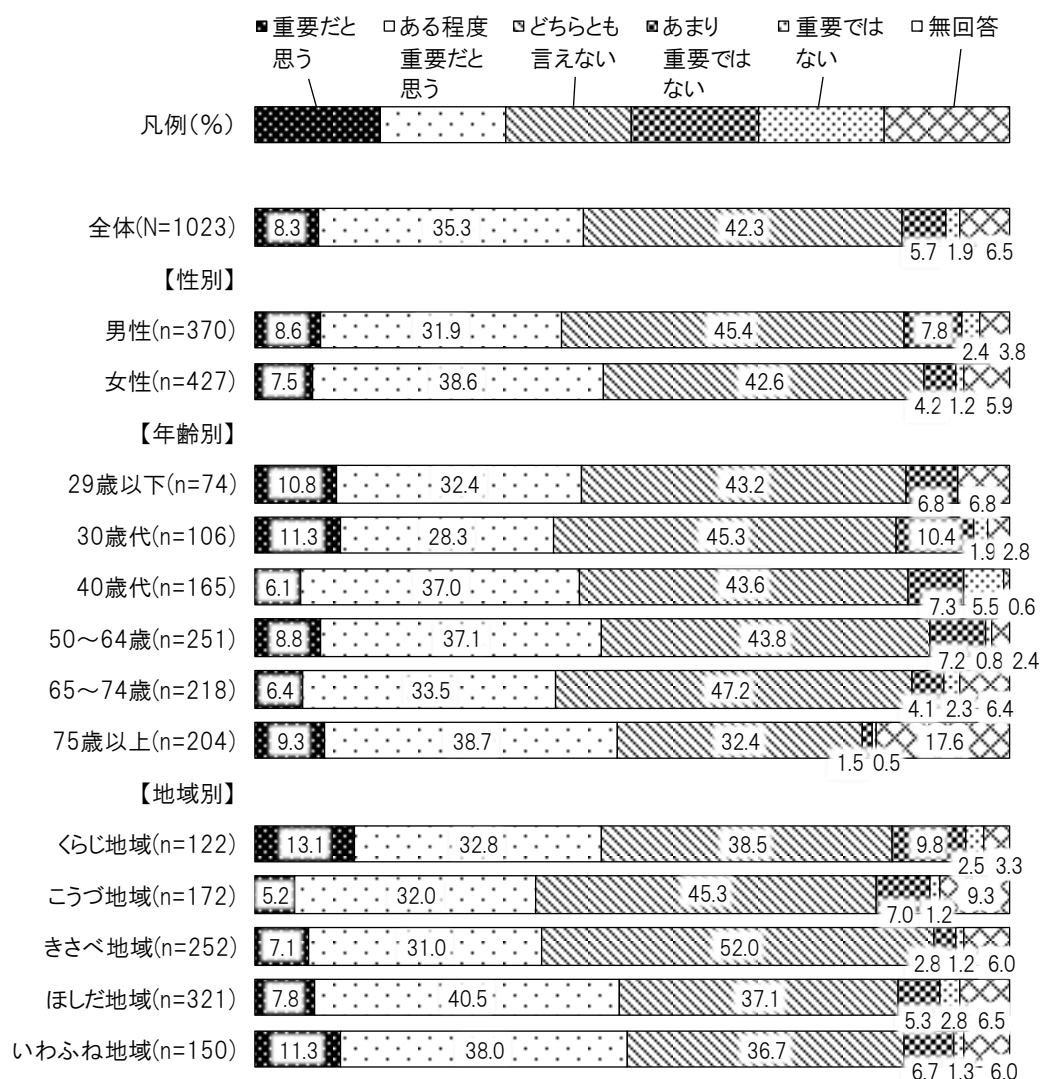


⑧ 広く地域の課題に取り組むグループ活動 ＜重要度について＞

「広く地域の課題に取り組むグループ活動」については、「重要だと思う」が8.3%、「ある程度重要だと思う」が35.3%で、合計43.6%が『重要だと思う』と回答している。

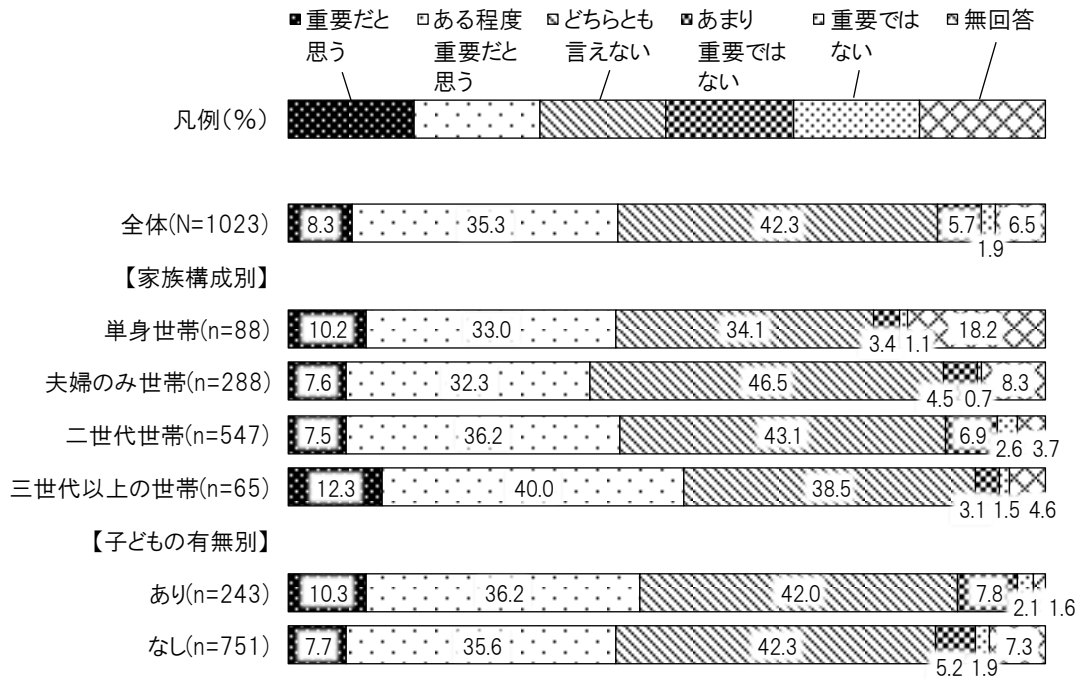
性別では、女性は男性に比べ「ある程度重要だと思う」の割合が高くなっている。

年齢別では大きな差はみられないが、地域別では、こうづ地域やきさべ地域で『重要だと思う（合計）』の割合が他の地域に比べて低くなっている。



家族構成別では、三世代以上の世帯で『重要だと思う（合計）』の割合が高くなっている。

子どもの有無別では、大きな差はみられない。

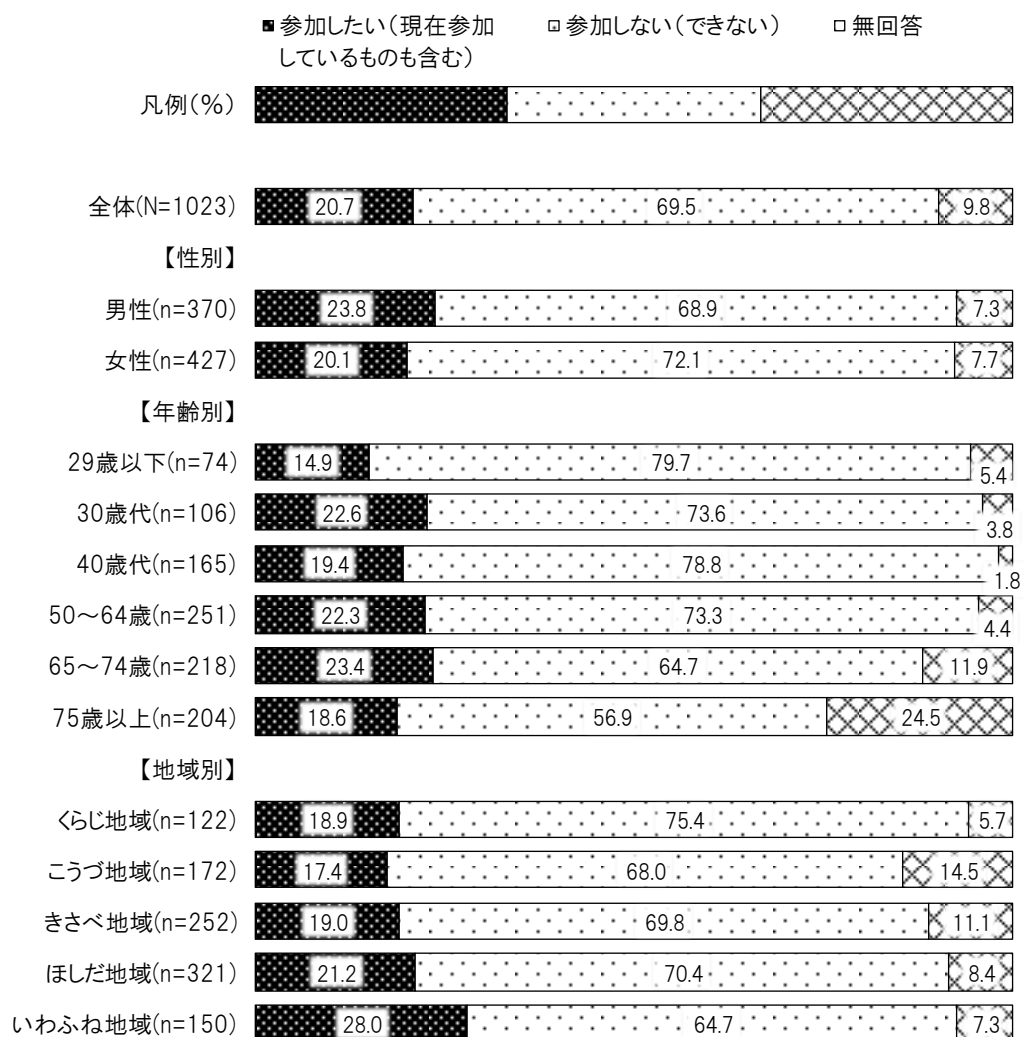


＜今後の参加意向＞

「広く地域の課題に取り組むグループ活動」については、「参加したい（現在参加しているものも含む）」が20.7%、「参加しない（できない）」が69.5%となっている。

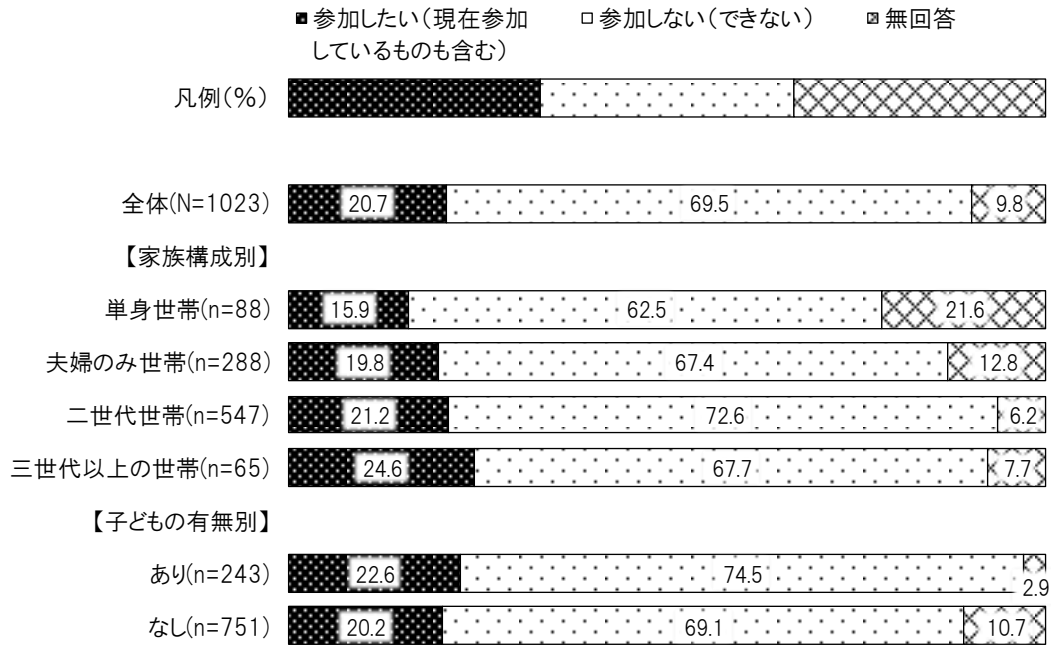
性別では大きな差はみられないが、年齢別では29歳以下で「参加したい（現在参加しているものも含む）」の割合が他の年齢層に比べてやや低くなっている。

地域別では、いわふね地域で「参加したい（現在参加しているものも含む）」の割合が他の地域に比べて高くなっている。



家族構成別では、単身世帯で「参加したい（現在参加しているものも含む）」の割合が低くなっている。

子どもの有無別では、大きな差はみられない。



10 参加意向の理由

問17 問16の①～⑧までの地域コミュニティ活動への参加意向の理由についてお聞きします。

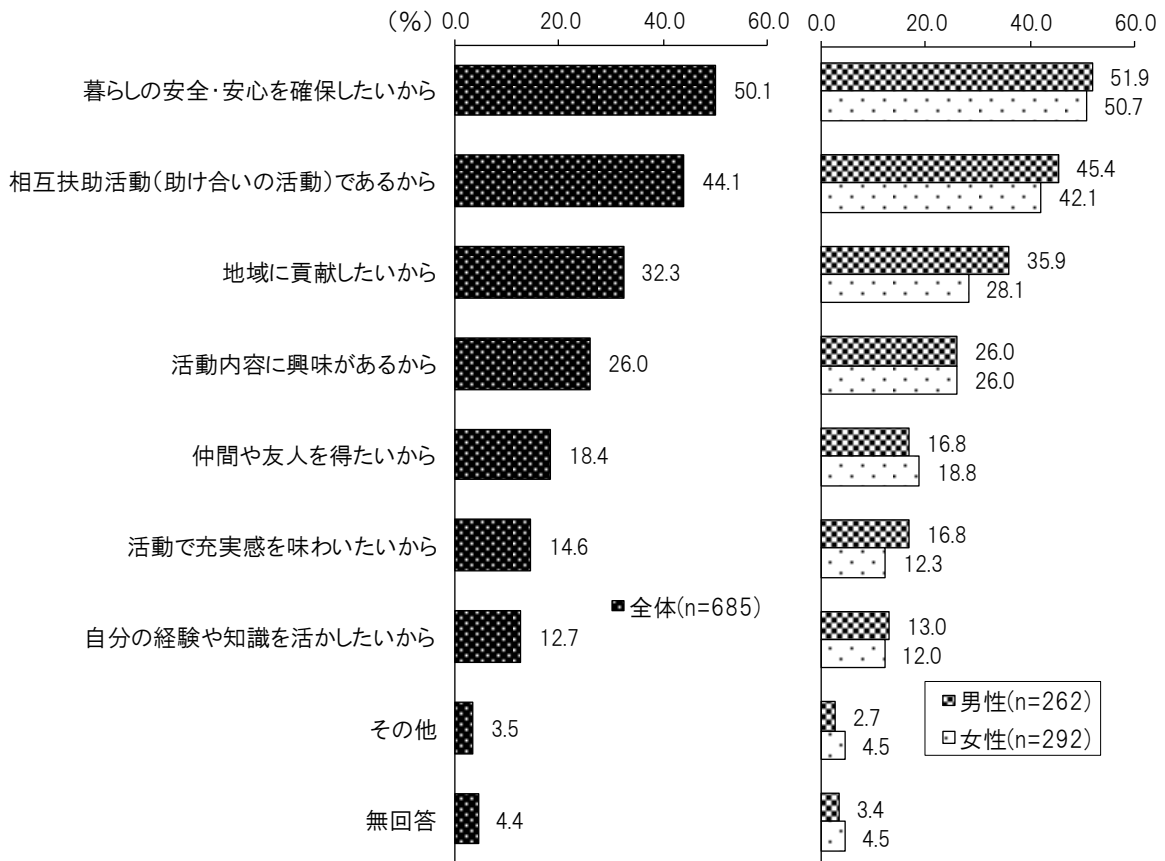
(1) 「参加したい（現在参加しているものも含む）」(A)に○をつけた活動について、そのように思う理由は何ですか。（3つまで○印）

(2) 「参加しない（できない）」(B)に○をつけた活動について、そのように思う理由は何ですか。（3つまで○印）

(1) 参加したい理由

参加したい理由については、「暮らしの安全・安心を確保したいから」の割合が50.1%と最も高く、次いで「相互扶助活動（助け合いの活動）であるから」（44.1%）、「地域に貢献したいから」（32.3%）、「活動内容に興味があるから」（26.0%）の順となっている。

性別では、男性は女性に比べ「地域に貢献したいから」の割合が高くなっている。



年齢別では、40歳代で「暮らしの安全・安心を確保したいから」、75歳以上で「仲間や友人を得たいから」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高く、年齢が上がるほど「相互扶助活動（助け合いの活動）であるから」の割合が高くなる傾向にある。

地域別では、ほしだ地域で「暮らしの安全・安心を確保したいから」、きさべ地域で「活動で充実感を味わいたいから」の割合がそれぞれ他の地域に比べて高くなっている。

子どもの有無別では、子どもがいる人は「暮らしの安全・安心を確保したいから」の割合が高くなっている。

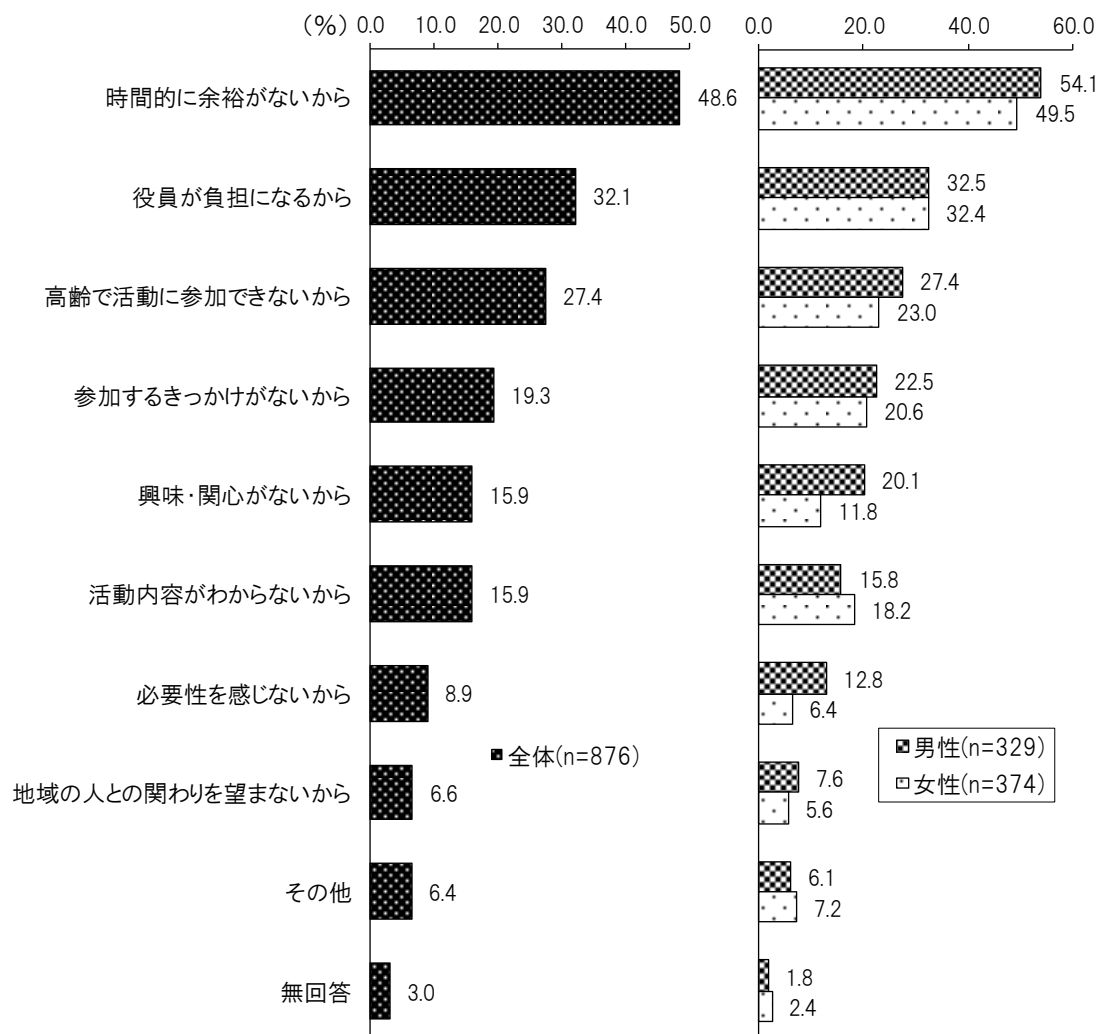
地域コミュニティ活動別（問16）でみると、「⑧広く地域の課題に取り組むグループ活動」で「地域に貢献したいから」「仲間や友人を得たいから」の割合が他の活動に比べて高くなっている。

単位 (%)	暮らしの安全・安心を確保したいから	相互扶助活動（助け合い）であるから	地域に貢献したいから	活動内容に興味があるから	仲間や友人を得たいから	活動で充実感を味わいたいから	自分の経験や知識を活かしたいから	その他
全体(n=685)	50.1	44.1	32.3	26.0	18.4	14.6	12.7	3.5
【年齢別】								
29歳以下(n=48)	31.3	31.3	27.1	31.3	12.5	16.7	20.8	6.3
30歳代(n=78)	48.7	33.3	24.4	33.3	12.8	10.3	9.0	3.8
40歳代(n=118)	59.3	39.0	29.7	27.1	12.7	12.7	4.2	4.2
50～64歳(n=179)	52.5	46.9	34.1	24.0	20.7	12.8	13.4	2.8
65～74歳(n=161)	49.1	47.2	36.6	24.8	19.9	16.8	12.4	3.1
75歳以上(n=100)	46.0	55.0	33.0	22.0	26.0	19.0	20.0	3.0
【地域別】								
くらし地域(n=85)	49.4	41.2	28.2	29.4	16.5	14.1	11.8	5.9
こうづ地域(n=102)	46.1	49.0	32.4	26.5	18.6	8.8	10.8	3.9
きさべ地域(n=171)	48.0	44.4	32.7	24.6	16.4	19.3	12.9	2.9
ほしだ地域(n=219)	55.3	41.1	33.3	25.6	18.7	14.2	15.5	2.7
いわふね地域(n=105)	47.6	47.6	33.3	25.7	22.9	13.3	9.5	3.8
【子どもの有無別】								
あり(n=182)	56.6	42.3	28.0	28.0	18.1	12.1	7.7	4.9
なし(n=486)	47.3	44.0	34.4	25.3	18.5	15.4	14.8	2.7
【地域コミュニティ活動別】								
①地震や風水害等に備える防災活動(n=440)	64.3	51.4	36.4	22.0	15.7	13.4	13.4	1.8
②地域の安全を見守る防犯、パトロール活動(n=318)	60.7	51.6	43.1	22.6	17.6	14.5	12.9	3.5
③地域清掃や公園美化などの環境活動(n=438)	55.0	51.8	41.6	23.3	18.0	14.4	12.8	3.2
④子ども会、PTAなどの青少年育成活動(n=178)	52.2	53.4	44.9	25.8	20.2	17.4	15.2	3.9
⑤高齢者、障がい者などに対する福祉活動(n=259)	54.1	57.9	42.5	21.6	20.5	14.3	18.5	2.3
⑥地域イベント（お祭り等）の実施(n=348)	50.9	47.4	38.5	30.7	18.7	17.5	13.5	3.2
⑦スポーツ、文化、趣味活動(n=395)	47.3	43.5	35.2	33.7	25.3	19.2	15.9	2.0
⑧広く地域の課題に取り組むグループ活動(n=212)	51.4	55.7	49.1	27.4	27.8	19.8	18.4	2.4

(2) 参加しない理由

参加しない理由については、「時間的に余裕がないから」の割合が48.6%と最も高く、次いで「役員が負担になるから」(32.1%)、「高齢で活動に参加できないから」(27.4%)、「参加するきっかけがないから」(19.3%)の順となっている。

性別では、男性は女性に比べ「興味・関心がないから」「必要性を感じないから」などの割合が高くなっている。



年齢別では、40歳代で「必要性を感じないから」、65歳以上で「高齢で活動に参加できないから」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

地域別では、ほしだ地域やいわふね地域で「活動内容がわからないから」の割合が他の地域に比べて高くなっている。

子どもの有無別では、子どもがいる人で「時間的に余裕がないから」「役員が負担になるから」、子どもがいない人で「高齢で活動に参加できないから」の割合がそれぞれ高くなっている。

単位 (%)	時間的に余裕がないから	役員が負担になるから	高齢で活動に参加できないから	参加するきっかけがないから	興味・関心がないから	活動内容がわからないから	必要性を感じないから	地域の人の関わりを望まないから	その他
全体(n=876)	48.6	32.1	27.4	19.3	15.9	15.9	8.9	6.6	6.4
【年齢別】									
29歳以下(n=67)	73.1	29.9	4.5	23.9	22.4	14.9	6.0	4.5	1.5
30歳代(n=92)	66.3	43.5	0.0	15.2	23.9	12.0	8.7	10.9	6.5
40歳代(n=152)	70.4	42.1	0.0	16.4	15.1	17.1	15.8	8.6	3.3
50～64歳(n=225)	58.2	41.3	6.2	24.4	19.6	16.9	6.7	8.0	8.0
65～74歳(n=191)	29.8	23.6	50.3	22.0	13.6	19.9	9.4	4.7	7.9
75歳以上(n=146)	12.3	11.6	86.3	11.6	5.5	11.0	6.2	3.4	7.5
【地域別】									
くらじ地域(n=108)	53.7	30.6	18.5	24.1	17.6	14.8	8.3	6.5	6.5
こうづ地域(n=143)	49.7	32.9	26.6	9.8	14.7	12.6	11.2	9.1	7.0
きさべ地域(n=210)	51.4	35.2	25.2	21.9	15.2	10.5	10.0	5.2	4.8
ほしだ地域(n=287)	43.2	30.0	32.1	22.3	14.3	20.2	8.0	7.0	8.7
いわふね地域(n=124)	50.0	30.6	29.8	14.5	21.0	19.4	6.5	5.6	3.2
【子どもの有無別】									
あり(n=215)	68.4	43.7	9.8	14.4	16.7	13.5	12.1	7.0	3.3
なし(n=643)	42.6	27.7	32.8	20.7	16.0	16.3	7.6	6.4	7.3

【4】新型コロナウイルス感染症による生活への影響等について

1 新型コロナウイルス感染症による変化

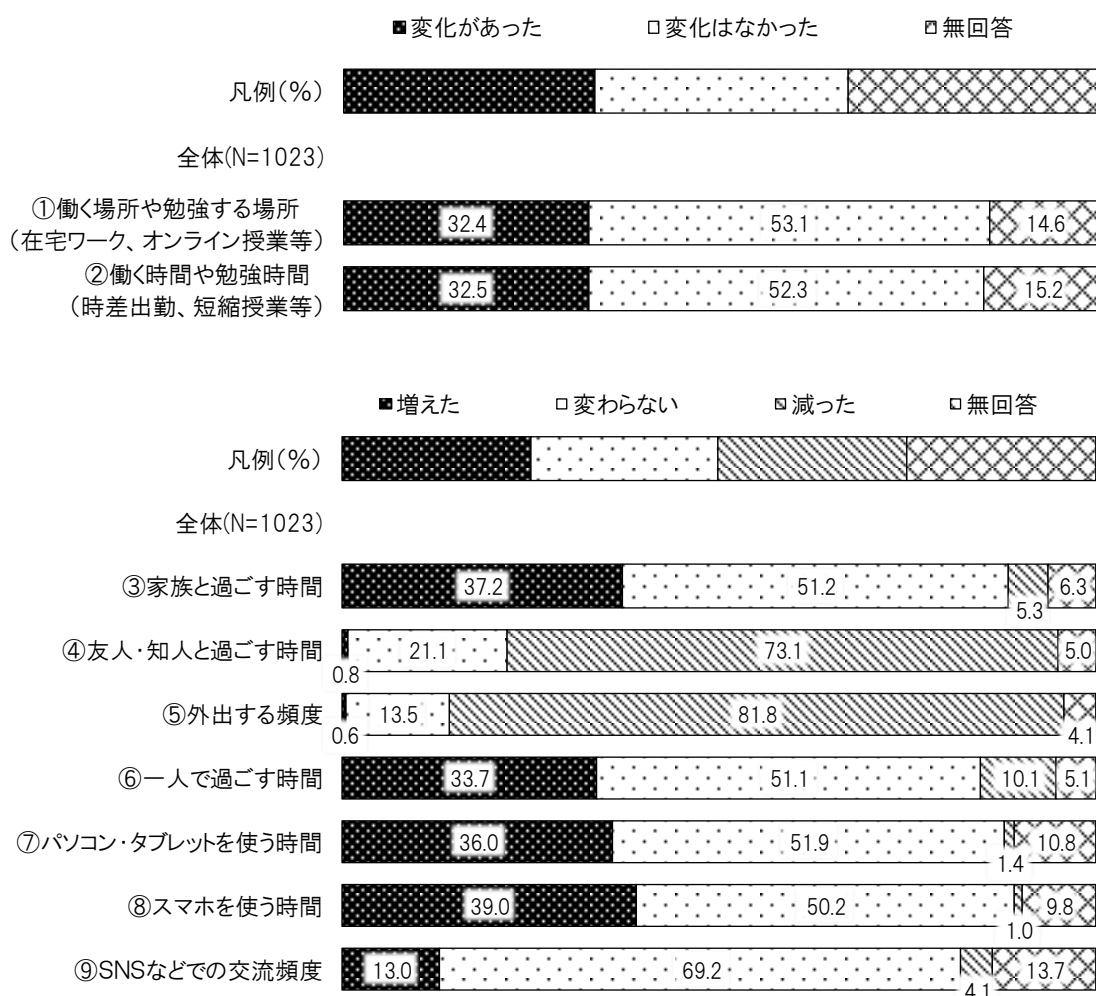
問 18 新型コロナウイルス感染症により、以下の項目について変化がありましたか。
(それぞれ1つに○印)

「①働く場所や勉強する場所」「②働く時間や勉強時間」については、約3割が「変化があった」と回答している。

「③家族と過ごす時間」「⑥一人で過ごす時間」「⑦パソコン・タブレットを使う時間」「⑧スマホを使う時間」については、3～4割が「増えた」と回答している。

「④友人・知人と過ごす時間」「⑤外出する頻度」については、7～8割が「減った」と回答している。

また「その他」では、「旅行に行けなくなった」「帰省する頻度が減った」「外食が減った」「運動をする機会が減った」などの回答がみられた。



①働く場所や勉強する場所

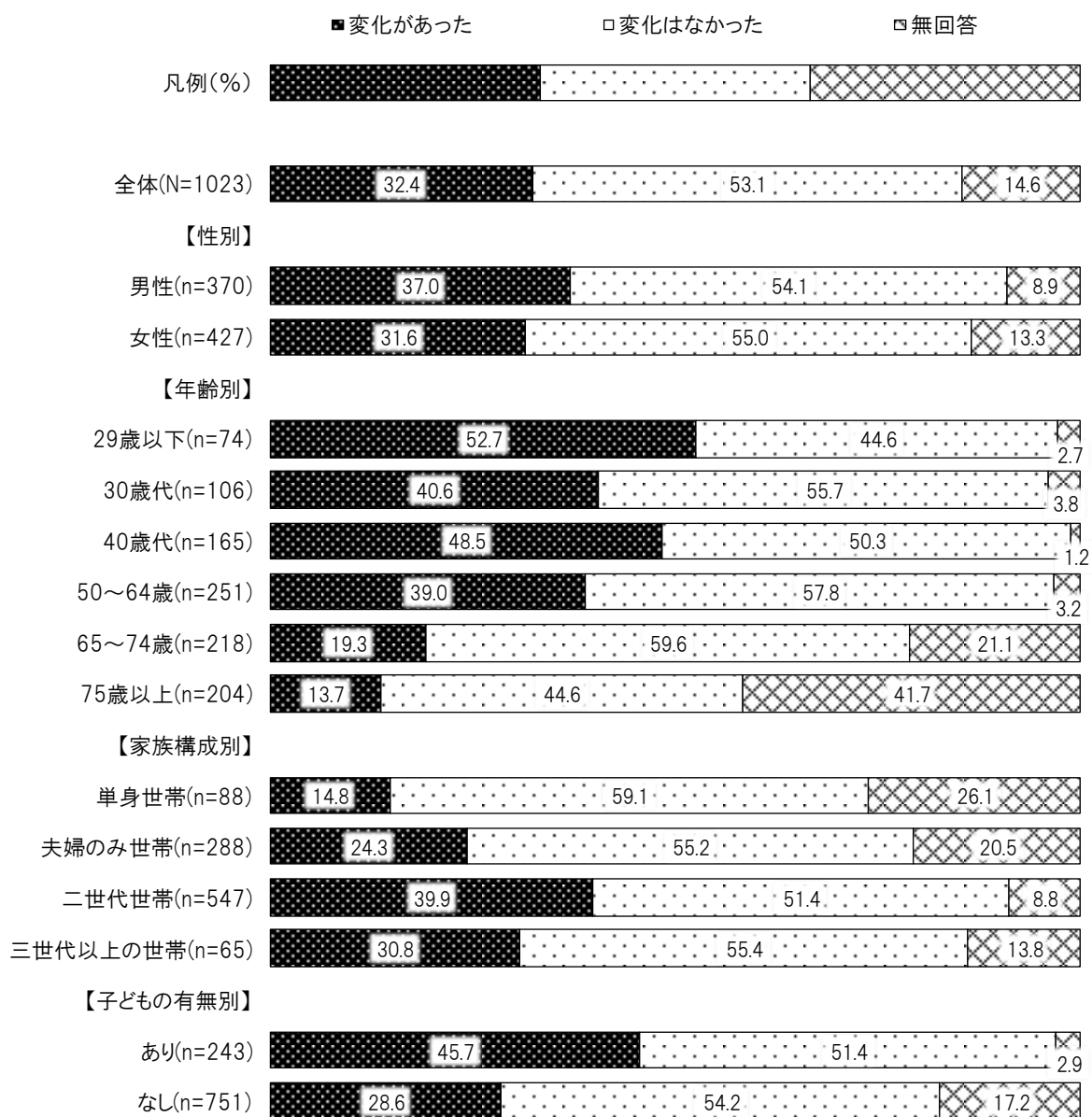
「働く場所や勉強する場所」については、「変化があった」が32.4%、「変化はなかった」が53.1%となっている。

性別では、男性は女性に比べ「変化があった」の割合が高くなっている。

年齢別では、29歳以下や40歳代で「変化があった」の割合が他の年齢層に比べて高くなっている。

家族構成別では、二世帯世帯で「変化があった」の割合が高くなっている。

子どもの有無別では、子どもがいる人は「変化があった」の割合が高くなっている。



②働く時間や勉強時間

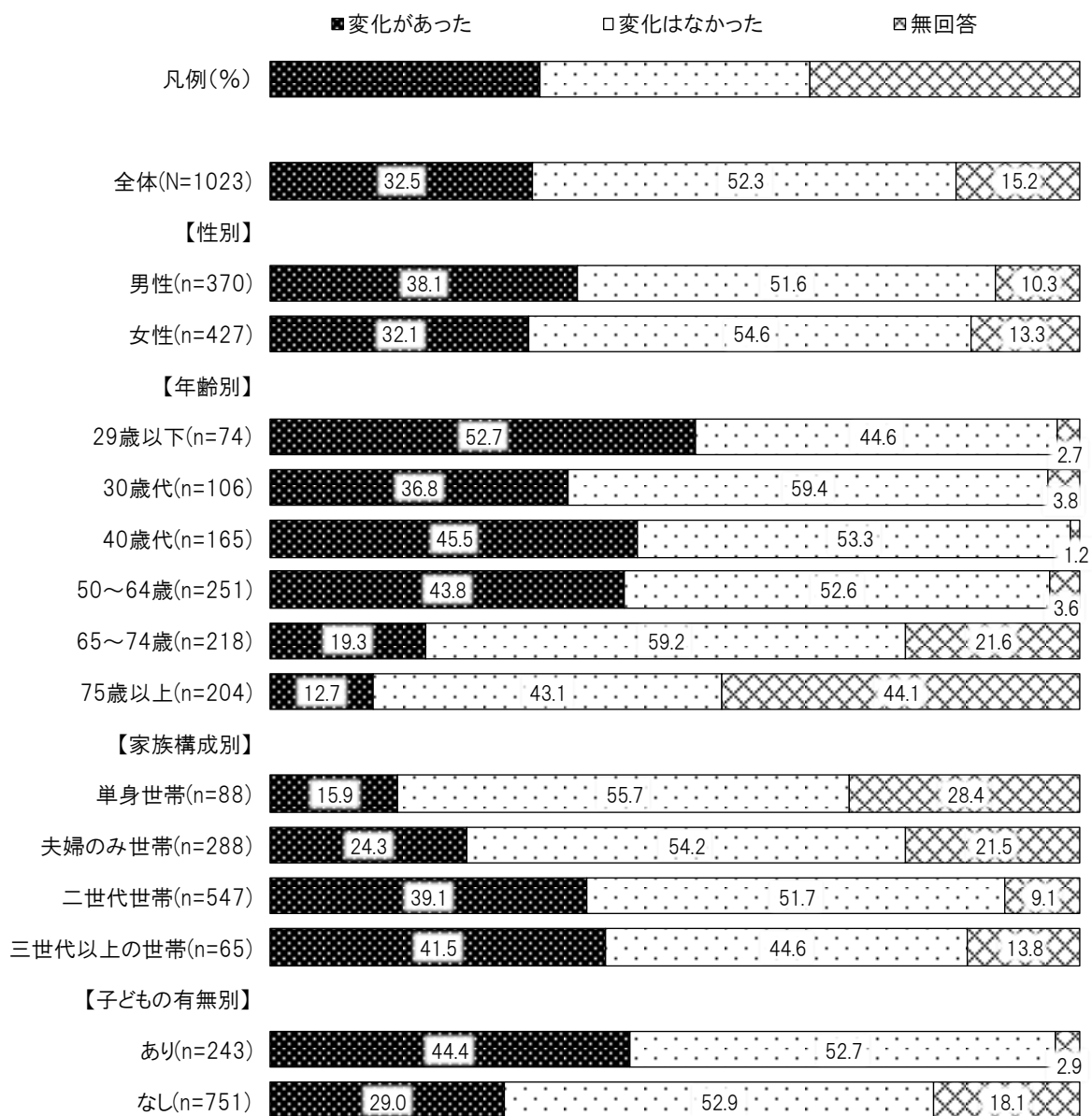
「働く時間や勉強時間」については、「変化があった」が32.5%、「変化はなかった」が52.3%となっている。

性別では、男性は女性に比べ「変化があった」の割合が高くなっている。

年齢別では、29歳以下や40～64歳で「変化があった」の割合が他の年齢層に比べて高くなっている。

家族構成別では、二世帯世帯や三世帯以上の世帯で「変化があった」の割合が高くなっている。

子どもの有無別では、子どもがいる人は「変化があった」の割合が高くなっている。



③家族と過ごす時間

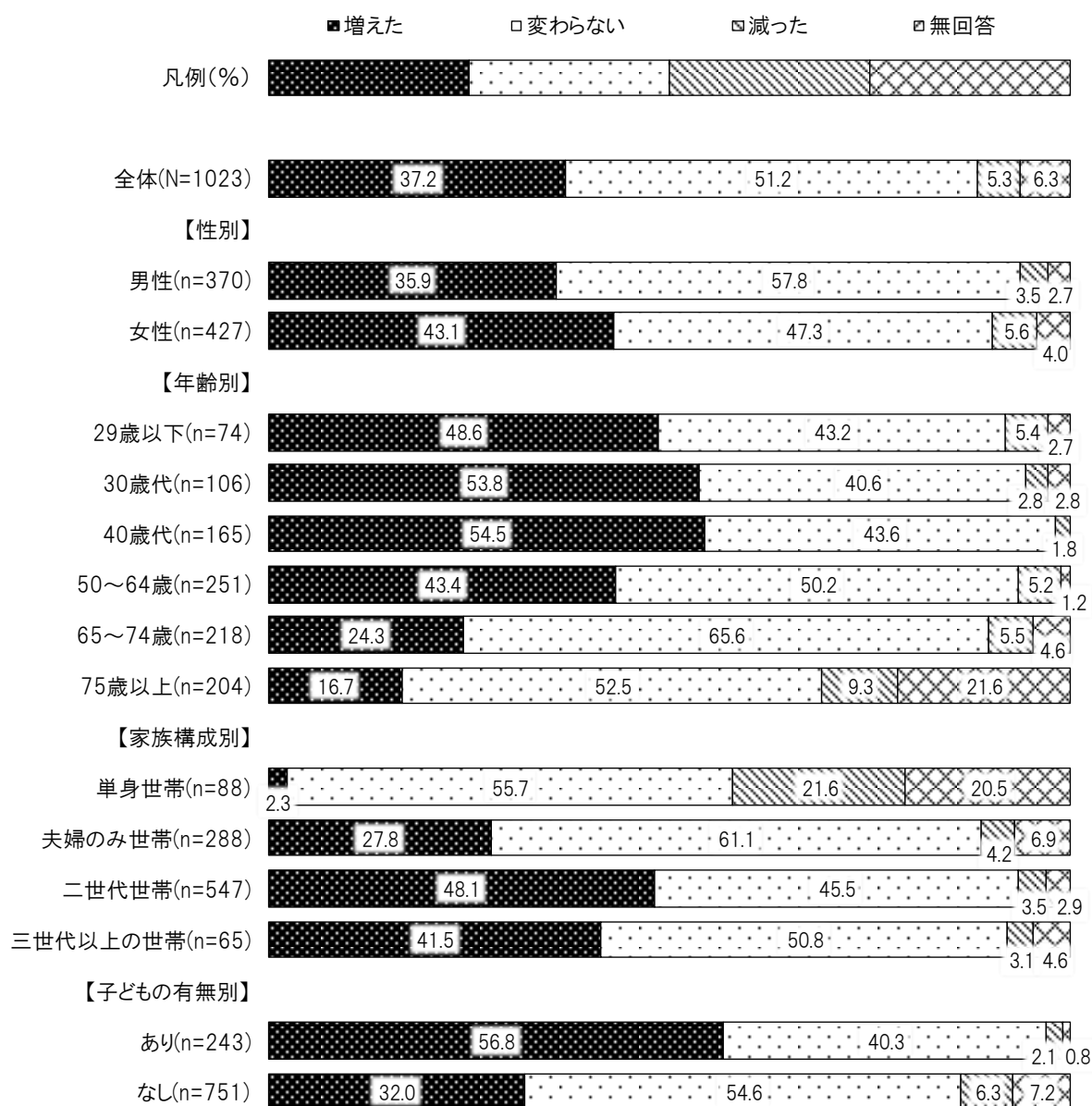
「家族と過ごす時間」については、「増えた」が 37.2%、「変わらない」が 51.2%、「減った」が 5.3%となっている。

性別では、男性は「変わらない」の割合が女性を大きく上回っており、女性は男性に比べ「増えた」の割合が高くなっている。

年齢別では、30～40 歳代で「増えた」の割合が他の年齢層に比べて高くなっている。

家族構成別では、単身世帯で「減った」、二世帯世帯や三世帯以上の世帯で「増えた」の割合がそれぞれ高くなっている。

子どもの有無別では、子どもがいる人は「増えた」の割合が高くなっている。



④友人・知人と過ごす時間

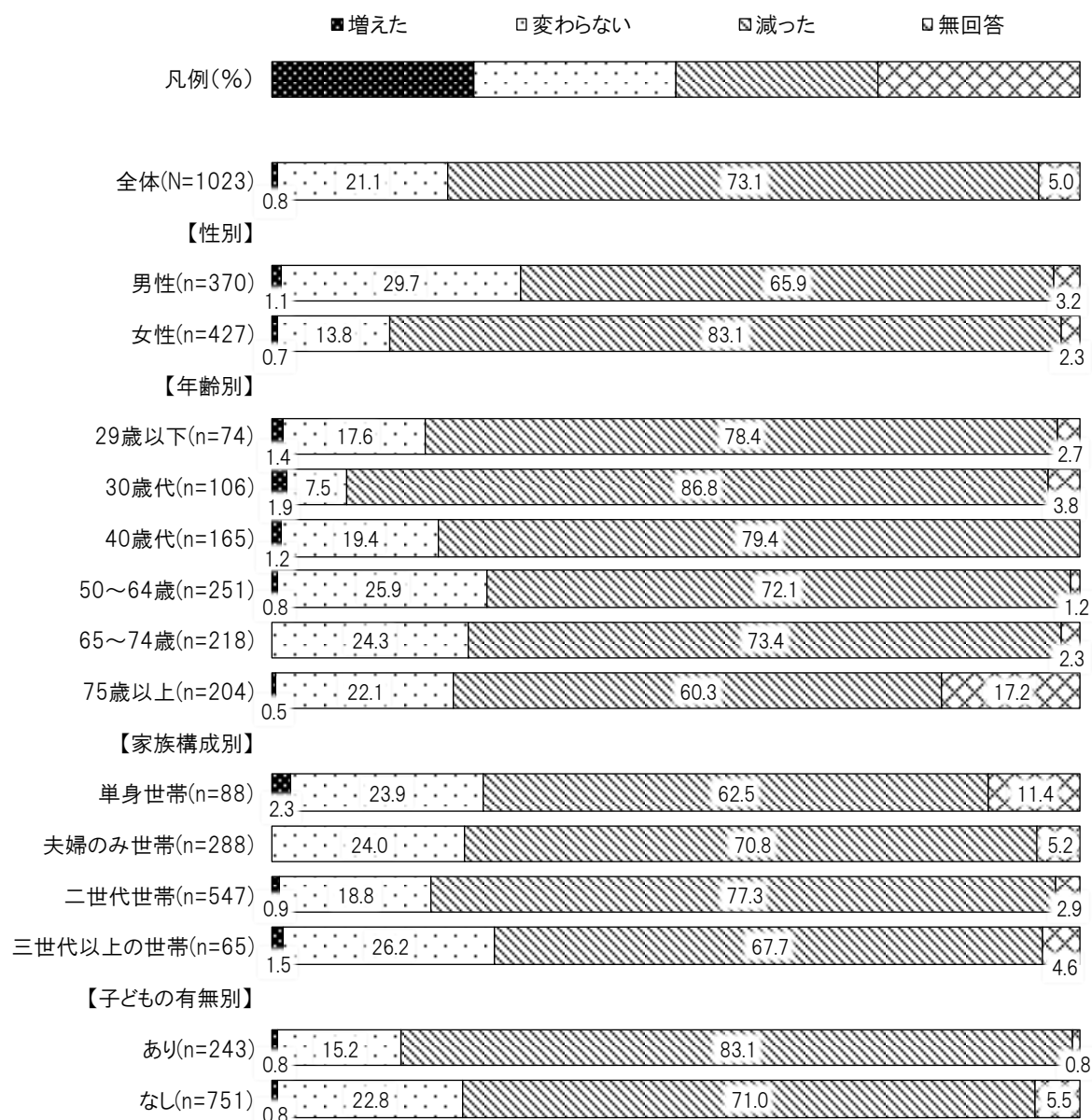
「友人・知人と過ごす時間」については、「減った」が73.1%、「変わらない」が21.1%、「増えた」が0.8%となっている。

性別では、男性は女性に比べ「変わらない」の割合が高く、女性は「減った」の割合が男性を大きく上回っている。

年齢別では、30歳代で「減った」の割合が他の年齢層に比べて高くなっている。

家族構成別では、二世帯世帯で「減った」の割合が高くなっている。

子どもの有無別では、子どもがいる人は「減った」の割合が高くなっている。



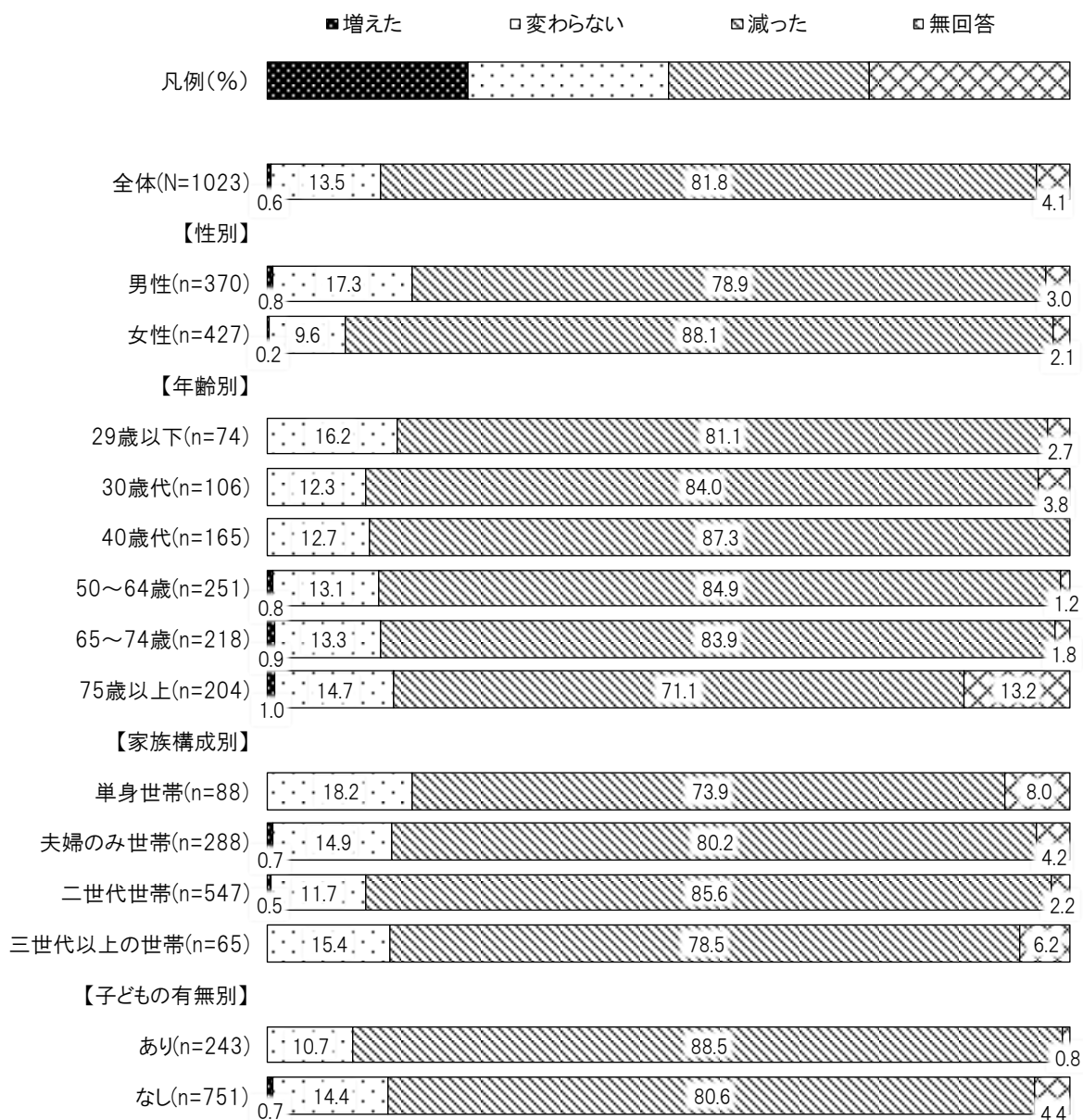
⑤外出する頻度

「外出する頻度」については、「減った」が 81.8%、「変わらない」が 13.5%、「増えた」が 0.6%となっている。

性別では、男性は女性に比べ「変わらない」の割合が高く、女性は「減った」の割合が男性を上回っている。

年齢別では大きな差はみられないが、家族構成別では二世帯世帯で「減った」の割合が高くなっている。

子どもの有無別では、子どもがいる人は「減った」の割合が高くなっている。



⑥一人で過ごす時間

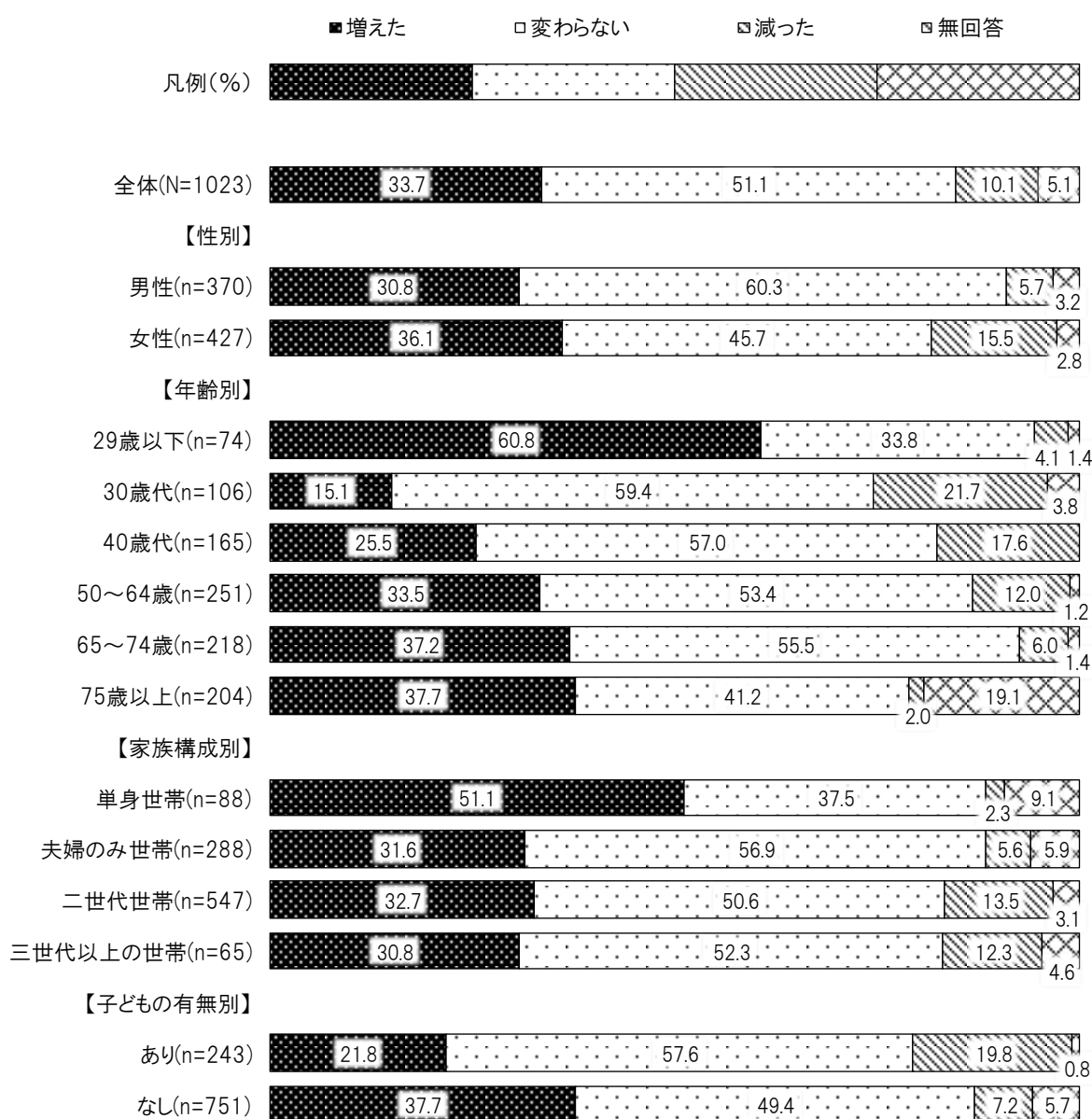
「一人で過ごす時間」については、「増えた」が 33.7%、「変わらない」が 51.1%、「減った」が 10.1%となっている。

性別では、男性は「変わらない」の割合が女性を大きく上回っており、女性は男性に比べ「減った」の割合が高くなっている。

年齢別では、30～40 歳代で「減った」の割合が高く、29 歳以下で「増えた」の割合が他の年齢層を大きく上回っている。

家族構成別では、単身世帯で「増えた」の割合が高くなっている。

子どもの有無別では、子どもがいる人で「減った」、子どもがいない人で「増えた」の割合がそれぞれ高くなっている。



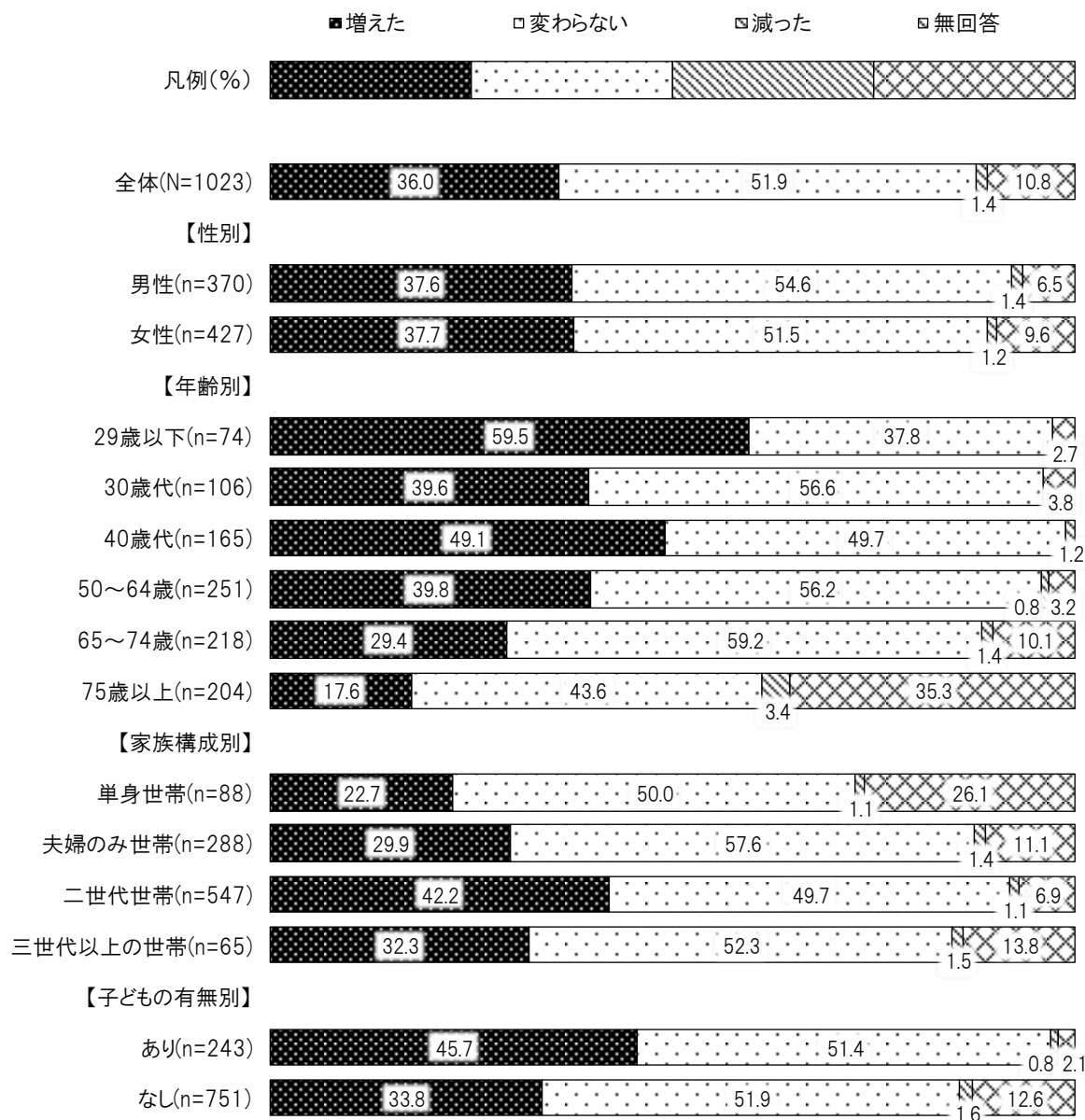
⑦パソコン・タブレットを使う時間

「パソコン・タブレットを使う時間」については、「増えた」が36.0%、「変わらない」が51.9%、「減った」が1.4%となっている。

性別では大きな差はみられないが、年齢別では29歳以下や40歳代で「増えた」の割合が他の年齢層に比べて高くなっている。

家族構成別では、二世帯世帯で「増えた」の割合が高くなっている。

子どもの有無別では、子どもがいる人は「増えた」の割合が高くなっている。



⑧スマホを使う時間

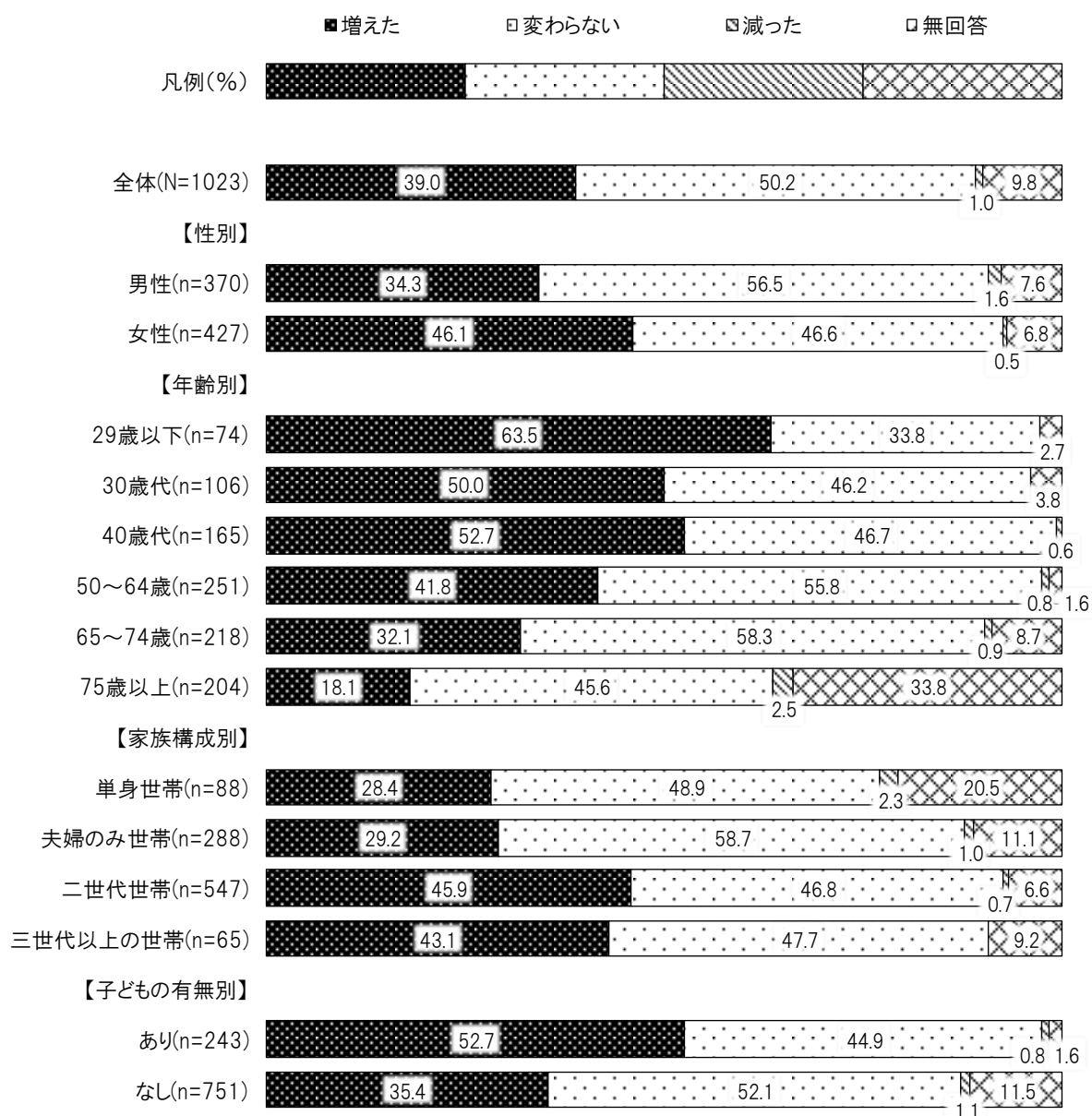
「スマホを使う時間」については、「増えた」が 39.0%、「変わらない」が 50.2%、「減った」が 1.0%となっている。

性別では、男性は女性に比べ「変わらない」の割合が高く、女性は「増えた」の割合が男性を大きく上回っている。

年齢別では、おおむね若い年齢層ほど「増えた」の割合が高くなる傾向にある。

家族構成別では、二世帯世帯や三世帯以上の世帯で「増えた」の割合が高くなっている。

子どもの有無別では、子どもがいる人は「増えた」の割合が高くなっている。



⑨ SNSなどでの交流頻度

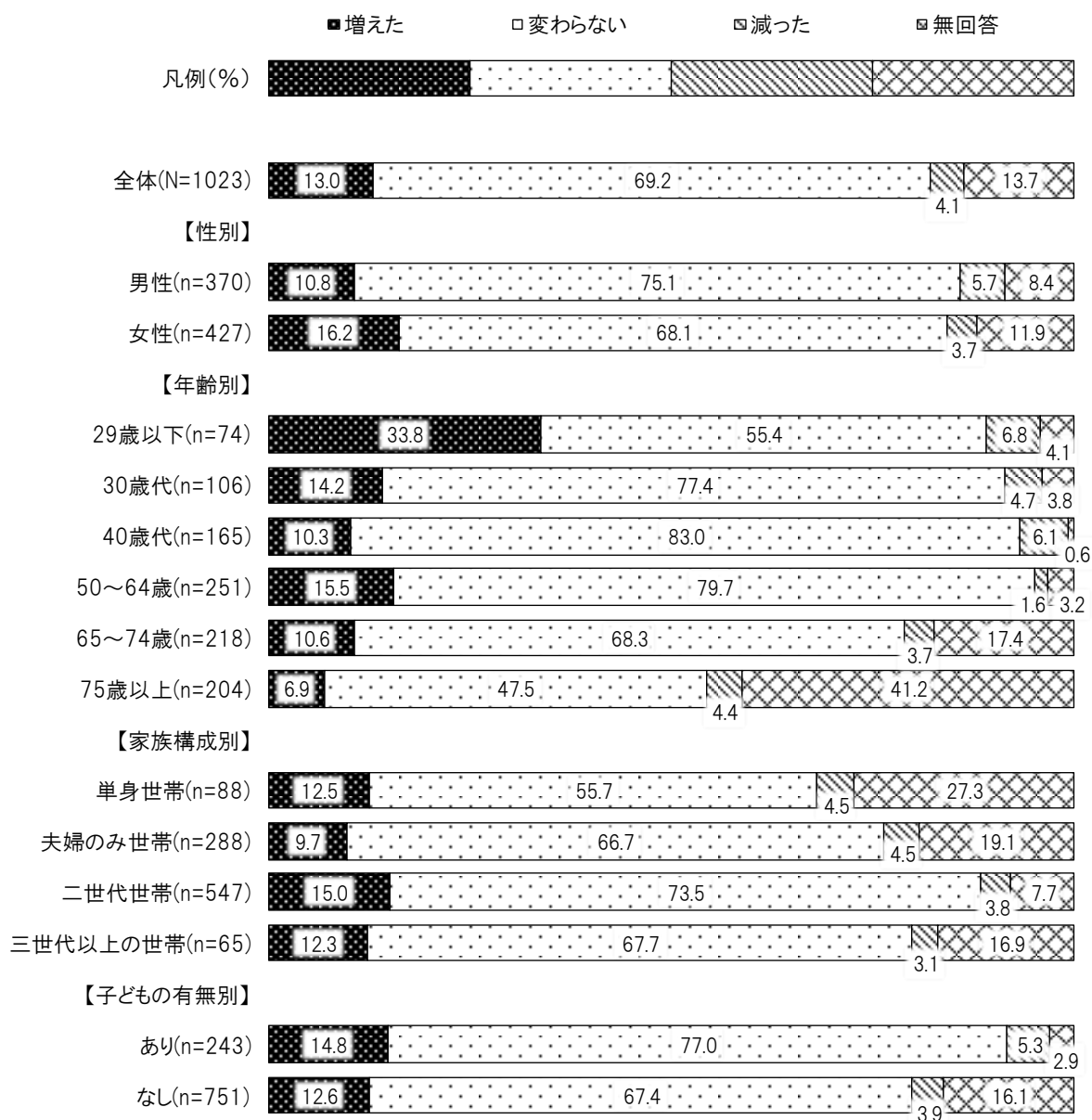
「SNSなどでの交流頻度」については、「増えた」が13.0%、「変わらない」が69.2%、「減った」が4.1%となっている。

性別では、男性は女性に比べ「変わらない」の割合が高く、女性は「増えた」の割合が男性を上回っている。

年齢別では、29歳以下で「増えた」の割合が他の年齢層を大きく上回っている。

家族構成別では、二世帯世帯で「変わらない」の割合が高くなっている。

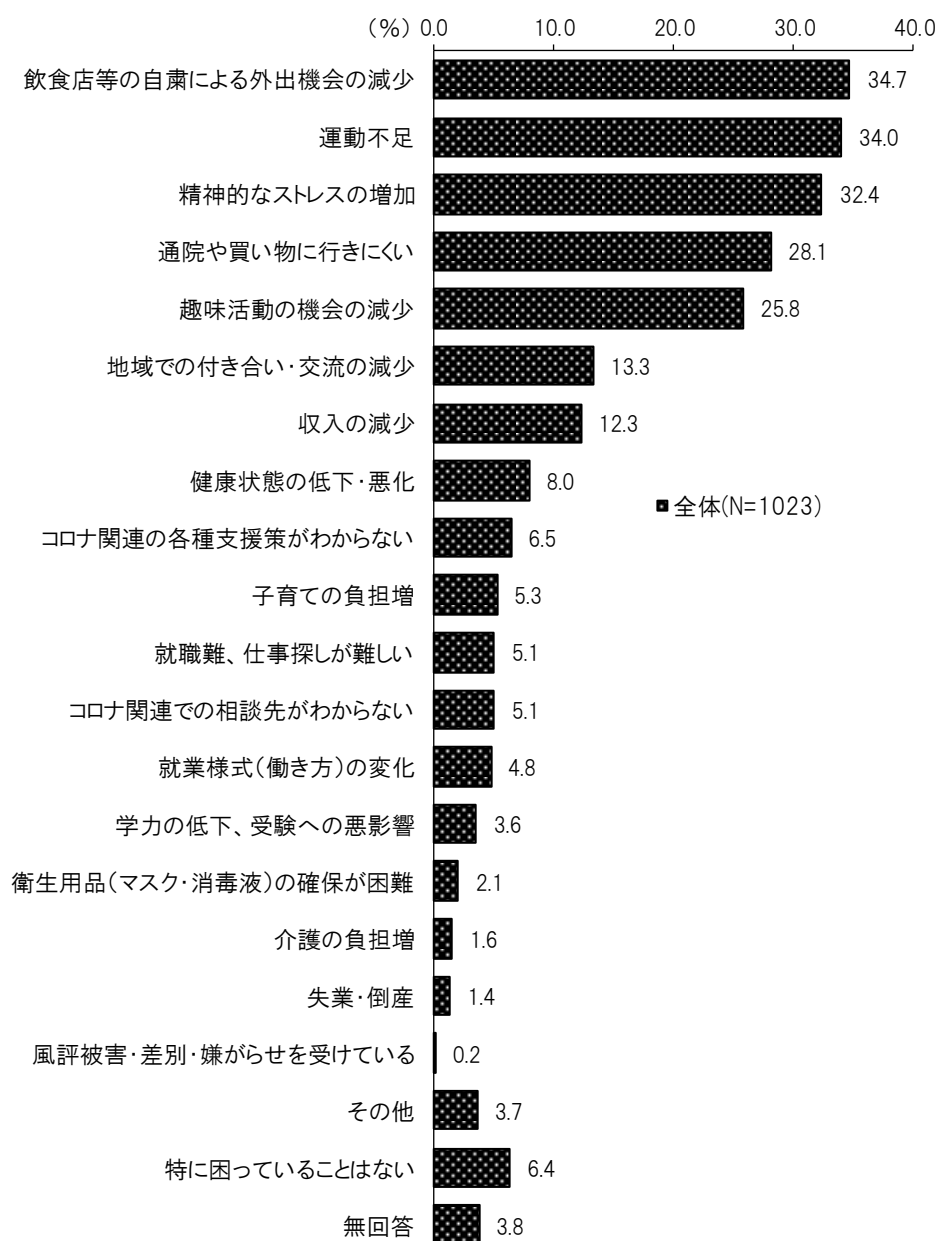
子どもの有無別では、子どもがいる人は「変わらない」の割合が高くなっている。



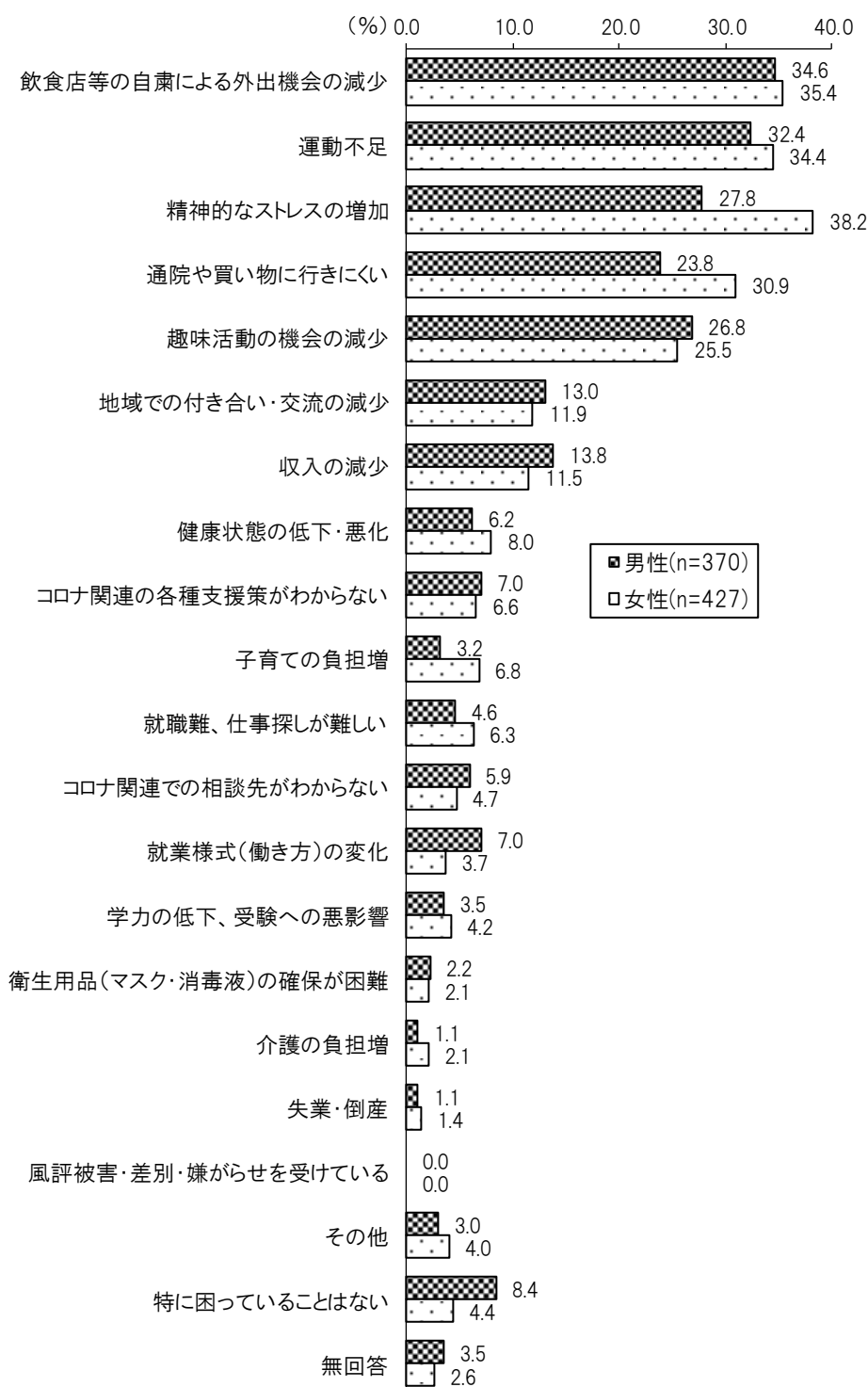
2 新型コロナウイルス感染症により困っていること

問 19 新型コロナウイルス感染症により、特に困っていることはありますか。
(3つまで○印)

新型コロナウイルス感染症により困っていることについては、「飲食店等の自粛による外出機会の減少」の割合が34.7%と最も高く、次いで「運動不足」(34.0%)、「精神的なストレスの増加」(32.4%)、「通院や買い物に行きにくい」(28.1%)、「趣味活動の機会の減少」(25.8%)の順となっている。



性別では、女性は男性に比べ「精神的なストレスの増加」「通院や買い物に行きにくい」の割合が高くなっている。



年齢別では、29歳以下で「趣味活動の機会の減少」「就職難、仕事探しが難しい」、30歳代で「収入の減少」「子育ての負担増」、40歳代で「学力の低下、受験への悪影響」、40～64歳で「精神的なストレスの増加」、65～74歳で「運動不足」、75歳以上で「健康状態の低下・悪化」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

子どもの有無別では、子どもがいる人で「子育ての負担増」、子どもがいない人で「運動不足」「趣味活動の機会の減少」の割合がそれぞれ高くなっている。

単位 (%)	飲食店等の自粛による減少	運動不足	精神的なストレスの増加	通院や買い物に行きにくい	趣味活動の機会の減少	地域での付き合い・交流の減少	収入の減少	健康状態の低下・悪化	支援策がわからない	コロナ関連の各種支	子育ての負担増	就職難、仕事探しが	先がわからない相談
全体(N=1023)	34.7	34.0	32.4	28.1	25.8	13.3	12.3	8.0	6.5	5.3	5.1	5.1	
【年齢別】													
29歳以下(n=74)	37.8	36.5	29.7	16.2	35.1	5.4	14.9	6.8	2.7	2.7	17.6	1.4	
30歳代(n=106)	41.5	20.8	29.2	33.0	16.0	14.2	23.6	5.7	6.6	24.5	9.4	3.8	
40歳代(n=165)	36.4	27.9	38.8	24.8	21.8	10.3	13.3	6.1	5.5	12.1	7.9	2.4	
50～64歳(n=251)	33.1	28.3	38.6	25.1	24.3	7.2	15.9	4.4	8.4	2.4	5.2	5.2	
65～74歳(n=218)	40.8	46.3	28.9	30.7	28.9	17.4	7.3	6.9	6.4	0.0	1.4	4.6	
75歳以上(n=204)	25.0	39.7	25.5	33.3	29.4	21.6	5.4	17.2	6.4	0.0	0.0	9.8	
【子どもの有無別】													
あり(n=243)	40.7	25.9	37.9	28.0	19.3	13.6	18.1	4.1	4.5	19.8	5.8	3.3	
なし(n=751)	33.3	36.8	30.9	28.2	28.1	12.6	10.4	9.5	7.1	0.8	5.1	5.6	

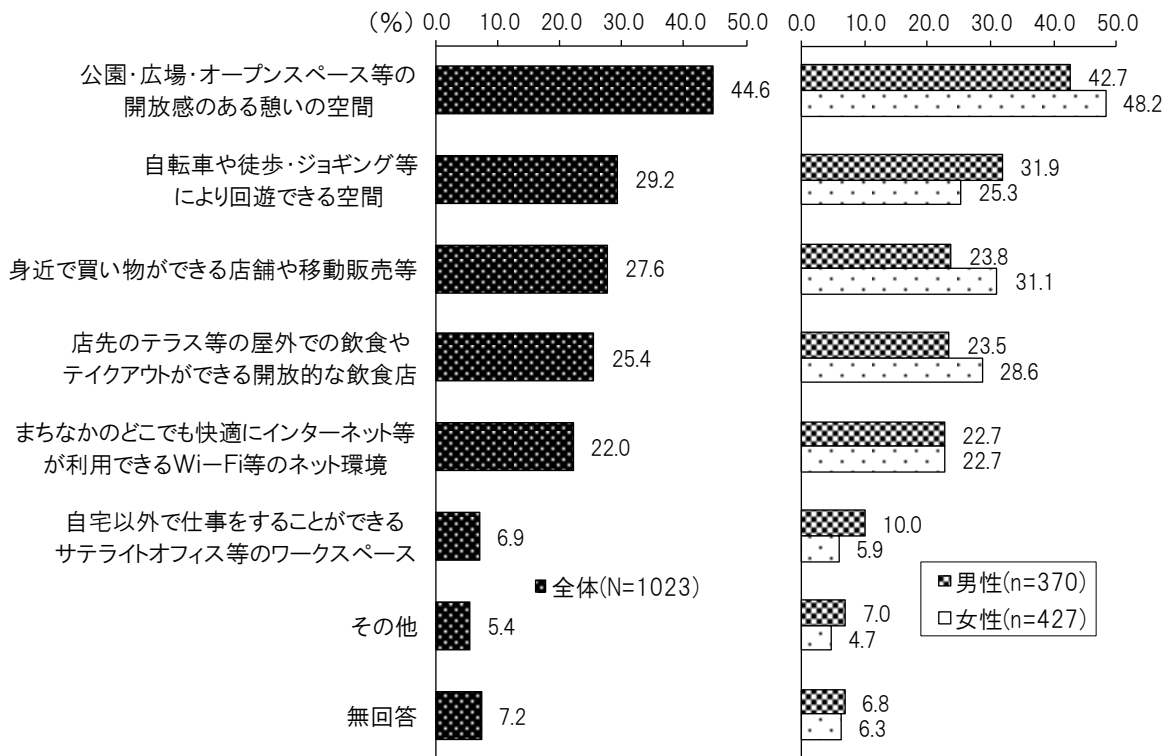
単位 (%)	就業様式(働き方)の変化	学力の低下、受験への悪影響	難消毒衛生用品の確保が困難	介護の負担増	失業・倒産	風評被害を受けやすい・嫌	その他	特に困っていること
全体(N=1023)	4.8	3.6	2.1	1.6	1.4	0.2	3.7	6.4
【年齢別】								
29歳以下(n=74)	8.1	5.4	5.4	0.0	1.4	0.0	4.1	5.4
30歳代(n=106)	6.6	5.7	3.8	0.9	0.0	0.0	1.9	1.9
40歳代(n=165)	6.1	13.3	1.2	2.4	2.4	0.6	3.6	5.5
50～64歳(n=251)	6.8	2.0	2.0	1.6	2.8	0.0	6.4	7.2
65～74歳(n=218)	3.2	0.0	1.8	0.9	0.9	0.5	3.2	7.3
75歳以上(n=204)	0.5	0.0	1.0	2.5	0.0	0.0	2.0	7.4
【子どもの有無別】								
あり(n=243)	7.0	10.7	1.6	1.2	1.2	0.8	2.5	3.7
なし(n=751)	4.0	1.3	2.1	1.7	1.5	0.0	4.3	6.9

3 アフター（ウィズ）コロナの社会において充実する必要がある空間や機能

問 20 これからのアフター（ウィズ）コロナの社会において、私たちが暮らすまちの中で今以上に充実する必要がある空間や機能は何だと思えますか。
（2つまで○印）

アフター（ウィズ）コロナの社会において充実する必要がある空間や機能については、「公園・広場・オープンスペース等の開放感のある憩いの空間」の割合が44.6%と最も高く、次いで「自転車や徒歩・ジョギング等により回遊できる空間」（29.2%）、「身近で買い物ができる店舗や移動販売等」（27.6%）、「店先のテラス等の屋外での飲食やテイクアウトができる開放的な飲食店」（25.4%）の順となっている。

性別では、男性は女性に比べ「自転車や徒歩・ジョギング等により回遊できる空間」の割合が高く、女性は「公園・広場・オープンスペース等の開放感のある憩いの空間」「身近で買い物ができる店舗や移動販売等」などの割合が男性を上回っている。



年齢別では、29歳以下で「まちなかのどこでも快適にインターネット等が利用できるWi-Fi等のネット環境」、30歳代で「公園・広場・オープンスペース等の開放感のある憩いの空間」「店先のテラス等の屋外での飲食やテイクアウトができる開放的な飲食店」、75歳以上で「身近で買い物ができる店舗や移動販売等」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

子どもの有無別では、子どもがいる人は「公園・広場・オープンスペース等の開放感のある憩いの空間」「店先のテラス等の屋外での飲食やテイクアウトができる開放的な飲食店」の割合が高くなっている。

単位 (%)	憩いの空間 公園・広場・オープンスペース	自転車や徒歩・ジョギング等	身近で買い物ができる店舗や移動販売等	飲食店やテラス等の屋外での飲食やテイクアウトができる開放的な飲食店	利用できるWi-Fi等のネット環境	まちなかのどこでも快適にインターネット等が利用できる	自宅以外で仕事をすることができるワークスペース	その他
全体(N=1023)	44.6	29.2	27.6	25.4	22.0	6.9	5.4	
【年齢別】								
29歳以下(n=74)	35.1	18.9	23.0	25.7	43.2	16.2	8.1	
30歳代(n=106)	60.4	20.8	23.6	37.7	21.7	12.3	4.7	
40歳代(n=165)	42.4	29.1	25.5	30.9	30.9	9.1	7.3	
50～64歳(n=251)	36.3	30.7	27.5	23.5	31.5	9.6	6.0	
65～74歳(n=218)	55.5	31.2	27.1	26.6	14.2	2.8	3.2	
75歳以上(n=204)	40.2	34.3	33.3	15.7	4.4	0.5	4.4	
【子どもの有無別】								
あり(n=243)	52.3	27.6	24.7	32.5	23.5	9.1	7.0	
なし(n=751)	41.8	29.7	28.4	23.8	22.2	6.5	4.9	

【5】交野市のこれからのまちづくりについて（自由記述回答）

これからの交野市のまちづくりについて、ご意見やアイデアなどがありましたら、ご記入をお願いします。

注：回答は問 11 の分野別に分類し、一人が複数の分野にわたる回答をしている場合は、それぞれの分野に振り分けている。

交野市のまちづくりについて、意見・アイデア等を自由記述方式で尋ねたところ、以下のような意見がみられた。なお、自由記述については、原文の意図を変えない範囲で誤字等を修正し、分野別に掲載している。

1 子育てについて

●子育てに適している風土、子育てに関する支援

- ・子育て支援が少なすぎる。（男性 20 歳代・森北）
- ・高齢福祉より子育て、保育が充実した町づくりを希望。（男性 20 歳代・倉治）
- ・保育施設の拡充を希望します。新型コロナで収入が減る危機感がある中、共働きの選択肢を考えることができないことに不安を感じています。（男性 30 歳代・幾野）
- ・子育て支援にもっと力を入れてほしい。寝屋川市に住めば良かったと思ってしまう。（男性 30 歳代・星田）
- ・子どもが出来たことを機に転居しましたが、緑が多くとてもいい環境だと思っています。もっと子育て世代が安心して暮らせる支援制度の充実に力を入れていけばいいと思います。そういった世代を取り込んでいくことができれば、結果的に高齢者等にも手厚い支援ができるようになると思います。あとは、ジャストアイデアです。子ども 2 人以上の世帯への支援拡充。（男性 30 歳代・星田）
- ・待機児童をなくす取組や、子育て支援をもっと手厚くしてほしい。子どもを育てるには、少し住みにくい町だと思います。（男性 30 歳代・倉治）
- ・NPO 法人や地域の子育て支援に力をそそぐ団体への助成金の拡充。隣市の枚方や寝屋川と比べ、少なすぎる。（男性 30 歳代・藤が尾）
- ・高校生まで、子ども医療の拡充（現在は中学生までなので、拡充必要）。（男性 40 歳代・郡津）
- ・子どもの遊べるところが少ない。（女性 20 歳代・私部）
- ・幼稚園、保育園に関して、融通が利かなさすぎる。他市では考慮してくれているような事柄でも、頑なに「NO!」としか言ってこない。それぞれの事情を考慮して対応してほしい。（女性 30 歳代・私市）
- ・日・祝に子どもを預けられる施設が一つもない。困っています。子育て支援の強化をよろしくをお願いします。（女性 30 歳代・私部）
- ・子育てに対する支援をあまり感じない。児童発達支援をもっと充実し、手厚くしてほしい。不安が軽減されない。環境が良いと聞いて転入してきたが、まだ実感が薄い。預け先が無ければ働きに出られないのに、預け先が確保できない。選考基準も見直してほしい。（女性 30 歳代・星田）

- ・子育てに対する支援があまりない。他市はもっとすごく手厚いのに対し、交野は薄い。どの保護者も口をそろえて言います。本当は交野に住みたいが、枚方、寝屋川へ子育てのしやすさから引っ越す世帯が多い。保育園に入れないのがありえない、どうにかするべき。（女性 30 歳代・倉治）
- ・星田の開発や転入の割合で子育て世代が多いことなどを考えると、子育てへの保障や補助が欲しい。予防注射の定期接種や検診は、以前いた市の方が充実していた。（女性 30 歳代・倉治）
- ・子育て環境を改善して、人口増を加速してほしい。人口が増えれば、名店など更に人を増やせるポテンシャルのあるお店も集まるので、それでよい循環を生んで欲しい。人口増、税収増となれば、必然と公共交通の問題も解消し、高齢者にも手厚くできる。こんなうまく行かないとは思いますが、大好きな交野市に期待しています。（女性 30 歳代・妙見東）
- ・子育て世帯の経済的負担の軽減を望みます。（女性 40 歳代・私市）
- ・とにかく働かないといけないのに、待機児童のため、幼稚園にしか入れず、経済的に大変だ。いい加減、保育所を増やしてください。（女性 40 歳代・私部）
- ・子育て支援を充実させて人口増加した明石市のように、もっと子育て支援をすべきと思います。（女性 40 歳代・妙見坂）
- ・転勤を繰り返し、ゆったりとした家を建てるために交野市に家を建てました。自分の経験と比べ、近所に住む子育て中の親子（0～5 歳位まで）を見ると、かわいそうに思えてきます。地域に何も無いからです。交野は坂道も多く、ベビーカーを押している人もほとんど見かけません。自分の子どもが将来、交野で子育てしたくないと言っても、仕方ない環境です。（女性 50 歳代・星田）
- ・元気なお年寄りが多いので、マンパワーを子育て支援に活用すべきだと思います。（女性 50 歳代・星田北）
- ・公立保育園をなくすことを止めてほしい。（女性 60～64 歳・私部西）
- ・子どもを育てる環境（出産、育児の充実に尽きる）整備。（女性 65～74 歳・郡津）
- ・子育ての予算は削らないでください（40 年程続いた家庭教育学級が閉じました。私たちは多くの体験と知識を得て、子育てに役立てました）。これからの若い母親の道しるべになることをしてあげてください。（女性 65～74 歳・星田）
- ・子育て支援に関して、充実していると思います。（性別不明 30 歳代・倉治）
- ・保育園の民間委託化を進めていますが、市役所、議員に高い給与を払う前に、まず自らを改善してほしいものです。子どもは将来、交野市を担う人材です。育てやすい環境で豊かな交野市にしてください。（性別不明 40 歳代・郡津）
- ・企業誘致より教育！ 教育より保育！ 交野市の重点項目は逆な気がします。削りやすい所、声が上がりにくい所から予算を減らすのをやめてください。（性別不明 40 歳代・星田）
- ・ゆうゆうバスは、子育て時代に通院、検診、買物等、車に乗らなかったのが重宝しました。ゆうゆうバスの廃止等、市の財政状況を考えると仕方のない面もあるかもしれないが、民意が反映されていないと思う。子育て環境を魅力あるものにしないと、高齢者ばかりの古い体質の行政のままではないだろうか。

若い世代もシルバー人材のように、有償で市のさまざまなサービスのボランティアを募ったりしては、どうでしょうか。SNS、動画配信等、若者世代の知恵をたくさん借りて、意見を取り入れるようにしてください。私の住む地域だけかもしれないが、子育て時代、育児サークルで公民館を使いたいと思っても老人優先、公園でボール遊び禁止等ありました。高齢者を尊重する気持ちはありますが、主張が強すぎて、共存しようという感じがなく残念でした。（性別不明 50 歳代・私市）

- ・子育てにふさわしい支援を続けていってほしいです（予算等の関係で、企業の誘致も必要であるとは思いますが）。（性別不明 65～74 歳・私部）
- ・少子化問題と子育て。市内に出産できる施設がないので、ためらっている方がいるのでは。（性別不明 75～79 歳・妙見坂）

2 教育について

●学校施設と教育環境、児童・生徒の健全育成

- ・公立校を一貫にする意味が今ひとつ分からないです。交野市が財政難と言われている中、何億という予算をそこに投入する前に、もっとほかにすべきことがあるのではないのでしょうか？（男性 20 歳代・藤が尾）
- ・市独自の塾代を支援（夫婦合計ではなく、800 万以上は除外）。月 5000 円。（男性 40 歳代・郡津）
- ・通学路に危ないところが多いので、子どもに安全教育をしてほしい。（男性 40 歳代・向井田）
- ・倉治グラウンドのあり方についてですが、有料施設ということもあり、無断で使用することは、ダメというのも分かります。しかし、放課後の子どもたちが、いきいきのびのびと遊ぶ場所としては、必要ではないかと考えます。平日の放課後時間、利用されている方はおられないようなので、地域の子どもたちに開放してもらうことはできないのでしょうか。ボール遊びができないし、公民館横の広場だけではスペースがない。どうかご検討ください。よろしく願いいたします。何かいい方法はないのでしょうか。こんないい場所、交野の子どもの育成に使ってはもらえないのでしょうか。自由に使える広い公園もないですし。自然豊かな広いスペースも交野の魅力なのに……。 （男性 40 歳代・神宮寺）
- ・小学生の息子の学校環境について、コロナで今後は非常に心配です。子どもたちがしっかりと勉学に励める環境をよろしく願います。（男性 40 歳代・倉治）
- ・交野市は恵まれた環境もあり、また、市民の資質もある程度近い（均質）ところもあり、教育を行う恰好の場と思う。積極的に市民より「教育の充実」のためのアイデアを募る。（男性 60～64 歳・私部西）
- ・勝手に小中学校を統合するな。市民の意見に耳をかたむけろ。（男性 65～74 歳・私部）
- ・大阪市が行っている“いきいき学童保育”のような、無料の学童保育があればうれしいです。または、学校内での学童保育料の値下げなどでも経済的に助かります。また交野市内には、教育施設（習い事やインターナショナルスクール）が少ないので、もっと充実させることで、子育て世代も増え、交野市内の子どもの学力向上にもつながると思います。（女性 30 歳代・郡津）

- ・コロナは、いつか落ち着いてくるとは思いますが、そのいつかは“いつ”なのかわかりません。それでも、小中一貫校を作ってしまうのでしょうか（空間が狭そう）。小中一貫校ができたとして、小学校から制服があったらうれしいです。小中一貫校にならなくても、小学校から指定のランドセル、制服があるといいなと思います。（女性 30 歳代・私部西）
- ・学校の老朽化がひどい。子どもがいるので、早く改善してほしいです。（女性 30 歳代・倉治）
- ・コロナがどれほど続くのか、誰にもわからないこの状況で、交小に超密な高層学校をつくるのは、本当にキケン！！ 未来を担う大切な生命をたくさん失う可能性のある小中一体型学校という、はやりに乗ることの恐ろしさ。絶対やめてください。（女性 40 歳代・私部）
- ・子どもは大阪市内の小学校へ通学しています。交野市内の小学・中学（公立）の施設は、とても古く快適とは言えない様に思います。市内で、高い教育と質の良い環境で学習できれば有り難いです。（女性 40 歳代・星田）
- ・児童会学童についてですが、申し込み後より、2 週間かかると言われました。求職中で早めに来てほしいなど有るので、求職中でも手続きしておけるといいと思った。また 14 日/月以上の就労をしていないとダメとのことですが、パートや派遣（単発の仕事もあり、就労証明も出しにくい）での就労にも考慮してほしい。また 14 時までなどのパートをみつけられたとしても、長期休みがとてもネックになるので、そういった対応も検討してほしい。大阪市などでは 1 日単位で、私用でも預けられると聞きました。児童会の拡充、ぜひご検討ください。本当に困っています。（女性 40 歳代・天野が原町）
- ・子どもを育てる環境（教育の充実に尽きる）整備。（女性 65～74 歳・郡津）
- ・交野市内の小学校・中学校の統合のこと。学校は小さい方がいいと考えている。（女性 80 歳以上・星田）
- ・学生のための図書館等での自習室スペースの拡充を、以前より希望しています。読書テーブルと同じ場所だと勉強しにくいことが多いと感じます。学校外の学習環境の充実に力を入れていただきたいです。（性別不明 40 歳代・郡津）
- ・学童保育の民間委託化を進めていますが、市役所、議員に高い給与を払う前に、まず自ら改善をしてほしいものです。子どもは将来、交野市を担う人材です。教育のレベルアップで豊かな交野市にしてください。（性別不明 40 歳代・郡津）
- ・小中一貫教育等、市の財政状況を考えると仕方がない面もあるかもしれないが、民意が反映されていないと思う。教育環境を魅力あるものにしないと、高齢者ばかりの古い体質の行政のままではないだろうか。（性別不明 50 歳代・私市）
- ・小中校の設置見直し。多額な建築費はコロナ対策へ。（性別不明 65～74 歳・私市山手）
- ・40 年前交野の地を選んだのは、教育環境が広々して良かったのも、1 つになっていました。それが交小の地に 3 校が入るといふ発想はいかがなものでしょうか。教育一貫校のことではなくて、あまりにも狭い点で心を痛めています。交野の議員さんも交野育ちが多いと思いますが、のびのびできる交野らしい子どもに育てるのは、やはり環境も大切。きつきつの所で 9 年間過ごした子どもたちは、交野の良さを分かってくれるでしょうか。こういう問題も、情報が全然ないのでもどかしい感じです。

一度学校を作ってしまうと、多くの子どもたちがそこで学ぶことになります。やはりのびのびした環境が大切だと思うのです。多感な7～15歳の時期は、本当に大切だと思います。私の孫も一貫教育を神奈川県で受けました。広々とした環境で良かったと親は言っています。財政面も大変でしょうが、子どもは国の宝です。交野の宝です。教育に力を入れてください。きっとよい学校になると、市外の人が交野に住みたいと思われるでしょう。何もかも中途半端な街でなくて、教育に力を入れている市だと思われることは、街の発展につながると思います。えらそうなことを書きましたが、よろしく願いします。（性別不明 80 歳以上・向井田）

3 健康・福祉について

●市民の健康づくり(病院、医療含む)

- ・24 時間対応の病院がない。以前は、交野病院が朝・昼・夕診療を行っていたのに、今は平日の朝の午前診療のみ、休日に急病になっても診てくれません。交野で唯一の大型病院がこの状態では、安心して暮らせません。（男性 30 歳代・倉治）
- ・住みやすい町作りで、休みの時は家族で運動やレジャーが楽しめて、健康的な日常生活が過ごせる環境づくりを進めてほしい。（男性 65～74 歳・私部）
- ・保健所の設置。（男性 80 歳以上・寺）
- ・出産のできる産婦人科がいつまでもないのはおかしいと思います。（女性 30 歳代・東倉治）
- ・交野病院への通院が不便である。（女性 40 歳代・森北）
- ・コロナ関連での相談先に関係しますが、交野市に保健所がないのが心配になります。（女性 50 歳代・松塚）
- ・公立病院、保健所の設置。（女性 60～64 歳・私部西）
- ・総合病院の充実を願います。（女性 60～64 歳・天野が原町）
- ・医療機関の充実は、よくよくご検討下さるよう切望します。どんぐりの背比べのような数の充足でなく、人命救助に必要な部門の充実をお願いしたいものです。医療費の負担支出に対する効果について、本当によく検討されているのか否かよく分かりませんが、徹底していただけたら大変有り難く思います。医療負担が重いと感じています。これからは高齢化も進みますので・・・よろしく願いします。（女性 65～74 歳・郡津）
- ・医療機関の充実。（女性 80 歳以上・私部）
- ・交野病院の利便性。（性別不明 50 歳代・私部西）

●地域での暮らしの支え合い

- ・身近なところにあった食品、物品等を扱う小さな店が閉店し、郊外型の店が展開して来ているが、気軽にそれらを利用できない人も増えて来ている。市や社協が仲介することなどを通して、高齢者や障がいのある人たちが運営に携われるような、身近で便利な小さな店が増えていくことが良いのではないかと思う。（相互に助かる福祉のお店）（男性 65～74 歳・天野が原町）

- ・高齢者支援の場と子育て支援の場をもう少し近くに考えていくと、より良い支援が生まれると思います。高齢者は子どもたちから刺激を受け、また、子どもたちは高齢者から知恵や思いやりを受けることができます。（女性 30 歳代・郡津）
- ・自然豊かで、人も優しい町で、高齢者・子ども・障がい者も共に楽しく笑顔で過ごせる町にしたいと思います。（女性 75～79 歳・寺）

●高齢者への支援

- ・星田西地区は、坂が急で長いです。これからご高齢の方々が增多すると思われます。買物や病院に行きにくい（行けない）方々が出てくると予想します。そこで、スーパーや飲食店のデリバリーサービスの充実や訪問診療です。（男性 20 歳代・星田西）
- ・高齢者の活動、就労機会を増やす（農業を活用した産業の実施など）。（男性 50 歳代・星田）
- ・高齢者が住み良い町作り。（男性 60～64 歳・藤が尾）
- ・スマホもネットも使えません。情報がちゃんと得られるのか不安です。こういう高齢世帯にサポートしてもらえませんか。（男性 65～74 歳・星田）
- ・町内の美化、花づくりなど出会いの場をつくる（高齢者向け）。（男性 75～79 歳・青山）
- ・肢体不自由になったときの買物、医者等の支援を受けられる体制を願いたい。（男性 75～79 歳・倉治）
- ・コロナとゆうゆう号の廃止で老人が引きこもりになっている。外に出やすい町づくりにしないと、寝たきり、認知症が増えると思います。（女性 20 歳代・倉治）
- ・老人が増えている。（女性 50 歳代・私部）
- ・ますます高齢者が増えていくと思います。外出支援手段の拡充をお願いします。（女性 50 歳代・星田北）
- ・これから市役所関連の施設がいきいきランドに移転すると聞いていますが、高齢になると、そこへ行く手段がなくなるのが不安です。また、買物など日常生活も、車を手放したときにはどうしたらよいか、不安です。星田山手に住んでいる両親はどうしたらよいか不安です。現に星田山手に住んでいる両親は車を手放し、娘の（私の）車はいろんな物（灯油、日用雑貨等）の購入に駆り出されます。（女性 50 歳代・妙見坂）
- ・健康な年寄りも買物へ行くのにだんだん歩けなくなり、外に出ない様になるため、週 1～2 回、家の近場まで迎えに来てほしい（買物ツアーとか）。年寄りの、問題のない方の対策が少ないと思います。（女性 60～64 歳・郡津）
- ・交野山を中心に、風光明媚な交野市が大好きです。今後高齢になっても、安心して住める福祉環境の整備を一層進めていただきたいと思います。（女性 60～64 歳・倉治）
- ・自転車で枚方まで買物に行ける人が、介護保険を使ってデイサービスに行っている。本当に困っている人に使ってほしい。こんなことが許されるのかな、矛盾している。（女性 65～74 歳・幾野）
- ・高齢者への支援を充実してほしい。（女性 75～79 歳・星田山手）
- ・介護保険を無駄に使うて欲しくない（保険料が高い）（本当に必要か調べる。共産党に入れば融通されるのですか？）。（女性 75～79 歳・妙見坂）

- ・足が悪いので、外出することが少なく、新聞、テレビ、回報等で知るほかは全然ない状態で、寂しく感じることもあります。（女性 80 歳以上・私部）
- ・高齢者施設の充実（女性 80 歳以上・星田）
- ・他市町村と同程度の高齢者へのお祝いが必要である。（女性 80 歳以上・南星台）
- ・夢物語かもしれませんが、恵まれた自然の中で、認知症の人がおだやかに暮らせる環境などのエリアが創生できないものかと願います。コロナ等の感染症が、今後再発してくれば、上記の人の介護に十分支援できる体制が望ましいと思う。（性別不明 65～74 歳・星田）
- ・医療・介護施設の相互連携が重要だということが分かった。これは、災害の時の町づくりにも役立つので、施設ごとの得意分野を出してもらって、「イザ」というときも「ふだん」も協力しあえる体制を作っておく必要がある。ハード面もソフト面も、これに取り組むことで、自分たちのモチベーションの向上にも必ず役立つメリットも伝えることで、参加してもらいやすくなるのでは！（性別不明 65～74 歳・星田西）
- ・老人の福祉の向上を忘れないで欲しい。仕事に従事している長い期間、高額な住民税を払い続けてきたのだから。（性別不明 65～74 歳・星田西）
- ・高齢者や福祉の充実を求める。枚方、寝屋川市と比べ、支援が足りないと思う。（性別不明 65～74 歳・青山）
- ・母の介護をしていますが、熱が出て介護タクシーは使えません。とてつもなく怖かったです。（性別不明 65～74 歳・梅が枝）
- ・外出するにも足がない。（性別不明 75～79 歳・幾野）
- ・高齢者が安心して往来できる町づくり。（性別不明 80 歳以上・私部）

●障がい者への支援

- ・軽度障がい者にする対策→自然と環境をうたうなら、対になる人が働きやすく、住みやすい街をうたっていけばどうか。（男性 20 歳代・寺）
- ・障がい者の活動、就労機会を増やす（農業を活用した産業の実施など）。（男性 50 歳代・星田）
- ・障がい者への支援（教育、リハビリ、仕事）ができている町にしたい。（男性 60～64 歳・藤が尾）
- ・障がい者（児）が安心して往来できる町づくり。（性別不明 80 歳以上・私部）

4 生涯学習について

●文化の振興

- ・買物ついでに図書館に行ければと思います。図書館は、ネットで予約して本を借りられる等。（男性 40 歳代・私市）
- ・人がつどえる大型図書館が欲しいです。美術館など、芸術活動が併設していたら更にうれしいです。（男性 40 歳代・私部南）
- ・特定の文化を強化して知名度を上げていく。（男性 60～64 歳・星田北）
- ・若い世代が利用できる、図書室の自習室など充実してほしい。（男性 80 歳以上・星田）

- ・四中校区にも図書館を作ってほしいです。駅前又はゆうゆうセンターに、図書館の返却ポストを設置してほしいです。（女性 40 歳代・私市）
- ・図書館など施設の充実を願います。（女性 60～64 歳・天野が原町）
- ・文化、教養の予算は削らないでください。（女性 65～74 歳・星田）
- ・現在の青年の家の図書室が老朽化しているので、早く安全で明るい、誰もが行きたくなくなる図書館を作ってほしいと思います。（性別不明 75～79 歳・森南）

●スポーツの振興

- ・マラソンの走りやすい、平たいコースを作ってほしい。今、寝屋川打上公園まで走っています（1周 1.5 km）。（男性 19 歳以下・私市）
- ・特定のスポーツを強化して知名度を上げていく。（男性 60～64 歳・星田北）
- ・いきいきランドのジム施設を増やす等、運動できる空間を増やしてほしい。（女性 20 歳代・私部西）

5 安全・安心について

●防災・防犯の取組

- ・高齢者や子どもが安心して過ごすことができるよう、外灯の充実化、防犯カメラの増設等もお願いしたい。（男性 30 歳代・星田）
- ・転入を促すために、暴走族の取り締まり（最近では、治安の悪化を感じる。子育て世帯に悪感情を与える）。（男性 40 歳代・郡津）
- ・安心、安全な交野市であり続けるためには、外国人の受け入れ（居住、就労、民泊）を積極的に行って欲しくありません。しないでください。治安の良い交野市であり続けてほしいです。（男性 40 歳代・星田西）
- ・夜間照明の充実（暗い場所をなくす）。（男性 50 歳代・郡津）
- ・自動車が結構スピードを出して危険です。警察官もいないし、無法状態が気になります。（男性 50 歳代・星田）
- ・2018 年の地震の際に、市からの放送が流れたが、内容が全く聞こえなかった（コロナ後の現在も不変）。有事の際の市からの情報をスマホや携帯電話（ガラケー）へ着信するようなもの（警察の安まちメールみたいなもの）があれば良いと思う。※既にある場合は周知不足では？（男性 50 歳代・天野が原町）
- ・一大胆な提案一市内各所に防犯カメラの設置を。（男性 65～74 歳・私部）
- ・とにかく街灯をもっと明るくして。（男性 65～74 歳・私部南）
- ・子どもたちも含め、安全、安心して住める環境を目指してほしい。アンケートにもありましたが、行政が取り組んでいただけるようお願いしたい。（男性 65～74 歳・倉治）
- ・今後、想定される南海トラフ巨大地震や豪雨等など、災害に対する備えが重要と考えられる。なので、日頃からの防災訓練や講習会等の開催が必要だと思います。最後に、私にとって交野市は最高の町だと思っています。（男性 65～74 歳・倉治）
- ・人口減少の中、拡大路線（他地域からの人口導入）を目指す方向は、時代遅れ。災害対策に軸足をシフトすべきで、日本全体を見ても人口指標からも（少子高齢化）、これからの進むべき方向は見えてくる筈だ。（男性 80 歳以上・星田山手）

- ・問 16 で地域の人と協力して、ボランティアで防犯、パトロールの話が出ましたが、シルバー人材センターなどにお金を出して、市の予算でもっとパトロールを増やして、夜でも見回ってほしいです。安心して歩ける町がいいです。（女性 20 歳代・倉治）
- ・歩行者のいる横断歩道で、車の一時停止をしてもらえない。子どもの通学路くらいは、しっかりと取り締まってほしいです。（女性 30 歳代・私部）
- ・これからも治安の良い、交野であってほしい。（女性 40 歳代・私部）
- ・通学する子どもたちのために、外灯の設置やガードレール、柵等、安全のための対策をお願いします。（女性 40 歳代・星田）
- ・蓋のない側溝が多いので、危険。外灯が暗かったり、少なかったり、なくてまっくらの道路が多く、冬場は特に危ないと思います。（女性 40 歳代・星田）
- ・元気なお年寄りが多いので、マンパワーを防犯防災に活用するべきだと思います。（女性 50 歳代・星田北）
- ・災害、土砂対策がどうなっているか分からない。毎回、避難指示がある。（女性 60～64 歳・私市山手）
- ・狭い歩道に自転車を走らせていることに、日々危険を感じている。（女性 65～74 歳・藤が尾）
- ・交野市からのスピーカーが聞こえにくいです。現在の状況が分かりません。（女性 75～79 歳・幾野）
- ・2020 年から 2021 年は、明治維新に匹敵するような大転換点になると言われている。メディアが取り上げていない水面下での動き、時流を正しくとらえていかないと市政を誤ることとなる。エネルギー安全保障の観点から、どのように市政を行っていけば良いかを考えることは重要である。エネルギーも、今後フリーエネルギーなど、災害時でも調達できる仕組みを考えておいた方が良くと思う。（性別不明 40 歳代・私市）
- ・夜中にうろついているヤンキーを取り締まってください。夜うるさくて、眠れません。早く出て行きたい。バイクの音がたまらん。子どもに悪影響です。（性別不明 40 歳代・藤が尾）
- ・暴走バイク他治安維持のために、第二京阪道路に交番の設置。（性別不明 50 歳代・私部西）
- ・これからもっと住宅が増え、人口も増え、子どもも増えると車も多くなり、事故が増えるので、通学路もそうですが、防犯カメラや防犯灯が増えればと思います。（性別不明 50 歳代・倉治）
- ・安全と安心が生活基盤、防犯、防災への取組強化をお願いしたい。（性別不明 50 歳代・倉治）
- ・交野の住宅街を歩いてみてください。暗くて過疎地域のようなようです。防犯カメラは、何メートル間隔で設置されていますか？ 交野市詳細図に、防犯カメラ設置場所を書き入れてください。住民が安心して暮らせる町づくりを。（性別不明 65～74 歳・私部）

●平和と人権の尊重

- ・天野が原1丁目の話です。100坪近い大きな住宅が多い中で、「土地を2つに分譲して、そこに住む2組の家族が価値を下げた。」と言って、回覧板を回さないなどのいじめをしていると聞きました。そのようないじめをする住民がいる地域こそ、価値が低いと思います。本当に残念な話です。（性別不明 30歳代・森南）

6 まちづくりについて

●買物の利便性

- ・飲食店やレンタルビデオ店などの商業施設の出店を強く望みます。（男性 30歳代・森南）
- ・星田駅周辺に、商業施設の整備をお願いします。（男性 40歳代・星田）
- ・飲食店が少ない。テイクアウトの店舗が充実してほしい。（男性 50歳代・私部南）
- ・星田駅、寝屋川公園。駅前にもっといろいろなお店ができ、駅前等充実させてほしい。（男性 50歳代・星田西）
- ・イズミヤをもっと活気良く、キレイに！（男性 60～64歳・私部西）
- ・星田駅前の商店街が寂しく、必要な品物が買えない。星田山手には商店がないので、車を走らせるなどしている。身近に小規模でも商店が欲しいです。（男性 65～74歳・星田山手）
- ・いつの間にか「買物難民地区」と言われています。寂しいです。（男性 80歳以上・私市山手）
- ・animate や TSUTAYA など、若者もより楽しめる商業施設があればうれしいです。せめて、TSUTAYA の返却ボックスが交野市駅にあるととても喜ぶます（郵便返却や交野市駅まで行くお金や手間が省けるので！）。（女性 20歳代・幾野）
- ・駅周辺の無駄なスペースや、点々とした店が気になる。まとめてしまって、大きなスペースで利便性の高い施設ができないか。（女性 20歳代・私部）
- ・ちょっと、ほっとできるおしゃれなカフェがあったらうれしい。（女性 20歳代・私部西）
- ・くずはモールのようなショッピングモールができてほしい。（女性 30歳代・私部）
- ・飲食店、ディスカウントスーパーを作してほしい。（女性 30歳代・天野が原町）
- ・働きながらでも、買物や新鮮な物などがもっと手軽に買えるようになって、交野産の物を大切にできればよいなと思います。（女性 40歳代・幾野）
- ・スーパーとか誘致してほしい。（女性 40歳代・私部）
- ・買物する店を増やしてほしい。にぎわいがいい。（女性 50歳代・私部）
- ・近くに買物できる“スーパー”が少なすぎる。仕事帰りに行ける所がない。現在は、コロナ禍なので仕方ないが、町中が寂しい。なるべく市内のためにも、地元で買物をしたい。（女性 50歳代・私部）
- ・他市に比べ、ショッピングセンター等もなく、市に活気が見られない。ますます停滞、衰退していくように思われる。（女性 50歳代・私部）
- ・交野には、何もないとよく言われます。買物、食事（外食）にどこに行くか悩みます。経済的に厳しいのですが、イズミヤの辺りも、時代に即した店舗にしてもらいたいです（イオンやコンビニ etc）。（女性 50歳代・寺）

- ・魅力的な商業施設がない。大規模な商業施設を作り、町の活性化に取り組んで欲しい。
（女性 50 歳代・倉治）
- ・大型店イオンを作ってほしい。（女性 60～64 歳・私市）
- ・私市駅前か駅中にコンビニを。（女性 60～64 歳・私市山手）
- ・大阪市と比べて、飲食店が少ないです。「もう少し増えたらいいな」と思います。（女性 65～74 歳・私部南）
- ・買物が楽しみなので、大型商業施設が近くに欲しい。（女性 65～74 歳・星田）
- ・星田駅周辺に、家族で行けるようなおいしい食事の店がない。空き店舗が多く環境が悪い。（女性 65～74 歳・星田）
- ・チェーン店ではない飲食店を増やしてほしい。外食するときは、だいたい市外に出ています。（性別不明 30 歳代・森北）
- ・スーパーやコンビニが集中している所は集中しているが、ないところはないなどバランスが取れてなく、住む場所によっては、かなり不便を感じます。（性別不明 30 歳代・妙見坂）
- ・他市へ行かなくても、地元で買物ができるようなショッピングモールがあれば、地元でお金を落とすことになるので、いいと思います。（性別不明 50 歳代・倉治）
- ・徒歩で買物に行くのに困難な土地柄、1 軒でもお店があると助かるのに・・・と思います。（性別不明 50 歳代・妙見東）
- ・河内いわふねと河内森の駅を一体化して大きな商業施設を作るべき。交野市駅周辺も中途半端、もっとしっかりした商業施設を作ってまちづくりをすべき。星田駅周辺も、あのままでは発展しない。（性別不明 60～64 歳・星田西）

●公共交通の利便性

- ・ゆうゆうバス廃止などをしてしまったのが、とても残念です。（男性 20 歳代・藤が尾）
- ・河内磐船駅と河内森を近づけて、乗り換えを楽にする。河内磐船駅に北口（バス停がある方）を作る。（男性 30 歳代・森南）
- ・京阪電車交野線の通勤・通学時間帯の車両を増やしてほしい（混在、密緩和のため）。交野市駅出発の京阪バスの時刻スケジュールについて→最終出発時間を延ばしてほしい。その他の時間の間隔も 1 時間に 2 本にしてほしい。（男性 50 歳代・幾野）
- ・市内のバス停を増やし、本数も 10～15 分に 1 本にすること。バスでの移動を便利にできるようにしてほしい。（男性 50 歳代・星田山手）
- ・市内の坂が多い地域に高齢の両親が住んでいるが、京阪バスの本数が減少し、ゆうゆうバスが廃止されて困っています。利便性がいいアイデアを考えてください。お願いします。（男性 50 歳代・藤が尾）
- ・南部山手方面から星田駅への公共交通を考えてほしい。（男性 60～64 歳・私部西）
- ・コミュニティバスは有料でも（100 円程度）走らせるように。（男性 65～74 歳・私部）
- ・住みやすい町作りとして、大阪市や他市が職場でも通勤しやすく、住みやすい環境づくりを進めてほしい。（男性 65～74 歳・私部）
- ・これからますます高齢化するのに、京阪バスの路線廃止等がある。交野市の考え方が理解できません。（男性 75～79 歳・南星台）

- ・現在は車を運転して買物をしていますが、免許証返納後は家電、肌着、靴下、住居関連商品などの購入が難しくなると思う。交通の不便さを感じている。（男性 80 歳以上・星田）
- ・交野市の 1/3 は丘陵地です。JR、京阪の駅近くで平地に住む人は良いのですが、駅に遠く、足腰の弱くなった高齢者には住みにくいのが、交野市です。住人の声も聞かず、ゆうゆうバス等は 4～5 か月で廃止。市民の声を聞かない市長は独裁者ですよ（廃止ありきで進めた）。（男性 80 歳以上・星田山手）
- ・京阪バスのタイヤが不明で、年寄りには使用不能である。（男性 80 歳以上・星田北）
- ・免許証を返して、なんと不便なことか。ゆうゆうバスに代わる 100 円バスを走らせることはできませんか？ 皆さん無料でなくてもと言っていますよ。だんだん不便になっていく市が大阪に有るとは。老いてから便利な町は、若い人たちにも魅力だと思いますよ。（男性 80 歳以上・南星台）
- ・ゆうゆうバスの回復。（男性 80 歳以上・妙見坂）
- ・居住地の妙見東から星田駅行きのバスがなくなり、大変不便。河内磐船行きも、1 時間に 1 本と利用できない。外出は娘の車に乗せてもらうしかない。バスの便の整備を強く要望します。（男性 80 歳以上・妙見東）
- ・うちの親は高齢者で、そろそろ運転も危ないかなと思っていますが、京阪バスの本数も少なく、頼りにしていたゆうゆうバスなども撤廃されて、とても困っています。タダじゃなくてもいいので、安くて本数がそこそこある市営バスが欲しいです（あと若い人も乗せてほしい）。以前足をケガして、どうしても歩けず（今はありませんが）、ゆうゆうバスに乗せてほしいとお願いをした所、年齢でダメと言われました。同じ税金を払っているのに、ケガをしていたのに。（女性 20 歳代・倉治）
- ・高齢者が増える中、車がないと不便なのが心配です。危ない運転をされている方も多く感じます。（女性 30 歳代・東倉治）
- ・働きながらでも、交通がよければよいと思います。（女性 40 歳代・幾野）
- ・ゆうゆうバスがなくなり、高齢者がすごく困っています。再開することは無理なのでしょうか？ 無料にせず、一人いくらかもらったら、運営できないですか？ 検討お願いいたします。（女性 40 歳代・郡津）
- ・市内間の交通の便が悪い（妙見東、南星台、星田山手）。（女性 40 歳代・森北）
- ・京阪バスの減便、ルートの変更などで、親や近所の高齢者が困っています。ゆうゆうバスを有料で復活させるなど、高齢者の足が必要だと思います。（女性 40 歳代・妙見坂）
- ・障がいがあって移動しづらい。ゆうゆうバスに代わる交通機関を作してほしい。（女性 50 歳代・松塚）
- ・公共交通機関の乏しさ、不便さを改善してほしいです。特に車のない高齢者は困っています。スマホを使えない高齢者は、難しいかもしれませんが、海外で導入している Uber や Grab などの配車サービスを取り入れてほしいです。コミュニティバスが利用しやすいと思いますが、経費上、厳しいようですね。子どもの習い事（塾やスイミングなど）や幼稚園の送迎バスをうまく活用してみても、いかがでしょうか。タクシーも、交野市はなぜ星田タクシーだけなのでしょう？ 競争相手がいないとサービス低下になります。雨の日は特にタクシー不足だと思います。（女性 50 歳代・星田）

- ・交通機関の利便性がなく、住みづらい。（女性 50 歳代・倉治）
- ・交通機関が不便（バス）。京阪バスの本数をもっと増やしてほしい。妙見坂に住んでいるが、バスの本数が減ったので、高齢の方や免許を持っていない方は、駅へ行く手段がなく不便である。（女性 50 歳代・妙見坂）
- ・公共交通の利便性が悪く、不便である。（女性 50 歳代・妙見東）
- ・福祉（バス等）の廃止、削減も再考してほしい。（女性 60～64 歳・私部西）
- ・京阪バス（星田～コモンシティ～星田）の本数が減っています。今後、廃止となりませんように。（女性 60～64 歳・星田西）
- ・1978 年に結婚により大阪市より、本市に転入しました。子どもも成人！ 高齢になりました。その間、星の里いわふね、ゆうゆうセンター、いきいきランドなどがオープンしましたが、自動車の運転ができなくなれば、公共交通が不備な本市では、それらの施設を利用するのも不便。市役所に行くにも不便です。財政を理由に無策なままにせず、明石市のように、市長のトップダウンで早々に市民サービスを実施させてください。（女性 65～74 歳・郡津）
- ・現在私市に住んでいます。自家用車に乗っていますが、何年か後には、免許を返すつもりです。バスを利用したいと思っていますが、あまりないので、どうするか考えている最中です。もう少しバスの便があるか、コミュニティバスを運行してもらえると有り難いです。（女性 65～74 歳・私市）
- ・ゆうゆうバスの復活（女性 65～74 歳・松塚）
- ・私は、今は車に乗れるので、交野の町は住みやすい町だと思いますが、老人にとっては住みにくい町だと思います。なぜ、ゆうゆうバスを廃止されたのでしょうか？ いつの間にかなくなり、びっくりしています。私は利用したことがないですが、地域の方々は困っています。（女性 65～74 歳・青山）
- ・まだまだ知名度の低い交野市ですが、私は今の交野市が大好きです。もう少し交通の便が良ければ、もっとですが！（女性 65～74 歳・倉治）
- ・高齢者、障がい者には冷たい市政です。住みにくい町です。交野市内には、山手に住む高齢者が多くいる。コミュニティバスもなくなり、公的バスも 1 時間に 1 本。しかも交野市発、4 時台が最終！！ 車の運転ができなくなった者には、買物さえ覚束ない！ 市役所にも行けない。高齢者は買物難民です。（女性 65～74 歳・藤が尾）
- ・とにかく利便性が悪く、バスにしても最寄り駅にも行かない。それに、行政機関などのバスの便が減便されている。高齢者は買物、病院など、車がないといけない。高齢者にとっては、住みづらい市です。（女性 65～74 歳・南星台）
- ・アイデアではない。ゆうゆうバスを廃止したことにより、高齢者たちが買物に行くのに困っている。（女性 75～79 歳・私市山手）
- ・銭湯に行く足が欲しい。（女性 75～79 歳・私部）
- ・交通が不便です。有料でも巡回バスとか考えてください。今後を考えると、家に閉じこもりになるのではないかと悩みます。（女性 75～79 歳・星田）
- ・ゆうゆうバスの再開。交通手段の充実。（女性 75～79 歳・星田山手）
- ・公共交通の不便さが最近顕著です。高齢者は足がないと、元気になるための意欲がそがれます。ご一考を望みます。（女性 75～79 歳・妙見坂）

- ・現在は車に依存した生活ですが、数年後車を手放したときのことを心配しています。星田駅に行く手段、青年の家に行く手段、ドームに行く手段 etc・・・どうなるのか心配です。高齢者の移動手段を細かく考えてほしいと思います。近所は高齢者がほとんどで、気楽にお願いすることもできなくなりました。（女性 75～79 歳・妙見坂）
- ・星田、河内磐船駅へのバスをせめて 30 分に 1 本ずつは確保してほしい。星田経由（妙見坂～交野市行きのバス）にしていきたい（星田行きがないのは不便です）。（女性 75～79 歳・妙見坂）
- ・交野市役所へ行くのはいいけど、天野が原町のゆうゆうセンターまで出かけるのは困難です。交通機関がありません。幾野在住（女性 80 歳以上・幾野）
- ・また市バスを走らせてほしいです。乗車する時は、1 回 200 円くらいまででもいいですから、よろしく願いいたします。（女性 80 歳以上・幾野）
- ・ゆうゆうバスが廃止になり、公共機関等で出かけるのが難儀になった。（女性 80 歳以上・倉治）
- ・市から、もっと南に向かって鉄道を延ばして、交通の便を良くする（東大阪方面に行くのに、まわり道をしないと行けない）。（性別不明 50 歳代・幾野）
- ・ゆうゆうバスを皆が使えるようにすべきだと思います。（性別不明 50 歳代・東倉治）
- ・妙見東は不便な土地で、交通機関が満足に機能してない中、バスの便数が減るので、ますます引きこもってしまいます。（性別不明 50 歳代・妙見東）
- ・交通（バス）の充実（京阪バス、タウンバス）。（性別不明 65～74 歳・南星台）
- ・今、バスの便が悪いので車をよく使います。免許返納後が不満です。J R 京阪などを使うとき、夜遅くなるとバスが無いので困ります。タクシー代もバカになりません。（性別不明 65～74 歳・妙見坂）
- ・交通の不便をなくしてほしい。（性別不明 65～74 歳・妙見東）
- ・ゆうゆうバスがなくなり、外出も中々できなくなりました。（性別不明 75～79 歳・郡津）
- ・京阪電車、JR は歩いて行ける範囲にあるが、ゆうゆうバスが廃止になり、市内を走るバスの数も少ないため、行きたいところへ行く方法が少なくなっている。外出について、将来が心配です。（性別不明 75～79 歳・森南）
- ・交通の便が悪くなった。（性別不明 75～79 歳・星田）
- ・交通の利便性を向上させてほしい。年齢が増すと足腰が弱るし、徒歩には限度があります。でも頑張って、少し遠くのスーパーまで 1 週間に 2 回往復するようにしています。5000 歩～7000 歩位を途中で休み乍ら。ヒザが痛んでリハビリに通っています。（性別不明 75～79 歳・妙見坂）
- ・本庁が出来るとのことだが、不便を感じる。送迎バスができますか？（性別不明 80 歳以上・私市山手）
- ・交通機関の整備（性別不明 80 歳以上・私部）
- ・高齢者が増えています。乗り合いのワンボックスカー等で、時間を決めて巡回して下さるような有料の交通手段を希望します。（性別不明 80 歳以上・星田）
- ・京阪バスを 30 分に 1 回位に増やしてほしい。（性別不明 80 歳以上・藤が尾）

●町並みや景観、みどりや自然を感じられる空間

- ・人口を増加しなければならないが、自然も同様に守っていききたいと思う。田んぼや山などを大切にしていきたい。（男性 19 歳以下・私市）
- ・交野市は自然環境があってとても良いと思い、家族で定住しようと決めました。町おこし等したり、いろいろな施設等が必要なかもしれませんが、絶対にこの自然環境は、残していただきたいです。町において、景色、子どもたちの声、とてもすばらしいため、今後も緑ある交野市でありますように。よろしくをお願いします。（男性 30 歳代・私市山手）
- ・田が広がって、夏は緑に、秋は黄金色に広がる景色を残してほしい。（男性 30 歳代・森南）
- ・転入を促すために、交野市駅前の整備（玄関口の交野市駅が寂れていては転入する気になりにくい）。（男性 40 歳代・郡津）
- ・交野市の自然とおいしい水が大好きです。私の父も、同じ理由で交野市を選びました。（男性 40 歳代・倉治）
- ・田畑がなくなって、新興住宅が多すぎる。緑の保存ができてない。（男性 40 歳代・倉治）
- ・自然豊かな町作り。（男性 60～64 歳・藤が尾）
- ・みどり豊かな開放感のある町づくりの推進。（男性 65～74 歳・幾野）
- ・田畑がなくなり、どんどん住宅が建っています。緑が減ってきているのがとてもさみしいです。（男性 80 歳以上・私市山手）
- ・空き家が増している。持ち主に対処を託しては、次第に増していくだけであろう。市として地域で利用（集会所等）する方策はないでしょうか。（男性 80 歳以上・星田）
- ・JR 星田駅北が開発により広く美しくなるとのこと。今後の発展は大変良いと思います。星田駅南側が昔のままでは、いかにも寂しい。もっと道路も広く美しくしてほしい。（男性 80 歳以上・妙見東）
- ・学生を含め、駅を利用する人が多いにも関わらず、駅前の環境が充実していない。特に京阪河内森は車での送迎車が多いが、停車する場所がない。駅前にロータリーを作り、道幅を広くするなどすればいい（川の上を舗装し歩道にする）。（女性 19 歳以下・私市）
- ・交野市以外に住んだことはないですが、自然豊かで、住みやすい市だと思います。いつも有り難うございます。（女性 19 歳以下・星田）
- ・田んぼがあっけきれいだっただころが、どんどん開発されていって、狭苦しく感じる。（女性 20 歳代・星田）
- ・商業施設、住宅が増えることは良いと思うが、自然豊かなところが交野の良いところだと思うので、自然を残しつつ町づくりをしてもらいたいです。（女性 30 歳代・藤が尾）
- ・工場や物流倉庫のような景観を乱すものではなく、大阪市内などからオフィスを誘致。淡路島のパソナのように、オープンな自然環境を生かした町づくりでコロナ禍での魅力を高め、人口増を加速してほしい。人口が増えれば、名店など更に人を増やせるポテンシャルのあるお店も集まるので、そこからよい循環を生んで欲しい。人口増、税収増となれば、必然と公共交通の問題も解消し、高齢者にも手厚くできる。こんなうまく行かないとは思いますが、大好きな交野市に期待しています。（女性 30 歳代・妙見東）

- ・交野市の魅力である環境の良さと緑の多さを生かし、都会に負けない住みやすい環境で町づくりを。（女性 40 歳代・幾野）
- ・建物がどんどん増えて、昔の緑あふれた交野が失われていっている感じがします。空気のきれいな町にしてほしい。（女性 40 歳代・私市）
- ・これからも環境の良い（緑の多い）、交野であってほしい。（女性 40 歳代・私部）
- ・住宅開発が進む一方で、空き家が多くなっている。（女性 40 歳代・森北）
- ・市内には緑豊かな空間がたくさんありますが、火が使えないし、お店も全くなく、楽しみにくい。ただの空間が多い印象です。またイベントは、車でしか行けない場所での開催が多く、街中にはにぎわいを感じるどころが少ないです。気軽に行けたり、寛げる空間は、どこも残念な景観です。新しい発想を。（女性 40 歳代・星田）
- ・交野市駅前足切りや狭い道が多く、行きにくい。「いずみや」周辺が行きやすいので、行政施設も一か所にまとまれば暮らしやすいのに・・・と思います。（女性 50 歳代・星田）
- ・交野の特色（昔からの集落の街並み、里山など）を維持し、住んでいて安心感を得られる町づくりが大事。一見、きれいでも、どこの町かわからないような街では、愛着、懐かしさは感じない。（女性 50 歳代・星田）
- ・交野市駅前商店が少なく、にぎやかさが少ないので、交野市外から来る人はないに等しい。町並みを魅力的にしてほしい。（女性 60～64 歳・私部）
- ・高齢化が進み、空き家が増えています。雑草が増えて木が生い茂り、道路の見通しも悪くなるので、防犯上もよくありません。長年、空き家になっている所に何か手だてはないのでしょうか。（女性 60～64 歳・天野が原町）
- ・自然豊かで心が癒やされる交野であってほしい。田んぼも少なくなったが、相続税なんかで次世代に残せないのかな？（女性 65～74 歳・幾野）
- ・農地が減少するのは、致し方ないことだとは思いますが、住宅地にする場合、もう少し余裕のある面積に。マンションも安いと買いやすいけれども・・・。（女性 65～74 歳・向井田）
- ・自然を残した町づくりであってほしい。（女性 65～74 歳・向井田）
- ・交野市の魅力だった自然環境を大事にしたまちづくりをしてください。（女性 65～74 歳・星田）
- ・家の近くに天の川があり、高齢の方々がウォーキングしています。河川もきれいになり、皆さん静かに歩いています。交野市は豊かな自然を大切にして、風通しの良い市にして行ってほしい。山も近くにあり歴史の多い市です。（女性 65～74 歳・藤が尾）
- ・緑の多い交野市であってほしいといつも思っています。土の香りがするのは、自然のアロマです。子どもも大人も皆、必要なものだと思います。（女性 65～74 歳・妙見坂）
- ・いつまでも、自然豊かな交野市であります様に！（性別不明 40 歳代・倉治）
- ・緑化・自然保護と商業施設の充実の両立をもっとしっかりやるべき（両方中途半端）。（性別不明 60～64 歳・星田西）

- ・少し足を伸ばせば、まだまだ豊かな自然に触れることのできる交野の町の良さを生かした、街づくりをこれからも進めていってほしいと思います。（性別不明 65～74 歳・私部）
- ・道路や建物の周りの整備、水路の整備。樹木の緑をはじめ、青年の家の周りなど、特にいらなくなった植木が植えられているよう。（性別不明 65～74 歳・私部）
- ・交野の自然や住み心地の良さなどを守ってほしい。駅前の住宅地開発が進んでいるが、景観など計画的に開発を進めてほしい。（性別不明 65～74 歳・星田西）
- ・天の川全体を整備し、年中楽しめる遊歩道を。河面には魚や鳥たちが遊泳、岸边には四季折々の花木を植樹。残された自然を大切に、緑豊かな街として近代化を進めてください。（性別不明 75～79 歳・私市）
- ・狭小住宅地の制限。集合住宅（中高層住宅）の促進。（性別不明 75～79 歳・倉治）
- ・市内全域の緑地と住宅とのバランスがあるビジョン（個々の開発が多い）。（性別不明 80 歳以上・私部）
- ・交野は自然と歴史に包まれたいいところです。人の心を癒やすのは自然です。子どもたちが自然とふれあう機会をたくさん作りたいです。税収を増やし、いろんな事業ができるといいですね。（性別不明 80 歳以上・松塚）
- ・自然を大切にする町づくりを期待。（性別不明 80 歳以上・天野が原町）

●道路の整備・維持管理

- ・車両の通行が多い道路であっても、歩道の整備がなされていない場所が多く見受けられる。夜間や荒天時でもスピードを落とさず走行しているため、非常に危険である。（男性 20 歳代・東倉治）
- ・168 号線と学研都市線の踏切の所の混雑を解消していただければ、ますます住みやすい市になります。よろしく願いいたします。（男性 30 歳代・森南）
- ・もっと歩道の整備等に力を入れていけばいいと思います。（男性 30 歳代・星田）
- ・星田 7 丁目にある「どんぐり公園」までの桜道に川がある。そこに川に落ちないようなフェンス、もしくはガードレール的なものを作っていただきたい！（男性 30 歳代・星田）
- ・TOP 星田店近くの大谷橋交差点、「大元」中華料理屋の前に歩道を作っていただきたい！よろしく願いします。（男性 30 歳代・星田）
- ・歩道が狭いところも多いので、整備もお願いしたい。（男性 30 歳代・星田）
- ・財政が厳しいのなら、街路樹の見直しをしてはどうか。街路樹にスポンサーをつける（街灯も）、街路樹を可能な限り減らす。財政が健全化すれば、また設置すれば良い。（男性 40 歳代・郡津）
- ・通学路に危ないところが多いので、もう少し道路整備をしてほしい。信号機と街灯を増やしてほしい。（男性 40 歳代・向井田）
- ・狭い道を広くしてください。（男性 40 歳代・私市）
- ・問 12 で答えた通り、遊歩道が安全快適に通ることができるようにしてもらいたい（特に日常生活で通るエリア）。子どもにも年配の方にも遊歩道を使ってもらいたいからです。（男性 40 歳代・私市）

- ・国道 168 号と JR 踏切が交差する所の渋滞対策をしてほしい。フレンドタウンのアクセス道の整備を進めてほしい。私市駅から星のブランコへのアクセスで、歩道への誘導を明確にしてほしい。（男性 40 歳代・私市）
- ・電柱の地中化。（男性 40 歳代・私部）
- ・星田駅周辺の道路の整備をお願いします。（男性 40 歳代・星田）
- ・歩道の整備。星田周辺小学校の通学路になっている道に歩道がない。（男性 40 歳代・星田）
- ・交通渋滞の起きない道路の改善、環境作り。（男性 50 歳代・郡津）
- ・河内森から創価の方に向かう踏切がある、点滅信号の交差点手前の街路樹が信号を見づらくしているので、マメに手入れしてほしい（バイクや自転車で左よりを走っていると見えない）。（男性 50 歳代・私市）
- ・交野市駅から交野小学校手前の信号まで、歩道を整備してほしい。特にわかば保育園から信号までは歩道もなく、一部幅の狭い箇所（大門至邸横）があるので、大変危険である。（男性 50 歳代・私部）
- ・町並みについて、池田市のように計画的に広い道路は出来ないの？ 負けていますよ！ ボロ負け！（男性 50 歳代・藤が尾）
- ・郡津地区で住宅建築が進んでいるが、道路がムチャクチャ。単なるセットバックだけで、幹線が未整備。行き止まり、すれ違い不可さえ発生している。宅地開発許可前に道路整備計画が必要。乱開発、低レベル住宅の規制、整備をお願いします。（男性 65～74 歳・郡津）
- ・市内の道路は狭い所が多く、特に電柱の立っている所で非常に危険を感じます。電柱などの地下化を推進する必要を感じます。新しく大規模に住宅開発される所は、無電柱化を義務付けることも必要ではないでしょうか？ 防災の面からも！（男性 65～74 歳・私部南）
- ・住宅地開発が進むが、道路の狭い所が多く、学生などが歩ける場所がない箇所も多い。また、歩道を占める道路表示が消えていたりするので、安全面で問題。（男性 65～74 歳・妙見東）
- ・狭い道路が多いにもかかわらず、道路の整備をしないで、商業施設や住宅が建てられるので、車の通行や歩行者の安全が保たれていない。宅地などをつくるときに整備をすることが、安全と安心にもなるのではないのでしょうか？ 畑のそばにある溝の上に鉄板等を置く等すれば、歩道にもなるし、自動車の幅も広く使えるのではないか。溝が埋められないのであれば、土管を入れれば！！（男性 80 歳以上・妙見坂）
- ・道路の幅を広く整備してほしい。（男性 80 歳以上・妙見東）
- ・道路の整備を行ってほしい。（女性 20 歳代・星田）
- ・今池の工事によって道路が通る予定地の側に住んでいます。道路が完成すると、車や人の通りが増え、事故の危険性が高まるため（20 年程住んでいますが、今まで何度か同じ所で車と車、車と人の接触事故がありました。）、周辺のカーブミラーや止まれのサインの増設をぜひお願いしたいと思います。枚方市等に比べると、住宅地におけるカーブミラーの数がとても少なく思います。（女性 40 歳代・幾野）

- ・子ども、お年寄りの交差点での安全性を考えてほしいです。（女性 40 歳代・私市）
- ・狭い道を車が通るため、危ないので、まずは主要な道路からきちんと整備してほしい。（女性 40 歳代・私部）
- ・子ども、お年寄りを通るには危険な道路が多いように思います。整備に力を入れていただければ、より住みやすい街になると思います。（女性 40 歳代・星田）
- ・歩道の段差をなくしてほしいです。（女性 50 歳代・藤が尾）
- ・溝の整備があまりにも悪すぎる。（女性 60～64 歳・私市山手）
- ・高齢化地域への道路整備。（女性 65～74 歳・私市山手）
- ・歩道の整備。ガタガタしていて、車いす、子どものバギー、自転車等が通りにくい。卵が割れたり、お弁当がバラバラになったり、化粧品のファンデーションがバラバラになったりした。（女性 65～74 歳・倉治）
- ・道路が悪いため、自転車に乗って、買物へ行きにくい。（女性 65～74 歳・藤が尾）
- ・田畑が住宅へ替わりつつあるが、田畑の残っているうちに道路整備が望まれます。（女性 75～79 歳・星田）
- ・車が通ると歩くのが怖い。道を広くしてほしい（妙見口→星田北）。（女性 75～79 歳・妙見坂）
- ・生活地域での道路やフェンス、柵などの老朽化がひどいです。道路の工事は多いですが、歩道などにも目を向けていただければと思います。（性別不明 20 歳代・藤が尾）
- ・とにかく交野市は昔から道路が狭いので、電柱を地下に埋めるなど、整備をお願いしたいです。（性別不明 30 歳代・妙見坂）
- ・私市の村道の幅を広げる。（性別不明 40 歳代・私市山手）
- ・道路が狭いのに、住宅の許可は出る。168 号からローソン辺りはタクシーも入らない。一方通行にできないなら、溝に鉄板をかけてください。（性別不明 80 歳以上・私市）

●公園や緑地の整備・維持管理

- ・松塚公園のトイレが汚く、子どもが遊んでいる途中に使いづらい。近くの交野会館のトイレも使わせてもらえない。改善してほしい。（男性 30 歳代・郡津）
- ・もっと公園の整備等に力を入れていけばいいと思います。あとは、ジャストアイデアです。星田公園をアスレチック等で充実させる＋周辺歩道整備。（男性 30 歳代・星田）
- ・子どもから伝えてほしいことがあるとのことなので、ここに書かせていただきます。交野市には公園が多数あるとお思いかもかもしれませんが、「子どもが遊ぶことのできる公園は、ほとんどありません。遊びたくても、近隣の老人や大人が『遊ぶな！』と怒鳴り込んで来るため遊べず、友達とは自然に疎遠になりがち。自然が多いとはいえ、子どもにとって楽しいものではなく、交野はすごく住みにくい土地だ」とのことです。
市民がバランスよく共生できる街づくりは、大変だとは思いますが、頑張ってください！（男性 40 歳代・星田山手）
- ・緑地を守りたいと思うが、開発（人口増・収入増）との（限られた空間の中での）調整が難しいと思う。しかし、何とんでも交野の魅力は緑だと思うので守りたい。いやな人は出ていってもらうしかない。（男性 50 歳代・私市）

- ・子どもたちが広々とボール遊びができる公園が少ない。小学校のフリースペースも週1回ではなく、毎日自由に開放してほしい。（女性40歳代・星田）
- ・奈良にある五條中央公園のような、充実した遊具等を備えた公園が交野にもあるとステキだと思います。遊具の内容も程よく、屋根付き（雨天OK）、トランポリン、噴水コーナーも出来て、グラウンドも隣にあり、パーク完備です！！（女性40歳代・星田）
- ・子どもに、野球などボールを使える公園を増やしてほしい。今は、全くなくてとても困っています。（女性40歳代・倉治）
- ・古びた公園ばかりで、明るいきれいな憩いの場が全然ない。一番落ち着ける場所は、カインズ、フレンドマート交野くらいです。（女性50歳代・私市）
- ・星田9丁目付近は、宅地が増えて子育て世帯が増えているのに公園がなく、遊ばせたり、子どもが運動やスポーツ練習できる場がない。道路で遊んでいる姿もみかけ、危険。公園を作ることを検討してください。（女性50歳代・星田）
- ・地域ごとに広い公園を作り、緑豊かで軽いスポーツのできるスペースや、外周でジョギングやウォーキングができるようにする。（女性60～64歳・幾野）
- ・古い住宅地なので、近くに公園がなく、道路で遊んでいる子どもさんが多い。市有地を公園にすることはできないでしょうか。（女性60～64歳・郡津）
- ・例えば山田池公園（枚方）があれば、散策できるかな。（女性65～74歳・私部）
- ・交野に在住して47年になります。里山の風景は残りつつも、農地の減少が多い一方で、子どもたちが遊べる公園、広場が少ないと思います。せっかくの自然環境の中、もっと豊かに子どもが利用できる場所が必要では。（女性65～74歳・星田）
- ・せっかくの緑や木などが多いのに、あまり手入れされていないように思います。（女性75～79歳・向井田）
- ・子どもが多い町だと思うが、公園が少ないと思う。あるとしても、遊具が古かったり。もう少し安心、安全と思えるように整備してほしいです。（性別不明30歳代・郡津）
- ・緑、自然の景観が気に入り、引っ越してきました（他市から）。3年経ちましたが、開発でずいぶん緑が減ったように思います。個人的には、府民の森の設備にもっと力を入れてほしい。（性別不明30歳代・私部南）
- ・公園はあるが、狭い。小さい子どもや小学生がボール遊びできる場所を分けてあげてほしい。基本、ボール遊び禁止のため、小学生以上はゲームなどにつながってしまっている。小さい子どもが安心して遊べる場所と分けていけばいいと思う。車で行けるスペースも確保しないと、路駐が増える。もっと子どもたちが遊べる公園などが交野市に欲しいです。山奥ではない所に、子どもたちだけでも行ける場所に作ってほしい。（性別不明40歳代・倉治）

7 地域振興・地域資源について

●住民同士のつながり、地域のまちづくり活動

- ・コロナがなくなれば、公園で出店などが出ている桜祭りとかしてみたい。（男性40歳代・私市）
- ・子どもから老人まで住みやすい町づくりの推進。（男性65～74歳・幾野）

- ・広報などで、一般の市民サービスや市としての方針は伝わってきますが、高齢世帯や障がい者といった制度がしっかりしている生活支援以外で広がっている生活困窮者、困難を抱える人たちへの支援体制がどうなっているのか。できるだけ多くの市民参加型の支え合う体制作りと、現状の把握と情報の整理開示が必要かも（コロナ禍後のことも踏まえて）。（男性 65～74 歳・星田）
- ・各町の区長はもっと汗をかくべき。区長会は何をしているのか？ 単純に自治会と行政とのつなぎ役ではないことを市行政から指示すべきである。（男性 65～74 歳・妙見東）
- ・地域のひとと、これからもなかよく暮らしていける町に。よろしく願いいたします。（男性 75～79 歳・私部）
- ・高齢化社会の拡大で、高齢者の一人暮らし、高齢夫婦だけの世帯が増えている。昔からの隣組制度の連絡体制も、高齢化による負担が重荷になりつつある。住民に負担のかからないような仕組み、隣組制度に変わる仕組みを考えていく必要があると思うが、いかがでしょうか。（男性 80 歳以上・神宮寺）
- ・世代間交流の促進（弓道は高校生から 80 歳まで）（男性 80 歳以上・南星台）
- ・お祭り広場の設定と活発な活用。（男性 80 歳以上・南星台）
- ・高齢化が進む現在、お年寄りだけでなく、子育て世代からも住みやすい、住みたい町づくりをしていくことが大切だと思います。そのためには、市民ひとりひとりが協力し、助け合っていないといけないと思います。（女性 50 歳代・私部）
- ・地域差が出ることなく、平等にみんなが幸せな町づくりをしてほしいと思います。（女性 50 歳代・星田西）
- ・今はストップしていますが、大小規模に関わらず、各地域で行われているイベントや行事を広報等で知らせてほしいと思います。また、小学校区ごとのお知らせ等を記載、連絡できる伝言板等あれば、有り難いと思います。（女性 60～64 歳・倉治）
- ・公民館などの補助金を増やしてほしい。（女性 65～74 歳・松塚）
- ・コロナ禍の中、いろいろなイベントが中止されているので、収束したら、マラソンや夏祭り等また再開してほしい。（女性 65～74 歳・神宮寺）
- ・いつの間にか、周りの人々も高齢になっています。近所との日々のおつき合い、小さいことの助け合い、声がけなどが、欠かせないと思います。自分なりに努力することも必要です。（女性 65～74 歳・地区不明）
- ・高齢者が多い地域で自治会活動への不安を感じています。（女性 75～79 歳・松塚）
- ・自治会もままならぬ状態の地域があると聞いたことがある。その一方で、地域の活動が非常に盛んな地域もあると。それらを調整、または指導する市側の働きが必要ではないかと思われる。地域の温度差をなくし、全体に底上げしたような程度の市を目指してほしい。（女性 80 歳以上・星田西）
- ・年に 1 回、交野市の大規模な祭りがあれば楽しそう。“星のまち”なら、例えば交野ドームで七夕祭り、盆踊り、市民一体でやれる（集まれる）行事があればいいなと思います。交野市と言えば“コレ”というものがイマイチ分からないので、何かあれば良いなと思います。（性別不明 30 歳代・郡津）

- ・私は田舎が好きで引っ越してきました。コロナが出始めた3月頃、交野に住む患者さんは周りにバレて住みづらくなり、引っ越しをしたとの話を聞きました。一方、大阪市内に住む私の友人は患者になりましたが、近隣はお互い関心を持っていないため周りにバレることもなく、ストレスなく住み続けています。田舎の近所のつながりが強い所は好きですが、こういうときには口コミネットワークの強さに怖さを感じます。そういうことを聞くとコミュニティ活動に参加したいと思いません。（性別不明 40 歳代・私市山手）
- ・例えば道路掃除のような、身近な地域で、皆で参加できる魅力的な内容の行事があると良いと思う。（性別不明 65～74 歳・私市）

●地域産業の振興

- ・八尾市のようにブドウ、ワイン作りを盛んにしても良いと思う。（男性 30 歳代・森南）
- ・地野菜を使ったランチや果物（ぶどう等）を使ったフルーツパフェなどが売りのカフェ。（男性 50 歳代・郡津）
- ・交野ブランド（酒・ハチミツ）、その他野菜など絶対的なブランドが必要である。（男性 60～64 歳・私部西）
- ・地域の農作物を提供して、より良い食生活と地域産業の活性化の両立。（女性 80 歳以上・星田）
- ・地産地消、体験法など。（性別不明 50 歳代・私部西）
- ・地元の農作物をもっと購入できるようになれば、うれしいです（性別不明 50 歳代・倉治）
- ・自然や農地を減らさないような形で、自然や農地を活用した産業が生まれるまちづくりをお願いします。農地を積極的に活用した地産地消など。（性別不明 50 歳代・天野が原町）

●就労支援と雇用促進

- ・単発アルバイトの紹介が有るとうれしいです。（男性 40 歳代・私部西）
- ・協同参加の企業の誘致で入り口を増やす。（男性 50 歳代・藤が尾）
- ・就業支援に期待したいです（コロナ禍で仕事が見つからない）。去年、職業訓練所に3か月通い、貿易の資格も2つ取れましたが、生かせていません。（女性 40 歳代・私部西）
- ・ソフトウェア関係の企業の誘致に関心を向けていただければと思う。（女性 65～74 歳・郡津）
- ・企業の誘致等で、地元で働ける環境を若い世代に創造してください。地の利は有ると思いますので、よろしくお願いします。（女性 80 歳以上・私市）
- ・ホテル誘致（性別不明 50 歳代・私部西）
- ・自然や農地を減らさないような形で、自然や農地を活用した雇用が生まれるまちづくりをお願いします。農地を積極的に活用した地産地消など。（性別不明 50 歳代・天野が原町）

●歴史文化資源や観光資源

- ・4月でなく、1月下旬にハーフマラソン又は10kmマラソンを開催してほしい。2、3月のフルの直前なので他市から来ると思う。(男性19歳以下・私市)
- ・交野市の魅力はほとんどないが、唯一あるとすれば吊り橋であると思う。外国人も多いので、もっと分かりやすくルートを作ってあげた方が良いと思う。そのルートで魅力ある店を作ったら良い。(男性19歳以下・私市)
- ・春先、コロナ対策をした観光振興に努められると良いと思う。(男性20歳代・私部)
- ・少子高齢化で若い世代を取り込むために、就労環境を整えるために星田北の開発をされているが、田んぼの農作業をしていた時は、最高のストレス解消だった。田舎の交野でしか体験できない政策は、他市とは違ったことになるのではないのでしょうか？(男性40歳代・藤が尾)
- ・交野の自然を楽しみながら外でランチできるようにするとよい。お風呂もあれば将来、観光客をもっと呼べるようになると思う(温泉の発掘)。(男性50歳代・私部南)
- ・星のブランコへの誘致！(男性60～64歳・私部西)
- ・定期的かつ国際的なイベントの開催。(男性60～64歳・星田北)
- ・緑地保全、農地農業の維持継続について、休耕作地、放棄農地を農業体験型の観光農園・家庭菜園への利用。(男性65～74歳・私部)
- ・一大胆な提案一郡南街道を拡幅し、第二京阪に接続。そして適当な山頂付近に「交野テラス」を設ける。星のブランコに次ぐ名所にすく府とタイアップして>。(男性65～74歳・私部)
- ・古民家が歯抜けの様に解体消滅し、古い町並みが崩れてきている。せっかく古くから築きあげてきた交野の歴史文化を後世へバトンタッチできる様、支援etcアイデアを出してほしい。(男性65～74歳・倉治)
- ・演芸場の開設と運営(落語会等、小規模)(男性80歳以上・南星台)
- ・町の雰囲気や自然を大切にしながら、観光客などが増えるようにショッピングモールを作ったりと、人々を集めて行くことも大切だと思います。(女性19歳以下・郡津)
- ・交野の美しい自然を生かして、グランピングをつくったりするのも良いと思います！！(女性19歳以下・郡津)
- ・交野市は自然と文化の町だと思っています。しかし、もったいないことにせっかく良いものがあるのに、それが身近すぎて「当たり前」化し、魅力に気付いていない。故に埋もれ、生かせず発信が足りない物が多いと感じます。自分が小学生の頃は、もっと力が入っていたな・・・と、思う。地域イベントもたくさんあります(特に七夕祭り)。SNS等で発信してくれる中高生をターゲットにした魅力的なイベントに力を入れてほしいです。文句ばっか、すみません。しかし、本当にもったいないです。星田の山ナリエもなくなって悲しいです。(女性20歳代・幾野)
- ・新しい施設などをどんどん誘致して、町を活性化してほしい。(女性30歳代・星田)
- ・緑が減って倉庫になってしまうのは、残念です。ふるさと納税などで、交野市に納税したいと思えるような緑いっぱい、自然いっぱいの町になればと思います(グランピングなどができるキャンプ場を作ったり、自然の学校を開いたり、多くの人が集まる町にしたいです。)。交野市は大好きです。(女性40歳代・星田北)

- ・去年、数年ぶりに吊り橋へいきました。外国の方がたくさん来ていて驚きました。山びこハウスや展望台辺りに、交野農園レストランカフェみたいなのがあれば、ステキだと思います。たくさんの方が来ているのに、交野にあまりお金を落とされていないので残念だと思いました。（女性 40 歳代・妙見坂）
- ・星の里いわふねのグリーンヴィレッジ 1F の飲食店スペースがずっと空いていて、もったいないと思う。週末のハイキング客向けに活用されればいいのに、と思う。（女性 50 歳代・私市）
- ・飲食のできる「道の駅」を作って、他市からも客を呼び込み、就労の機会も作る。キャンプ場を整備する。（女性 60～64 歳・幾野）
- ・神宮寺のぶどう畑を観光スポットに開発する。ぶどう狩り、つるでカゴやリース作りなど。バリアフリートイレの設置、駐車場の設置。交野のぶどうはあまり知られていない名産品だと思う。（女性 60～64 歳・郡津）
- ・交野市に初めて移って来たとき、水のおいしさに衝撃を受けました。地下水をもっとアピールできるのでは？と、思うのですが。（女性 65～74 歳・妙見坂）
- ・キャンプ場（性別不明 40 歳代・私市山手）
- ・水道水でもおいしい交野の水を、もっとアピールしては、いかがでしょうか！（性別不明 40 歳代・倉治）
- ・結婚してずっと交野に住んでいます。自然の中で、山や川や植物園などで子育ても楽しみました。せっかく緑も多いので、キャンプやバーベキューの施設を充実させたり、イチゴ狩りが雨の日でもできたりする方法などで交野にたくさんの方が来てほしいです。（性別不明 65～74 歳・妙見坂）

●農業の振興

- ・交野の魅力は何といってもきれいな空気と水、緑のある環境です。空き家が増える中、どんどん農地等が宅地開発され、交野市の魅力がどんどん減少していくように感じます。地産地消できるような仕組みがもっと整っていたり、農業に携わる方にもっと農業に魅力を感じてもらえる支援はとても大切だと思います。ぜひとも緑豊かな交野市でお願いします。（男性 30 歳代・森南）
- ・農業を継承する方々への支援の充実→地域の活性化、子育て環境の充実につながると考えます。（男性 40 歳代・星田）
- ・耕作放棄地を活用し、新たな特産品を作る。農業の 6 次産業化や農家レストランのような、農業と連携した取組を行う。最近よく目にする“もうかる農業”が実現できそうとなれば、市全体も活気づき、若い世代の農業従事者が増えると思います。（女性 20 歳代・郡津）
- ・農業をもっと発展させてほしい。せっかくの農地を宅地にしてしまうのはもったいないです。（女性 50 歳代・私市）
- ・後継者の減少にともない、農業就労者が少ないとは思いますが、若い人たちの中にも農業生産への意欲を持っている人がいると思います。（女性 65～74 歳・星田）
- ・農地が少なくなっていることに不安を感じている。特に星田北地域。（女性 80 歳以上・星田）

- ・2020年から2021年は、明治維新に匹敵するような大転換点になると言われている。メディアが取り上げていない水面下での動き、時流を正しくとらえていかないと市政を誤ることとなる。食料安全保障の観点から、どのように市政を行っていけば良いかを考えることは重要である。農地はあっても、あまり農家として活用されていない所もある。休眠中の農地や市内の人材を活用し、また、自動化できる所は自動化して食料自給率を上げられるようにしていった方が良いと思う。（性別不明 40 歳代・私市）
- ・交野は交通の便が良く、観光にも適しています。地産地消として農産物に力を入れ、道の駅等いかがでしょうか。（性別不明 75～79 歳・私市）
- ・農作地の減少対策。（性別不明 75～79 歳・倉治）

8 環境について

●生活環境(水・空気・ごみ・騒音等)

- ・良い公園、道路の整備が行われても、ごみが散らばっていると残念です。住人の意識が変わるような活動をした上で、大きなスポーツ公園や図書館の整備、助け合いの活動が大事だと思います。（男性 40 歳代・私市）
- ・騒音は、非常に不満があります。（男性 40 歳代・私部西）
- ・プルタブ（リングプル）や、ペットボトルキャップの回収箱を増やしてほしい。（男性 50 歳代・藤が尾）
- ・●●建設の防音、防塵対策、歩道の大型車駐車（関西エコー前）、●●小学校付近の野焼き禁止等。（男性 65～74 歳・星田北）
- ・雑草のこまめな駆除を行ってほしい。（女性 20 歳代・星田）
- ・天の川河川敷や、第二京阪道路等の草やごみがとても気になります。ウォーキングできる様に整備されているので、景観上も、もう少し整備してもらえると、もっと素敵なまちづくりができると思います。（女性 40 歳代・私部西）
- ・ごみ。神戸市みたいにしてほしい。（女性 40 歳代・妙見坂）
- ・コロナで、家庭で過ごす時間が増え、ごみも増えたので、ごみの設置箱みたいなのを作ってほしいです。今は、自分たちで製作して作って出していますが、お年寄りや身体の悪い方に順番でお願いしているのが悪いような気がして、設置箱にしてもらえると皆、助かると思います。（女性 50 歳代・向井田）
- ・ごみを減らす運動。（女性 50 歳代・倉治）
- ・野焼きを止めさせてほしい。（女性 60～64 歳・私市）
- ・産廃業者をこれ以上誘致しないで（空気、水質の低下を招く）。（女性 65～74 歳・向井田）
- ・粗大ごみ回収の無料化。（女性 80 歳以上・天野が原町）
- ・交野の空気や水はおいしいので、これからも住み続けたいと思う。（性別不明 30 歳代・妙見坂）
- ・交野市にある池の美化。（性別不明 40 歳代・倉治）
- ・交野市（私部西）は、田んぼや駐車場などをつぶして住宅地に変える工事が多く、騒音や工事の排ガスに迷惑しています。川の工事も何年もかかっています。工事現場のそばですずっと住み続けているのはとてもストレスです。

静かで、緑の多い交野市はもう昔のことになりました。道沿いにもっと並木を増やして緑を増やし、空気をきれいにしてほしい。（性別不明 50 歳代・私部西）

- ・この地に転入して早 10 年……。新しい町に慣れるにつれ、不可解なことが……。水路にごみを捨て（ぼい捨て等ではない）、泥土を集め、塞ぎ止める。赤ピンクガムのような物を水路壁に、水田周囲にも夏頃に。ありとあらゆる悪知恵の嫌がらせ（毒ぐもかと思った）。注視される様になって、以前程ではないものの、悪質化している様にもみえる。やっかいなのは、個人の恨み同様何か結束力の強そうな集団?! ピークの頃よく見かけたのは、日の丸マークや赤い羽根の車両。市役所職員もどきの人たちも……。ゴミ収集の後、さり気なくごみをまき散らす。ふだんは善良な人たちでも、地域限定で悪さをするなんて許し難い。目の錯覚? 思い込み? と思われるかもしれませんが、役所の方の中には当たらずとも遠からず……の思いの方もいらっしゃるのでは?（性別不明 65~74 歳・郡津）

●自然環境(山地・河川等)

- ・産業発展を望むが、せつかくの自然環境は大事にしてほしいです。（男性 50 歳代・天野が原町）
- ・交野の山（景観）の天野川の美化（男性 60~64 歳・私部西）
- ・交野市の最大の魅力である自然環境の整備・維持。（男性 65~74 歳・郡津）
- ・人口減少の中、拡大路線（他地域からの人口導入）を目指す方向は、時代遅れ。自然環境の整備に軸足をシフトすべきで、日本全体を見ても人口指標からも（少子高齢化）、これからの進むべき方向は見えてくる筈だ。（男性 80 歳以上・星田山手）
- ・交野市の持つ長所として、自然環境の豊かさというものは間違いなくあるので、中期的な視点を持って、自然生態系の維持、環境保全に力を入れてもらいたい。（女性 20 歳代・私市山手）
- ・家を建てるのは良いことですが、生態系の破壊はやめてほしいです。（女性 30 歳代・倉治）
- ・せつかくの天の川伝説に基づく町。天の川をもっとキレイにして、子どもたちが安心して川遊びができれば良いのになあ。（女性 40 歳代・私部）
- ・どんどん住宅が増え、自然が破壊されている。（女性 65~74 歳・寺）
- ・川の水が汚くなって、魚が少なくなりました。蛍が減りました。川を砂からコンクリートにしすぎです。（性別不明 40 歳代・私部南）
- ・残っている自然を大事にして、次世代の人にも交野らしさを残してほしい。（性別不明 60~64 歳・星田）
- ・今の交野の自然環境を守る。（性別不明 65~74 歳・妙見東）
- ・交野で所帯を持って、50 年余りになります。町政から市政へと移行、田舎から都会へと変貌しました。当然ながら小動物（ホタル、メダカ、トンボ）そしてれんげ、たんぽぽ等の花が消えつつあるのです。交野の木、花（桜、つつじ）を市長等の方々はどれだけ知っているのでしょうか。これからも枯死が見られます。（性別不明 75~79 歳・私市）

9 行政管理について

●効果的・効率的な行政運営

- ・交野市は借金が多い。はっきりとって住みたくないが、家を買ってしまった以上、住まないといけない。魅力ある街づくりをしてほしい。住民も協力しないといけないのだが、借金を減らす努力をしないといけないのは役所の仕事。方針をしっかりと決めて、住民にも協力させ、住みたい街にしてほしい。そのときは一生懸命協力します。（男性 19 歳以下・私市）
- ・学校や役所等施設の建て直し、熟考していい形にして進めてください。（男性 20 歳代・私部）
- ・うちの市長って何していますか？→働きぶりがよく分かりません。（男性 20 歳代・寺）
- ・水道料金が高いです。（男性 20 歳代・森北）
- ・民間企業の活力を取り入れ、可能な限り税支出を減らす。（男性 20 歳代・倉治）
- ・大阪市、大阪市周辺の市と比べ、やはり支援等が弱く感じます。緑が多いのはすごく良いですが、頑張ってもらいたい。（男性 30 歳代・私部）
- ・人口が少なく、税金、水道代が高い。これ以上人口を大幅に増やす必要はないが、企業誘致や地域産業の活性化等、収入増加に向けて取り組んでいただきたい。（男性 40 歳代・幾野）
- ・地方税が高すぎる。議員が多すぎる。もう少し企業誘致をし、税金を納めてもらう。パチンコ店など道をはさんだ、枚方市や寝屋川市に建てられており、交野市民がそこで遊んでいる。一切交野にメリットがない。→条例の改正（男性 40 歳代・幾野）
- ・買物ついでに役場の出張所に行ければと思います（男性 40 歳代・私市）
- ・即物的な考えから脱却してください。すぐに物やお金を使うことを考えない。（男性 40 歳代・私部西）
- ・市長が直接市民と語り合う場をもっとたくさん作ってほしい。（男性 40 歳代・星田）
- ・高給取りの職員（何もしない高齢職員）を減らし、その分を優秀な契約社員への待遇に補充する。（男性 50 歳代・私部）
- ・本アンケート結果を踏まえ、少ない予算の中で、交野市として市民にアピールできる施策、まちづくりの取組に係る打ち出しを期待します。（男性 50 歳代・星田）
- ・他市と比べて、交野は後手だと思う。市長さんの動きが遅いと思う（市役所の方々は一生懸命だと思う）。（近所の方と、市長選挙が近づいたら、動かれるのかな〜と話しています。）（男性 50 歳代・星田）
- ・交野市をどのような街にしたいかは、行政が決めることでしょう。どのように伸ばして行くのか展望もないのなら、辞めるべきです。（男性 60~64 歳・星田）
- ・オンライン手続きを充実させる。（男性 60~64 歳・星田北）
- ・20 年以上、交野市に住んでいる。業者による大型施設、宅地分譲は増えたが、交野市自体の主體的な取組、改善はほとんど感じられない。府内でも交野市は知名度が低く、マイナーなイメージが強いのに、こういうデメリットを抜本的に変える市としての取組がない。市民に分からないのが最大の問題であり、役所の方はぜひ、既往の発想の大転換を図り、真摯に市民の目に見えるような取組をぜひお願いしたい。（男性 60~64 歳・藤が尾）

- ・行政サービス（ごみ収集・上下須藤・防犯等）の維持・充実。（男性 65～74 歳・郡津）
- ・コロナ禍の折、このようなアンケートではなく、役所として他の具体的活動を望みます。
（男性 65～74 歳・星田）
- ・「広報かたの」は、読みやすく分かりやすい。これからも更なる進化をお願いしたい。
（男性 65～74 歳・妙見東）
- ・「交野市総合計画基本構想」「都市計画マスタープラン」いずれも立派です。実行してください。「かたの」らしさなど、“ひとりよがりの交野感”になっている感じがする。日本、大阪府にとっての交野市のあり方、目指す方向を作り上げ、国や府を動かす政治をしてほしい。（男性 75～79 歳・私部）
- ・市民への情報提供の場づくりにより、市民の理解度を深め、社会、経済、環境のバランスの良い持続可能な安心、安全なまちづくりを……。今は何に向かったの行政推進なのか分からない！（男性 75～79 歳・星田山手）
- ・住民の希望に基づいた施策をお願いしたい。（男性 80 歳以上・松塚）
- ・人口減少の中、拡大路線（他地域からの人口導入）を目指す方向は、時代遅れ。縮小均衡も良くないが、拡大から充実に軸足をシフトすべきで、日本全体を見ても人口指標からも（少子高齢化）、これからの進むべき方向は見えてくる筈だ。（男性 80 歳以上・星田山手）
- ・市を特徴づける活動（小生としては、福祉活動の活発化）を望む。（男性 80 歳以上・天野が原町）
- ・交野市HPがダサい、見にくいです。（女性 20 歳代・幾野）
- ・近所で行われている星田北開発を見ていて、市と市民の理解あるコミュニケーションが明らかに不足していると思います。駅前広場の桜の木が全て伐採された日は、近所の方が大勢いらして嘆いておられました。今から思うと、何らかの形で緑を保全したままの開発はできなかったのか強く疑問を感じます。今回の一件で不満を持つ市民も少なくないことを、交野市は十分に理解すべきだと思います。（女性 20 歳代・星田北）
- ・アンケートに答えたが、取組等知らないことばかり。もう少し興味が持てるように、取組等を発信してほしい。（女性 30 歳代・私市）
- ・住民税を見直してほしい。（女性 30 歳代・星田）
- ・市の活動に明るいイメージが見えません。市民を代表する役所の皆さんの取組で楽しく明るいイメージが出れば、市のイメージが変わると思います。小さな町だからこそのことができるのであればいいですね。（女性 40 歳代・私部）
- ・政策があまり見えてこないです。何がしたいのか？ コロナ対策も中途半場ですね。多くの市議の方の SNS から情報を得ていますが、市としてのアナウンスが欲しいです。教育委員会も迷走していますね。iPad を配布して終わりですか？ 見える政策を期待します。（女性 40 歳代・私部南）
- ・市役所や図書館といった公共施設の窓口対応、言葉遣いなど、対応やマナーの悪さが目立つ。特にコロナウイルスについて、必要以上に感染拡大をしたその悪さに落胆した。市の代表として勤めているという、意識の改革に力を入れてほしい。（女性 40 歳代・星田西）

- ・即効性、実効性の判断が早い吉村知事のような人材が必要。住民税、水道料金が高すぎる（他の市に比べ）のでもう少し下げる。市役所の給料、税金の見直しをすれば、住みやすくなるものではないか。市民の意見をもっと聞く環境も必要。（女性 40 歳代・地区不明）
- ・病気の治療で歩きづらく、体力の衰え等がおきたので、ヘルプマークをもらいに行きました。ヘルプマークは市役所ではなく、ゆうゆうセンターでもらうということ、今回初めて知りました。というように、調べればわかるけれど、調べ方がわからず困っている人もいるだろうと感じます。総合相談窓口のようなものをもっと広報すればいいと思います。（女性 50 歳代・星田西）
- ・行政では機動的に対応できない課題解決のため、民間のノウハウや資金の呼び水になる「まちづくり会社」を設立し、市が資本を拠出。※大東市が実施済み（女性 50 歳代・星田西）
- ・水道代が高いのが、暮らしていく上でしんどいです。他の市のようにできないのでしょうか。仕組みも分からなくてスママセン。（女性 50 歳代・藤が尾）
- ・税金の無駄使いをやめてください。（女性 60～64 歳・私部西）
- ・市役所の丁寧な対応には、いつも感謝しております。コロナ禍で大変ですが、よろしくお願いします。（女性 60～64 歳・東倉治）
- ・とにかく、今までのようなやり方は通じないと言う時代になった。総合的な予算は効果が少ないので、的を絞ってやるしかないでしょう。人口流入増は考えないものではないが、適正なライン設定を望みます。（女性 65～74 歳・郡津）
- ・税金が高い！！生活保護の人の方が裕福な暮らしをしている！中途半端な年金では施設にも入れない。保護の人は受信料も無料。きれいな施設にも入所できている。おかしい！生保の改革を！（女性 65～74 歳・寺）
- ・市の方針等、あまり伝わってこない。町づくりとは関係ないかもしれないが、広報が読みにくくなった。フルカラーにする必要性も感じない。それより経費削減してほしい。（女性 65～74 歳・星田山手）
- ・市長をはじめ、市職員の皆さん、よりよい交野市づくりに励んでいただいていると思います。お疲れ様です。（女性 65～74 歳・倉治）
- ・市役所は今の駅近くで良い。（女性 75～79 歳・妙見坂）
- ・行政サービスの貧困。他市に比べて。（女性 75～79 歳・妙見東）
- ・アイデアはないですが、広報や交野新聞を読んで頑張っておられるので、励みになります。コロナでどこにも出かけられず、楽しみは少ないですが頑張りたいです。（性別不明 30 歳代・倉治）
- ・粗大ごみ手続き、児童手当の現況届などのオンライン化をしてもらえると助かります。（性別不明 30 歳代・天野が原町）
- ・交野に住んでいて「いいね」と言われる町にしてほしい。交野の魅力って何ですか？と聞かれ、答えられるようにしてほしい。イキイキも「市民安くならへんの？」って言われる。市民のメリットがない。（性別不明 50 歳代・東倉治）
- ・交野市（国）の支援には非常に感謝しています（支援が無ければ生きていけないと感じています。）。（性別不明 50 歳代・藤が尾）

- ・人口が少ないのに、市長・議長・市職員の待遇が良すぎる。そのために、税金も高くなっている。コロナ禍で厳しい市民が多い中、すぐに給料をカットすべきである。また市長をはじめとする退職金の高さには驚くばかりである。（性別不明 60～64 歳・寺）
- ・限られた予算で万人の充実を図ることは困難かと思いますが、行政職務に従事する者がいなければ、前には進めません。粉骨砕身「アイデアを出して前進せよ！」（性別不明 60～64 歳・倉治）
- ・「箱もの」は、必要なし！（性別不明 60～64 歳・妙見坂）
- ・【自転車置き場について】屋根がないため大変不便。駐輪場代が少し値上がりになっても、屋根をつけてほしい。本当に大変不便で困っています。至急改善してほしい。1 か月の駐輪代に対し、3 か月とか6 か月などまとめて申し込む場合は、割引を適用してほしい。（性別不明 65～74 歳・郡津）
- ・まちづくりには、財源が必要です。それをどう確保していくのか考えてください。（性別不明 65～74 歳・私部）
- ・大阪市に比べて、福祉が充実していない。コロナの初期の時、衛生用品が町で不足しているのに、市役所は、何もしてくれなかった。市役所の職員は縁故関係が多い。くずだらけ！！（性別不明 65～74 歳・神宮寺）
- ・交野市は水道代が高い。（性別不明 75～79 歳・梅が枝）
- ・40 年前、交野の自然にあこがれて、移住しました。私にとって、交野はのんびりしているし、自然はあるし、移ってよかったと思っています。ただ不満なのは、市の方向性が見えない。例えば、無料のバスが廃止された時も（向井田ですので私はあまり関係ないのですが）、お友達はとても困っていました。市長の考えが分からないというか、情報がすごく少なく、もどかしい気がします。（性別不明 80 歳以上・向井田）
- ・他の町に比べたら、発展が少し遅いように思います。そして、役所他、もっとキビキビ動いてほしいと思います。少々のはんびりしていますね。（性別不明 80 歳以上・藤が尾）
- ・介護保険料が高い（高齢者の）。（性別不明 80 歳以上・南星台）

●まちの魅力の向上・発信

- ・街づくりの活性化を期待しています。（男性 20 歳代・藤が尾）
- ・人が増えること自体は望ましい面もあるが、そのために交野市の良さ（古い町並み、自然環境）が失われていくことは、長期的には、交野の魅力の喪失につながっていくのではないかと危惧しています。ほかにはない交野の魅力と経済、産業との両立が、どのようにしてはかれるのか、住民を主体として議論されるべきだと考えます。（男性 30 歳代・私市）
- ・転入を促すために、市外での交野市のアピール（特に交野線アピールは重要）。（男性 40 歳代・郡津）
- ・交野市の魅力は、大阪とは思えない自然豊かな町並みでありながら、アクセスの良さだと思います。私も別市から魅力に惹かれて、交野市民になりました。その良さをもっと前面にして、まちづくりをしてもらえたらと考えます。（男性 40 歳代・森南）

- ・アイデアは無数にあります。が、どれだけアイデアがあろうと、これからの時代においては市の発信力がないと何をしても意味がありません。よって、まずは市の内外共に発信力強化に努めることが急務だと思います。（男性 40 歳代・星田山手）
- ・交野市は歴史적으로とても魅力のある所だと思うので、もっとそれらを有効に表に出すことによって、他の地域の方々にも交野市を知ってもらって、観光地としての位置付けができれば、人口も増え、市としての収入も増え、結果として、市全体が潤うのではと考えます。歴史があって、自然もあるのに、今の状況ではもったいないと思います。（男性 40 歳代・星田北）
- ・健康で仕事のある人間にとって、交野は普通の町としか映らないと思います。その分高齢になったとき、本当に頼れる町なのか、良い評判が聞こえるという感じはないと思います。好評が聞こえるような町になってくれると有り難いです。（男性 40 歳代・妙見東）
- ・テレビでCMを流す。（男性 50 歳代・私市山手）
- ・とにかく大阪府内でも知名度が低い交野市ですが、住みやすい町であることをもっとメディアを通じて発信していけば良いかなと思います。また歴史についても、全国的に発信していけば良いと思います。（男性 50 歳代・天野が原町）
- ・交野市、交野市長が SNS（Facebook など）を使って、情報や市の方針を積極的に発信してほしい（京田辺市などは市長が Facebook でいろいろ発信している。それを見ればいろんな情報が分かる）。情報発信・共有があって初めて市民参加ができると思う。（男性 60～64 歳・藤が尾）
- ・他の市では商品券など配っていますが（コロナの地域の応援の商品券）、うちの市では何も配ってくれないので、少しガッカリです。またプレミアム商品券など、低所得者の人のばらまきはたくさんあるのに、中所得者には何も無いのは不公平だなと思います。中所得者の人が一番多いですし、税金もそこそこ払っている、でも生活は高所得者ほど楽じゃない、そんな人たちに向けて「商品券」「予防接種」「無料検診（高齢者以外も）」「サービス券（1 か月に一度だけこのお店のパン 1 つ無料ですとか、タクシーワンメーター無料 1 回とか）」などして、交野市に暮らしていて良かった、ずっとこの市に住みたいと思わせてほしいです。（女性 20 歳代・倉治）
- ・交野市の自慢な所、おススメスポット等を紹介する PR 動画を作る。（女性 20 歳代・星田）
- ・植物園も星のブランコも、もっと木を使ってオシャレにアピールしたら良いと思う。（女性 40 歳代・私部）
- ・交野市駅周辺のみぎわっていて、盛り上がっているような気がします。しょうがないのかなとも思いますが、いまいち参加しにくい。（女性 40 歳代・星田）
- ・会社で住んでいる市を言っても、とても知名度が低く、あまり知られていないように思います。もう少し魅力ある街づくりをしてほしいです。（女性 40 歳代・妙見坂）
- ・今後、高齢者が増加すると思われるので、歩いて暮らすことのできる街づくりを目指してほしい。高齢者が安全に歩いて生活できれば、健康面も向上するし、街を歩きやすくバリアフリーにすることで、小さい子どもたちにも優しい街になると思います。（女性 50 歳代・郡津）

- ・交野市のふるさと納税の充実や名産品をもっと増やしたり、街の魅力を向上させる取組をしてほしい。いまだに「コウノシ」と言われるのは残念。交野市には、大阪でナンバーワンと言われる「手打ちそば●●」や日本一と言われる「手造りうどん●●」があるのに、市内の方もあまり知らないと思います。グルメマップを作る、バスなど市内の移動がしやすい環境を作る、観光を含めて楽しめる様にする等といろいろなことを発信してほしい。（女性 50 歳代・郡津）
- ・交野市は何もないイメージを強く持たれている。（女性 50 歳代・私部）
- ・他市の方々が、訪れてみたいと思ってもらえるような町づくりをしてほしい。小さな市、古い市でしがらみも多いので大変ですが、頑張ってください。（女性 60～64 歳・天野が原町）
- ・交野市は便利だし、緑も多く残っていて住みやすい街であると常々思っているが、やはり認知度が低く、もっとアピールする必要があるのではと思う。若い世代にもっと子育てしやすい環境であることを十分伝えてほしい。（女性 60～64 歳・天野が原町）
- ・行政をあげて、もっと豊かな街づくり、交野独自の発信を。（女性 65～74 歳・星田）
- ・星のブランコの PR にもっと力を入れてはいかがですか？ 素敵な財産だと思います。私市駅前には寂しい雰囲気です。パンフレットとか絵ハガキなどあれば、私も購入して全国の友に送りたいです（子どもの絵とか、写真など市民からの応募もよいかと）。（女性 75～79 歳・妙見坂）
- ・SNS 発信する。（性別不明 30 歳代・郡津）
- ・いつもお疲れ様です。コロナ関連情報取得のため、よく市の web サイトを拝見するのですが、枚方などに比べて情報が少ない。反映が遅い気がしております。情報発信に力を入れていただくと有り難いです。（性別不明 30 歳代・東倉治）
- ・キャンプやグランピングがはやっているので、交野市はもっとアピールするべき。星の町で売っていくのであれば、プラネタリウムを活用し、七夕も、もっとアピールすると良い。（性別不明 50 歳代・幾野）
- ・魅力あるまちづくりについて、情報発信と取組を推進していただきたい。（性別不明 50 歳代・倉治）
- ・市民意識調査はすばらしい取組だと思いますが、これを契機に交野市のビジョンをもっと発信してほしい。（性別不明 60～64 歳・神宮寺）

10 その他

●新型コロナウイルス感染症関連

- ・コロナに伴いジムやプールを控え、趣味・活動にも出ることができず、心も体もリフレッシュすることができず、とても困っています。新たにインドア趣味を取り入れようにも、コロナで必需品となってくるマスクやアルコールなどの日用品の代金が家計を圧迫し、手が出せる状態ではありません。形は構わないので、水道の免除のように生活の負担の軽減はできないでしょうか？ 水道の件はとても助かりました。ありがとうございました。（男性 20 歳代・私部西）
- ・コロナ関連の商品券等が交野市のみないのは納得できない。（男性 20 歳代・森北）

- ・コロナにより収入が減。市としてこれが一番支援が必要なところ。学校の統合よりはまずコロナ支援！ 支援してもらわな生活できん！ 子どもを育てられへん！ 市長しっかりしろ！ 市長よろしく！（男性 20 歳代・神宮寺）
- ・交野市独自のコロナ給付金（一人当たり子ども手当に 5000 円上乘せ）、期間は 1 年間限定。（男性 40 歳代・郡津）
- ・交野在住で介護、保育、看護師で就労している人へコロナ慰労金として、一人当たり 5 万円支援。本当に命張っています。ここが崩壊していつている現状があります。退職者も多く大変です。交野市に期待しています。（男性 40 歳代・郡津）
- ・隣の他の市ではコロナへのクーポンやいろいろな対策が充実している中、交野市は、市民に対しての対応が良くないのではないのでしょうか！ お年寄りの多い市！ もう少し市民の目標で対策を考えてください。（男性 40 歳代・私部）
- ・市民向けのコロナ対策支援金（クーポン券など）について→北河内では交野市だけが無かったと聞きました。今後、ご検討お願いします。（男性 50 歳代・幾野）
- ・感染症に対する予防の充実。（男性 50 歳代・郡津）
- ・枚方市や寝屋川市では、3000 円分の買物券が出ていたそうです。もっと税金を市民のために使うなど考えてほしい。（男性 50 歳代・私部西）
- ・市でどのようなコロナ対策をしているか、説明をしてほしい。（男性 65～74 歳・幾野）
- ・コロナ対策については、他市（近隣、枚方、寝屋川）に比べて、なまぬるいというか、ゆるいように思います。施設（青年の家、いきいきランドなど）が閉鎖されてないので、他市の方が開いている施設に流れてきて、駐車場が満車状態になって困ります。交野市民を大事にしてください。（男性 65～74 歳・寺）
- ・コロナウイルスの流行に伴い、失業や給料減に苦しむ人の数も増えていると思うので、市としても支援の手段を変えてもらいたい。（女性 20 歳代・私市山手）
- ・全世帯に給付金などまたあればうれしいです。国からのコロナ対策の支援金は、交野市ではどのように使われたか知りたいです。枚方市では 1 人 3000 円の給付があったようですが・・・。（女性 30 歳代・天野が原町）
- ・学校でのコロナ感染者のクラスだけでも知りたいです。同じクラスかどうか知ること、祖父母に会うのを控えたり、いろいろと予防できると思うので。差別、嫌がらせ等は絶対にしないよう話をしていけばいいと思います。（女性 30 歳代・天野が原町）
- ・コロナの大変な中、市民のために、有り難うございます。（女性 40 歳代・私部）
- ・コロナ対策における行政の対応も、安心できるようなものを示してほしい。（女性 40 歳代・私部西）
- ・コロナ情報をもっと詳しくパソコンで見たい。人数、町まで。（女性 50 歳代・私市山手）
- ・ウイルス検査が必要と感じたときに、いつでも受けられるような体制を整えてほしい。医療機関の充実は、生活の安心につながる。（女性 60～64 歳・倉治）
- ・大型スーパーも出来て、土日の駐車場と店内はにぎやかで、とてもコロナ対応できているとは思えませんが・・・。人口も増加していると思いますが、この交野を大切にしてください。（女性 65～74 歳・藤が尾）

- ・市民にとって市長の姿、リーダーシップが見えないし、感じられません。コロナ対策にしろ、近くの寝屋川市などはPCR検査でもいろいろと工夫をこらしているようです。トップの真剣さが伝わって来る市は、全国いくつも見られます。コロナというこれほどの難儀に直面しているのに、市民に少しでも安心感を与える施策を考えてほしいです（手洗いは他市に学ぶことがいっぱいあると思います。）。よろしく願いいたします。一番の「安心、安全のまちづくり」になると思います。（女性 65～74 歳・妙見東）
- ・感染者数を毎日、新聞で見えています。コロナのストレスで困っています。（女性 75～79 歳・幾野）
- ・国にゆだねるだけでなく、市として、コロナで困っている市民を救済していかねばならないのではないのでしょうか？（性別不明 40 歳代・郡津）
- ・コロナ対策は他市（近隣の）と比べ、あまりにも無策。市民の要望を聞かない市長は交代してほしい。（性別不明 65～74 歳・私市山手）
- ・他市と比較した場合、支援が少ない。水道料金だけでは生活しにくい。コロナ対策の市民への保障をもっと手厚く！（性別不明 65～74 歳・妙見東）

●若者等の移住、定住促進

- ・老年人口が増加する一方で、年少人口を増加させる必要があると思う。大阪府下では知名度が低く、交通の便もあまり良いとは言えない。個人としては満足して住んでいるが、移住者、特に年少人口や若年層をもっと増加させることで、交野市を活性化させることが重要だと思う。子育て支援を充実させ、それをPRする。自然が多く、住みやすい町であるということをPRすべきであると感じる。（男性 30 歳代・藤が尾）
- ・子育て世代の住民を増やす（市内での就労機会の確保など）。（男性 50 歳代・星田）
- ・農地から倉庫ではなく、大学の誘致で、若者を増やす。（男性 50 歳代・藤が尾）
- ・団地の空き家が多いので、全国から DV 被害者等のシングル家庭の受け皿をつくり、地域で見守るってどう？ 交野ならできそうだけど！（子ども、若者を増やす）（男性 50 歳代・藤が尾）
- ・高齢社会に対して、若い人たちが住める町づくりが必要。アンケートにもありましたが、行政が取り組んでいただけるようお願いしたい。（男性 65～74 歳・倉治）
- ・緑の町をアピールして、住民の数を増やす。水のうまい町をアピールして、人口を増やす。（男性 75～79 歳・私部西）
- ・教育の充実で、移住を促進する。（男性 75～79 歳・私部西）
- ・医療の充実で、定住率の増加。（男性 75～79 歳・私部西）
- ・自然の良さは残しながら、若い世代に関心を持ってもらえる町づくりを進めてほしい。（女性 40 歳代・星田西）
- ・子育てしやすい町にしたら、若い方々が住むのではないのでしょうか。また、一人暮らしの人が住みやすいのも良いかと思います。子どものいる方、一人の方が病気やケガや災害のときに、子守、買物、家事、デリバリー、トラブルのときに手軽に手助けを頼めるシステムがあれば、若い人が集まるのではないのでしょうか？（女性 60～64 歳・倉治）
- ・若い人が定着できる教育環境の整備が必要と考えます。（女性 65～74 歳・星田山手）

- ・若者にとって暮らしやすい町づくりを！ 高齢化が進み、優先も必要ですが、魅力ある活性化も必要と思います。（女性 75～79 歳・幾野）
- ・空地にはできるだけ住宅を・・・人口を増やし、活気のある街に。若者にとって魅力のある街にしないと発展がない。老人ばかりで空き家が増えていく。（女性 75～79 歳・妙見東）
- ・永く交野市に居住してもらうため、住宅への支援策を。10 年以上住んでいると、住宅に修繕箇所が多々出てくるが、収入が上がりず修繕できないので。（性別不明 40 歳代・倉治）
- ・若い世代に移住してもらうには、産科を増やし、共働きでも子育てしやすい街づくりを目指してほしい。産科が少なく市外で出産された方が多いと思います。なぜ産科を増やせないのでしょうか？（性別不明 40 歳代・妙見坂）
- ・交野市は、自然が多いのが素敵なので、道の駅のような産直場やカフェなどがあつたら、もっと交野が素敵になって、若い世帯の方がもっと移り住んでくるのではないのでしょうか。（性別不明 50 歳代・私部西）
- ・若年層が流入するような施策に重点的に取り組まないと、寂れていくばかり。老人対策は削減してでも実施すべき。（性別不明 60～64 歳・星田西）

●アンケートについて

- ・複数回アンケート回答していますが、Web 上でも回答可能にした方が、集計が楽になりませんか？ 回答の結果も気になる。（男性 20 歳代・私部）
- ・このようなアンケートをもっと増やすべきだと思います。頑張ってください！！（男性 20 歳代・私部西）
- ・アンケートを紙 or ネットの選択制にする。（男性 20 歳代・寺）
- ・アンケートも郵送料が無駄。Web アンケートでいいのでは？（男性 20 歳代・倉治）
- ・このアンケートに対して何らかのフィードバックが欲しい。（男性 30 歳代・星田）
- ・本アンケートにおける市民の現状、課題、今後の方向性をとりまとめていただき、結果の公表と考察を期待します。（男性 50 歳代・星田）
- ・本調査はウェブ上でも回答できるようにすべき。（男性 50 歳代・地区不明）
- ・このアンケート等の回答をどこに反映されているのか、知りたい。（女性 60～64 歳・星田西）
- ・質問の数が多すぎて、よくわからない知らないことも多くて、実際このアンケートが役に立っているのか？少し疑問に思った。（女性 60～64 歳・天野が原町）
- ・米寿のため、アンケート内容について分からない、知らない、答えようがない質問が多く答えられなかった。ある程度年齢に合った質問を分けるなど、考えた方が良いのではないかと思う（代筆です）。（女性 80 歳以上・青山）
- ・昨秋に、児童会利用についてのアンケートが市からあり、返答させていただきました。年末に突然、この児童会アンケート結果から、児童会民営化の必要性を市が言い出されており、児童会を民営化するためのアンケートであったのだと、非常にショックを受けました。今日のこのアンケートも、何が本当の目的であるのか、非常に疑わしく思います。市、行政の不信感が拭えません。とても残念です。（性別不明 40 歳代・天野が原町）

- ・アンケート集計を業者に丸投げにすることなく、行政にたずさわる方々が興味をもって見て下さることを祈っています。（性別不明 65～74 歳・星田西）
- ・アンケートですが、少し分からない所がありました。スママセン！ 私 78 歳です。（性別不明 75～79 歳・妙見坂）
- ・この調査は、内容、規模共に中途半端すぎる。当市なら 1 万人程度の規模にして、少々コストをかけても専門業者に委託して行うべきだ。（性別不明 80 歳以上・私市）
- ・問 4 以下については、本人が認知症のため意思確認ができない。前問までは、同居家族の知る範囲で記載。（性別不明 80 歳以上・松塚）

●その他

- ・枚方ビオルネのコワーキングスペースを利用して、便利である（在宅勤務利用）。学研都市線沿いに同様の施設があれば、ニーズがあるかも。（男性 20 歳代・私部）
- ・いきいきドームなど駐車場の有料化。（男性 20 歳代・寺）
- ・障がいを持っているので、全てにはお答えできませんでした。（男性 30 歳代・松塚）
- ・コロナで郊外への転居も増えているので、市民に向けたコワーキングスペースを作ってほしい。（男性 30 歳代・星田）
- ・●●（個人名）が、市長になりますように。（男性 40 歳代・私市）
- ・125 c c 以上のバイクを駐輪できる所が少ない（特に JR 沿線）。河内森の大きい駐輪場に中型バイクを停められるようにできないか？（男性 40 歳代・妙見東）
- ・残業時間が減った。（男性 50 歳代・私部西）
- ・心の豊かさを追求した町づくりを希望します。目先の利益にとらわれず、「住んでいてよかった」と思える精神的ゆとりを大切にしてほしいです。（男性 50 歳代・妙見坂）
- ・このままで良いと思います。（男性 65～74 歳・幾野）
- ・私にとって交野市は、最高の町だと思っています。（男性 65～74 歳・倉治）
- ・交野に住んで、51 年。大変良くなって来た。（男性 80 歳以上・私部西）
- ・駐車場を多く広くしてほしい。（男性 80 歳以上・妙見東）
- ・市内は、少し頑張れば歩いて行動できる町になっていると思う。私、今 82 歳、車移動していますが、子どもはもう車を手放せと言う。これは、私に死ねと聞こえる、間違っています。（男性 80 歳以上・星田）
- ・いつもありがとうございます。これからも頑張ってください。（女性 20 歳代・星田）
- ・このようなコロナ禍の中、いつも交野市のために働いてくださり有り難うございます。また、寒い日が続きますが、お体にはお気をつけてお過ごしください。（女性 20 歳代・倉治）
- ・河内森、いわふね両駅につながる地下通路とその両サイドに、有料広告や上り下り方向に歩くエスカレーター、タクシー呼び出しボタン、コンビニ、図書返却 box、荷物預かり冷却冷凍 boxなどを設ける。便利や食につながるエリアにする。パン屋さんは特に便利。（女性 40 歳代・妙見坂）
- ・特にありませんが、これからも住み良い町であってほしいです。（女性 65～74 歳・私部）

- ・私は、交野市に来て4年程になりますが、一人暮らしのため、住んでいる所からスーパーぐらいしか行き来がないので、周りが分かりません。申し訳ありません。（女性 65～74 歳・梅が枝）
- ・いい加減、このままでいいと思う考えをやめるべき。遅れている考えでダサイ、閉鎖的。梅が枝団地つぶれたらいい。誇らしさがゼロな町。生まれた町で仕方なく住んでいるだけ。（性別不明 30 歳代・幾野）
- ・星田北の開発が当初のものと変わっている気がする。（性別不明 50 歳代・星田）
- ・交野は本当にいいところだと思います。のんびりでき、人も優しい。人口が増えると、それもなくなっていくのが微妙です。市役所の方々も優しいです。ずっとずっとそんな交野市が続いてほしいと願っております。（性別不明 50 歳代・倉治）
- ・大変な時期ですが、頑張って良い結果を出してください。（性別不明 60～64 歳・東倉治）
- ・交野は好きです。コロナの中、交野山に行ったり、植物園に行ったり、楽しめています。70 歳、66 歳の夫婦ですが、交野に満足しています。（性別不明 65～74 歳・幾野）
- ・人口は今ぐらいがよいと思う。（性別不明 65～74 歳・妙見東）
- ・一年前から老人ホームに入っています。考えますと住み良い所でした。（性別不明 80 歳以上・天野が原町）

市民意識調査へのご協力をお願い

日頃は、市政運営にご協力とご理解をいただき、誠にありがとうございます。

さて、交野市では現在、「交野市総合計画基本構想」及び「交野市都市計画マスタープラン」の改定に向けた検討を進めております。

これらの計画は、今後のまちづくりの基本的な指針として極めて重要なものであることから、改定にあたり、新型コロナウイルス感染症による生活への影響等を含め、広く市民の皆様より本市のまちづくりに関するご意見をお聴きするため、市民意識調査を実施いたします。

今回、調査の実施にあたって、市内にお住まいの18歳以上の方から、無作為に2,000人の方を抽出し、回答のご協力をお願いしております。

なお、本調査結果はすべて統計的に処理し、本調査の目的以外に使用することはありません。

お忙しいところ誠に恐れ入りますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願いいたします。

交野市長 黒田 実

ご記入にあたってのお願い

1. ご回答は、あて名のご本人がご記入ください（代筆も可能です）。
2. ご回答は、選択肢の番号や記号に○を、()の中には具体的な内容をご記入ください。
3. ご回答が、「その他()」の場合には、番号に○をつけ、()の中に具体的にその内容をご記入ください。
4. ご回答に記入漏れがないかご確認のうえ、**令和3年1月31日(日)まで**に同封の返信用封筒に入れ、ご投函ください（切手の貼付は不要です）。
5. 調査票・封筒ともに、お名前やご住所は記入しないでください。

本調査に関するお問い合わせ先

担当部署	交野市役所 企画財政部 政策企画課
電話番号	072-892-0121（内線233、234）
電子メール	kikaku@city.katano.osaka.jp

問1 あなた（回答者）のことについてお答えください。（それぞれ1つに○印）

(1)性別	1. 男性	2. 女性																										
(2)年齢	1. 19歳以下	2. 20～24歳	3. 25～29歳	4. 30～34歳	5. 35～39歳	6. 40～44歳	7. 45～49歳	8. 50～54歳	9. 55～59歳	10. 60～64歳	11. 65～74歳	12. 75～79歳	13. 80歳以上															
(3)お住いの地区	1. 郡津	2. 幾野	3. 梅が枝	4. 松塚	5. 倉治	6. 東倉治	7. 神宮寺	8. 私部	9. 天野が原町	10. 向井田	11. 私部西	12. 私部南	13. 青山	14. 私市	15. 私市山手	16. 寺	17. 森	18. 森南	19. 森北	20. 傍示	21. 星田	22. 星田北	23. 星田西	24. 藤が尾	25. 妙見坂	26. 星田山手	27. 南星台	28. 妙見東
(4)就労状況	1. 就労している	2. 就労していない（学生）	3. 就労していない（学生以外）																									
(5)家族構成	1. 単身（一人暮らし）	2. 夫婦のみ	3. 親と子（二世代）	4. 親と子と孫など（三世代以上）	5. その他（ ）																							
(6)同居の中学生以下の子どもの有無	1. あり	2. なし																										
※以下(7)、(8)については、当てはまるものすべてに○印をつけてください。																												
(7)子世帯の同居・近居の状況	1. 子世帯（単身含む）と同居している	2. 子世帯（単身含む）と近居している	➡ その場所は ア. 市内 イ. 市外（ ）市											3. いずれでもない														
(8)親の同居・近居の状況	1. 親（義父母含む）と同居している	2. 親（義父母含む）と近居している	➡ その場所は ア. 市内 イ. 市外（ ）市											3. いずれでもない														

交野市での居住歴や定住意向について

問2 あなたの交野市での居住歴についてお答えください。(1つに○印)

1. 生まれてからずっと交野市に住んでいる ⇒問4へ
2. 交野市で生まれ、市外に住んだこともあるが、現在は交野市に住んでいる ⇒問3へ
3. 市外で生まれたが、現在は交野市に住んでいる ⇒問3へ

問3 ※問2で「2」または「3」を選んだ方にお聞きします。

あなたが交野市に住むようになった主なきっかけ・理由は何ですか。(3つまで○印)

1. 仕事の都合(就職・転勤・転職・退職など)
2. 学校の都合(入学・進学・転校など)
3. 結婚・離婚
4. 出産
5. 住宅の購入、住み替え
6. 親または子どもと同居(または近隣居住)
7. 親から独立
8. 友人・知人が住んでいるから
9. 交通の便がよいから
10. 買い物が便利だから
11. 子育て環境がよいから
12. 医療・福祉環境がよいから
13. 治安がよいから
14. 自然環境がよいから
15. その他()

問4 あなたは今後も交野市に住み続けたいと思いますか。(1つに○印)

1. 現在の場所に住み続けたい ⇒問6へ
2. 他の場所に引っ越したい ⇒問5へ
3. わからない ⇒問6へ

問5 ※問4で「2」を選んだ方にお聞きします。

(1)他の場所に引っ越す場合、あなたはどちらに引っ越したいですか。(1つに○印)

1. 市内 ➡ (例)河内磐船駅周辺 (具体的に:)
2. 市外 ➡ 以下の選択肢から選んでください。
ア. 枚方市 イ. 寝屋川市 ウ. 四條畷市 エ. 大阪市
オ. その他(具体的に:)

(2)前問(1)の場所に引っ越したい主な理由は何ですか。(3つまで○印)

- | | |
|----------------------------------|------------------------|
| 1. 仕事の都合(就職・転勤・転職・退職など) | 2. 学校の都合(入学・進学・転校など) |
| 3. 住宅価格/家賃 | 4. 親または子どもと同居(または近隣居住) |
| 5. 親から独立 | 6. 友人・知人が住んでいるから |
| 7. 交通の便がよいから | 8. 買い物が便利だから |
| 9. 子育て環境がよいから | 10. 医療・福祉環境がよいから |
| 11. 治安がよいから | 12. 自然環境がよいから |
| 13. 都市基盤施設(公園、道路、公共施設など)が整っているから | |
| 14. その他() | |
| 15. 新型コロナウイルス感染症の影響から | |

➡ ※「15」を選んだ方のみ、以下の中から具体的な理由を選んでください。

(○印はいくつでも)

- | |
|---|
| ア. テレワーク等の新たな働き方が可能になり、職場までの距離や通勤等の交通利便性を重視する必要がなくなったから |
| イ. ネットショッピングや宅配サービス等が充実し、商業施設までの距離や買い物の利便性を重視する必要がなくなったから |
| ウ. 人口が過密な都市部近辺よりも、感染リスクの低いゆとりある地方部(田舎)で安心して暮らしたいから |
| エ. 新型コロナウイルス感染症の影響で収入が減り、家賃がもっと安いところを探す必要に迫られたから |
| オ. その他() |

普段の生活について

問6 普段の食料等の買い物は主にどこでされていますか。また、その際に利用される主な交通手段は何ですか。(それぞれ1つに○印)

(1)買い物の場所

- | | | | |
|--------|----------------|---------|---------|
| 1. 市内 | 2. 枚方市 | 3. 寝屋川市 | 4. 四條畷市 |
| 5. 大阪市 | 6. その他(自治体名:) | | |

(2)利用する主な交通手段

例: 徒歩で最寄り駅まで行き、鉄道を利用して枚方駅まで移動し、駅周辺で買い物をする場合
⇒この場合は「6. 鉄道」を選択

- | | | | | |
|---------|----------|-------------|-----------|-------------|
| 1. 徒歩のみ | 2. 自転車のみ | 3. バイク・原付のみ | 4. 自家用車のみ | 5. バス |
| 6. 鉄道 | 7. タクシー | 8. 自家用車と鉄道 | 9. バスと鉄道 | 10. タクシーと鉄道 |

問7 普段の買い回り品（衣類・家電等）の買い物は主にどこでされていますか。また、その際に利用される主な交通手段は何ですか。（それぞれ1つに○印）

(1) 買い物の場所

1. 市内	2. 枚方市	3. 寝屋川市	4. 四條畷市
5. 大阪市	6. その他（自治体名： _____）		

(2) 利用する主な交通手段

例：徒歩で最寄り駅まで行き、鉄道を利用して枚方駅まで移動し、駅周辺で買い物をする場合
⇒この場合は「6. 鉄道」を選択

1. 徒歩のみ	2. 自転車のみ	3. バイク・原付のみ	4. 自家用車のみ	5. バス
6. 鉄道	7. タクシー	8. 自家用車と鉄道	9. バスと鉄道	10. タクシーと鉄道

問8 ※問1(4)で「1」または「2」を選んだ方にお聞きします。

通勤・通学先はどこですか。また、その際に利用される主な交通手段は何ですか。

（それぞれ1つに○印）

(1) 通勤先（職場）や通学先

1. 市内	2. 枚方市	3. 寝屋川市	4. 四條畷市
5. 大阪市	6. その他（自治体名： _____）		

(2) 利用する主な交通手段

例：徒歩で最寄り駅まで行き、鉄道を利用して枚方駅まで移動し、徒歩で通う場合
⇒この場合は「6. 鉄道」を選択

1. 徒歩のみ	2. 自転車のみ	3. バイク・原付のみ	4. 自家用車のみ	5. バス
6. 鉄道	7. タクシー	8. 自家用車と鉄道	9. バスと鉄道	10. タクシーと鉄道

問9 普段の通院（かかりつけの内科の診療所等を想定してください）はどこに通われていますか。また、その際に利用される主な交通手段は何ですか。（それぞれ1つに○印）

(1) 通院先

1. 市内	2. 枚方市	3. 寝屋川市	4. 四條畷市
5. 大阪市	6. その他（自治体名： _____）		

(2) 利用する主な交通手段

例：徒歩で最寄り駅まで行き、鉄道を利用して枚方駅まで移動し、徒歩で通う場合
⇒この場合は「6. 鉄道」を選択

1. 徒歩のみ	2. 自転車のみ	3. バイク・原付のみ	4. 自家用車のみ	5. バス
6. 鉄道	7. タクシー	8. 自家用車と鉄道	9. バスと鉄道	10. タクシーと鉄道

交野市について

問 10 あなたは交野のまちが好きですか。(1つに○印)

- | | |
|-----------------|---------------|
| 1. 好き | 2. どちらかと言えば好き |
| 3. 好きとも嫌いとも言えない | 4. どちらかと言えば嫌い |
| 5. 嫌い | |

問 11 普段の暮らしの中で、次に挙げる交野市の環境等について、あなたが感じる満足度と今後のまちづくりの上での重要度をお答えください。(それぞれ1つに○印)

項目		満足度					重要度				
		満足	やや満足	普通	やや不満	不満	高い	やや高い	普通	やや低い	低い
子育て	①子育てに適している風土	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	②子育てに関する支援	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
教育	③学校施設と教育環境	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	④児童・生徒の健全育成	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
健康・福祉	⑤市民の健康づくり	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	⑥地域での暮らしの支え合い	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	⑦高齢者への支援	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	⑧障がい者への支援	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
生涯学習	⑨文化の振興	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	⑩スポーツの振興	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
安全・安心	⑪防災・防犯の取り組み	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	⑫平和と人権の尊重	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
まちづくり	⑬買い物の利便性	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	⑭公共交通の利便性	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	⑮まちなみや景観	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	⑯みどりや自然を感じられる空間	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

項目		満足度					重要度				
		満足	やや満足	普通	やや不満	不満	高い	やや高い	普通	やや低い	低い
まちづくり	⑰道路の整備・維持管理	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	⑱公園や緑地の整備・維持管理	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	⑲上下水道の整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
地域振興・地域資源	⑳住民同士のつながり、地域のまちづくり活動	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	㉑地域産業の振興	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	㉒就労支援と雇用促進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	㉓歴史文化資源や観光資源	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	㉔農業の振興	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
環境	㉕生活環境（水・空気・ごみ・騒音等）	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	㉖自然環境（山地・河川等）	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
行政管理	㉗効果的・効率的な行政運営	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	㉘まちの魅力の向上・発信	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1



①～㉘の中から特に重要だと思う項目を3つ選んで、その番号を記入してください。

--	--	--

問 12 あなたが住んでいる地域について、特にどのようなことに課題や問題を感じていますか。
(3つまで○印)

<p>1. 身近に商業施設や医療施設等が少なく、日常生活に不便を感じている</p> <p>2. 鉄道やバスなどの公共交通が利用しづらく、日常の移動に不便を感じている</p> <p>3. 道路や公園の整備不足。維持管理が十分とは言えず、使いづらい</p> <p>4. 空き地や空き家等が増加している</p> <p>5. 農地などが住宅や商業施設になり、みどりの空間が失われつつある</p> <p>6. 災害時における安全性（避難場所や避難経路の確保等）に対して不安がある</p> <p>7. 地域のつながりが希薄になってきている</p> <p>8. その他（</p>	）
--	---

問 13 将来の人口減少が全国的に問題となっている中、次の交野市における人口減少対策の取り組みについてあなたはどのように実感していますか。それぞれの取り組みについて、あなたの評価をお答えください。（それぞれ1つに○印）

人口減少対策	評 価		
	十分である	どちらとも言えない	不足している
①待機児童の解消に向けた取り組み	3	2	1
②子育て世帯の経済的負担の軽減	3	2	1
③妊娠・出産・子育てについて気軽に相談できる環境の整備	3	2	1
④保育・教育環境の整備・充実	3	2	1
⑤子どもが安心して暮らせる環境づくり	3	2	1
⑥起業・創業しやすい環境の整備	3	2	1
⑦地域産業や地元企業を知ってもらう取り組み	3	2	1
⑧地域に根差した魅力ある企業づくりへの支援	3	2	1
⑨交野市内での働く場所の充実	3	2	1
⑩移住・定住の促進	3	2	1
⑪交野市の知名度向上	3	2	1
⑫観光・交流人口の増加	3	2	1
⑬自然・歴史・文化を活かしたにぎわいの創出	3	2	1
⑭豊かな自然を守り伝えるための取り組み	3	2	1
⑮市と市民の協働のまちづくり	3	2	1
⑯防犯体制の整備と防災力の強化	3	2	1



①～⑯の中から特に重要だと思う項目を3つ選んで、その番号を記入してください。

--	--	--

問 14 本市では、まちなかや住宅地などの近くに「みどり※」の空間があります。
こうした「みどり」の空間のどのような点が魅力だと思いますか。（2つまで○印）
※みどり … 農地、樹林地、河川などの水辺地 などのことを指します。

1. 地場の安全な農作物の生産の場
2. うるおいのある景観
3. 生態系の保全の場
4. 災害時の避難空間など防災面の機能
5. ヒートアイランドなど地球環境の保全
6. 貸農園や体験農園などレクリエーションの場
7. 魅力を感じない
8. 分からない／特に意識したことが無い
9. その他（具体的に： _____)

問 15 今後、「みどり」の空間はどのように活用されていくことが望ましいと思いますか。
(2つまで○印)

1. 農作物の生産の場として活用する
2. 貸農園や体験農園などレクリエーションの場として整備する
3. 住宅地として活用（宅地開発）を進め、本市の人口増加につなげていく
4. 商業施設などを誘致し、地域の生活利便性の向上を図る
5. 工場や物流施設などを誘致し、本市の経済活力の向上を図る
6. 公園などのレクリエーション空間として整備する
7. 現状のままだがよい
8. その他（具体的に： _____)

➡ 設問は次ページ以降も続きます。引き続きご協力をお願いいたします。

問 16 本市では、地域の中での暮らしの支え合いや生活環境の向上のため、次に挙げるような様々な地域コミュニティ活動が行われています。これらの活動の重要度と今後の参加意向についてお答えください。（それぞれ1つに○印）

項 目	重要度について					今後の参加意向	
	重要だと思 う	ある 程度重要だ と思う	ど ちらとも 言えない	あ まり重要 ではない	重 要では ない	参 加した い（現 在参加 するも 含む）	参 加しな い（で きない）
①地震や風水害等に備える防災活動	5	4	3	2	1	A	B
②地域の安全を見守る防犯、パトロール活動	5	4	3	2	1	A	B
③地域清掃や公園美化などの環境活動	5	4	3	2	1	A	B
④子ども会、PTAなどの青少年育成活動	5	4	3	2	1	A	B
⑤高齢者、障がい者などに対する福祉活動	5	4	3	2	1	A	B
⑥地域イベント（お祭り等）の実施	5	4	3	2	1	A	B
⑦スポーツ、文化、趣味活動	5	4	3	2	1	A	B
⑧広く地域の課題に取り組むグループ活動	5	4	3	2	1	A	B

問 17 問 16 の①～⑧までの地域コミュニティ活動への参加意向の理由についてお聞きします。

(1) 「参加したい（現在参加しているものも含む）」（A）に○をつけた活動について、そのように思う理由は何ですか。（3つまで○印）

1. 地域に貢献したいから	2. 自分の経験や知識を活かしたいから
3. 活動で充実感を味わいたいから	4. 仲間や友人を得たいから
5. 活動内容に興味があるから	6. 相互扶助活動（助け合いの活動）であるから
7. 暮らしの安全・安心を確保したいから	8. その他（ ）

(2) 「参加しない（できない）」 (B) に○をつけた活動について、そのように思う理由は何ですか。
(3つまで○印)

1. 時間的に余裕がないから	2. 必要性を感じないから
3. 興味・関心がないから	4. 高齢で活動に参加できないから
5. 役員が負担になるから	6. 地域の人との関わりを望まないから
7. 参加するきっかけがないから	8. 活動内容がわからないから
9. その他 ()	

新型コロナウイルス感染症による生活への影響等について

問 18 新型コロナウイルス感染症により、以下の項目について変化がありましたか。
(それぞれ1つに○印)

項 目	選 択 肢
①働く場所や勉強する場所 (在宅ワーク、オンライン授業等)	1. 変化があった 2. 変化はなかった
②働く時間や勉強時間 (時差出勤、短縮授業等)	1. 変化があった 2. 変化はなかった
③家族と過ごす時間	1. 増えた 2. 変わらない 3. 減った
④友人・知人と過ごす時間	1. 増えた 2. 変わらない 3. 減った
⑤外出する頻度	1. 増えた 2. 変わらない 3. 減った
⑥一人で過ごす時間	1. 増えた 2. 変わらない 3. 減った
⑦パソコン・タブレットを使う時間	1. 増えた 2. 変わらない 3. 減った
⑧スマホを使う時間	1. 増えた 2. 変わらない 3. 減った
⑨SNSなどでの交流頻度	1. 増えた 2. 変わらない 3. 減った
⑩その他	1. あった 2. なかった →※1を選んだ方は、変化の内容をご記入ください。 ()

交野市 市民意識調査 報告書

発 行 / 令和3年3月

発 行 者 / 交野市 企画財政部 政策企画課

〒576-8501 大阪府交野市私部1丁目1番1号

TEL 072-892-0121

E-Mail / kikaku@city.katano.osaka.jp
